

令和7年度 老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費補助金）

地域での認知症サポーター養成の効果検証等に関する調査研究事業
報告書

アンケート「認知症サポーターが実践している活動」

- ・1 「認知症サポーターの活動」の回答結果（1ページ）
- ・2 「わがまちの企業・職域サポーターの活動」の回答結果（233ページ）
- ・3 「キャラバン・メイト連絡協議会の取り組み」の回答結果（349 ページ）

令和8年3月

特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構

全国キャラバン・メイト連絡協議会

アンケート「認知症サポーターが実践している活動」

- ・1 「認知症サポーターの活動」の回答結果

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』＜北海道＞

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
42	14	1	3	0	1	2	1
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	3	14	0	0	0	2

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
42	29	23	27	25	1	26	23
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	16	2	0				

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
札幌市	スマイルオレンジチーム	1	2024		4 週2回	101
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>令和6年1月1日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の理念に基づき、認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の構築に向けた具体的な一歩として、取組を開始。札幌市では、中央区、東区、白石区、厚別区、手稲区の5区をモデル地域として選定し、各区の地域包括支援センターに配置された13名のオレンジコーディネーターが中心となり、活動を推進している。</p>		<p>認知症と思われる初期の段階から、市町村がコーディネーターを配置し、認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズと、認知症サポーター（認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者）を中心とした支援者をつなぐ仕組み。具体的には、認知症のあるご本人やそのご家族、地域のボランティアであるオレンジサポーターの協力を得て、外出支援、見守り・声かけ、話し相手、自宅訪問などの活動を展開している。</p>		<p>チームオレンジ参加申込書を提出</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
旭川市	きづなカフェ	10	2016		8 月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>ボランティアセンターの登録者への声かけ等から興味のある方々が集まり、地域の活動について協議する中で発足した。</p>		<p>月に1回集まり、お茶等を飲んでおしゃべりや折り紙工作をしたり、地域のボランティア団体に声かけをして、音楽鑑賞や地域の保育園の園児との交流を楽しんでいる。</p>				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
帯広市	チームオレンジおびひろ（認知症サポーターが活躍するための仕組みづくり）	1	2024		5 随時	73
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>令和4年度2月にステップアップ講座を開催し、チームオレンジ活動登録を開始しており、令和5年度以降は年2回開催しています。令和5年度、活動登録者向けに年2回学習会を開催し、帯広市の認知症の人の課題等について話し合い、活動登録者があったらよいと思う支援や活動したいことを網羅できる内容となるように活動内容を整理しました。</p>		<p>認知症カフェ・普及啓発・個別支援の3つのグループに分かれて活動しています。 ①認知症カフェグループ：既存の認知症カフェでの活動や新規の認知症カフェの立ち上げを行う。 ②普及啓発グループ：認知症サポーター養成講座の開催支援のほか、認知症パネル展等でチームオレンジの普及啓発を行う。 ③個別支援グループ：認知症の人の話を聞く中で、本人のやりたいことを把握するとともに、解決に向けて個別的な支援を行う。</p>		<p>ステップアップ講座受講後、認知症サポーターの活動意向を確認し、自宅から近い認知症カフェへの支援を依頼するなど、無理なく継続的に活動ができるよう、チームオレンジコーディネーターが調整しています。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊達市	チームオレンジ あい彩(いろ)の会	1	2024		5 月2回程度	31
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>市が認知症サポーター養成講座受講者に對し、より踏み込んだ取り組みをしてみたい方を募集。グループワークを重ね、チームオレンジとして発足。</p>		<p>個別サポート（本人のもとに伺い、本人のやりたいことを一緒に行う）、認知症カフェ・家族介護者のつどいでのサポート、認知症サポーター養成講座での朗読劇、アツルハイマー月間展示協力、あい彩の会のつどい、ロバ隊長を作る手芸の会 など</p>		<p>①認知症サポーター養成講座事後アンケートにてあい彩の会への参加希望の有無を確認。希望者には電話や郵送にてあい彩の会のつどいを案内。②既に登録している会員からの紹介。</p>		

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
千歳市	介護予防教室のボランティア	9	2014	4	月10回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2014年に千歳市介護予防センターを開設。以降、市内にある10つの各会場で月に1回介護予防教室を実施している。		椅子やテーブルの設置、介護予防教室の参加者の受付と誘導と見守り。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
江別市	にりんそうの集い	1	2023	4	概ね月1回	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「人を楽しませたい」という当事者の声をもとに、認知症の人とその家族の集いを開催することとなり、認知症サポーターステップアップ講座を受講した方で結成された江別オレンジサポーターつながる会に参加を依頼した。		本人の得意なことを活かした活動や、参加者にやりたいことを伺い、毎回の活動の内容を決めている。(例)チェロが得意な本人から、「自身のチェロを皆に聞いてもらいたい。」という希望があり、演奏会を実施した等。		市内の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、認知症地域支援推進員からの紹介で、参加につながるケースが多い。参加にあたっては、認知症地域支援推進員が直接案内を持って行き、なるべく家族や本人と会い、本人の希望や近況等を伺うようにしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
網走市	認知症カフェ あえる	10	2018	4	月1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「認知症カフェを始めて欲しい」と要望してきた方々が、認知症サポーターだった。その後に参加したボランティアの中で未受講者には養成講座を受講していただき、認知症サポーターとして活動。		認知症カフェの来場者との交流		現在の活動には、特段の取り決めはありません。参加しているサポーターの繋がりによってボランティアが増えています。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
富良野市	富良野の和	1	2024	4	月1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
既存の福祉サークルメンバーに包括支援センターから声がけし、ステップアップ講座を受講していただき、チームオレンジとして立ち上げた。		特別な取り組みを行うというよりも、福祉サークルのメンバーが認知症支援の視点を持ち、地域で心配な方がいれば声を掛けたり、サロンに誘ったりするなど、日頃から意識して生活している。また、地域包括支援センターの職員が3~4か月に一度、認知症に関する講座を開催し、メンバーの知識向上を図っている。		1~11の回答の通りです。立ち上げ当初にステップアップ講座を受講したメンバーが活動しており、新たなメンバーの参加はありません。認知症の方で参加につながった方もいません。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
名寄市	小学生向け認知症サポーター養成講座	1	2016	4	月1~2回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ発足		認知症カフェのスタッフ、高齢者施設や町内会ヘレクリエーション活動		資料添付予定		

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
赤平市	あかびらチームオレンジ(平岸地区)	1	2024		4月3回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
生活支援体制整備事業をきっかけに、地域でお互いに支え合えるサポーターを養成。H28年より、活動を開始してきた。チームオレンジの整備に向け、『あかびらチームオレンジ(平岸地区)』を発足し、チームオレンジとして活動開始。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン実施・送迎や近隣住民(認知症の人)の見守り・声掛け支援(サロン参加声掛け含む) ・近隣住民(認知症の人)の困り事対応(市役所からの文書確認お手伝いなど) ・日常生活のサポートなどの出前支援(有償ボランティア) ・認知症関連で困っている人・家族に対する情報提供・相談 		サロン活動時資料		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
深川市	入居施設等の行事協力(盆踊り、散歩、レクリエーション)	5	2025		定期的には行っていない。2025年8月1回、10月に4回活動	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
施設からの要望		施設入居者が希望する内容の実現(散歩、お話等)		担当者が施設担当者を通じて、認知症当事者の要望を実現し地域の認知症サポーター等の協力を得て実現する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中標津町	ぶらっと茶フェ(認知症カフェ)	14	2019		4月2回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ボランティアスタッフの認知症理解のため		来られた方たちと会話やゲームなどを楽しむ		どなたでも参加可能です		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
浜頓別町	認知症カフェ	10	2025		7月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町内の認知症型グループホームの経営者が変わり、認知症カフェの実施について協力体制の整備できたため、業務委託契約を締結し、グループホームの主催で認知症カフェを開催する運びとなった。		参加者同士の歓談、認知症についての講話・講演等		グループホームでの開催によるハード面の問題、入居者への影響について配慮し、一般周知は行わず、関係機関職員からの紹介等により人数調整を行っている。参加希望がある場合には、担当ケアマネ等が仲介している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京極町	どんぐりカフェ(認知症カフェ)	10	2016		3月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
活動当初は社協で始めたカフェでしたが、認知症サポーターの方主体で活動してもらえるように移行した。社協職員は後方支援を継続している		月1回 1時間程度カフェを開催。参加してくれる当事者の方がお話をしたり、やりたいことを中心に活動内容を決めている。				

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京極町	Chill café(認知症カフェ)	10	2023	10	年1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町の福祉のお祭り(ほかほかまつり)の時に講座を受講している中学生、地域のサポーター、認知症当事者の方と一緒にカフェを開催しています。中学校の教員から講座を受講した生徒が主体的に活動する場がほしいと相談があったことがきっかけ。立ち上げから地域のサポーターの方が参加。当事者の方も一緒に当日カフェを開催しています。		町のお祭りでカフェを開催				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
浜中町	ふまねっとサポーター	9	2005	8	月2回～4回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
高齢者の介護予防事業として町の声かけによりサポーターを募集		介護予防事業でふまねっとサポーターとして指導		おおむね60歳以上の高齢者であれば、どなたでも参加可能。当日は無線でも周知している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
清水町	sosネットワーク	6	2015	11	随時	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
sosネットワークに郵便局が参加されることになったため		sosネットワークで検索対象者が出たとき		sosネットワーク関係機関へのFAX 一斉送信→検索にあたる		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
厚沢部町	さわやか教室のボランティア	9			月3回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		介護予防教室参加者の誘導・簡単な介助、プログラムの補助		地域包括支援センターより介護予防教室の開催日程をサポーターへ報告。可能な日に各サポーターが参加する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
厚沢部町	オレンジカフェ あっさぶ	10	2025	11	月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症疑いのある方へ活動内容について事前説明をしましたが、本人は元介護職であり、その経験を買われて参加していると思っています。認知症サポーター養成講座に参加した際、他参加者へ認知症疑いである、冬期間は特に孤独を感じやすく寂しいと自ら報告する場面がありました。それならば集まれる場を作ろうと地域包括支援センターの働きかけによって認知症カフェの開催・参加をすることになりました。小さい町ですので、センター側から当事者として扱うことは避けたいと考えており、カフェ参加者は互いに助け合おう・予防しようとする雰囲気です。		認知症カフェへ参加しています。認知症予防の視点に沿った内容が多いです。				

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
せたな町	施設・個人宅訪問	1	2024		7月2回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ活動希望者を募って、活動内容を検討		レク・軽運動・傾聴・縫物・百人一首等		ステップアップ講座(念1回以上・継続)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
倶知安町	認知症カフェ 結び場	10	2023		8月1回程度	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>昼開催: サロン開催に合わせて養成講座を行い、カフェ参加への声掛けをおこなっていった。</p> <p>夜間開催: SC兼務のサポーター(社協)が地域の認知症サポート医へ働きかけ、医師の参加実現。公共施設だけではなく、街中での開催のため店舗の選定を行った。</p>		<p>昼: 認知症に関する動画視聴や寸劇観覧をおこない、家族介護者や町民との情報交換をおこなっている。</p> <p>夜: 認知症に関する寸劇観覧等をおこない、サポート医、PSWや医療関係者の参加もあり、普段は聞けない事を質問したりしている。</p>		<p>昼: 他事業と日程が重ならないように年間予定を組む。</p> <p>夜: サポート医へ参加可能日、施設予約状況確認。</p> <p>共通: 開催日近くに新聞折込やLINEにて周知。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
上士幌町	チームオレンジの活動	1	2023		定例会 月1回 家庭訪問 月1~2回 他	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括支援センター職員が令和3年度の北海道チームオレンジコーディネーター研修を受講後、チームオレンジ立ち上げに向けて令和4年度の認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を計画的に実施し、講座修了者に対してチームオレンジ結成に向け働きかけたところ、賛同者が集まりチームオレンジ準備会を開始(当時7名参加)。そこに当事者2名が加わり認知症やチームオレンジについて学習や普及啓発活動に参加いただくなどして、職員主導で活動を進めていった。令和6年度に正式に「チムオレかみしほろ」を結成。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・R5~認知症の人がいるご家庭に家庭訪問(二人組で傾聴等実施) ・「かみしほろ認知症推進ロゴマーク」とオレンジチームポロシャツを制作 ・ロバ隊長をフェルト布で作る「ちくちくの会」実施し、認知症の方や出かけることの少ない縫物好きの高齢者の集い開催 ・認知症ガイドブック作成時の協力 ・福祉まつりでの認知症普及啓発活動(ブースを持ち展示やアンケート等) ・認知症カフェへのボランティア参加 ・町が実施する認知症サポーター養成講座への協力 		<p>認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座修了者に対してチームオレンジの活動の紹介や参加勧奨(個別)を行う。入会希望者がいた場合は、社会福祉協議会にボランティア登録していただき、同時に介護支援ボランティアポイント事業にも登録していただき、活動時間や種類に応じてポイントを付与。たまったポイントは、町内で使えるポイントカードに入り1ポイント=10円で還元される。月1回の定例会を開催し、活動内容やスケジュールはメンバー全員で決め活動している。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
音更町	コミサポカフェ	1	2023		12月に1回	57
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>「見守り訪問事業等で個別の関わりをしている利用者が安心して参加できる交流の場を作りたい」というサポーターからの声をきっかけに立ち上げ。</p>		<p>誰もが安心して楽しめる居場所と地域がつながる場としてカフェの運営</p>		<p>年1回行われるサポーター養成講座を受講することで登録可能。ここ数年はコミサポカフェ参加者やサポーターの声がけからも登録につながるようになってきている。</p>		

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
足寄町	チームオレンジあしよろ	1	2020		9月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括支援センターが、2020年9月に認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を開催し9名が参加。そのうち4名がチームオレンジに参加意向があった。月1回のメンバー会議を開催し、今後の活動についてや学習会をおこなった。2023年度には、コロナ禍の間も7回のチームオレンジ会議を開催。具体的な活動が認知症カフェと決まった。2024年5月より毎月第3金曜日に認知症カフェを開催している</p>		<p>毎月1回、認知症カフェの打ち合わせ等</p>		<p>認知症サポーター養成講座とステップアップ講座の受講</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
足寄町	ひだまりカフェ(オレンジカフェ)の開催	10	2022		5月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括支援センターが、2022年9月に認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を開催し、9名が参加。そのうち4名がチームオレンジに参加意向があった。月1回のメンバー会議を開催し、今後の活動についてや学習会をおこなった。2023年度には、コロナ禍の間も7回のチームオレンジ会議を開催。具体的な活動が認知症カフェと決まった。2024年5月より毎月第3金曜日に認知症カフェを開催している。</p>		<p>認知症カフェの運営、毎月第3金曜日。会場準備、お茶やお菓子の提供、体操などレクリエーション、片付けなど</p>		<p>チームオレンジメンバーになること</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
芽室町	チームオレンジ	1	2024		4月1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>行政主導でステップアップ講座受講者へチームオレンジとして活動することを提案。</p>		<p>オレンジカフェでの見守り、傾聴、カフェの内容の企画、認知症講演会での受付対応等</p>		<p>ステップアップ講座受講者のうち、チームオレンジとして活動することを希望した者は、「芽室町チームオレンジ登録申込書」を役場に提出。これによりチームオレンジ加入となる。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
上ノ国町	近隣の見守り活動	2	2009		11	142
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーター養成講座を機に、それぞれで活動を開始している。</p>		<p>日常生活の中で認知機能低下や認知症が疑われる方の見守りや簡単な声掛け、必要時包括支援センターへの連絡・情報提供を行っている。</p>		<p>特になし。</p>		

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
上ノ国町	チームオレンジとしての活動	1	2025		1 認知症サポーター養成講座開催時等、適宜活動している。	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座を機に、活動を開始している。		・認知症サポーター養成講座のサポート ・日常生活の中での見守り・声掛け 今後はグループホーム等の行事の手伝いや、認知症の方の介護をしている家族の体験を伝える機会の提供等について検討中。		地域包括支援センターからの声掛け・発信をして、有志の方が活動に参加している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
浦河町	の〜んびりカフェ	1	2018		5 月1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症と診断されてからの社会的なつながりの減少を感じ、だれでも活躍できる場を作りたいかった。		月1回、カフェの調理スタッフとして活動、他参加者でかたる等をして楽しむ				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
浦河町	まちなか元気ステーション オレンジカフェ	10	2018		4 月1回程度	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人も、子供も高齢者も普段から繋がる居場所づくりとして		月1回 ボランティアによるカフェ開催 利用料 食べ物+飲み物セットで100円 だれでも利用可。食事やコーヒー等を飲みながら、楽しくお話ししたり、子供を遊ばせながら休憩したり、利用の仕方はその人次第です。カフェにかかわっているサポーターも高齢者であり、自分たちの楽しみや介護予防として関わってくれています。カフェのメニューは、各グループで決めており、月5〜8組のボランティア団体がオレンジカフェを開催してくれています。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
釧路町	SOSネットワーク等への登録	6	2023		9 随時	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
自治体からの提案		所在不明となった認知症高齢者等の搜索協力		メーリングリストにメールアドレスを登録する。認知症高齢者等の搜索情報が登録アドレスに届き、搜索に協力する。		

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
釧路町	釧路町認知症の人にもやさしいお店登録	7	2017		7 随時	129
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
自治体からの提案		釧路町認知症の人にもやさしいお店登録し、交付された登録証書等を施設の出入口その他利用者の確認しやすい場所に表示し、業務の中で認知症や認知症が疑われる人・家族をやさしく見守る。接し方について十分な対応ができないときは地域包括支援センターに連絡して連携を図る。		登録店申請書を提出し、交付された登録証書等を施設の出入口その他利用者の確認しやすい場所に表示する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
釧路町	認知症カフェへの参加協力	10	2026		1 不定期	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
自治体からの提案		認知症カフェへの参加・協力		認知症カフェへの参加協力の申込		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
釧路町	認知症高齢者等検索模擬訓練	14	2025		9 年1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
自治体からの提案		検索模擬訓練の運営・参加協力		検索模擬訓練への参加協力申込		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
壮瞥町	喫茶オレンジ(認知症カフェ)	10	2025		4 年10回	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ事務局(包括支援センター)が中心となり発案をする。打ち合わせ会議でチーム員から意見を出し合ってもらい活動している。		<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶オレンジの開催。 ・認知症啓発として認知症関連の映画を上映。 ・運動と頭の体操としてトランプや花札、囲碁を参加者と一緒に行い、軽食の提供を行なった。 		活動は事務局が中心となって行なっているが、チーム員それぞれに役割分担を行い活動している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
広尾町	チームオレンジかたつむり(認知症カフェ)	10	2018		4 月3回	26
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成29年認知症サポーターステップアップ講座開催後、自主活動に意欲のある修了生が集まり平成30年4月に「かたつむりの会」を発足。会の名前には、「かたつむりのように、ゆっくり1歩ずつ」という意味が込められている。認知症当事者のために活動するボランティアを元にチームオレンジコーディネーターが調整を行った。当初16名だったが、賛同した会員が増加し現在は約26名が活動中。		カフェの開催、運営。令和7年度は、参加者を中心にちぎり絵を製作し、町内で開催した認知症に関する講演会や芸術祭での展示を通じてPR活動を行った。また、期間限定で町内小学生と多世代交流を行った。カフェでは、コグニサイズによる運動を行った後に飲食をしながら談話やカードゲーム等を楽しんでいる。お菓子は、季節感を大切に四季折々のお菓子を用意している。		認知症サポーターステップアップ講座修了生へ参加勧奨を行い、希望者はチームオレンジかたつむりに入会する。シフト制でカフェに参加する。		

別紙1 <北海道>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
広尾町	チームオレンジかたつむり(認とも(訪問型傾聴))	3	2018		4 月1回程度	26
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成29年認知症サポーターステップアップ講座開催後、自主活動に意欲のある修了生が集まり平成30年4月に「かたつむりの会」を発足。会の名前には、「かたつむりのように、ゆっくり1歩ずつ」という意味が込められている。認知症当事者のために活動するボランティアを元にチームオレンジコーディネーターが調整を行った。当初16名だったが、賛同した会員が増加し現在は約26名が活動中。		認知症の方がいる高齢者宅を訪問し傾聴や見守り等の活動を行う。		認知症サポーターステップアップ講座受講修了生に参加勧奨を行い、希望者はチームオレンジかたつむりに入会する。地域包括支援センターからサポーターに協力依頼・調整を行い、サポーターが訪問して対応する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
広尾町	チームオレンジかたつむり(認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の協力)	8	2018		4 年1回程度	26
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成29年認知症サポーターステップアップ講座開催後、自主活動に意欲のある修了生が集まり平成30年4月に「かたつむりの会」を発足。会の名前には、「かたつむりのように、ゆっくり1歩ずつ」という意味が込められている。認知症当事者のために活動するボランティアを元にチームオレンジコーディネーターが調整を行った。当初16名だったが、賛同した会員が増加し現在は約26名が活動中。		認知症の方との関わり方の例として寸劇によるロールプレイングで役者として活動する。また、チームオレンジかたつむりの活動等について周知を行う。		認知症サポーターステップアップ講座の受講修了生に参加勧奨を行い、希望者はチームオレンジかたつむりに入会する。講座開催に合わせて地域包括支援センターより協力依頼・調整を行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
本別町	チームオレンジ	10	2023		8 週1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		脳トレ、レク				

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』＜青森県＞

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
20	15	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	2	1	0	1	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
20	19	17	17	17	2	17	20
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	16	0	0				

別紙1 <青森県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	つながり隊	1	2022	6	定例会年4回、カフェ毎月1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・地域包括支援センター主催の研修会で、住民の方からサポーターとして何か活動をしたい、という声があり、平成30年9月、令和元年12月に認知症サポーターステップアップ講座を開催。</p> <p>・令和元年6月に、受講者の中で活動を希望するメンバーを募り、地域の認知症相談や認知症に関する学習、意見交換が出来る場を目的とし、「つながり隊」を結成。</p> <p>・コロナ禍になり活動を休止していたが、市のチームオレンジ結成に向けた取組みとあわせ令和4年6月にチームオレンジ「つながり隊」として結成式を実施。</p>		認知症カフェでの企画、運営、本人との交流				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	のぎわ隊	10	2022	6	月1回	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>○平成24年3月に認知症家族のつどいとして、活動を始めた。</p> <p>○平成25年に認知症家族のつどいを認知症カフェ「あずましい会」と改め、本人や地域住民の参加も呼び掛ける。</p> <p>○平成26年には、認知症カフェ参加者が増え包括スタッフだけでは運営が困難となり、ボランティアを募る。認知症サポーターの方を中心に集ったボランティアが「のぎわ隊」として活動を行った。認知症カフェの名前も「のぎわカフェ」へと改める。</p> <p>○ボランティアも増え、チームオレンジとして自立した活動ができるのではないかと感じ、リーダーや他ボランティアと相談し、チームオレンジとして活動することに決定した。</p>		認知症カフェでの企画、運営、広報、本人との交流				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	油川下町町会	1	2022	6	月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・もともと油川下町町会では、平成25年から地域の独居高齢者や認知機能低下がみられる方への見守り活動を行っていた。</p> <p>・地域包括支援センターのぎわから、チームオレンジについての説明を聞き、自分たちの活動が認知症の人や家族の支援につながっているとの思いからチームオレンジとして登録して活動することにした。</p>		本人宅の訪問や見守り、状況確認、相談対応				

別紙1 <青森県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	チーム もといずみ	1	2023	4	月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年11月に本泉地区で、東部地域包括支援センターが「介護健康相談会」を実施し、相談会に参加した町会長、民生委員等の希望により令和2年10月に健康の維持、地域の場づくりのため、ロコトレの団体として「本泉もみじ会」が活動を開始し、こころの縁側づくり事業として登録。 ・令和4年4月に「本泉もみじ会」メンバーのうち、日頃から地域住民への支援活動をしてきた2名に、地域包括支援センターがチームオレンジの活動を紹介。 ・2名より活動希望があり、認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を実施し、令和5年2月「チームもといずみ」を結成し活動開始。 		認知症が疑われる参加者の見守り支援、会場まで来れない人の送迎の支援、認知症が疑われる人への参加促し				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	オレンジ幸畑団地	1	2023	5	週1回	17
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月 民生委員から地域包括支援センターへ認知症のAさんの相談。 ・同年12月 Aさんと家族と地域包括支援センター職員が面談し、趣味の卓球とおしゃべりを続けたいという想いを聞く。 ・同年12月に地域の認知症サポーター、ステップアップ講座終了者へ相談し、令和5年1月に『茶話会と卓球を楽しむ会』を開催。 ・同年2月より定期開催とし、参加者の中で活動を希望するメンバーにて話し合い、活動名、活動内容、リーダー、副リーダー選任。 ・同年3月にAさんと家族も含め認知症サポーター養成講座＋ステップアップ講座を開催し、5月に結成式。 ・令和6年3月からは『茶話会と卓球を楽しむ会』を毎週金曜日開催へ。 		認知症の人と家族の趣味(卓球とおしゃべり)を続けるための場づくり 会場設営や話し相手、会場の片づけ、活動内容の企画や運営など				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	かがやき隊	1	2023	6	年8回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月と10月、認知症サポーターステップアップ講座を開催。 ・受講者のうち、チームオレンジの活動を希望したメンバーにより、令和5年2月、チームオレンジ結成式を開催。活動名や活動内容を決定。 		認知症カフェでの企画、運営、広報、本人との交流				

別紙1 <青森県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	ともいき造道	1	2023	8	年4回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター主催の認知症ステップアップ講座受講者のうち、活動を希望する人たちが令和5年5月に、認知症カフェ及びチームオレンジ立ち上げ準備会を開催。 ・令和5年7月 チームオレンジ結成 		認知症カフェでの企画、運営、本人との交流				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	チーム はまだて	1	2023	9	年4回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年5月に、地区の民生委員がチームオレンジの取組を開始する市の説明を聞き、自分たちの地域の民生委員等で認知症サポーターステップアップ講座を受講したいと東部地域包括支援センターへ相談がある。 ・令和4年7・8月にかけて、住民の担当圏域の東青森地域包括支援センターと東部地域包括支援センターが合同で認知症サポーターステップアップ講座を開催し、受講者にてチームオレンジを結成する意向を確認。 ・令和4年9月、ステップアップ講座受講者の中で活動を希望するメンバーにて活動内容等を話し合い、活動開始。 		<ul style="list-style-type: none"> ・給食サービス利用者宅への訪問時、話し相手や見守り、自宅内の様子と本人の状態の確認 ・認知症カフェへの協力(地域住民への情報提供や気になる方への声掛け、カフェ参加者間の交流支援、脳の健康チェックの実施の促し、認知症カフェの企画や運営、広報など) 				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	チームオレンジきらり	1	2024	5	年14回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に地域包括支援センターより、圏域内の認知症サポーターへチームオレンジについて説明、声掛け。 ・令和6年1月に、希望者に対して認知症サポーターステップアップ講座を開催。 ・令和6年2月～3月に既存に活動していた認知症カフェボランティアとチームオレンジ活動希望者で、チーム名や活動内容を決定。 ・令和6年4月 チームオレンジ きらり 結成。 		認知症カフェの企画や運営、広報、当日参加者との交流、体操指導、認知症に関する研修会の手伝い				

別紙1 <青森県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青森市	チームつなぐ	1	2024	6	月1回	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・令和5年4月より、地域住民より「高齢者の支援に関して勉強をしたい」との声があり、参加者2名で「高齢者の支援に関する勉強会」を開催し、その後月1回開催することとする。</p> <p>・勉強会への参加者が増えたところで、地域包括支援センターが令和6年2月に認知症サポーターステップアップ講座を開催。</p> <p>・ステップアップ講座受講者のうち、活動を希望したメンバーにより令和6年5月にチームオレンジを結成。</p>		メンバーでの勉強会、認知症カフェの企画				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
五所川原市	五所川原市認知症サポーター養成講座への協力	8	2007	2	10回／年程度	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座は、実施事務局である市が中心となり、キャラバン・メイトの方に講師の協力を依頼して活動開始となった。そこに認知症サポーターも運営補助スタッフとして従事している。		認知症サポーター養成講座での運営補助		事務局である市が作成した当日の流れに沿い、受付や誘導等の運営補助を行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
弘前市	チームオレンジ「みなみ」	1	2023	10	月1回	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中心人物となる認知症サポーターの働きかけ		認知症カフェの協力、見守り、サロン(食堂)の開催		事務局とチームオレンジリーダーで計画的に実施。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
黒石市	サロン長崎チームオレンジ	1	2022	7	月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町内会が主催するサロンのメンバーが認知症について学びたいと認知症サポーター養成講座を受けたことがきっかけで、さらに学びを深めたいとステップアップ講座を受講し、もともと地域の見守りや閉じこもりがちが高齢者への声かけ、サロン会への受け入れなど活動していたこともあり、チームオレンジの結成に至った。		地域の見守り、サロン会への参加の声がけなど				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
むつ市	オレンジ大畑南	1	2025	5	月3回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターを中心に参加者同士が支えあいながら集まりを継続しており、行政職員がチームオレンジについて働きかけたため		サロン、見守り、傾聴など				

別紙1 <青森県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
野辺地町	チームオレンジのへじによる活動	1	2025	4	月1～2回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町の働きかけにより地域包括支援センターが認知症サポーターへ認知症サポーターステップアップ講座を開催。講座の中で、チームオレンジとなる意思があるか確認し、意思があると回答した方で集まり話し合う機会を設け、チームオレンジとして活動開始した。		・既存の事業(認知症カフェ、認知症サポーター養成講座)への参加協力 ・レクリエーション活動(モルックや美容体験講座)を実施し、その中で認知症についての正しい知識を伝える活動				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
鱒ヶ沢町	オレンジカフェでコーヒーお淹れします！	10	2024	4	月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「コーヒーの淹れ方教室」を受講した方が、「せっかくだからどこかで活動したい！」と思っていたところへ、保健師がオレンジカフェでの活動をしてはどうかと声を掛けたのがきっかけ。		オレンジカフェ内でコーヒーを淹れる。参加者との会話、交流 昔話の語り聞かせ など		年度初めに自治体から年間計画を渡し、開店日時や活動内容を共有している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
鱒ヶ沢町	きまぐれカフェ 地域の皆さんの憩いの場	11	2020	9	月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
コロナ禍になってから「きまぐれカフェ」を始めました。地域の方の憩いの場になればと思って...		毎月売り出しの日にオープン。手作りスイーツを用意してお待ちしております。バスの本数が少ないので、お帰りの際は自宅までお送りすることもあります。		お店独自での開催なので、その時その時メンバーで話し合いながら決めています。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東北町	チームオレンジ(ほっこり・ひまわり・花華)	1	2022	4	週1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2015年から住民主体の通いの場が始まり、通いの場で認知症サポーター養成講座を行った。2022年春に通いの場でステップアップ講座を行い、通いの場をチームオレンジとした。		・地区の集会所等で週1回生き生き100歳体操を行う ・季節に合わせた行事や食事会を企画 ・オレンジカフェ(認知症カフェ)へ参加 ・認知症サポーター養成講座の開催協力		週1回定例開催(自由参加)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東北町	チームオレンジ(つなぐ・さくら)	1	2022	4	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
・2019年からオレンジカフェ(名称:ほっこりカフェ)を開始 ・認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を受講。すでに活動しているオレンジカフェをチームオレンジとした。		・月1回オレンジカフェを開催 ・認知症や介護に関する悩み事相談、情報交換、学習会等を開催		月1回定例開催(自由参加)		

別紙1 <青森県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東北町	地域活性化プロジェクト	13	2024	9	年1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校より交流会(名称:地域活性化プロジェクト)開催について役場に打診がある ・小学校時に認知症サポーター養成講座、中学生時に認知症サポーターステップアップ講座を受講し、認知症についての理解を深め、支援の在り方を学ぶ 		高齢者に体作り運動(体操)を教えて、一緒に運動を行う		地域包括支援センターで参加者を募り、中学校にお知らせする。その情報をもとに、中学校で班編成し、迎え入れの準備を行う。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<岩手県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
21	7	1	0	1	0	0	1
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	1	4	2	1	1	2

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
21	11	14	15	14	3	10	12
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	11	3	0				

別紙1 <岩手県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
花巻市	チームオレンジはなまき	1	2025	4	月1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症ステップアップ講座を受講した方のうち、積極的な活動を希望したサポーターで「チームオレンジはなまき」を結成し、認知症カフェの支援をすることになった。		月1回の認知症カフェ開催時に当番制で従事し、認知症の方や家族等の参加者の受付・案内・傾聴・専門機関への紹介等の支援をしている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
花巻市	チームオレンジ花南	13	2025	12	不定期	17
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
1年生を対象に3年続けて認知症サポーター養成講座を開催し、全校生徒がサポーターとなる。学びを活かして地域で活動したいと相談を受け、チームオレンジを紹介し、マッチングとなった。		<ul style="list-style-type: none"> ・ロボ隊長のマスコット人形の制作と寄贈(サポーターのいる企業・団体) ・高齢者へ元気をお届けする活動(デイサービス等での認知症の方との交流) 				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
北上市	認知症カフェ	11	2023	6	2か月に1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
包括からの声かけ		カフェの手伝い				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
遠野市	劇団オレンジ	14	2023	9	11月～2月以外で随時対応	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2023年度の世界アルツハイマーデー記念イベントに際し、何か新しい取り組みをしたいと考えていたところ、遠野市の市民劇団である、遠野物語ファンタジー製作委員会の有志の方々が、オフシーズンの活動を模索しており、マッチング。第1回公演が話題となり、地域の敬老会などにも招かれるようになり、翌年から劇団オレンジとして、本格的に活動を開始した。団員の中に高齢福祉従事者が複数いたこともきっかけとなった。		認知症の症状と対応方法についてや、相談支援機関の周知についてなどを、方言を使った劇でわかりやすく伝え、認知症に関する理解・普及・啓発を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> ・希望者であればだれでも参加可能 ・役者以外にも、ナレーターや音響、大道具、小道具、メイクなど、参加の仕方は様々 ・劇を通して認知症の理解・普及・啓発を行う 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
遠野市	八幡にこにこぐる〜ぶ😊 (通いの場)	1	2025	4	週1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
R5年、R6年と認サポを受講。代表の方が、認知症について積極的に学びたい、支援したい、という思いがあり、実際に認知症の方の活動参加も支援していただいた経緯もあり、チームオレンジの声掛けをしたところ、「ぜひ！」との声があり、R7年度にステップアップ講座を実施し、活動スタート。		基本は通いの場のため、そこへの参加支援や地域での見守りがメインとなっている。		<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場の世話人に繋いでいただく ・認知症があってもなくても、一緒に活動して、お話して、楽しい時間を過ごす 		

別紙1 <岩手県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
遠野市	丸ごと相談員（コミュニティーソーシャルワーカー）	14	2021		4 週5日程度 （勤務日程による）	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の相談員として、各地区センター（小さな拠点）等を中心に活動し、個人や地域の困りごとなど、なんでも「丸ごと」お伺いし、住民組織や関係団体と連携して、地域課題の解消に向けた支援を行うために、遠野市が市内社会福祉法人に委託する形で活動開始。その中で認知症に関する普及・啓発活動も実施している。		・地域の福祉専門職として、各地区センター等を拠点に、子どもから高齢者まで多岐に渡る相談支援を実施している。 ・各小中学校や、地域団体などへの認サポ対応を行っている。		市内社会福祉法人に対し、市から委託して各地区センターに配置し、相談対応などを実施しており、参加にあたっての流れ等の回答はできかねる。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
釜石市	チームオレンジこさの	1	2022		12 1～5回/週	41
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
スクールガードを中心に見守りを子供から高齢者まで行うことを地域会議で話し合ってしまった。		スクールガードの活動を通して地域見守り				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
釜石市	チームオレンジはまぼうふう	1	2022		7 4回/月	38
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域における第2層協議体の会議で見守りを行うことを話し合った		サロンや集いの場を地域単位に作り地区ごとに見守る				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩泉町	チームオレンジ主体の認知症カフェの開催	10	2025		5 月1回	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座修了者にチームオレンジとして活動を希望する方を募集したこと		①定例会の開催：概ね2か月に1回開催（活動状況の共有、目的や活動方針の再確認と活動の相談）②認知症カフェ開催（定例会開催付き以外の月に開催）		担当者が活動案を作成し定例会で活動を協議・決定していく。チームオレンジコーディネーターが毎回参加し助言等している。		

別紙1 <岩手県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩泉町	認知症カフェへの協力	10			月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症カフェに参加している認知症サポーターに行政職員が声をかけた。		受付への協力: 健幸アップポイントカードにポイント押印		認知症カフェ受付時に活動団体に協力		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
軽米町	家族介護者のつどい、認知症事業への協力、包括との連携	1	2025		4 月一回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		家族介護者のつどい、認知症事業への協力、包括との連携				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
紫波町	オレンジパートナーしわ	1	2025		2 週1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		週1回おしゃべり、創作活動、脳トレ、体操等、参加者がやりたいことを実施		認知症サポーター養成講座を受講後、ステップアップ講座を受講した方のうち、希望者がオレンジパートナーしわの活動に参加している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢巾町	矢巾わんわんパトロール隊	2	2015		4 隊員さんのペースで毎日	25
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターの職員が犬の散歩にヒントをもらい、散歩をしながら地域の見守りが出来るのではないかと考えたため		毎日の犬の散歩、地域の見守り		あとでファイルを送付します。「矢巾町」詳細はファイルをご確認ください。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢巾町	高齢者にやさしいお店	7	2020		11	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
高齢者が通うコンビニなどから、認知症高齢者の相談がくることが多く、認サポ講座を受講してもらったことがきっかけ		日々の業務で出来る範囲のこと。地域包括支援センターへの情報提供				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢巾町	おれんじボランティア	4			月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
施設入所者が自ら買い物に出かけたいという希望をケアマネが汲み取り、おれんじボランティアに依頼してきたため		近くのお店に買い物と一緒に歩いていく				

別紙1 <岩手県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢巾町	介護予防教室	9			地域から要請がある都度	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域住民からの養成		認知症の話だけでなく、介護予防体操としてコグニサイズなどを取り入れて楽しみながら出来る体操をしている				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢巾町	おれんじカフェ	10			月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢巾町	おれんじデー	11	2021	5	週1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		週1回チームオレンジの拠点施設を使用して、高齢者の居場所・役割を作るおれんじデーを開催している。その開催の主体はおれんじボランティアとなる。認知症の人もそうでない人も一緒に共に過ごす居場所をつくること、社会参加することができる場所づくりを行っている				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢巾町	わが町の先輩会議	12			年1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		今年度初開催。本人ミーティングの一環として開催をした。困っていることなど、グループワーク形式で話し合ってもらった。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
葛巻町	チームオレンジくずまき/くずまきおれんじカフェ	1	2025	9	月1～2回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
おれんじカフェの定期開催、チームオレンジ立ち上げにむけて、行政が認知症講演会及びサポーター養成講座を企画。そこに参加いただいた住民を中心に、活動を作り上げてきた。		月1回おれんじカフェの開催(飲み物の提供、季節に合わせた行事への取組、次回企画の発案)		月1回の活動後に次回の内容などを打合せする。その実施に向けて行政が、調整及び周知等をして、実施を継続している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
高山村	ほっとカフェ	10	2017	1	月1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
もともと行政が介護者支援・介護相談の場として開催していたカフェを、共生社会の実現という考えのもと、認知症の本人、家族、地		月1回(毎月第3火曜日の午後)集まり、参加者同士で交流している。活動内容は参加者からのアンケートをもとに年間計画を立てる		参加にあたってはHP、広報紙、チラシ等でひろく声をかけ、継続して参加されている認知症サポーターには認知症カフェがチームオ		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<秋田県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
7	2	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	3	1	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
7	3	4	3	6	0	4	6
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	3	0	0				

別紙1 <秋田県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大館市	桂桜オレンジプロジェクト	10	2024	9	概ね3か月に1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市主催の認知症カフェに参加した高校生が、自分たちも開催したいという思いを持ったことがきっかけ。それを校内で検討し、行政や地域包括支援センターがと協働で実現。		認知症カフェの開催(ドリンクと手作りお菓子の提供、レクリエーションなど)		令和7年度認知症サポーター優良活動事例・キッズサポーターによる作品への応募内容のとおり。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
横手市	認知症カフェ	1	2025	4	月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
オレンジサポーターとして活動できる方を募集		オレンジサポーターとして認知症カフェへスタッフとして参加し、本人の声を聞いたり、活動計画を推進員と一緒に考えている。		ステップアップ講座を4回コースで開催(1回/月)。すべてに参加した方へオレンジサポーターとして3か所あるカフェやイベントに参加してもらう。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
北秋田市	チームオレンジ温泉deカフェ	1	2022	11	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター、ステップアップ講座、チームオレンジに興味を持って下さり、ご近所、友人に講座参加の声かけ。オレンジサポーターとしてチームオレンジに参加。本人の発案で、お琴の演奏、絵本読み聞かせ、百人一首の詠み手など行ってくださっております。		チームオレンジの他受け入れを承諾くださった市内のグループホームを年3回訪問し、友人のギター演奏で昭和歌謡のひとつ、認知症マフのプレゼント、お琴の演奏、絵本読み聞かせなど実施。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三種町	おれんじカフェのお茶出しや参加者への支援	10	2017	4	月1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政		薬剤師によるミニ講話、工作等		企画等は行政で行い、当日にサポーターが来て講話等をしてきている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
羽後町	キャラバン火曜サロン	11	2010	10	月2回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
住民キャラバンメイトが「買い物帰りの地域の人や商店会の人、医療福祉の専門職、行政などだれでも参加、交流できる場所があれば」と発案し、認知症サポーターや認知症地域推進員とともに運営している。		各自が暮らす地域で気になる人や困っている方に声をかけ、サロンにお誘いしている。軽度の認知症の人でもお茶出しなどの役割やバザーで販売する小物作りに参加している。総合相談では家族を介護している人などが普段の心配事や不安なことを相談したり話せる場になっている。		運営主体は、羽後町キャラバンメイト認知症サポーター協会。参加費は無料で、協会の事業費で賄われている。場所は町中心部にある公民館で毎月第2・4火曜日に開催している。		

別紙1 <秋田県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
羽後町	認知症予防活動グループ若竹元気くらぶ	10	2016	11	毎月1回程度だが、季節によりお休み期間あり	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
うごまちキャラバンメイト認知症サポーター協会の会員が自らの認知症予防活動グループを結成した。		認知症予防活動として、脳の健康度チェック、体力測定、運動プログラム、料理プログラム、旅行プログラム、創作活動を実践。医療や介護に携わる方やSCIに講師を依頼し、食事やお茶を楽しみながら学べる認知症カフェを開催している。		グループのメンバーと認知症地域推進員である地域包括支援センターの職員が年間の活動計画を立てて組んでいる。飲食にかかる費用は各自負担。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
羽後町	うごまち若年性認知症カフェAREアール	8	2025	9	毎月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
きっかけ:MCI軽度認知障害の理解と早期発見早期治療の普及啓発活動に取り組む中で、50代(現役世代)は物忘れが増えたことが気になっていても日々の子育てや親の介護の忙しさでいつも自分のことが一番後回しにしている方が多いことに気付いた。健康や物忘れ、認知症予防、介護や子育て様々な不安を相談できたり認知症予防活動に取り組める場があれば、若年性認知症と診断され悩んでいる人がいた場合の認知症カフェになるのではないかと立ち上げた。		現在若年性認知症の方の参加はなし。 開催時間 19:00~20:30(仕事終了後、子供の送迎終了後)に町内にあるジムで開催。マシンを使用した運動や筋トレ、ストレッチ、コグニサイズなどを行い(健康運動実践指導者、PTが指導)その後カフェタイムでおしゃべりしている。1年に1回このジムを会場に認知症サポーター養成講座の開催を企画。		1回の参加費は一人700円(ジム使用料)ジムの営業時間外での使用となるため会場使用料として町の補助金を活用。参加は年代問わず、誰でも可。スポットでも可としている。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』〈宮城県〉

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
35	13	1	1	0	0	1	1
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	2	1	10	2	0	0	3

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
35	27	22	22	25	3	17	14
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	15	1	0				

別紙1 <宮城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
角田市	認知症啓発活動(アルツハイマーデー)	14	2014	9	毎年9月に実施	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容	活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
<p>・認知症の人と家族の会に入会していた活動者からの働きかけを機に行政も協働で取り組むようになり、認知症サポーターも参加する形となる。</p> <p>・活動のきっかけとなった活動者が死去してからは行政主体で実施しており、現在も継続中。</p>		<p>・認知症サポーターとチームオレンジメンバー、市職員で構成。3グループに分かれ、各商業施設(R7年度は3カ所)でオレンジ色のビブスを着用し、買い物客に配布。</p> <p>・市内商業施設店頭にて認知症普及啓発のチラシ入りポケットティッシュ及び地域包括支援センターの相談窓口の紹介が記載された資料の配布。</p>	<p>・講座後のアンケートで活動を希望した方へ活動の趣旨を記載したはがきを送付し、参加者を募集。</p> <p>・参加の意思確認は電話や直接の来所等で受付し、その際に活動についての詳細説明も行う。</p> <p>・現地集合し、開始前に責任者の挨拶を行い、活動開始。配布する物品がなくなり次第終了。</p>			

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
角田市	ロバ隊長母の会	14	2025	1	1回/月	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容	活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
<p>これまで認知症サポーター(1名)により作製していたが、高齢のため引退。その後は、障害者就労支援施設に作製を依頼していたが、サポーターの活動の一環として希望する認知症サポーターが作製することになった。</p>		<p>①オレンジロバ隊長ストラップの作製②アルツハイマーデーでの普及啓発展示物の作製③認知症キッズサポーター養成講座にてストラップの配布や紙芝居への参加</p>	<p>①毎月第3水曜日を活動日とし、市内の小学生受講者に配布するオレンジロバ隊長ストラップを交流も図りながら作製。②アルツハイマーでは展示用に特大のオレンジロバを作製。ポケットティッシュ配布にも参加。③キッズサポーター養成講座にて、紙芝居演者としての参加やサポーターの証としてストラップを代表児童へ配布。</p>			

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
角田市	オレンジチーム	1	2023	3	週1回の認知症カフェサポーターの活動を軸として、必要に応じた活動(アルツハイマーデーでの街頭活動等)を実施している。	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容	活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
<p>国によるチームオレンジの概念が発出されたことを契機に、これまでの取組を促進させることを目的として立ち上げた。</p>		<p>・認知症カフェサポーター</p> <p>・アルツハイマーデー普及啓発活動参加</p> <p>・オレンジロバストラップ作製</p> <p>・認知症サポーター養成講座の運営支援</p>	<p>市が主催する認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座受講後に、関連事業への参加を促している。</p>			

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
角田市	おしゃべりカフェ(認知症カフェ)	10	2016	9	1回/週	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容	活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
<p>認知症地域支援推進員が訪問活動の中で認知症の方が集まれる場所の必要性を感じ、既存事業で活動中の認知症サポーターに働きかけを行ったことで開始。</p>		<p>・市民は誰でも参加可。</p> <p>・毎週月曜日開催(祝日・年末年始休み)</p> <p>・開催時間 13時15分～15時(時間内の入退室可)</p> <p>・参加費100円(飲み物・お菓子付)</p> <p>・交流、カラオケ、ぬりえなど思い思いに過ごしていただいている。</p>	<p>13:15 開場 受付後カフェで飲み物選択し着席。</p> <p>13:30 交流 おしゃべり交流しながら好きなことを行う。</p> <p>15:00 閉会 みんなで「ふるさと」を合唱し終了。</p>			

別紙1 <宮城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
角田市	認知症情報誌作成に向けての意見交換会	14	2013	12	2回/発行年度	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
発行当初は専門職や家族の会をメンバーとする活動だったが、情報誌を見る方々の意見も取り入れたいと認知症サポーターも参加するようになった		認知症の情報誌として、認知症に関わる内容・記事について参加者がどのような情報が求めているか等を話し合いながら作成		・講座後のアンケートで活動を希望した方に活動の趣旨を記載した文書を送付し参加者を募集。 ・参加の有無は電話で受付し、その際に活動についての詳しい説明も行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	地域サロン(グランパ・グランマ)	1	2018	4	1回/月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域でサロンを開催したいと相談あり。立ち上げの支援を包括支援センターで行う。その後、運営スタッフへ認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を受けていただき、チームオレンジとして活躍いただいている。		住民、当事者、家族どなたでも参加自由で、毎月1回カフェを実施している。自分たちで内容も企画し、運営されている。当事者の参加促しや、一緒に会場まで来ていただいている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	認知症当事者と布巾(雑巾)作成	1	2025	9	1回/月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
包括支援センター利用者で、本人・家族からの相談で、公共交通機関に乗れなくなり、人と交流する時間が、デイサービスや時折来る知り合いのみだったため、交流の機会を増やしたかったこと。また、本人は洋裁が得意だったのもあり、介護・子ども施設で必要としていた布巾作りを提案し、認知症サポーターへ呼びかけた。		・布巾作成 ・合唱 ・見守り、傾聴		毎月第二火曜13:30～と年度日程を決めて活動している。寄付については、枚数が増えてきた時点で、配布場所を決め寄付をする。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	玉浦カフェ	1	2015	6	1回/2月	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症当事者またはその家族の支援、高齢者の閉じこもり予防の場として開催。開催周知とともに、ボランティアへ声かけ。ボランティア活動後に、認知症サポーターになってもらうことや、認知症サポーターになってから声かけし、協力をいただいている。		・お茶提供 ・参加者の傾聴、見守り		年度末に振り返り会を実施し、その際次年度の開催日を伝え、欠席時のみ連絡をいただく流れとしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	サポーター養成講座での寸劇	1	2024	10	1~2回/年	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ立ち上げをきっかけに、サポーター養成講座にて寸劇を実施。		中学生が、徘徊している認知症当事者を発見し、警察につないだ実例を元に、寸劇を実施。		チームオレンジ内に呼びかけし、活動経験者を元を実施。		

別紙1 <宮城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	スーパーマーケットでの周知活動	1	2024	10	1回/年	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症当事者との関わり方や予防策、相談場所などを多くの方に知っていただくよう、サポーターと周知活動を実施。		スーパーマーケット入り口にて、認知症に関する資料を配付。約100部。		スーパーマーケットとの日程調整後に、サポーターに呼びかけ、実施。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	担当圏域の小学校でのサポーター養成講座	8	2021	6	年1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> 参加者へ認知症に関する周知、啓発を行うため 認知症について考えるきっかけを設けるため 		<ul style="list-style-type: none"> 講話内の劇でチームオレンジメンバーが役割を担い、認知症の方との接し方を周知 チームオレンジとしての役割説明、紹介 質疑応答 		地域包括支援センターが児童向けにサポーター養成講座を開催する際に依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	担当圏域の中学校でのサポーター養成講座	8	2017	11	年1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> 参加者へ認知症に関する周知、啓発を行うため 認知症について考えるきっかけを設けるため 		<ul style="list-style-type: none"> チームオレンジとしての役割説明、紹介 質疑応答 		地域包括支援センターが生徒向けにサポーター養成講座を開催する際に依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	地域包括支援センター主催認知症カフェ	10	2024	3	年6回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> 参加者へ認知症に関する周知、啓発を行うため 本人、家族、地域住民が気軽に参加できる場所として認知症カフェを開催 		<ul style="list-style-type: none"> 参加者の話し相手 見守り 運動、体操の実施 お茶出し 次年度の活動内容に関する打ち合わせへの参加 		地域包括支援センター主催の認知症カフェを開催する際に協力依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	クオール薬局岩沼東店で開催している「認知症ふれあいカフェ」への参加	10	2024	4	年6回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
総合南東方病院の門前薬局であるクオール薬局岩沼東店は店舗が大きくスペースもあるため外来診療がない土曜日の午後に薬局側に地域包括支援センターから認知症カフェの開催を打診し、協力していただけることになった。		<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師による健康講話やお薬相談(クオール薬局と事前打ち合わせし年間計画作成) 認知症カフェへの参加 		地域包括支援センターから協力依頼		

別紙1 <宮城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	スーパーマーケットでの周知活動	1	2024	10	1回/年	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症当事者との関わり方や予防策、相談場所などを多くの方に知っていただくよう、サポーターと周知活動を実施。		スーパーマーケット入り口にて、認知症に関わる資料を配付。約100部。		スーパーマーケットとの日程調整後に、サポーターに呼びかけ、実施。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	担当圏域の小学校でのサポーター養成講座	8	2021	6	年1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> 参加者へ認知症に関する周知、啓発を行うため 認知症について考えるきっかけを設けるため 		<ul style="list-style-type: none"> 講話内の劇でチームオレンジメンバーが役割を担い、認知症の方との接し方を周知 チームオレンジとしての役割説明、紹介 質疑応答 		地域包括支援センターが児童向けにサポーター養成講座を開催する際に依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	担当圏域の中学校でのサポーター養成講座	8	2017	11	年1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> 参加者へ認知症に関する周知、啓発を行うため 認知症について考えるきっかけを設けるため 		<ul style="list-style-type: none"> チームオレンジとしての役割説明、紹介 質疑応答 		地域包括支援センターが生徒向けにサポーター養成講座を開催する際に依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	地域包括支援センター主催認知症カフェ	10	2024	3	年6回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> 参加者へ認知症に関する周知、啓発を行うため 本人、家族、地域住民が気軽に参加できる場所として認知症カフェを開催 		<ul style="list-style-type: none"> 参加者の話し相手 見守り 運動、体操の実施 お茶出し 次年度の活動内容に関する打ち合わせへの参加 		地域包括支援センター主催の認知症カフェを開催する際に協力依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	クオール薬局岩沼東店で開催している「認知症ふれあいカフェ」への参加	10	2024	4	年6回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
総合南東方病院の門前薬局であるクオール薬局岩沼東店は店舗が大きくスペースもあるため外来診療がない土曜日の午後に薬局側に地域包括支援センターから認知症カフェの開催を打診し、協力していただけることになった。		<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師による健康講話やお薬相談(クオール薬局と事前打ち合わせし年間計画作成) 認知症カフェへの参加 		地域包括支援センターから協力依頼		

別紙1 <宮城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	ごみ捨て支援	1	2025		5 週1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
同じ町内会で昔からの友人が認知症となつてしまい、「自分には何が出来るか」と考えて毎週ごみ捨てを手伝うことになった		<ul style="list-style-type: none"> ・週1回燃えるゴミの日の朝に自宅へ行きゴミ出しのお手伝いをしている ・見守りや声がけ、傾聴 ・燃えないゴミ、ペットボトル、缶などは不定期で支援 		7～8時の間に自宅へ訪問し、声がけ、ゴミ出しを行う		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	地域の集会所で毎月第3月曜日に開催している「認知症ふれあいカフェ」	1	2021		4 月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
サポーターとして活動している人たちの多くは家族や知人、友人が認知症となったことで自分に何が出来るかを考え、まずは認知症の知識を学びたいという気持ちから始まった。		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催している認知症カフェへの参加、傾聴、声がけ ・認知症の方を介護している家族の立場でのお話 		<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌で案内 ・地域包括支援センターでチラシを作成し、町内会、民生委員へ配付・回覧 ・参加者の周り近所への声がけ 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	当事者の活躍の場(奉仕活動)	1	2023		3 年2～3回(草が伸びたタイミング)	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
・認知症当事者の「地域の役に立ちたい」という声を聞き、認知症地域支援推進員がチームオレンジとつないだ		市の施設内の草取り、剪定などを得意なチームオレンジチーム員と当事者、職員で行っている		認知症地域支援推進員が当事者の希望を確認してチームオレンジとつなぎ、一緒に活動している		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	認知症カフェ(みんなのカフェ)	10	2023		3 年6回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジに認知症カフェの支援を依頼		地域包括支援センター主催の認知症カフェの支援(受付、お茶出し、話し相手等)		認知症地域支援推進員からチームオレンジに依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	チームオレンジ見守り活動(三色吉シニア倶楽部)	1	2020		6 月に複数回	25
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
再発足する老人クラブから地域包括支援センターに「地域で出来る支援をしたい」と連絡し、認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を受講。その後、チームオレンジとしての活動を開始した。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の自宅に訪問(見守り活動) ・ごみ捨て支援 ・認知症当事者へ活動参加の声がけ、参加支援 ・地域での世代を超えたお茶飲み会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者と老人クラブのつなぎは地域包括支援センターが行い、その後もフォローしている ・会長に相談し、会長より会員に相談・対応できる方でグループを作り、認知症当事者の支援体制を作っている 		

別紙1 <宮城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩沼市	(認知症当事者と支援者の)ランチカフェ	1	2024		6年6回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症当事者の「ひとりでご飯は寂しい」「誰かと一緒に食べたい」という声を認知症地域支援推進員がチームオレンジとつなぎ、一緒にランチをする買いを開催した。		認知症当事者とチームオレンジと一緒に過ごし、お弁当を買ってきて食べたり一緒に調理をして食べることで自然と当事者のやりたいことや思いを聞く場になっている。		<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員が認知症当事者やチームオレンジに声をかけ、場所の提供や当日の活動内容等を考える。 ひとりで参加するのが心配な当事者にはチームオレンジと一緒に参加できるように調整する。 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	地域の通いの場の仲間による緩やかな見守り	2				1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の通いの場に参加していたメンバーの認知機能が低下しはいかい等がでてきた		地域の中で緩やかに見守る、はいかい時等見かけたときは声掛けし、必要時帰宅を手伝う、家族へ連絡する				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	地域の通いの場の仲間による安心できる関わり	3				1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の通いの場に参加していたメンバーの認知機能が低下したが変わらず通いの場に来てもらえるよう本人の思いを尊重した安心できる関わりをメンバーで意識している		通いの場で本人の話を聴き、みんなで受け止め共感している、昔話等本人が得意な内容を話してもらうことで話やすく安心感のある場所になっている				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	宅配事業を通じた見守り	6			週7回、毎日の業務の中で	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
宅配事業の中で宅配を通じた見守りを行うことにしているため		SOSのFAX受信後配達員が見ることができるように掲示し配達時気にかけるようにしている				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	宅配事業を通じた見守り	7			週7日、毎日の業務の中で	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
宅配事業の中で配達を通じた見守りを行うことにしているため		認知症の方のご家族からの要望への対応、安否確認		職員同士で共有できるノートで利用者さんの情報を共有、手渡しを原則としいらっしやらない場合へはご家族へ連絡等、またご家族から自宅内へ配達してほしい等の要望あれば、配達ルートが記載された用紙の備考欄へ掲載、どの配達員でも対応できるようにしている。		

別紙1 <宮城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	地域のサロン等での講話(介護予防)	9	2025	4	必要時	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
コロナ感染症が5類になったこと、病院の看護部長と連携を図った際、地域に出て貢献したいというお話があり、2025年4月に相談し、地域活動支援につながった。		2025年4月～2026年3月にかけて1回/月開催している土曜サロン「認知症の集い」で2回介護予防(主にフレイル予防)に関する講話を実施。		サロン代表者および包括との打ち合わせを実施		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	藤倉親交会フレンドリーカフェ	10	2023	3	月1回	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域内のつながり、地域と地域のつながりを広げていきたい、これからの備え、包括職員等地域のケアマネジャーも参加している		健康について、専門職のお気軽相談、生協のボランティアとのワークショップ、福祉用具体験		予約不要、参加費無料、孤立せず助け合う地域のために運営している		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	楓町おしゃべりカフェ	10	2024	3	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域で開催されている健康教室の参加者向けに認知症サポーター養成講座を実施したことをきっかけとして同参加者を中心に認知症カフェを立ち上げました。現在もサポーターとして主体的に企画運営に携わっており、地域住民から発せられる困りごとを把握し必要に応じて地域包括支援センターにつなぐ役割を果たしています。		認知症カフェの企画および運営、地域住民から寄せられる困りごとへの助言および地域包括支援センターへの橋わたし、カフェ参加者向けの認知症サポーター養成講座への協力		月1回の定期開催を基本、閉会後は片付けを並行して次回開催に向けた打ち合わせ、月2回活動全体の方向性や課題について振り返り協議		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	土曜サロン「認知症の集い」	11	2018		月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
高齢者の移動支援を主におこなっていたNPOであった。当包括支援センターと連携するようになり自然な流れで土曜サロンを行うことになり現在に至る。		お喋りタイム、カフェタイム、様々な分野の講話、年2回学童保育との夏祭り、クリスマス会		年間予定を作成、おもにしおたがメンバーであるが興味があればどなたでも参加可。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
塩竈市	うめのみやサロンフレンドリーカフェ	11	2024	3	3ヶ月に1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の人々が専門職の人に相談ができるようにしたい		フリートーク、なんでも相談会、読み聞かせ、お薬について、介護保険について		参加無料、予約不要、社会とのつながりをつくるための運営		

別紙1 <宮城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
栗原市	オレンジカフェ『どんぐり』の開催・参加	10	2019		月2回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症への理解を進めていくために地区の食生活改善推進員に包括から声掛けし、既存のカフェを活用して実施することとなった。		オレンジカフェの運営、地域の認知症事業への運営協力		打合せ、開催、反省会兼打合せ、という流れで年間計画を立て、計画的に実施している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
蔵王町	蔵王町民生・児童委員連絡協議会	1	2024		2 随時	34
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
民生・児童委員は、地域で日頃から高齢者に対する活動しているため		高齢者の見守り声かけ活動、周へ住民との支援活動、気になる高齢者を地域包括支援センターに連絡報告し、専門職につなげる活動		担当地区内の高齢者見守り、相談窓口活動、必要時に関係機関につなげ、協同で支援する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
亘理町	認知症カフェのお手伝い	10	2015		7 月1回	41
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症カフェを開催するにあたって、見守りやサポート等の手伝いを行ってもらえるように、養成時から働きかけた。		受付や飲み物の提供、話しの傾聴等		年間スケジュールで参加できる日を事前に報告してもらい、その月の開催日に来て会場準備から手伝ってもらっている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川崎町	認知症カフェ喫茶みかん	10	2014		7 週1回	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政の働きかけにより住民のサポーターが担当し開催している。		住民のカフェサポーター2名が担当し参加者へ飲み物を提供。交流の場となっている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
女川町	認知症カフェ「ほっとカフェ」の運営サポート	10	2016		10 月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
包括支援センターが主催で企画し、運営を手伝ってもらっている。		参加者への受付、お茶入れ、参加者への傾聴、レクの提供、移送サービス等		総合相談の中で参加を勧奨、参加者が口コミで地域の中で参加を誘ってつながるケースもある。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
女川町	地区の巡回型見回り活動	1			月2	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
災害公営住宅ということと、高齢者で一人暮らしが多い地区ということで老人クラブでの見回り活動を開始。その活動にチームオレンジを紐づけた。		月2回、独居高齢者宅に声かけ訪問。会えなかった人には民生委員に連絡し、民生委員が再訪問する。巡回前にミーティングを行い、情報を共有する。		集会所にメンバーが集合、地域の方々についての変化等について情報を共有、その後独居高齢者宅を訪問、玄関先で声かけ安否確認。会えなかった場合は、民生委員に報告、民生委員が夕方再訪問。それでも状況がわからないときは包括や社協へ確認するというシステム。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<山形県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
16	8	1	0	0	0	0	1
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	4	0	0	0	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
16	9	4	10	8	1	5	7
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	2	1	1				

別紙1 <山形県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
山形市		1				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
米沢市	おれんじ喫茶への参加	10	2015	4	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
おれんじ喫茶に参加されている方の多くが認知症サポーターである。おれんじ喫茶で定期的に認知症に対する知識を深めている。		参加者同士の交流を図り、認知症の人の参加があった際は見守り、必要時の手助けを行っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
米沢市	おれんじドア米沢の開催支援	10	2024	11	月1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
若年性認知症の診断を受けた夫と共に、県内外の集いの場に参加していたが、心地良いと感じる認知症カフェに出会うことが少なかった。自分達と同じ悩みを持ち悩んでいる方の支えになりたいと認知症の人と家族が主催のおれんじドア米沢を立ち上げ。		施設入所中の夫を会場まで送迎し、参加機会を確保し活動を継続している。傾聴や助言は妻が担いながら、当事者の思いを引き出し、発信できるよう支援している。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
米沢市	オレンジガーデニングプロジェクト参加	14	2023	7		
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで作っていこう！」という思いを共有しプロジェクトへ参加		認知症サポーター養成講座等で周知し、認知症サポーターとしても参加していただいている				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
米沢市	上郷オレンジ	1	2024	11	月1回	17
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターが運営するおれんじ喫茶(認知症カフェ)でチームオレンジを立ち上げた。		おれんじ喫茶(認知症カフェ)参加者がチームとなり、認知症の人が参加された際には見守り、必要時の手助けをさりげなく行いながら、認知症の人が活動できる場を作っている。オレンジガーデニングプロジェクトに賛同し、花を植えながら、認知症について考えた。				

別紙1 <山形県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
米沢市	チーム板谷	1	2022	10	月1回	17
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市中心部から離れた板谷地区では移動課題や積雪問題、高齢化が進んでいる等、様々な問題があるものの、民生委員を中心に地区住民が協力しあい支えながら暮らしている。週に数回、体操や詩吟、お茶のみ、昼食会を開催。認知症サポーター養成講座を受講している団体、認知症の人も参加している団体のため、ステップアップ研修を行い、チーム板谷となった。		毎週数回集会所へ集い、活動する中で見守り、手助けや集まる日以外でも自宅へ訪問し、声がけし食事のさし入れ、デマンドタクシー等での移動時の手助け等、生活の中で多くの支えあいを行っている				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
酒田市	もしえのん・あのんカフェ	10	2025	4	月一回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症カフェの受付、一部進行、参加者との交流				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東根市	ワンワンてくてく見守り隊	2	2020	10	各々の散歩のタイミングで活動	119
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
日常の散歩(自分の散歩・愛犬の散歩)時間を利用してさりげない見守りを強化するということに着目し、令和2年10月より社会福祉協議会で実施している認知症見守り支援事業である。犬の隊長と飼い主の隊員によるワン見守り隊と自分の散歩を行うてく隊長で構成している。		自分の健康のために散歩する人や愛犬の散歩をする人が、自分の散歩のタイミングでさりげなく地域を見守る。気になる人を見かけた時は声をかけたり、社会福祉協議会や警察署へ連絡を行う。 【登録要件】 市内在住で認知症サポーター養成講座を受講し、隊員になる意向があること。 自分の散歩をする人には反射板のキャッチバンド、愛犬の散歩をする人にはオレンジ色のバンダナを配布している。		【山形県東根市】活動・参加にあたっての流れ・スキーム(ワンワンてくてく見守り隊)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東根市	認知症サポーターボランティア(認知症カフェ等でのボランティア)	10	2019	4	各々のタイミングで活動	56
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和元年より、認知症サポーターの活動の場として主に認知症・予防カフェでの会場準備や参加者との交流を行うボランティアの登録を開始した。		認知症・予防カフェ「なごみカフェ」での準備や参加者との交流、高齢者の社会参加の場「なごみマルシェ」での会場準備や参加者との交流、令和4年には認知症啓発かるたの作成に協力した。 【登録要件】 市内在住で認知症サポーター養成講座を受講した方		【山形県東根市】活動・参加にあたっての流れ・スキーム(認サボボランティア)		

別紙1 <山形県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東根市	チームオレンジおらだの川	1	2022	12	各々の散歩のタイミングで見守り活動、週1回の相談処、年5回の高齢者サロン後の相談処	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和2年9月より実施している認知症見守り支援事業「ワンワンてくてく見守り隊」の中心メンバーの方へチームオレンジの立ち上げを相談し、ワンてく見守り隊の活動を活かしながら無理なく継続する進め方について協議を重ねた。チームメンバーは、リーダーが声をかけたメンバーで構成されている。		令和4年12月より地域の方の相談を受ける「相談処」を開所し、必要時に社会福祉協議会や地域包括支援センターなどの専門職へのつなぎを行っている。		【山形県東根市】活動・参加にあたっての流れ・スキーム(チームオレンジおらだの川)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東根市	チームオレンジしんでんまち	1	2023	9	月に1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和5年5月、認知症キャラバン・メイト連絡会にてチームオレンジの説明及び市内1カ所目の「チームオレンジおらだの川」発足を紹介。その後、日頃より民生委員児童委員として地域の見守りや認知症のある人への対応を積極的に行っているキャラバン・メイトへ立ち上げを打診し、打ち合わせを重ねて令和5年9月に発足した。先に立ち上がったチームオレンジの活動内容を参考に、無理なく継続できる活動方法の検討を行った。		現在は月1回地域の公民館を会場に、地区民の相談に応じる「相談処」を開所し、必要時に社会福祉協議会や地域包括支援センターなどの専門職へのつなぎを行っている。		【山形県東根市】活動・参加にあたっての流れ・スキーム(チームオレンジしんでんまち)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
寒河江市	認知症にやさしいお店	7	2018	1	登録店にポスターを提示してもらう	123
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症になると、買い物が大変だという声を聴いて、サポーター養成講座を受けたお店の方に登録をお願いした。		店内にポスターを掲示してもらう。		認知症にやさしいお店		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
金山町	チームオレンジとして活動	1	2022		1回/週	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成12年から高齢者のサロン活動を続けてきた「NPO法人さわやかサロン」と、令和2年から有償ボランティアで生活支援を行っている団体「はちまきくらぶ」の希望者の方々に、認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座を実施し、チームオレンジとなり、それぞれの団体が活動する上で活かしている。		①「NPO法人さわやかサロン」いきいきデイサービス事業 ②「はちまきくらぶ」有償ボランティア(生活支援)・配食サービス ※①②ともに講座実施前から各団体が実施している活動				

別紙1 <山形県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川西町	チームオレンジかわにし	1	2025	5	月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ立ち上げに伴い活動開始		月1回の認知症カフェにチームオレンジメンバーが参加し、運営に協力している		事前にメンバーにカフェ参加の割り当てを行っている		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
遊佐町	きらめきサークル	1	2023	6	週1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
既存の住民向けサロンを開催していたボランティアサークルに対し、認知症サポーター講座とステップアップ講座を開催し、チームオレンジの方々に対し活動の説明を行う。		週1回住民向けのサロンを開催し、健康体操やゲーム等を行い交流を図っている。その際に住民オープンで開催しているため、認知症の方への対応も行っている。		認知症ステップアップ講座修了後に、希望の方が参加するという流れ。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
庄内町	認知症サポーター養成講座	8	2006	8	年5～6回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		小中学校での講座開催時の講師・寸劇による協力		年度初めに町より年度内の口座開催予定を提示→協力可能な講座のとりまとめ、講師・協力依頼→当日打ち合わせ→謝礼支払い		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<福島県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
15	4	1	1	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	2	0	6	1	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
15	12	9	7	7	0	6	3
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	8	0	0				

別紙1 <福島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
いわき市	スローショッピング	11	2024	8	月1回	19
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーター養成講座受講後登録サポーターの活動の場がないという声が上がっていた。当事者本人とその家族のミーティングの中の声から、買い物に感じている不安や不便さがあることが分かった。そこからモデル事業として第一類型にてチームオレンジを立ち上げた。包括支援センター、行政が関係機関と連携、同時にサポーターとの関係作りを行い、モデル事業から離れている現在も継続的な活動ができています。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・スローショッピング ・出前支援(個別訪問) ・サロン(一体的支援プログラム事業に類似) 		<p>・活動参加の確認はアプリを活用している。アプリの操作に不安なメンバーはそこから始め、連絡方法を簡素化している。定期開催となっているスローショッピングは開催を重ね、役割が確立されている。スローショッピングの中ではサロンの時間を設けているが、サロンを重点に置いた活動に切り替える方向になっている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
いわき市	・地域で集える場を開催・イベントでオレンジカフェの運営	10	2024	11	月2回	22
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・地区の住民が交流の場としていた商業施設が閉店したことから、集える場所の消失が大きな課題という声が小地域会議で上がった。そこから、気軽に集まれる場を提供することを目的として「ふらっとお茶会」の立ち上げに至った。関わる中で健康、介護予防、認知症に関しての関心が高いことが分かった。気軽に相談したいが、窓口に行くにはハードルが高い、困りごとの相談はどこに行けば良いのか分からない等の声があった。・立上げ時より、認知症に関する情報を発信しながら、チームオレンジについて説明してきたため、チームメンバーになる意識を持つことが出来ている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で集える場を開催 ・年1回程度イベントでオレンジカフェを運営 		<p>・活動日は第13金曜日に固定。参加者の声から年間の予定を作成し活動。認知症に関する講話の他に、認知症予防を含めた体操の後に茶話会実施。参加者の中で役割が確立している。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊達市	家族の会	1	2024	4	月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>元介護経験者(市民)へ、包括支援センター職員が家族の会について声をかけたことから。</p>		<p>月1回集まり、季節のイベント、お茶会、健康講座、介護者さんのお話を聞く会</p>		<p>基本的に同じメンバーが集まって活動しているが、個別に声をかけて参加に至る方もいる。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
郡山市	カラオケサロンへの参加	1	2024	7	不定期	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括支援センターに配置されている認知症地域支援推進員の活動に、ステップアップ講座を受講した認知症サポーターも参加してもらおうと、推進員から発案があった。</p>		<p>推進員が主催する認知症の方とのカラオケサロンに、認知症サポーター5名が当日参加した。</p>		<p>サロン開催日の前に打合せ会実施。活動趣旨や当日の流れ等を説明及び情報共有した。</p>		

別紙1 <福島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
郡山市	認知症サポーター養成講座の開催協力	8			月1回	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座を受講した認知症サポーターの活動の一環として、認知症サポーター養成講座の受付や準備等を、市が認知症サポーターに依頼した。		月1回定期開催されている市民向け認知症サポーター養成講座に、2～3名の認知症サポーターが出席し、受付や準備等を行う。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
郡山市	オレンジカフェへの参加	10	2017		不定期	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市内の各オレンジカフェ主催団体が、ステップアップ講座を受講した認知症サポーターに声をかけ、各オレンジカフェに参加してもらっている。		認知症の本人及び家族の話の傾聴				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
白河市	認知症高齢者等ボランティア あんしんメイト	10	2014	12	月2回	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座受講者の「学んだことをいかして何かやりたい」という声から活動の場を提供するため、H24あんしんメイト養成講座を開催しボランティアグループを立ち上げた。		施設訪問、認知症コミュニティルーム「あったかカフェ」運営補助、個人宅訪問、認知症啓発イベント手伝い		ステップアップ講座とあんしんメイト養成講座は別に開催しており、実際にボランティア活動を行える方があんしんメイト養成講座を受講する。活動の意向確認を毎年行い、無理のない範囲で活動できるよう調整している。個人宅位訪問はケアマネからの提案により活動開始している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
会津坂下町	チームオレンジ(ばんげオレンジキャラバン)	1	2025	2	不定期	21
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
民生委員向けの認知症サポーター養成講座の中で参加者を呼びかけた。		スタートアップイベントとして映画上映会・世界アルツハイマーデー関連の展示・認知症キッズサポーター養成講座の手伝い・認知症カフェの手伝い		ばんげオレンジキャラバンのグループラインで案内し参加を募っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
会津坂下町	認知症キッズサポーター養成講座	8	2025	10	年3回	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジに事業として実施・チームオレンジの方に協力を呼びかけた。		認知症キッズサポーター養成講座でのグループワークでのファシリテーター		ばんげオレンジキャラバンのグループラインで案内し参加を募っている。		

別紙1 <福島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
会津坂下町	認知症カフェ	10	2025	2	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジの方に協力を呼びかけ		認知症カフェの中で軽作業を通して当事者の方と交流(おしゃべり・お茶のみ等)		ばんげオレンジキャラバンのグループラインで案内し参加を募っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三春町	本人、家族の話の傾聴	3	2024	11	2週間に1回程度	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		地区サロン、個人宅での傾聴ボランティア				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
富岡町	認知症カフェ	10	2024	4	2～3か月に1～2回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		町のイベントや商業施設では、認知症についての普及啓発を行い。介護施設では、認知症の方や高齢者と近所つきあいに近い形で交流やオレンジガーデニングを合わせて行っています。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
昭和村	高齢者等見守り活動	2	2021	4	月15回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
コロナ禍において、高齢者が外出を控えることで孤独感の増大やフレイル(心身の機能低下)が心配され、安否確認も兼ねて一人暮らし高齢者(認知症の方を含む)を中心に見守り支援員(村からの委託)が対象宅を訪問する見守り活動が開始された。		対象となる高齢者宅を月15日巡回訪問、体調の確認や話し相手、ゴミ出しの手伝いも一部実施。村や社会福祉協議会へ繋ぐ必要がある案件は、その都度報告する。		昭和村孤独・孤立対策安否確認連絡調整会議設置及び安否確認事業実施要綱		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
泉崎村	つながるカフェ(認知症カフェ)のボランティア	10	2022	7	月2回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成31年から活動していたが、コロナの影響で活動中止、令和4年度より包括が中心となり活動を再開。		カフェのボランティア(受付、案内、注文取り、傾聴)		包括ボランティア参加の連絡を入れる。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<茨城県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
33	13	4	0	0	1	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	4	0	7	0	2	1	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
33	18	15	17	19	3	18	21
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	11	1	0				

別紙1 <茨城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
下妻市	けあカフェ大宝	1	2023	12	月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
活動に賛同していただいた企業を活動拠点として集いの場を立ち上げた		散歩、裁縫、塗り絵、折り紙など		自由参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
下妻市	けあカフェすまいる	1	2024	9	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
活動に賛同していただいた企業を活動拠点として活動を開始した		情報交換、おしゃべりなど		自由参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
下妻市	ファームガーデン	1	2025	9	不定期	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
活動に賛同していただいた企業を活動拠点として活動を開始した		歌、ビンゴなど		自由参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
下妻市	オレンジカフェ	10	2025	4	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
任意団体が実施していたカフェが終了したため		歌、体操、フリートークなど		自由参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
下妻市	本人ミーティング	12				11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人の意見を取り入れ施策へ反映するため		意見交換など		事前申し込み		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
下妻市	認知症サポーター養成講座	8	2019	2	年1回以上	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症に対する理解を深めてもらうため		講話、寸劇、脳トレなど		事前申し込み		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
高萩市	チームオレンジたかはぎ	1	2023	11	月1回程度	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座を実施し、受講者からチームオレンジ活動に興味のある方をつのり、認知症本人や家族にも仲間に加わってもらい、チームオレンジを発足した。		認知症の普及・啓発(オレンジガーデン、ライトアップ)、本人発信(講演)、認知症サポートバッチの作成、本人の声を聴く活動、オレンジカフェのサポート		チームオレンジミーティング(年3回)で活動内容の話し合い→実践→振り返り		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日立市	チームオレンジ	1	2023	6	定例会 1回/3か月、その他オレンジカフェでの活動約20回/年、個別訪問等約10回/年	19
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人とその家族が、地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるように、認知症の人とその家族の困りごと(支援ニーズ)等と認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み「チームオレンジ」を整備した。		<p>1 訪問や市内カフェ等での活動</p> <p>(1) 認知症の人の希望や困りごと等を傾聴し把握する。</p> <p>(2) 認知症の人の希望を踏まえた内容について、叶えられるように地域に繋ぐ等の活動を行うことで、実現する。</p> <p>2 定例会の参加</p> <p>(1) 訪問や市内カフェ等で把握した認知症の人の希望や困りごと等の必要な情報を整理共有し、地域の関係者や関係機関に繋げ、認知症の人とその家族が安心して生活できるような支援を行う。</p> <p>(2) 定例会に認知症の人に参加してもらい、認知症の人の希望を踏まえた内容を企画する。</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 研修会への参加やコーディネーターからアドバイスを受けることで、認知症の人の声を把握するための傾聴の技法等を学ぶ。</p> <p>(2) オレンジカフェでは計画・準備に主体的に携わり、認知症の人とその家族の希望や困りごと等を傾聴し、オレンジパートナーとして参加する。</p> <p>(3) 認知症の人の社会参加に向けた支援内容を検討する。</p> <p>(4) 認知症に関する正しい知識や理解についての啓発普及について検討する。</p> <p>(5) 認知症の人とその家族がチームオレンジの一員として参加できる方法等について検討する。</p>		認知症サポーター養成講座受講後に、認知症サポーターステップアップ講座を受講し、チームオレンジでの活動を希望した者で活動している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
桜川市	チームオレンジ ほっこりカフェかりん	1	2024	4	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
既存の認知症カフェを運営しているスタッフへチームオレンジとしての活動を市から提案したところ、活動したいという思いがあり、活動開始となった。		茶話会、バルーンアート、音楽鑑賞、脳トレ、体操など毎月内容変更して実施。参加者の送迎(数人)		チームオレンジの代表者へ連絡し、参加となる。認知症の相談を受けた際に認知症カフェをご案内。		

別紙1 <茨城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
桜川市	認知症カフェ ほっこりカフェ	10	2019	10	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人やご家族、地域住民、専門職等誰もが気軽に楽しく過ごせる憩いの場を作ったm認知症カフェを設置。		塗り絵や読み聞かせ、リズム体操、スクエアステップ等毎月内容を変更しながら実施。参加者の送迎(数人)。		代表者または高齢福祉課へ参加申込の連絡をし、参加となる。認知症の相談を受けた際に認知症カフェをご案内。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
桜川市	地域に住む認知症サポーターの見守り	2			随時	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域に住む認知症の人を地域全体で見守るためにサポーターの見守りを開始		・地域で認知症疑いの人と会った際に見守りをしてもらう。 ・困った際には地域包括支援センター(高齢福祉課)へ相談してもらう。		認知症サポーター養成講座時に地域で認知症疑いのある人に会った際に見守りをして欲しいこと、困った際に地域包括支援センターへ相談して欲しいことをお伝えし、見守りにつなげている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
那珂市	チームオレンジ「ひまわりのつどい」	2	2025	7	月1回	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
主に、認知症サポーター・ステップアップ講座の受講生向けに、認知症に関する地域でのつながりや支え合いについて、日頃思っていることを自由に話せる場を設けている。その参加者同士での交流と今後の活動のヒントとなるよう、ポッチャの体験会をしたところ好評であったため、高齢者施設を訪問して利用者とポッチャを通して交流することができた。これらの活動を通して、まずは市主体で運営していくこととし、チームオレンジとして登録し、活動している。		・認知症サポーター養成講座の補助(会場設営・撤収や受付)、劇団員(認知症のかたとの接し方についての劇) ・認知症に関する広報活動(令和7年度:イベントへのブース出店) ・認知症カフェに出向き読み聞かせなどを実施 ・高齢者施設に出向き、利用者とポッチャを通して交流		『チームオレンジ「ひまわりのつどい」メンバー登録届』を市へ提出する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
那珂市	チームオレンジ「ひまわりのつどい」	5	2025	7	月1回	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
主に、認知症サポーター・ステップアップ講座の受講生向けに、認知症に関する地域でのつながりや支え合いについて、日頃思っていることを自由に話せる場を設けている。その参加者同士での交流と今後の活動のヒントとなるよう、ポッチャの体験会をしたところ好評であったため、高齢者施設を訪問して利用者とポッチャを通して交流することができた。これらの活動を通して、まずは市主体で運営していくこととし、チームオレンジとして登録し、活動している。		・認知症サポーター養成講座の補助(会場設営・撤収や受付)、劇団員(認知症のかたとの接し方についての劇) ・認知症に関する広報活動(令和7年度:イベントへのブース出店) ・認知症カフェに出向き読み聞かせなどを実施 ・高齢者施設に出向き、利用者とポッチャを通して交流		『チームオレンジ「ひまわりのつどい」メンバー登録届』を市へ提出する。		

別紙1 <茨城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
那珂市	チームオレンジ「ひまわりのつどい」	8	2025	7	月1回	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
主に、認知症サポーター・ステップアップ講座の受講生向けに、認知症に関する地域でのつながりや支え合いについて、日頃思っていることを自由に話せる場を設けている。その参加者同士での交流と今後の活動のヒントとなるよう、ポッチャの体験会をしたところ好評であったため、高齢者施設を訪問して利用者とポッチャを通して交流することができた。これらの活動を通して、まずは市主体で運営していくこととし、チームオレンジとして登録し、活動している。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の補助(会場設営・撤収や受付)、劇団員(認知症のかたとの接し方についての劇) ・認知症に関する広報活動(令和7年度:イベントへのブース出店) ・認知症カフェに出向き読み聞かせなどを実施 ・高齢者施設に出向き、利用者とポッチャを通して交流 		『チームオレンジ「ひまわりのつどい」メンバー登録届』を市へ提出する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
那珂市	チームオレンジ「ひまわりのつどい」	10	2025	7	月1回	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
主に、認知症サポーター・ステップアップ講座の受講生向けに、認知症に関する地域でのつながりや支え合いについて、日頃思っていることを自由に話せる場を設けている。その参加者同士での交流と今後の活動のヒントとなるよう、ポッチャの体験会をしたところ好評であったため、高齢者施設を訪問して利用者とポッチャを通して交流することができた。これらの活動を通して、まずは市主体で運営していくこととし、チームオレンジとして登録し、活動している。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の補助(会場設営・撤収や受付)、劇団員(認知症のかたとの接し方についての劇) ・認知症に関する広報活動(令和7年度:イベントへのブース出店) ・認知症カフェに出向き読み聞かせなどを実施 ・高齢者施設に出向き、利用者とポッチャを通して交流 		『チームオレンジ「ひまわりのつどい」メンバー登録届』を市へ提出する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
神栖市	オレンジかみす(チームオレンジ名)による認知症の普及・啓発活動	1	2024	8	毎年8月～10月	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の方々への認知症の普及・啓発を行うため、賛同する人を集め、ステップアップ講座を開催した。		認知症月間前後の8～10月に、オレンジ色のポロシャツを曜日別に着る。10月・11月に市民の方に参加を募り、オレンジ色のもの身につけて、市内を歩くイベントを開催。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
神栖市	オレンジカフェのボランティア	10	2017	11	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2017年に認知症のイベントと同時開催をして始まった。		オレンジカフェでの見守り・傾聴		毎月のオレンジカフェに参加する		

別紙1 <茨城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
坂東市	坂東市認知症サポーター養成講座	8	2006		9 年20回	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症についての正しい知識の普及啓発を目指した認知症サポーター養成講座の円滑な実施を目的として発足		キャラバン・メイト派遣の調整、キャラバン・メイトのフォローアップ研修等の企画、会員相互の交流・情報交換、その他認知症についての正しい知識の普及啓発に関する事項		事務局へ所定の申込書を開催予定日の40日前までに申し込んでもらい、会員を中心に講師の調整を行い開催する		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
龍ヶ崎市	ひだまりの会	1	2022		4 月2回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
民生委員が発起人となり地域住民のために立ち上げた。		介護に関する講座、地域情報の共有、介護者の話の傾聴 など		チラシ等の配布等で周知し興味を持った方に説明等を行い参加を促す。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
龍ヶ崎市	晴々会	1	2022		4 月2回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
民生委員が発起人となり、地域住民のために立ち上げを行った。参加者の相談を受けたり他機関の紹介 参加の促し などを行っている。		合唱、介護に関する講座に開催、おしゃべり		チラシの配布や声掛けにて周知し、参加を促す。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
龍ヶ崎市	楽らく会	1	2024		4 月2回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
民生委員が発起人となり立ち上がった。		合唱、介護に関する勉強会、おしゃべり など		チラシの配布や声掛けにて周知し、参加を促す。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
つくば市	認知症サポーターボランティア	10	2019		月8回	26
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターの活躍の場を創出することを目的にスタート		オレンジカフェ開催の手伝い		オレンジカフェ開催日の中からボランティアとして参加できる方を募集		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
つくば市	認知症啓発物品作成・啓発イベントボランティア	14	2025		月1回程度	26
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターの活躍の場を創出することを目的にスタート		啓発グッズの作成、啓発のセット組み、イベント当日の協力		活動日に参加できる方を募集		

別紙1 <茨城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
つくば市	チームオレンジ	1	2024		月1回	17
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
もともとふれあいサロンとして活動していた団体から認知症について学びたいと相談があり、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を受講し、チームオレンジとして活動をスタートした。		高齢者の閉じこもり防止・見守り、定期的に集まりメンバー同士で声掛け		もともとふれあいサロンとして活動しており、定期的に集まっている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
つくば市	認知症キャラバンメイト	8	2008		月3回程度	60
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座実施開始の伴いスタート		認知症サポーター養成講座の講師を務める		講座の申し込みがあった際に講師役として募集		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
筑西市	チームオレンジあやめ	1	2023		5月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
民生委員を務めているケアマネジャー(現リーダー)が有志とともに地域住民向けサロン開催を検討していた。そのサロンについて、オレンジカフェとしての開設を勧め、運営メンバーにステップアップ講座を受講してもらうことで、チームオレンジの設置に至った。		歌や体操、認知症講話など				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
茨城町	「ゆうゆうカフェ」運営	10	2024		4月1回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症カフェを平成30年度より開催し、多くの認知症サポーターが運営にご協力いただいていたが、認知症本人や家族の参加が少なく、サロンに近い開催方法であった。令和6年度より、認知症サポーターが主体となって認知症本人及び家族を支援する取り組みにすべく、カフェの趣旨に理解がある認知症サポーターに認知症地域支援推進員から声をかけ、現在の活動を開始した。		<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」の企画、運営・本人、家族合同で行うレクリエーションや体操の実施 認知症本人とものづくりや運動、レクリエーション等の活動をともにし、話し相手となる 家族の相談対応 		認知症カフェの開催の趣旨に理解がある方をメンバーとしており、活動内容、カフェの参加者数に見合った活動人数としている。ボランティアが主体的に活動し、認知症地域支援推進員がサポートする形をとっている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
茨城町	「いばらき見守りネット」協力員	2	2017		9 常時	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		・高齢者等の見守り。		町内在住の認知症サポーターでネットワーク事業の趣旨に賛同した方が、町に申請し登録する。		

別紙1 <茨城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
城里町	見守りネットワーク	2	2023	10	随時	29
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
近隣自治体の活動を参考に、さりげない行動で地域の高齢者を見守ることのできる活動を発案した。		普段どおりの生活の中で周囲に気を配って散歩等をする。集団でのパトロールなし。年に1回程度の研修会やネットワーク員同士の情報交換会を開催。		認知症サポーター養成講座を受講する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東海村	①たんぼぼの集い(参加者同士でやりたいことを決めて企画し、実施)、②おしゃべり会(チーム員が認知症当事者宅を訪問し、当事者の話し相手となっている)、③ローズマリー(認知症の方やその家族を含めたイベントを開催)	1	2024	6	①1回/月、 ②1~2回/月、 ③1回/年	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
①認知症カフェにて、参加者の一人が自作の毛糸の靴下を他の参加者に配り、靴下をもらった認知症当事者から「この靴下を作ってみよう」と相談があった。カフェに参加している認知症サポーターから「私たちが作りたい」との声が上がり、チームオレンジの立ち上げにつながった。 ②認知症当事者と家族のニーズを受けて、南部地域包括支援センターの認知症地域支援専門員がチームオレンジの立ち上げを支援した。 ③認知症サポーターステップアップ講座を受講された方から、自身が活動している予防ヨガや交流の場に認知症当事者やその家族もつなげたいとの思いが聞かれ、チームオレンジの立ち上げにつながった。		①他の参加者たちの交流の場として活動を継続している。 ②チーム員が月1~2回程度訪問し、認知症当事者やその家族の方の話し相手となっている。 ③とうかいみんなの食堂を開催し、認知症当事者やその家族を含め、誰でも気軽に参加可能な場を企画、実施している。		①~②地域包括支援センターが認知症カフェや本人ミーティングなどの場を通して、認知症当事者と認知症サポーターとのマッチングをし、立ち上げ支援をした。 ③認知症サポーターステップアップ講座でチームオレンジに関する説明を行ったところ、興味を持っていただき、自身の活動を広げていきたいとの認知症サポーターからの話もあり、立ち上げ支援につながった。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東海村	①北部地域包括支援センター主催「オレンジカフェ」、②南部地域包括支援センター「陽だまりカフェ」	10	2022	9	1回/月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
村からの業務委託を受け、認知症カフェ開始となった。		認知症カフェでは、専門職や地域のボランティア団体などを活用したミニ講話、脳トレやレクリエーション活動、制作活動などを行っている。認知症サポーターへは受付や会場準備、イベント開催のお手伝いなどを依頼している。		地域包括支援センター職員から、認知症サポーターに声をかけ、協力いただける方に年度ごとにサポートを依頼している。		

別紙1 <茨城県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東海村	認知症当事者の会「きずなの会」	12	2023		2 3回／月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>本人ミーティング開催当初は、地域包括支援センターや村職員が中心に関わることが多かったが、令和5年度開催した歩く会をきっかけに、認知症当事者やその家族と一緒に歩いていただける認知症サポーターを募ることとなった。歩く会は、令和5年度から毎年開催しているため、引き続き認知症サポーターにも年1回程度、参加を依頼している。</p>		<p>認知症当事者やその家族との話し相手、見守り</p>		<p>地域包括支援センター職員から、認知症サポーターに声をかけをし、協力いただける方に参加を依頼している。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東海村	本村で年1回小学生の夏休み期間を利用して開催しているエンジョイサマースクールでの活動	13	2019		8 1回／年	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>若年層の認知症サポーターを増やすこと、世代を超えた交流ができる場にしたいの思いがあり、地域包括支援センターおよび村の職員から、認知症サポーターに協力依頼をかけた経緯がある。今でも毎年認知症サポーターの方に協力をいただくことができている。</p>		<p>イベント開催の準備、受付、寸劇、小学生やその保護者との交流</p>		<p>地域包括支援センター職員から、認知症サポーターに声をかけ、協力いただける方に年度ごとにサポートを依頼している。</p>		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<栃木県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
5	2	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	2	1	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
5	3	1	2	4	0	3	4
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	2	0	0				

別紙1 <栃木県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日光市	チームオレンジ稲荷町2丁目	1	2024		5 週1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>チームオレンジ稲荷町2丁目は平成25年に15人のメンバーが「ふれあい協力会員」を発足し、高齢者宅を中心に声をかけ見守り活動を行っていた。認知症への理解を深めるためステップアップ講座を実施し、チームオレンジが誕生した。</p>		<p>チームオレンジメンバー10名が、グループに分かれて独居高齢者や日中独居の方のお宅を訪問し、見守りや声かけを活動を実施。(毎週)</p>		<p>ステップアップ講座の実施⇒チームオレンジの立ち上げ⇒毎週の見守り訪問⇒見守り訪問後はチーム内での情報共有(必要時包括支援センターと連携)⇒認知症への理解を深める研修の実施</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大田原市	まちなかオレンジカフェ	10	2022		6 月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>「地域支援事業実施要綱」が一部改正され令和4年4月1日から「認知症の人と家族への一体的支援事業」の事業実施、企画及び調整が必要となったことから、大田原市では令和4年度から認知症地域支援推進員が中心となり、「まちなかオレンジカフェ」を「認知症の人と家族への一体的支援事業」と位置付けて実施することとなった。回数を重ねるうち、認知症サポーターステップアップ講座修了者の協力を得られるようになった。</p>		<p>創作活動、カフェタイム、回想法等</p>		<p>チラシ等で広報し、参加者を募る。認知症の人とその家族がやりたいことを聞き、ボランティアと一緒に計画・実施をする。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
高根沢町	上高サロン オレンジカフェ	11	2024		5 月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症当事者の方に日程を根気強く伝えていく。サロンオレンジカフェ参加者のやりたいことをサポーター(サロンの担い手)が把握し、年間計画を立案している。</p>		<p>地域サロンの活動内容をくずさずに、認知症当事者がサロンに楽しく参加する。サロンは毎回認知症地域支援推進員が出向き、サロン参加者と顔なじみになり、相談しやすい環境を作り、オレンジカフェの機能をプラスしている。サロンの担い手は認知症サポーターでもある。</p>		<p>地域サロン開催日に自由に参加できる。サロンの担い手が名簿に登録し、年度初めにサロン事務局(高根沢町社会福祉協議会)に名簿を提出する。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
那珂川町	那珂よしオレンジ	1	2023		7 5回/年	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域の方とともに認知症に関する知識の普及啓発活動をすることで、認知症の方やその家族が安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進する。</p>		<p>認知症サポーター養成講座開催時に寸劇やグループワーク等のサポートをしている。</p>		<p>認知症サポーター養成講座開催時に事務局から対象者へ連絡をしている。</p>		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<群馬県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
17	5	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	8	2	0	0	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
17	11	7	10	16	0	8	9
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	6	0	0				

別紙1 <群馬県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
藤岡市	認知症カフェ	10	2020	6	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
国のオレンジプランの策定により、カフェを設置するべくチームオレンジを養成することとなる。ボランティア活動に意欲的である人に声掛けをすることとなり、既に介護予防サポーターとして活動していた方たちに声をかけ、チームオレンジが養成された。		認知症カフェへのチームオレンジとしての参加		年度初めに今年度分のカフェ実施予定日を周知し、可能であれば参加してもらうように呼びかける。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
安中市	ささえあいカフェsmile a smile	1	2025	10	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
母親の介護をきっかけに認知症当事者やそのご家族が気軽に相談・集える場の提供		認知症相談・介護相談・息抜きや気軽に集える場		チームオレンジチラシ		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
富岡市	認知症サポーターによるオレンジカフェの運営	10	2021	4	月1回	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
①もともと活動していた認知症カフェに毎回出席されていた市民へ、ボランティアとして運営のお手伝いを依頼し、ボランティアスタッフが在籍していた。 ②同時に介護予防サポーター養成講座の中で認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座が組み込まれ、サポーターの養成が進んでいった。 ③サポーターの活躍する場をどこかで設けたかったこと、認知症カフェのボランティアスタッフにも、認知症の専門的な知識を身につけて貰いたかったこともあり、現在の形(設問1-12)でチームオレンジが発足した。		ミニ講話や演奏会などのレクリエーション後、テーブルにわかれてフリートーク		①認知症サポーターの中で今後地域等での活動に参加したい人を対象にステップアップ講座の案内を送付 ②ステップアップ講座を受講後、活動できる方をチームオレンジとして任命		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板倉町	おしゃべり隊	1	2023	10	月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ひとり暮らし高齢者の増加に伴い、町で行っているひとり暮らし高齢者等訪問事業対象者から「人とおしゃべりしたい」というニーズが多く聞かれていた。住民からのニーズとサポーターの「活動したい」という気持ちから、おしゃべり隊の活動が開始となった。		認知症サポーターステップアップ講座受講者のうち、希望するサポーター2名がペアとなり、ひとり暮らし高齢者のお宅を月1回訪問して、おしゃべりする。		自治体事務局に活動参加の希望を伝えてもらい、対象者をピックアップしてマッチングを行っている。		

別紙1 <群馬県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板倉町	オレンジカフェの参加	10	2017	11	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
新オレンジプラン策定にあたり、認知症カフェの立ち上げに向けて、町内介護事業所と調整した。当事者と交流することができる町内グループホームや小規模多機能型居宅介護支援事業所と連携し、オレンジカフェとして活動が開始となった。		認知症サポーターはオレンジカフェ参加者と一緒に、コーヒーやお茶を飲みながら、自由に交流したり、レクリエーションに参加したりしている。		認知症サポーターは町内に3箇所あるオレンジカフェに自由に出向き、コーヒーやお茶の配膳等手伝っていただき、その後は参加者と自由に交流している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大泉町	個別支援、対象当事者宅への訪問、見守り	1	2023	1	訪問：月1回、 定例会：年1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の症状が進み、家族との喧嘩が増えてきた。夫婦お互いにストレスを感じており、介護保険のサービス利用以外での支援につなげようと、オレンジサポーターの中から希望者が個別支援チームを作り、本人、家族の訪問から始めた。		訪問時、本人、家族の話を傾聴する。本人がオレンジカフェに参加する時には、本人の活動をサポートする(一緒にカフェの手伝いをする)				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大泉町	個別支援、対象当事者との散歩、見守り	1	2025	8	散歩：月2回、 定例会：年1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
本人を高齢の夫が介護していて、疲労がたまっている。散歩に一緒に行くのは難しいが、1人で行かせるのは心配と、包括に相談があった。近所に住むオレンジサポーターを中心に個別支援チームを作り、担当ケアマネとも連携を取りながら、本人、家族のサポートを始めた。		本人と一緒に散歩する。本人には、健康のために歩きたいので協力してほしいとお願いしている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大泉町	教育活動：講座や講演会への協力	8			年4～5回	37
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		大泉町地域包括支援センターの実施する認知症サポーター養成講座や認知症家族講演会などの準備、受付、資料配布、会場案内やキッズサポーター養成講座のアシスタントなど				

別紙1 <群馬県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大泉町	オレンジカフェの運営協力	10			月1回（R7年度は2か月に1回）	38
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		大泉町地域包括支援センターの実施するオレンジカフェ『ひだまり』の開催協力、会場準備、受付、接客、飲み物の提供、アンケート配布、会場片付けなど				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
吉岡町	元気になるカフェ	10	2016	10	週1回2カ所	32
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターの職員が企画し認知症サポーターに声掛けをして1ヶ所で開始。1年後に2カ所に増やした。		地域住民誰もが参加できる居場所。当番の認知症サポーターがコーヒーを提供。お茶を飲みながら色々な方が交流している。認知症やMCIの方も参加できている。		元気になるカフェをチラシなどで周知。サポーター養成講座を毎年開催し、元気になるカフェに協力してくれるサポーターを募ることで継続して行っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
吉岡町	22カフェ	11	2019		月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターが認知症の方と家族の話しをゆっくり聞ける場が必要と始めた。		毎月22日に開催する認知症カフェを開催。認知症サポーターの方にも参加していただいている。家族の悩みや思いを聞く。ご本人がご家族と一緒に参加されることもある。		準備や当番は地域包括支援センター職員が行い。話の聞き役として認知症サポーターの方に協力いただいている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東吾妻町	カフェすいせん	10	2018	12	5地区で異なるが基本は月に1回	69
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
各地区協議体の代表者（生活支援コーディネーター）に働きかけ		認知症カフェ				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
邑楽町	オレンジカフェ	1	2025		4 2ヶ月に1回	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
コロナ禍で縮小していた認知症カフェを以前のように飲み物提供ありのスタイルでやりたいとの声がサポーターからあり、活動を開始した。		偶数月の第一木曜日に認知症カフェを行っている。サポーターが受付や案内、飲み物の提供、レクリエーションを行い活動している。		参加者が参加しやすいように1年間の日程を決めて実施している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
邑楽町	虹いろカフェ	10	2025	7	2ヶ月に1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
コロナで休止していた虹いろカフェ（認知症カフェ）をまた再開したいとの声がサポーターからあり、活動を開始した。		奇数月の第1木曜日に実施。公民館のエンタランスホールを使い、飲み物提供ありでレクリエーションや交流をおこなっている。		すでにオレンジカフェ（もう一つの認知症カフェ）があったため日程がかぶらないよう開催日を奇数月に設定し活動を開始した。		

別紙1 <群馬県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南牧村	お達者クラブ	14	2012	5	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターからの働きかけで上級介護予防サポーターがお達者クラブを立ち上げる。運動を中心に月1回集まっている。参加者に認知症の方(本人)も参加されていたため、包括職員が働きかけ、認知症サポーター養成講座も開催しました。		月1度のお達者クラブ開催時、認知症の方(本人)は曜日も時間も忘れてしまうため、事前に声掛けしたり、参加時の声掛けや見守り、傾聴をしていました。昔から近所の仲間でもあるため、日頃も同様に、声掛けや見守りもしていました。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
昭和村	Cafe よりそい	11	2025	8	月2回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
村内の認知症カフェが休止をしてしまったので、村内にある傾聴ボランティア団体に相談。新しく認知症カフェを立ち上げようということになる。		認知症の方を含め、子どもから高齢者まで誰が来ても暖かく迎え入れられる地域の居場所づくりをしています。		傾聴ボランティア団体の方と一緒に、近隣の自治体の認知症カフェの視察に行きました。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川場村	認知症カフェの手伝い、講師など	10	2018	11	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター、介護予防サポーター合同のフォローアップ研修会、交流会時に活動の声かけ、お願いを行っている。		サポーター特技披露、折り紙作成指導、体操指導、給茶、交流		事前の打ち合わせがある時もあるが、基本的に完全自主参加で月1回の認知症カフェに来ていただき、活動してもらう。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<埼玉県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
39	20	0	0	1	1	0	2
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	3	0	8	3	0	1	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
39	25	16	17	23	0	15	21
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	17	0	1				

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
さいたま市	C:D cafe(チームオレンジ)	1	2022	11	おおむね四半期に1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2019年の5、11月にコーヒーチェーン店内で認知症カフェを開催するも以降、コロナにより開催できず。2022年11月にオンライン開催することとなり、近隣のグループホームに声掛けし、共同開催。以降、3か所のグループホームと地域包括支援センターの共同で運営している。		各団体が持ち回りで開催。地域包括支援センターが開催した際は、近隣の保育園に各グループホームから入居者が集い、園児との多世代交流。上記のコーヒーチェーン店に出張いただき、園児が高齢者にコーヒーをいれたり、グループホームスタッフがバイオリンやピアノを演奏し、参加者で歌を歌うなどして交流をした。		グループホームは地域密着型運営であることから地域に向けて活動することがメリットであることを伝えた。共同運営にあたり、グループホームスタッフに対し、認知症サポーター養成講座を実施。年度のはじめには関係者で集まってミーティングを行い、活動の目的や意義を必ず共有している。2024年度からはチームオレンジとして活動。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
越谷市	「ふらっと」おおぶくろ オレンジカフェ	1	2020	9	1回/月	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市から地域で活動する認知症サポーター(ボランティア)に働きかけて開催することになった。		ボランティアが中心になり、毎月決められた催しもの(包括職員からのミニ講話や制作、歓談等)を実施。毎回近隣の地域包括支援センターが輪番で参加。		認知症サポータースキルアップ上級編の講座の際にオレンジカフェやチームオレンジについて説明し、ボランティアとしての参加を呼び掛けている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
越谷市	「ふらっと」がもう オレンジカフェ	1	2020	9	1回/月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市から地域で活動する認知症サポーター(ボランティア)に働きかけて開催することになった。		ボランティアが中心になり、毎月決められた催しもの(包括職員からのミニ講話や制作、歓談等)を実施。毎回近隣の地域包括支援センターが輪番で参加。		認知症サポータースキルアップ上級編の講座の際にオレンジカフェやチームオレンジについて説明し、ボランティアとしての参加を呼び掛けている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
越谷市	オレンジカフェとも	1	2018	1	1回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中心となる専門職の働きかけで活動することになった。		毎回知識のおみやげを持ち帰ってもらうというコンセプトで専門職の講話や最新の医療情報等を伝えている。また、毎回地域包括支援センター職員が参加し、健康教育等を行っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
行田市	認知症サポート店	7	2025	3	店舗等の営業時間	25
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政		接客時の気遣いや気配り等の適切な対応・見守りを行っている。		店舗等に申請書を提出してもらい、要綱に基づき適正であれば認証を行う。認証後、店舗等に貼るステッカーを配布する。		

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
蕨市	オレンジ和楽備	1	2025	4	月1回	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市が主催した認知症サポーターステップアップ講座の中で、地域活動により興味がある人を後日集め、今後の活動などを検討。市・認知症地域支援推進員協力のもと、約1年間の準備期間を経て、令和7年4月からサポーター主体の団体が立ち上がった。		・認知症カフェの開催(月1回) ・認知症サポーター養成講座の協力		特になし		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八潮市	オレンジカフェ	10	2015	6	月1回 4か所で実施	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
桶川市	グループホームの「夏祭りイベント」で入居者に付き添って一緒にイベントを廻る	5	2025	8	不定期 R7年度は2回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
おれんじカフェ(認知症カフェ)主催者の話し合いの場において、市より「認知症サポーターの活用」の一環として、活動の場を提供していただきたいと呼びかけたところ、依頼があった。		グループホーム2か所において ・「流しそうめんイベント」における会場設営及び入居者に交じてイベントへの参加 ・「夏祭りイベント」において(ご家族の参加のない)入居者に付き添い、イベントを廻る		チームオレンジ(桶川市では「おれんじの木」のメンバーと呼ぶ)のメンバーを中心に、市より連絡を入れてマッチングさせ、各主催者へ繋いだ。その際、メンバーには次回から主催者より直接連絡が入って良いか(個人情報提供してよいか)確認した		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
桶川市	市内小学校で開催する「認知症サポーター養成講座」への開催協力	8	2018	9	念7回実施+練習会7回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座時にアンケートを取り「本活動に興味がある」とした人を対象に打合せを行い、あらかじめ依頼のあった学校の開催希望日とマッチングさせて、活動してもらう日にちと人を決定した		市内7校の小学校で開催する「小学校向け認知症サポーター養成講座」で、児童に覚えてもらいたい語句を掲げたり、認知症の人は「記憶」が入っていかない、という症状を寸劇で示したり等の開催協力を行う		前述の”活動開始の経緯”に記載のマッチング後、当日と同じメンバーで練習会を経て、本番を迎える		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
桶川市	おれんじカフェに継続して積極的に参加し、役割を持つ	10	2023	10	月3, 4回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座の一つに「認知症の人と触れ合おう」=おれんじカフェに参加する、というのがあり、それをきっかけに各サポーターが活動を始めた		毎月決まったカフェに参加し、グループホーム入居者となじみになり制作活動を手伝ったり、皆さんと回想法を実施したり、サポーターの特技(フラダンス、ハーモニカなど)を披露することで、入居者に喜ばれたりしている。複数のカフェで役割を持って活動している者もいる。		初めてカフェに参加するサポーターは、市や地域包括支援センターの認知症地域支援推進員と一緒に参加してフォローするが、その後は自主性に任せている。		

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日高市	日高市チームオレンジ	1	2023		10	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座のアンケートでチームオレンジに興味のあるサポーターが複数おり、そのサポーターに対し、チームオレンジになるためのステップアップ講座を開催した。		活動はサポーターが普段活動しているボランティア、サークル、自治会活動等の中で行うため、それぞれで活動をしている。チーム全体での活動は活動内容を検討するための話し合い、市の事業で認知症について啓発するための展示物を作成、認知症関連の事業の手伝い、認知症に関する広報誌でチームオレンジの周知を行うなど、メンバーが話し合い活動内容を決めている。		年1回開催予定のステップアップ講座を受講することが原則だが、興味があれば市の担当課や市内地域包括支援センターへ相談。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
戸田市	とこカフェ祭り	1	2025		4 3回/年度	17
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市内認知症カフェから、2019年から新型コロナウイルス感染症の蔓延をきっかけに中止していた「とこカフェ祭り」を復活させたいとの申し出があり、認知症カフェ、市及び公共施設（上戸地域交流センター）の共催によって実施することとした。活動には共催機関の職員の他、市民のボランティア、有志の高校生等がスタッフとして参加した。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する展示や講演、体操の紹介 ・市内認知症カフェやサロン等のブース展開（実際に施術・体験） ・映画「オレンジ・ランプ」上映会 ・認知症サポーター養成講座 ・スタンプラリー ・出張版認知症ケア相談室 		(戸田市)認知症サポーターの活動_別添資料		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
戸田市	社会活動支援	11	2022		4 3回/年度	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括支援センターに勤務する認知症地域支援推進員が、認知症本人と関わる中で本人のやりたいことやできることを把握し、その実現・能力の発揮に向けて活動を開始した。</p> <p>・野鳥観察→認知症になり無気力になっていた本人から、「鳥を見ることが好き」との発言があり、それをきっかけに野鳥観察を企画。現在まで継続している。</p> <p>・らっきょう漬けづくり、味噌づくり→サービス利用していないものの日時関係なく来所していた本人をボランティアとして受け入れしていた経験から、事業所で実施している味噌づくりやらっきょう漬けづくりを、認知症本人を含む地域住民が集える場にしたとの意向がにりん草からあり、発足した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥観察 →公共施設（彩湖自然学習センター）を会場として、毎年4月～5月頃に実施している。彩湖自然学習センターから双眼鏡を貸し出してもらい野鳥の観察を行う。認知症本人や認知症家族をはじめとして、おれんじパートナー（認知症サポーターステップアップ研修修了者）、彩湖自然学習センター職員、認知症地域支援推進員、市認知症施策担当者等が参加している。 ・らっきょう漬けづくり、味噌づくり →デイサービスにりん草を会場とし、らっきょう漬けづくりは6月～7月頃、味噌づくりは1月～2月頃に実施している。認知症本人や認知症家族をはじめとして、おれんじパートナー（認知症サポーターステップアップ研修修了者）、デイサービスにりん草職員、認知症地域支援推進員等が参加している。 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 打合せ・日程調整 (2) 参加者声かけ、取りまとめ (3) 当日 (4) 市へ報告 		

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新座市	チームオレンジ「K1・北一の絆 楽しく、支えて会」	1	2025		3月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>生活支援体制整備事業の新座市北部第一圏域第3協議体を中心としたグループで、時節の折り紙や紙で折ったゴミ箱を保育園や放課後児童保育室へ寄贈し、交流を深める活動をしている。グループ代表者が認知症サポーターキャラバン・メイトであること、活動グループと地域のつながりが強く、参加者が認知症になっても安心して通い続けられることから、新座市のチームオレンジとして認定した。</p>		<p>・折り紙隊(高齢者が地域の子供のために、時節の折り紙や紙で折ったゴミ箱を保育園や放課後児童保育室へ寄贈し、交流を深める活動) ・世代間交流(保育園のサポート活動、地域の演奏活動をしているサークルの発表会、地域住民の居場所づくり)</p>		<p>チラシ配布による参加の呼びかけ</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新座市	認知症サポート事業所ステッカー交付事業	7	2019		4	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーターステッカーを認知症サポーターのいる事業所に交付することで、地域に応援者がいることを示し、認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らすことができる地域づくりを推進するため開始した。</p>		<p>・「認知症にやさしい事業所」の目印として、認知症について理解を示し、やさしい対応をする。 登録事業所：郵便局、薬局、介護事業所、銀行、ゴミ収集事業者、飲料販売店等</p>		<p>事業所内に「認知症サポーター」が1名以上いて、ステッカーの交付先として市ホームページに掲載することに同意できる事業所から市へ申請書を提出する。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新座市	オレンジカフェ	10	2014		市内7か所のカフェにて、各カフェ月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症の人やその家族、地域住民等どなたでも参加できる集いの場として開始。認知症サポーターを受講したカフェ従事者やボランティア等が参加者をあたたかく迎えている。</p>		<p>・認知症の人とその家族、地域住民の交流(お茶会、レクリエーション、認知症に関する情報提供等)</p>		<p>チラシ配布や広報、ホームページによる参加の呼びかけ</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
坂戸市	坂戸市チームオレンジ	1	2021		6 適宜	32
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>国や県の方針等を踏まえ、認知症サポーターの養成および活動を促進して「共生」の地域づくりを推進していくため、おれんじカフェやアルツハイマー月間など、既にある支援形態を発展させる形で、令和3年6月に「坂戸市チームオレンジ」を設置した。</p>		<p>・おれんじカフェの運営ボランティア ・アルツハイマー月間の啓発物作成 ・認知症サポーター養成講座の寸劇の劇団員</p>		<p>認知症サポーターステップアップ講座を受講し、チームオレンジに参加したいと希望があれば参加できる</p>		

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
鶴ヶ島市	チームオレンジつるがしま	1	2024		6月1回	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
鶴ヶ島市では、2024年6月にチームオレンジステップアップ講座を開催し、認知症サポーターと認知症地域支援推進員を中心に「チームオレンジつるがしま」が発足した。		定例会、アルツハイマー月間における展示物の作成、認知症についての勉強、オレンジカフェの立ち上げなど。		定例会を月に1回開催し、オレンジカフェの準備を進める。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
富士見市	チームオレンジ	1	2025		1 2~3か月に1回	26
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ構築に向けて、令和4年10月15日に開催した認知症サポーターフォローアップ講座を受講し、チームオレンジの活動に意欲があるとアンケートに記入いただいた認知症サポーターを対象に認知症地域支援推進員と共に座談会を定期的実施。令和7年1月31日にキックオフミーティングを実施し、チームオレンジとしての活動を開始した。		<ul style="list-style-type: none"> 定期的にミーティングを実施 今後のチームオレンジとしての活動やアルツハイマー月間での活動等について話し合いを行っている。 令和7年9月のアルツハイマー月間では合同オレンジカフェを実施 新しい認知症観を多くの方に周知するため、5か所ある地域包括支援センターとチームオレンジと行政にて合同オレンジカフェを実施。 認知症の方が作成した物の展示、紙芝居、回想法、小物作り等をチームオレンジメンバーが主体となり行った。 		行政が会場用意し、チームオレンジメンバーに開催通知を送付して参加者を募る。当日の内容については、認知症地域支援推進員会議にて検討している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
富士見市	オレンジカフェ	10	2016		3 2か月に1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」が策定され、平成30年度からすべての市町村に配置される認知症地域支援推進員等の企画により、地域の実情に応じ実施するとの目標が新設されたことに伴い、各圏域が主体となったオレンジカフェの開催を検討。平成28年2月に市及び包括職員で近隣自治体のオレンジカフェを見学。平成28年3月23日に一つの圏域が単独でオレンジカフェを開催。平成28年3月24日に3つの圏域が合同でオレンジカフェを開催。その後、各圏域で2か月毎に開催するようになり、現在に至る。		5圏域ある地域包括支援センターが主体となり、各包括毎に2か月に1回オレンジカフェを開催。圏域毎に内容は異なり、小物づくり・脳トレクイズ・オカリナやウクレレ等の演奏に合わせた合唱・体操・出前講座・談話などが行われ、地域の認知症サポーターの方もボランティアとして参加している。		各包括毎に当日内容を計画。チラシを作成し参加者を募っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
入間市	チームオレンジいるま	1	2021		6月2～3回	57
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>2019年にチームオレンジの立ち上げのために市でステップアップ研修(5回)を実施。途中でコロナの感染症が広がり中断。2020年に同メンバーでステップアップ研修(5回)を行ったが、緊急事態宣言で中断。郵送支援でメンバーとつながり、志のあるメンバーで2021年6月に書面にて「チームオレンジいるま」が立ち上がった。毎年ステップアップ研修を開催し、少しずつメンバーを増やし、しばらくは行政主導で活動していたが、2024年4月から市の補助金を受けて、会長等中心となる役員を決めて、組織として独立した。</p>		<p>月1回の定例会。定例会内では3つの班(居場所づくり班、研修・学習班、普及啓発班)に分かれて話し合ったり、各活動の報告、研修を行っている。月1回のオレンジカフェの開催(会場はイオンスタイル入間のフードコート内)。それぞれ月1回のロバマスコット作成の居場所づくり(豊岡地区2ヶ所、東金子地区1ヶ所、宮二地区1ヶ所、金子地区1ヶ所、藤沢地区1ヶ所)。地域での声かけ運動や学校での認知症サポーター養成講座への協力(近年はメンバーがキャラバン・メイトとなりメイトとしても開催)。ロバマスコットづくりや地域での声かけ運動は定例会に参加できず、地域のみで活動するメンバーが活躍している。オレンジガーデニングプロジェクトや認知症月間における展示や地域への働きかけなどの普及啓発活動。本人ミーティングへの参加(会長、副会長のみ)。地域のラジオ(FMチャッピー)による啓発活動。オレンジカフェやロバマスコットの居場所への外出支援。当事者への電話かけ支援。高等学校の生徒や企業と一緒に認知症普及啓発コラボ動画の作成(第3弾まで完成。第4弾作成中)。地域の通いの場(通所B)のボランティアも兼ねている人が多い。</p>		<p>各地域にいる認知症地域支援推進員兼オレンジコーディネーターが各地で認知症サポーター養成講座(認知症月間の9月にあてることが多い)を行い、年1回(10月～11月)のステップアップ研修への参加を促し、チームオレンジいるまへの活動参加へとつなげている。近年では、小中学校や地域の声かけ運動で配布するロバマスコットづくりがメンバー外の方や当事者が参加しやすい居場所となっており、そこで認知症に興味を持ち、活動参加につながる方も増えてきた。市と一緒に市内全域での取り組みと、各包括にいるオレンジコーディネーターと一緒に展開する地域での取り組みに整理され、地域活動班の活発が盛んになってきている。ステップアップ研修は、2025年度から当事者たちの講演を受けて、現メンバーと1日グループワークをするという内容に変更したところ、加入率と定着率が上がった。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
入間市	認知症啓発コラボ動画	13	2024		7年2本ペース	60
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容＝活動・参加にあたっての流れ・スキーム				
<p>チームオレンジいるまと日々輝学園高等学校生徒(キッズサポーター)によるコラボ活動。 チームオレンジいるまが市内もうひとつのチームオレンジ「いるま市声かけ運動推進会」と一緒に地域での声かけ運動に協力する中で、「認知症の方への声かけの仕方」などを寸劇でレクチャーすることが増え、動画で紹介できないかということになり、撮影、編集、若い人たちから見てどう思うのかという意見も聞きたいと、オレンジガーデニングプロジェクトの賛同団体のひとつである日々輝学園高等学校に打診したところ快諾。同校には福祉・保育コースがあり、そのコースの生徒に市とチームオレンジいるまが認知症サポーター養成講座を実施した。受講後に啓発活動に携わってくれるボランティアを募集し、その生徒とチームオレンジいるまと一緒に認知症啓発動画を作成していくこととなった。</p>		<p>認知症啓発動画の作成。第1弾は、学校に迷い込んだ認知症高齢者への対応の仕方を紹介する。「3つのない」も紹介し、子どもたちは自分たちだけで対応しないということを基本に迷い人を学校の先生につなげる構成にした。第2弾は、地域の企業「コープみらい」に協力してもらい、店内で撮影。買い物にいても周囲の音やもの忘れ等で混乱し、何も買えずに帰ってくることも多い、という当事者の声を聞き作成。また、お店や銀行などお金が関係する場所で店員以外に声をかけられると怖いという声を参考に、あえて直接声をかけず、店員につなげる構成とした。第1弾で買い物にいきたいと学校に迷い込んだ高齢者が第2弾で無事に買い物できたと、第1弾の出演者がほっとする場面は高校生の発案。第3弾以降は、2025年7月に認知症サポーター養成講座を受けた生徒から新たにボランティアを募集。講座内で当事者3名の話聞いたことから、受講前と受講後のイメージの変化を伝えることで、認知症の悪いイメージを払拭しようという内容になった。第2弾まではチームオレンジいるまの仮の台本を作成し、修正する方法をとっていたが、第3弾、第4弾からは当事者の声を聞いて高校生が発信したい内容をもとに当事者やを含むチームオレンジメンバーがアドバイスをする形で進行。動画の宣伝も兼ねて出演した生徒は地域のラジオにも何度も出演し、啓発活動を実施。ラジオ局も生徒の声とともに完成の過程を追っている。動画は学校から配信されているため、市では出演者の声をひろった紹介動画を配信している。2年間の活動で、7月前後に学校で認知症サポーター養成講座を実施し、夏に撮影、1本完成。冬にもう1本作成という年2本ペースの流れができてきている。</p>				

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
入間市	ロバマスコット作成の居場所づくり	11	2023		月1～2回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>オレンジガーデニングプロジェクトによる9月の市庁舎や地区センターのオレンジ色の装飾のために、地域のボランティアがロバマスコットやぬいぐるみを作成するようになった。そのマスコットを市や包括の職員が名札につけるようになり、自分たちも作りたいという声広がった。同じく別の地区で装飾のオレンジの花を作成協力してくれた方々が、認知症月間が終わってもこのまま集まってなにかを続けたいという希望があり、毎年声かけ運動を行っていた地域でもあったため、そこで配布するロバマスコットを作ろうということになった。声かけ運動は、当時は単独で行っていたが、ロバマスコットを配布することで、認知症サポーター養成講座として実施し、認知症の人が暮らしやすくするための目的があることのPRを強化した。最初の地区がロバマスコットづくりをグループ化し、その後チームオレンジいるまの地域活動として各地に広がっている。</p>		<p>地域の小中学校や声かけ運動での認知症サポーター養成講座開催時に認知症サポーターの証として配布するロバマスコットを作成している。現在、豊岡地区2ヶ所、東金子地区1ヶ所、金子地区1ヶ所、宮二地区1ヶ所、藤沢地区1ヶ所と、それぞれ月1～2回活動している。藤沢地区以外はチームオレンジいるまが中心となって運営。オレンジコーディネーターがかかわり、当事者や地域の人も参加したり、夏休みには地域の子供も参加して作成している。チームオレンジが中心となっていることで、地域での活動の話し合いも同時にできており、チームオレンジいるまの地域活動班の拠点にもなっている。</p>				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
所沢市	チームオレンジ「ところんLABO」の講師	1	2025		6	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症月間に合わせて市役所の市民ホールで開催している認知症普及啓発イベント「ところざわオレンジウィーク」に、令和4年度より認知症サポーターが催事スタッフとしてボランティア参加開始。そのサポーターの一部が集まり、チームオレンジ「ところんLABO」が発足した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症普及啓発イベント(ところざわオレンジウィーク、ワルツ所沢)協力 ・認知症サポーター養成講座等の協力 ・定例会で自主活動の検討、話し合い ・ロバ隊長、レクリエーショングッズの作成 		<p>おおよそ2カ月に1回の頻度で定例会を開催し、話し合いなどをしている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
寄居町	オレンジカフェ よりい処	10	2022		7 1回/月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括支援センター職員の発案</p>		<p>体操、談笑、絵本読み聞かせ、お花見、生け花、演奏会、ピザ作り</p>		<p>広報での開催周知、電話での事前申し込み、参加費100円徴収</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
寄居町	認知症サポーター養成講座	8	2017		9 4回/年	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括支援センターの年間活動計画</p>		<p>認知症サポーター養成講座テキストに基づく内容</p>		<p>寄居町広報により周知、予約制</p>		

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
寄居町	オレンジカフェ お城deカフェ	10	2016		7 1回/月	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
埼玉県作業療法士会が開催した認知症専門研修の上級コース修了者の課題に地域活動企画があり、寄居町出身の方がいるグループがオレンジカフェを作るという企画をたてた。その方が寄居町社会福祉協議会へ相談し、寄居町もオレンジカフェ立ち上げに向け検討中であったため共催にて活動開始に至る。		季節の制作物、歌声カフェ、脳トレ、福祉ネイル、漫談などボランティアを発掘し取り込みながら開催している。		広報での開催周知、電話での事前申し込み、参加費100円徴収		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
寄居町	認知症サポーター養成講座	8	2018		1回/2~3か月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町の福祉計画の一環として認知症への理解を深めるために大里広域地域包括支援センターへの働きかけがあり、キャラバンメイト連絡協議会の養成講座を受講し町内で認知症サポーター養成講座の開催に至る		認知症サポーター養成講座の開催。認知症サポーターステップアップ講座・認知症ケア講座の開催		認知症サポーター養成講座…一般町民向けに広報で周知したり福祉教育連絡会議に出向き小中高等学校向けに周知している。認知症サポーターステップアップ講座・認知症ケア講座…年度初めに福祉課と認知症地域支援推進員にて意見交換行い、講師依頼を行っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
横瀬町		1	2023		11 月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		オレンジカフェ				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
横瀬町		1	2023		11 週3回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターの働きかけ		オレンジカフェ 多世代交流カフェ				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
横瀬町		1	2023		11 月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
横瀬町		1	2023		11 週2回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		オレンジカフェ(ランチカフェ)				

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
松伏町	認知症チームオレンジ	1	2024	2	2~3カ月に1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町の事業として展開した		定期的な定例会の開催、認知症チームオレンジまつりの開催		認知症サポーター養成講座、認知症ステップアップ講座を受講後、希望者のみチームオレンジに参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
滑川町	滑川町チームオレンジ	1	2025	11	3か月に1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座の募集時に「チームオレンジの立ち上げ」を意識付け、講座修了者に行政から声をかけて、チームオレンジを結成・活動開始した。		認知症に関する普及啓発活動、既存のオレンジカフェへの参加・運営サポート、定期ミーティング		チームを結成して間もないため、オレンジカフェへの参加の割り振りやミーティング開催の声掛け等は行政にて行っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
神川町	なっちゃんカフェ	10	2017	9	月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターと地域住民との横のつながりを形成し、介護の悩みや不安を軽減するために開始した。		カフェ当日の会場準備、参加者への見守り、声掛けを実施。簡単な体操やハンドベルを行い参加者との交流を図る。		カフェ実施の1か月前に内容について打合せ。実施日にも打合せしそれぞれの役割を行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
神川町	りんどうの会	11	2025	9	年6回予定	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の家族より認知症の方を自宅に残して参加しづらいという意見を受け、認知症サポーターに協力してもらった。		認知症の方との交流。認知症家族の方との意見交換。		実施日に打合せを実施。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
神川町	チームオレンジ	1	2025	4	月1回程度	35
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町にはチームオレンジがなかったため認知症サポーターでもある介護支援ボランティアを中心にチームオレンジを発足した。		認知症カフェ、認知症家族会等それぞれができる活動に参加。地域での見守りや認知症の方の社会参加となっている。		認知症サポーター講座を受講し、ステップアップ講座を受講する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
宮代町	買い物支援	4	2025	10	約月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

別紙1 <埼玉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小鹿野町	オレンジカフェ	10	2014	11	月1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人やその家族が気楽に立ち寄れる居場所作り		歌、お話し、ハーモニカ演奏など		始めの言葉→準備体操→お口の体操・早口言葉など→歌→お話		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<千葉県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
17	10	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	3	2	0	0	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
17	11	4	13	7	1	9	10
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	6	1	0				

別紙1 <千葉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
市川市	チームオレンジ オレンジスマイルいちかわ	1	2025		1 年数回 令和8年4月より1回/月定期開催。その他イベント開催あり。	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2018年、2019年に認知症啓発の全国的なイベント「RUN伴いちかわ」を開催した有志が、市川市の社会資源や事業者の参画と地域共生をめざすイベントとしてオレンジスマイルいちかわ実行委員会を立ち上げ、2022年から「オレンジスマイルいちかわ」を開催し、医療福祉専門職を中心に活動している。キャラバンメイトとして認知症サポーター養成講座の講師も行ってきた。2023年からは認知症カフェ「オレンジスマイルカフェ」をスタートし、市内のカフェなどを会場に年数回開催している。2025年より、チームオレンジとして活動している。		オレンジスマイルいちかわ(オレスマ)は、「認知症の人も一緒に、誰もが暮らしやすい市川をつくる」を合言葉に、認知症の理解啓発のみならず、市川市で活動する多様な人々が参画し、イベント参加を通して共生社会と健康への意識を高め、誰もが暮らしやすい市川をめざすプロジェクトで、次の2つの活動が柱となっている。①オレンジスマイルいちかわ(2022年から毎年1回開催)市川市内を認知症当事者の方を含む市民の皆さんがラン&ウォークでタスキをリレーしゴールをめざす。ゴール会場では認知症や健康をテーマとした催し、ステージイベントや出店ブースでランナーの到着を迎える。		①②共に、活動に参加する際には、事前申し込みが必要となる。①については、活動の見学については申込不要。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
旭市	あさひキッチンガーデン	1	2025		4 月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市内の園芸農家さんから空いている畑で活動ができないか話があり、介護予防や認知症の方の社会参加を目的とした「あさひキッチンガーデン」の活動がスタートする。		認知症の当事者、一般市民、サポーター、一般市民、障がいデイサービス参加者が月に1回畑に集まり、季節の野菜の収穫等を行う。サポーターがさりげなく当事者の方のフォローをしている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
茂原市	ほっとみまもり隊 認知症啓発ポスター制作	14	2025		5 月1回	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
9月はアルツハイマー月間であり、各地で認知症に関するイベントを行っていることから、茂原市でも認知症啓発活動として、認知症の啓発ポスターを作成し、茂原市役所のロビーで掲示することとした。		茂原市役所1階のロビーにパネルを5枚設置し、ポスターを掲示した。ロバ隊長のぬいぐるみ、認知症マップを製作し、一緒に展示した。		ポスターの掲示内容とスローガンを協議したのち、ポスター作成。令和7年9月1日～9月30日まで茂原市市役所1階ロビーに展示。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八千代市	サロン愛宕MORE	1	2023		6 月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「やちよ元気体操」のサークル仲間と、同じ地域の中で助け合いいつまでも自宅で生活できるようにしたいという思いから開始した		毎週開催している介護予防サロンのうち、月1回をオレンジカフェとして実施。毎回テーマを変え、コグニサイズや制作活動をお茶やコーヒー、お菓子などを楽しみながらカフェスタイルで開催。地域包括支援センターや高齢者施設の職員も参加しているため介護全般の相談にも応じている。		・地域内の関係期間にチラシを掲示、配布依頼 ・参加希望者は代表に直接申込み。参加費は100円/回		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
成田市	市内10か所でのチームオレンジの活動	1	2024	2	月1~2回	24
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>市が主催する「認知症サポーター養成講座」および「認知症ステップアップ講座」を受講した受講者が中心となって、各圏域の認知症地域支援推進員の支援を受けながら、各地域でチームオレンジを立ち上げ、活動を開始した。</p>		<p>メンバーの誰もが楽しみながら参加し、それぞれの役割を果たすことで、引きこもりがちな生活になることを未然に防ぐことを目指す活動を実施している。各チームで活動内容は異なるが、主に下記の内容を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操、ウォーキング ・懐メロ斉唱 ・手芸制作(認知症啓発を兼ねる) ・おしゃべり、情報交換 ・中学生の登校見守り ・交流会・講座・勉強会の開催 		<p>ホームページで活動を紹介し、誰でも参加可能としている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
習志野市	チームオレンジ にこにこローズカフェ	1	2022		月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>第2層協議体での話し合いをきっかけに、認知症地域支援推進員を中心に認知症カフェの立ち上げに向けた活動が開始される。現在はキャラバン・メイトや民生委員を中心に活動を継続している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの開催 ・こども向け認知症サポーター養成講座の開催 		<p>活動のメインは年4回の認知症カフェ開催(開催前月には運営について話し合い、工作等の準備をする。開催後には反省会を実施する)。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
船橋市	おしゃべりサロン	1	2023	3	月1回	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>UR団地内にて高齢化が進み、自治会内にて問題意識があった中で、地域包括支援センターより、チームオレンジの説明を行い、自治会の住民主体にて活動することとなった。</p>		<p>団地集会所にて月1回「おしゃべりサロン」を開催。その他チーム員が自宅訪問し、話し相手・サロン参加の促し等を行っている。</p>		<p>自由参加</p>		

別紙1 <千葉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
君津市	認知症カフェ すなみほっとサロン	11	2016	12	月1回	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>公民館で認知症に関する講座等を開催する中で、認知症カフェという取り組みを公民館でもできないかという声が集まった。これを受け、公民館を事務局としてスタッフを募集し、運営委員会を組織。研修や勉強会を重ね準備を進め、開催に至った。</p>		<p>毎月1回、2時間で実施している。 ・主に認知症に関することや、健康に関係することをテーマにした講座 ・参加者が楽しめるレクリエーション 主に上記2つを各回ごとに実施。前半に講座、後半にレクという流れで行っている。</p>		<p>参加は事前申し込み不要で、当日の直接参加OKとしている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
佐倉市	チームオレンジ佐倉	1	2021	3	随時	95
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>市内5か所の地域包括支援センターに配置されている認知症地域支援推進員が中心となって検討を重ね、令和3年11月に第1回ステップアップ講座を開催し、チームオレンジ佐倉が始動。対象者は日頃から介護予防ボランティア、民生委員など地域包括支援センターと連携を図りながら地域で活動する方に直接声をかけ受講してもらった。メンバーにはステップアップ講座で講師を務めた認知症ケア専門士や地域包括支援センターの職員も含まれており、市民も専門職もみんなで認知症の人を支えていく体制となっている。その後令和4年、6年、7年にステップアップ講座を開催し、令和7年12月末時点で95名がメンバーとなっている。</p>		<p>○認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座で行う「寸劇」に出演 ○介護予防の通いの場に参加している認知症の方のお誘い、見守り、声かけ、ちょっとしたお手伝い ○介護に関するテーマを学ぶ教室で、グループワークのファシリテーターを担当 ○認知症サポーター養成講座キャラクターのロバのマスコット作成 ○地域包括支援センターが開催するオレンジカフェのお手伝い(参加のお誘い、参加中の声かけ、見守り、付き添い、作業の補助等) ○認知症高齢者声かけ訓練にスタッフとして参加 (道に迷って声をかけられる役の方の付き添い、補助) ○9月の認知症月間(世界アルツハイマー月間)に合わせ、市役所や図書館、駅、公園の売店などに設置した啓発コーナーに飾るため、認知症の本人や家族からのメッセージを掲載したポスターを作成</p>		<p>もともとオレンジカフェのお手伝いや通いの場の運営等で活動しているメンバーが多いため、チームオレンジ結成後も地域包括支援センターと協力しながら各自の活動を継続するなかで、認知症の人や家族への個別支援(ゆっくりお話を聞いたり、今後の活動に生かせるような本人の得意なことを見つけるなど)を充実させられるよう取り組んでいる。また、各地域の活動状況を共有し、メンバー同士の交流を図るために、毎年交流会または研修会を開催。お互いの活動報告や今後取り組んでみたいことなどについて話し合うことで、モチベーションの維持につながっている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
佐倉市	チームオレンジ「四季」	1	2024	4	花壇づくり月2回、認知症カフェ月1回、声掛け訓練は随時、定例会は2か月に1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・2022年11月 認知症サポーターステップアップ講座受講者を対象に、地域包括支援センターから声かけがあり、メンバー6名が顔合わせ。 ・その後、団体としての具体的な活動と団体登録に向けて意見交換を重ね、団体名称を「チームオレンジ「四季」」に決定。 ・2024年4月から花壇整備開始し、同年10月にロバ隊長マスコットづくりも開始。 これに並行して、毎月1回開催されるオレンジカフェや認知症高齢者声かけ訓練にも協力メンバーとして参加。 ・2024年11月 佐倉市ボランティアセンターに団体登録し現在に至る。</p>		<p>・認知症当事者といっしょに花壇整備活動 ・オレンジカフェに協力ボランティアとして参加 ・認知症高齢者声かけ訓練の補助役などサポーターとして参加 ・2か月に1回、定例会を開催し、活動報告と予定の確認</p>		<p>・認知症当事者の方については、地域包括支援センターを介し紹介をいただいている。 ・2か月に1回の定例会で活動の報告と今後の計画について話し合い、活動状況を共有するほか、メンバーが楽しく活動できるよう忌憚のない意見交換をしている。</p>		

別紙1 <千葉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
野田市	大エプロジェクト・ガーデンゆめしずく	10	2018		9月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2016年からオレンジカフェを開催しているが、参加者は女性が多く、特に介護者も女性であった。男性をなんとか地域に引っ張り出したい、集える場所を作りたいと、大エプロジェクトを2018年から始めた。		市内の工務店で廃材を提供してもらい、また時には建築中の工事現場で捨てる木材をもらったりするなどし、オレンジカフェ参加者が作成した設計図に基づき、花台やいすなどを作成する。廃材以外にキャストをつけてほしい場合は、購入・持参することで取り付けも可能。木材切断やくぎ打ち、ビス止めのほか、ペンキ塗りも当事者に行ってもらおう。		定期の日時を告知し、自由に参加してもらおう、申し込みもなし。自由解散、残ってお茶を飲んだり、草花つみをしてもらおう。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
佐野市	大人の学舎ためま(オレンジカフェ)	10	2016		7月2回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
委託先のNPO法人が中心となり、認知症をテーマにした交流の場としてオレンジカフェを立ち上げた		介護相談、介護者支援講座、健康体操や情報提供など		事前に団体へ連絡し、当日来所		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
我孫子市		1	2020		適宜	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
一人暮らしの認知症の人の支援を始めた地域包括の職員が徐々に住民や専門職を巻き込み、チームオレンジへとつながった。		日常生活における見守り、日常への困りごとへの対応、関係機関への連絡、地域包括ケア会議によるチーム員同士の連携、情報共有		気づいたときや、本人が困っているときに活動する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
我孫子市	てんのうだいおれんじカフェ	10	2016		月に1回程度	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中心人物となる認知症サポーターの働きかけ		認知症カフェの開催		中心となる認知症サポーターは事前の準備や当日の設営、事後の処理等を含む。ほかの認知症サポーターは当日の運営のサポートのみ。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
富里市	チームオレンジ	1	2023		6年2回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座を受講した人に、認知症サポーター養成講座のステップアップ講座の受講を促した。ステップアップ講座受講者にチームオレンジ活動の参加を呼びかけ、チームオレンジを結成し活動を開始した。		年に2回の懇談会で事例検討や、困り事の共有、対応方法について話し合いを行っている。 9月のアルツハイマー月間で市役所玄関の装飾の手伝いを行っている。		行政がチームオレンジに通知し、参加できる人が活動している。		

別紙1 <千葉県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
富里市	チームオレンジ	10	2023	6	認知症カフェ 6カ所 各月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座ステップアップ講座修了者でチームオレンジに加入し任意で認知症カフェに興味がある方が参加できる時に参加している。		認知症の本人・家族に声をかけ参加を促し、一緒に参加している。話し相手となり、認知症人や家族がどのような悩みや生活を送っているのかを知る機会となっている。		チームオレンジの方が各包括支援センターで行っている認知症カフェの日を確認して、その日に来所し参加している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
長柄町	認知症サポーター養成講座の定期開催と介護予防出張教室の運営	8	2011	9	年3～4回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成23年2月1日時点で要介護認定を受けている者のうち要介護が必要になった原因の25%が認知症である。認知症の人は症状により周囲との人間関係が損なわれやすい。いつまでも住み慣れた地域で過ごすためには、周囲の理解が必要。そのため、認知症について広く周知する必要があり、平成23年から活動を始めました。		認知症サポーター養成講座の実施 平成24～28 町民向けに実施 平成28～長柄中学校向けに実施 平成29～長柄小・日吉小向けに実施 平成30～一般企業向けに実施 平成31～町民向け・役場職員向け実施、以降は小中学校、町民向けに実施。		平成24～広報にて認知症サポーター養成講座の参加募集 平成28～中学校に認知症サポーター養成講座を提案 平成29～小学校に認知症サポーター養成講座を提案 平成31～町民の集まる通いの場に声掛け		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
九十九里町	あんどんねえさー	11	2013	7	奇数月の第3水曜日	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「あんどんねえさー」は、九十九里弁で「大丈夫」「なんともないさ」という意味があります。たとえ認知症になっても、「その人らしく、安心して暮らしていける」「大丈夫」という思いを込めて、この言葉を愛称としました。		認知症家族の悩み、不安等様々な思いの相談を行っています、		午後1時から扉を開け、気軽に相談できる環境を整えています。参加者は指定された時間内に来所し、認知症初期集中支援チーム、地域包括支援センター、ボランティアの方々と相談を行っています。その後、相談内容に応じて、介護や医療へ繋げ方を提案し、生活支援を行っています。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』＜東京都＞

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
79	18	0	0	3	0	0	2
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	8	0	31	9	2	1	5

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
79	63	59	43	65	9	45	62
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	53	6	1				

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新宿区	チームオレンジ「えがお」	1	2023		2 1回/隔月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターが元々関わりのある認知症の方本人とその家族を中心に、チームオレンジの1か所目として活動開始。関係機関とつながりのある認知症サポーターへ直接声をかけ、協力してもらうこととなった。		認知症の方本人が過去に作成した昔話の動画を使い、高齢者施設や地域のカフェで上映会を開催。		チームは限られたチームメンバーで活動し、上映会はどなたでも参加可として開催。運営側の認知症サポーターについては、関係機関からの活動への協力依頼またはステップアップ研修等受講者からの希望制で参加。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新宿区	チームオレンジ「らんぷカフェ落合」	1	2024		6 1回/月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
居宅介護支援事務所で地域に開かれたカフェを運営している主任ケアマネジャーと連携し、チームオレンジの2か所目としてカフェを開設することとなる。関係機関とつながりのある認知症サポーターへ直接声をかけ、協力してもらうこととなった。		毎月第3木曜日の午後、認知症の方本人やその家族、地域住民が参加できるカフェを開設。認知症の方本人が認知症サポーターと共に参加者に紅茶やコーヒーを淹れている。		カフェは予約なしでどなたでも参加可。運営側の認知症サポーターについては、関係機関からの活動への協力依頼またはステップアップ研修等受講者からの希望制で参加。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新宿区	認知症介護者家族会・学習会	11	2013		8 3回/月 ※8月を除く	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
区主催で本事業開始。ボランティア養成講座で認知症サポーターを募り、活動に参加してもらった。		認知症の人を介護する方同士の交流、学習の場		通常の交流会は予約不要で、介護者同士が集まれる場となっている。学習会の日のみ予約制で参加。認知症サポーターについては、所定の講座を受けた方から募集し活動に参加してもらっている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中央区	「認知症サポーター養成講座」の開催協力	8	2019		4 不定期	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
把握していない		地域包括支援センターの職員(キャラバン・メイト)と一緒に認知症サポーター養成講座を行う。		認知症サポーター養成講座を実施する地域包括支援センターの依頼に基づき、派遣を行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中央区	認知症カフェの開催	10			1回/月、1回/2か月、不定期開催など団体により異なる	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
団体により異なり、把握していない。		認知症のご本人やご家族、地域住民等が気軽に集い、楽しい時間を過ごしなが、仲間づくりや情報交換、専門スタッフに相談ができる場。		区では、区内の認知症の人、その家族、地域住民等の誰もが気軽に交流し、認知症等について相談できる場「認知症カフェ」を立ち上げる、または充実させる団体に対し、運営費の一部補助等の支援を行っている。(団体・活動の要件については添付資料を参照)		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中央区	認知症サポーターが勤務する企業や事業所等へステッカーの無料配布、ステッカーを掲示している企業や事業所の一覧を区ホームページへ掲載	7	2022		4 特になし	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の方とその家族が安心して暮らせる地域づくりのため。		認知症サポーターがいることが外側から見て分かるよう、「認知症サポーターがいます」と表記されたステッカーを、認知症サポーターが勤務する企業や事業所等へ無料で配布。区ホームページへの掲載について、希望する企業や事業所等をホームページへ掲載。		ステッカーの配布を希望する企業や事業所等は申込書に記入の上、介護保険課または地域包括支援センターへ提出する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
江東区	チームオレンジふらっと06	1	2022		7 2回/月	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座を受講し「認知症の方が安心して集える場所を作りたい」という思いから2名でスタート。ステップアップ講座で活動を紹介するたびに少しずつメンバーが増える。		毎月第1金曜日10時～12時に大島6丁目団地内のカフェ06にて開催。認知症ご本人、ご家族、支援者、関心がある方が季節のイベントなどを通じて飲み物やおやつを食べながら交流する時間を提供。毎月第3金曜日はスタッフ会議として次回の実施内容の計画や認知症の勉強会を実施。		予約不要で当日会場へ行くことで参加可能。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
葛飾区	オレンジカフェのボランティアスタッフ	10	2014		月1～3回(各包括に実施を委託)	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
区の事業として開始したオレンジカフェに、活動意欲のあるサポーターへ包括がお声がけし、参加してもらう流れとなっている。		オレンジカフェの運営を手伝う		区の事業として開始したオレンジカフェに、活動意欲のあるサポーターへ包括がお声がけし、参加してもらう流れとなっている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
江戸川区	江戸川区チームオレンジ	1	2022		10 月1回(活動場所による)	59
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政によるチームオレンジ研修を令和4年9月に初めて実施。研修対象者は認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ講座を受講済みの区民で地域活動に関心がある方とし、初年度は10名が終了。以降、定期的に研修を実施し、修了者は59名になっている。		<ul style="list-style-type: none"> 区内23箇所で開催中のオレンジカフェの支援 地域包括支援センターが主体となって行っている認知症のある人とその家族への一対一支援プログラムへの参画 認知症サポーター養成講座での望ましい接し方を学ぶ寸劇披露 グループホームでのレクリエーション支援 		チーム員と認知症地域支援推進員が定期的に会議を実施。新たに取り組みたいことがあればそこで相談している。		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
杉並区	別途メールで送付します。	1				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
世田谷区	オレンジハート(認知症カフェ、定例ミーティング)	10	2020	7	月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成30年度フォローアップ講座で、チームオレンジ立ち上げ支援開始。 令和2年度チームオレンジ結成。アルツハイマー月間に、チームオレンジとして認知症カフェ実施。 令和3年度フォローアップ講座(奇数月)で、チームオレンジ運営支援。認知症カフェ「オレンジカフェせOHA」定期開催(偶数月)		・奇数月に「定例ミーティング」で、話し合い(これからやってみたいこと)や、学びを通じた活動の振り返りを行っている。 ・偶数月に「認知症カフェ」を開催している。 ・その他、認知症月間イベントで、本人交流会とコラボした認知症カフェの開催や、世田谷区認知症在宅生活サポートセンター(委託事業者)事業および、地域包括支援センター事業でのボランティア協力、新規の認知症カフェの立ち上げや手伝いを行っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
千代田区	オレンジサポーター登録制度	1	2022	12	週一回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座を修了した人の中から希望者に対して、ステップアップ講座を実施し、ステップアップ講座修了者を、オレンジサポーターに登録し、それぞれ可能な範囲でボランティア活動を実施していただいている。		各種講座の見守り、認知症カフェや認知症本人ミーティングでの受付、傾聴対応、認知症サポーターのいる店への登録		区からボランティア募集の手紙を郵送、メール等で送り対応頂いている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
台東区	認知症カフェの開催協力	10			1回/月	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターボランティアの主な活動場所としての実施。		区内の各認知症カフェの会場準備、受付、企画、同行支援など。カフェによって、実施後に振り返り会を行う。		認知症サポーターボランティア登録時に、各地域包括からボランティア登録希望者に連絡をする。希望者と包括で予定を調整し、カフェに参加する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
台東区	認知症サポーター養成講座の開催協力	8	2024	9	1回/月	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターボランティアの活動の幅を広げるため。		認知症サポーター養成講座や認知症サポーターフォローアップ講座(ステップアップ講座)の会場準備、受付、誘導など。また、講座終盤に、認知症サポーターボランティアの取り組みについて、代表者が1分ほど発表を行う。講座後には、区・包括・ボランティアで、ボランティア活動の振り返り会を行う。		各講座前に、区からボランティア活動調査を送付し、活動希望の有無を認知症サポーターボランティアが回答する。希望するボランティアに向けて、当日の活動内容等を記載した通知を送付する。		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中野区	認知症カフェの開催	10	2019		1回/月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
生涯学習大学の有志で、地域活動の一環としてオレンジカフェを開催した。		体操、歌(2曲)、折り紙、ミニ講和、参加者による楽器演奏(二胡やピアノなど)地域住民に認知症カフェを理解してもらえるよう1年に1度地域の医師などを呼び、認知症のことを1時間程度講演してもらっている。		一緒に活動したい場合は、主催者へ相談。実施内容を決める時は、メンバーで話し合い、参加者とメンバーが楽しめるものを考えている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中野区	認知症カフェの開催	10	2025		6月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
マンション内での交流をきっかけに高齢者が集まり、話す場所があればいいと思い開催した。		体操、折り紙、スマホ相談、認知症マフづくり講師を呼んで、笑いヨガをしている。		活動を一緒にしたい場合は、主催者に相談。カフェへの参加は自由に参加ができる。内容はメンバーで話し合い決めている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中野区	認知症カフェの開催	10	2023		5年4回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中野区には認知症の人とその家族、医療介護スタッフなど誰でも参加ができ、安心して過ごせるオレンジカフェがある。しかし開催している施設や既存の所ではハードルが高く行きづらいと感じ、参加者が少ないことを課題としているところが多い。カフェであれば若年性認知症の方や認知症を認めていない方を誘いやすく、そこから家の近くのオレンジカフェを紹介していくなど、地域とのつながりの第一歩とするために区の担当課が開催		年4回、カフェで開催し、懇談と情報交換、認知症に関する相談を受ける。		参加は自由。開催日はチラシやホームページで周知。目的などは上記活動開始の経緯・きっかけに記載		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中野区	認知症カフェの開催	8	2015		12月1~2回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症になっても、普通に暮らすことができる地域づくりの実現を目指し、中野区、中野区社会福祉協議会等とも連携をはかりながら、地域で活動している様々な支援団体のネットワーク化を推進。認知症の理解を地域全体に広げていくための啓発活動として、講座の開催をしている。		介護福祉士、看護師などの専門家を含む多彩なメンバーで結成する「認サポ劇団」が寸劇を披露しながら、認知症についての基礎知識を分かりやすく伝える手法はMIKANの大きな特徴であり魅力のひとつ。見る人の興味を引く伝え方が評判を呼び、町会・自治会、企業、行政、大学・高校など、大人数の受講者がいるような場所から「認知症サポーター養成講座」の出前講座の依頼を受けることが多い。		活動をしたい場合は、主催者に相談。主催者から声かけする場合もある。認知症になっても、普通に暮らすことができる地域づくりの実現が目標。適宜、話し合いながら進めている。		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
中野区	認知症地域支援推進事業	14	2022	4	月4回程度	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中野区では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるよう認知症地域支援推進事業を実施している。		医療・福祉の専門の相談員が常駐しているため、心配なことを相談できる。参加者のニーズに合わせ、カフェ形式での交流、脳活やスマホ相談、体操など実施している。オレンジカフェの支援を実施。認知症サポーターなどの方々も積極的に受け入れている。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした介護事業を行っている事業所が、中野区から委託を受けて以下を実施。 ・必要な場合は、相談者を関連機関への引き継ぎ ・認知症サポーター及び認知症サポーターの受け入れ ・認知症の人への支援の担い手を育成 ・認知症オレンジカフェ等立ち上げや運営の支援 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	ヨウコー陽だまりカフェ	10	2025	8	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	認知症サポーターのひろば	8	2018	10	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症サポーターが集まり、地域のためにどんなことができるか意見交換 区主催の認知症サポーター養成講座で認知症村芝居を上演		当日直接参加 認知症について考えたことを共有したり、今後の活動について話し合ったりする		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	板橋文化会館前 パナカフェ	10	2023	9	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	オレンジカフェひまわり	10	2017	11	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	オレンジ調剤喫茶	10	2024	5	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	けやきCafé	10	2024	6	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	サロン・ド・カフェ 加賀	10	2023	10	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	つくしんぼ茶房	10	2016	11	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	ほのぼのカフェ	10	2017	9	月2回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	みんなの認知症カフェ カウピリカフェ	10	2015	8	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
板橋区	遊座健幸カフェ	10	2024	7	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症フレンドリーカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
文京区	ねずカフェ	10	2023	9	月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポート医から、外来で診察している患者など、もの忘れの不安を抱えた地域の高齢者が安心して暮らせるように交流の機会を持たらという相談が社協にあり、区や住民も交えて検討し立ち上げる。		<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを設定しておしゃべり ・プログラム(歌はほぼ毎回、他、手芸・折り紙・講座・ゲームなど) ・年に2回特別編として、地域の子どもも参加してもらえるような企画を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・サポート医から診療の場で周知 ・地域包括からの紹介など 		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
文京区	あんな坂こんな坂の会	12	2024		2 4か月に1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
包括の職員が地域住民で見識のある区民らの協力も得て立ち上げ。		・テーマトーク ・プログラム(お絵描き、話し合いなど) ・お茶の時間		包括の職員が支援で関わっている高齢者に声をかけて誘う		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
墨田区	チーム「みかたん」メンバーとして	10	2024		4 月2回	19
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジを発足するにあたり行政と包括の発案として開始		オレンジカフェ(区内2ヶ所)での見守り、傾聴、運営協力など		オレンジカフェを委託している包括での登録		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
墨田区	包括主催の本人が参加するサロンへの参加	11	2023		4 月1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
包括で行う本人サロンへの参加を包括職員からサポーターに働きかけを行った		サロンでの見守り、傾聴、運営協力など		サロンを運営している包括での登録		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
目黒区	認知症の人と家族を応援するボランティア	11	2010		10 介護者の会(5地区、月1回) コミュニティカフェ(3か所、月1回)	38
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
区で介護者の会(平成22年～)の立上げと同時に、地域における支え合い促進の観点から、会運営の支援の主体をボランティアとし、ボランティア育成事業(養成研修)を開始し、研修修了者へボランティア参加への働きかけを行った。また、介護予防の取組としてスタートしたコミュニティカフェ(平成24年～)の運営ボランティアについても同様にボランティア参加の働きかけを行っている。		介護者の会及びコミュニティカフェの運営		区が実施する認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座、ボランティア養成講座の受講者へ、ボランティア活動についての周知や参加の声掛けを行い、見学等を経てボランティア登録いただき、希望する会やカフェで活動していただいている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	認知症カフェからサロンへの移動支援	4	2024		1回/月	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
毎週認知症カフェに来ているサポーターが当事者たちと毎週関わる中で自然発生的なもの。認知症が進行し当事者たちだけで目的地にいけない状況を感じたことから。		毎週あるカフェの後、その会場でランチを一緒にし、その後月1回別のサロンに出かける際に一緒にサロン会場まで引率するようになった。		特になし。		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	認知症がある独居高齢者の障害作業所通所時の送迎	4	2021		8 2回/週	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
当時の認知症地域支援推進員が個別ケース支援にあたり、担当ケアマネジャーとも相談の上、チームオレンジの活動としてスタート。		認知症のある要介護3の独居高齢者の活動先として、介護保険サービスではなく、障害福祉サービスが組み込まれている。自宅から徒歩で行ける距離ではあるものの、本人一人では作業所までの往復がおぼつかないことから、サポーター有志を募り、ボラセン紹介のボランティアとともに週2回の利用時送迎にあたり片道あたり一人が同行している。		本人の認知症も徐々に進行しつつあり、新たなメンバーの加入は本人にとって負担と考えられることから、メンバーの追加はしない。現行いずれかのメンバーの都合がつかない場合には、もう一人のメンバーで対応できるか、包括(推進員)が調整。都合がつかない場合は、作業所への通所前後に送り出し・迎え入れのために介護保険のヘルパーが入っているため、ケアマネジャーに連絡して送迎についてもヘルパー対応を依頼している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	書を楽しむ会(書道の大家である認知症当事者による、初心者でも楽しめる書の会)	11	2026		5 1回/月	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
かつて書道を教えていた軽度認知症の方の家族から、本人が活躍できる場はないかとの相談が寄せられた。認知症サポーターが会の周知や声掛けを行ってくださっている。		当事者である講師が、鉛筆や小筆による手本を持参。参加者は鉛筆や筆ペンで模写し添削指導を受ける。書や道具にまつわる雑談の時間もあり、講師と参加者が話を楽しんでいる。		事前予約制。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	家族介護者のつどい(介護の体験を話したり、介護中の方の話を傾聴する)	11	2018		9 1回/隔月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の方を介護する家族が、介護の不安や悩みを話してできる場を作りたいと考えていた。介護経験者でもある認知症サポーターを中心に気軽に話せる場作りを考えた。		介護体験を話したり、介護中の方(介護者が亡くなってからも継続して参加されている方)のお話を傾聴し相談にのる。		事前予約が基本、当日参加も可能。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	もくよう会(認知症当事者が特技の楽器を演奏しそれに合わせて参加者が歌う。参加者のなかには認知症当事者もいる。)	11	2023		3 1回/週	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
体は元気な認知症当事者の家族(認知症サポーター)から、参加できる社会的な場所はなかと相談が寄せられた。本人はウクレレが得意なため、「ケアラズカフェわたぼうし」に楽器を持参していただき数曲演奏をお願いしたところ、その場にいたお客さんが自然発生的に歌い始め、これがきっかけとなり毎週の開催になった。参加者は地域の認知症の方、高齢の方など。		認知症サポーターが、来場者に飲み物の提供や楽譜の配布、難聴の方の横に座って、曲についていけるようサポートをしていたこともある。演奏者の家族(認知症サポーター)は、開催曜日や時間を忘れないようにサポートしてくださっている。(認知症の進行に伴って、準備に時間がかかるようになり、開催時間に間に合って到着できるようにサポートが必要)		予約はなく当日参加可能。地域のギターやハーモニカが得意な方が一緒に演奏に参加されることもある。		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	チームオレンジ(チームふくろう) 見守り・傾聴・外出支援・「認知症サポーター養成講座」への協力・オレンジカフェの参加など	1	2023		6 月1回程度	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
もともとサロンのスタッフとして活動をしており、参加している住民が認知症状が出てきたため、認知症状があっても参加できるように送り迎えや声掛けを行っていたことから。		<ul style="list-style-type: none"> ・サロンへの送り迎えや道で会った時の声掛け、包括との情報共有などをしていただいている。 ・本人家族介護者の会に参加し介護経験者でもあることから一緒に相談支援を行っている。 ・小学校での認サポの読み聞かせを行っている。 		ステップアップ講座に参加した際にチームオレンジを呼びかけ、支援内容を理解し協力していただける方にチームふくろうとして協力いただいている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	オレンジサポーターの会	1	2020		8 不定期	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
包括開催のステップアップ講座を継続受講された方々を中心として、今後の具体的な活動について話し合う場を設けたことがきっかけ。最初は何度かワークをおこない何をしたいか、何が出来るか、何が必要か等を話し合った。		認知症カフェの運営手伝い、当事者が活躍できる場としての木工の会運営手伝い、家族会運営手伝い、地域課題地域ケア会議への参加		包括が活動を主導している状況。ただ、認知症カフェはこの地域に必要かどうかというところから当事者と共に話し合い、意見交換した上で開催。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	マスコットキャラクター ロバ作りの会	14	2025		3 1回/週	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターキャラバンのマスコットのロバ隊長の作成を一緒にしませんか？ と声かけを行ったこと。		認知症当事者の方を含む2~3人で毎週ロバのマスコット作りを行っている。作成したロバを、認知症サポーター養成講座を受講した企業や小学校等に寄贈し窓口に飾ってもらっている。		ロバのマスコットを見て作りたいという方にはどなたにでも参加してもらっている。また認知症当事者の方で介護サービスにつながらない・手芸が趣味だった方で参加を希望する方。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	本人ミーティング「元気かい」のサポート、地域サロンの貸し出しサポート	12	2024		1 1回/月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症カフェに来られていた本人5名が、他の日程で自宅近くの地域カフェに集まりたいという話になり、月1回本人ミーティングを開催することになった。介護を卒業された家族(認知症サポーター)から何か協力したいと声をかけてもらっていたことから、本人ミーティングの協力者になってもらった。		月1回本人ミーティングの開催に合わせて、希望する本人へ日程連絡を行い、ミーティング中のサポートや、地域カフェの場を利用できるように調整するなどの関わりを行っている。本人たちから出たやりたいことを叶えるため、キャッチボールや初詣、オレンジイノベーションプロジェクト、カラオケなどの活動に協力している。				

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	認知症カフェ「グリーン・ピース」の活動支援	10	2021		5 グリーン・ピース自体は2017年9月から開始。	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2017年9月から認知症家族の会「グリーン?ピース」を開催していた。本人の参加も増えたため、2023年4月より認知症カフェとなった。介護卒業者(認知症サポーター)も増え、何か協力したいという話から会の運営に協力してもらうことになった。		2ヶ月に1回の開催時に、準備、グループでの話し合いの進行、片付け、振り返りに協力。介護卒業者として、家族介護者や本人の思いに添った関わりを行っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	寺田町の認知症サポーターによる講座の協力(緑が丘小学校、柵田中学校授業など)	13	2023		9 約5回/年	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2016年から行ってきた圏域の小学校や中学校での認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座が年々開催を増し、本人との活動を取り入れるなど内容が複雑化してきていた。活動の充実化を図るため認知症サポーターに手伝いを依頼した。		講座開催時の参加者呼びかけ、準備、実施中の協力、片付け、振り返りなどを行っている。参加者同士の交流も生まれている。協力する中でステップアップ講座を重ね、認知症を深く自分事として考えられるようになり、まちづくりにつなげている。2025年度から包括独自の公式LINEを取り入れ、多数の認知症サポーターとの連絡調整に役立っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市		1	2022		1	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の方が万引きと間違われたことで連携会議を開催。スーパーマーケットより認知症の方への接し方を学びたいと認知症サポーター養成講座依頼。それを契機に認知症cafe?を立ち上げるため、家族介護者交流会参加者に相談した。		2か月に1度の認知症家族介護者支援者交流会(認知症cafe)に参加。通常の認知症家族介護者支援者交流会(認知症cafe)配膳や移動支援等。地域のポッチャ大会、地域のイベントのボランティア等、地域からのオファーがあった時に話し合う。		認知症家族介護者支援者交流会(認知症cafe)開催のハガキや電話連絡。認知症家族介護者支援者交流会(認知症cafe)開催時に話し合いをしその場で決める。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	認知症カフェ おれんじカフェごちゃまぜ	10	2024		4 1回/月。8月は夏休み	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
主催者(歯科衛生士)は、食支援活動として歯科衛生士のメンバーと「一緒に食べる活動」をしていたが、コロナ禍となり実施が思うように出来ず会報のみ発行をしていた。主催者のご主人が認知症の診断を受け(アルツハイマー型認知症:現在要介護2)当事者も参加できるような会にしたことのご希望があり、包括が相談を受けて、ご自宅での開催を実施に向けて進めていった。		・開催日:月1回。第4土曜日の午後2時間。 ・内容:前半は自己紹介、すみだオレンジかるた等、後半は手作りスイーツとコーヒーを頂きながら交流。包括より認知症関連などのチラシを配布。毎回、認知症当事者が参加し交流することによって参加者の認知症に対する意識の変化を感じている。		年間のチラシを添付します。		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	家族会 おれんじカフェごちゃまぜ (ZOOM)	11	2021		1回/月。8月は夏休み	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>主催者は、対面での認知症カフェ【おれんじカフェ】を始めようと準備していた。コロナ禍のため対面で始められなくなり、しばらくお考えになりオンラインで始めてみようと思われた。結果、対面とは違い、どこからでも参加する事が出来き、(海外在住の方もさんかしている)講演会なども企画出来るZOOMでの家族会を開催することになった。</p>		<p>・主催者宅からのオンライン開催 ・開催日時: 月1回第4土曜日10:30~15:00 ・自己紹介・笑いヨガ(笑いヨガティーチャーによる)・「認知症の人と家族の会」の代表(昨年6月まで)による勉強会・認知症関連のいろいろな視点からの勉強会・講演会(「認知症のある人の意思決定支援」・「ウェルネスナビゲーションと悩み相談」等)・2023年2月にはユマニチュードキャラバン交流会に参加等・すみだオレンジかるたの紹介(時間があるとき)</p>		<p>一番直近のご案内を添付します。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	集いの場の運営、協力と集いの場への参加促進活動	1	2023		3回/月	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>過去にサロン活動でカフェを行っていた方が「また、カフェをやりたい」とあり、認知症カフェとして行わないかと包括より提案し合意。</p>		<p>月1回の認知症カフェ運営。 月1回の包括主催の本人家族一体的支援の協力。 集いの場への参加を認知症本人へ声かけ、同行。 認知症サポーターステップアップ講座への協力。</p>		<p>認知症サポーター講座、ステップアップ講座で活動参加啓発。すでに活動している方から声かけ。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	もとはちカフェ	10			1回/月	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域の気軽に立ち寄れるカフェとして、開催。</p>		<p>地域の住民が自由に語らい、好きな活動を行なう。その中で、認知症についての知識や情報を伝え、認知症になっても、安心して生活するにはどうあれば良いか一緒に考えている。ここ数年は、当事者家族も参加し輪に入っている。また、認知症予防体操もボランティアが行っている。</p>		<p>主催は、包括だが、カフェ自体の運用はサポーターかつボランティアの方にお任せ。情報提供等は包括側が担っている。</p>		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	もとはち地区チームおれんじとして、見守り活動、認知症普及啓発活動を開催。	1	2023		適宜。イベントについては打ち合わせ含めて年度で4~5回。	17
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>①長年カフェを共同開催してきた関係機関との話し合いの中で、認知症の方が外出しても安心して帰って来れる取り組みとして、自宅近位の行く可能性のある行き先への搜索依頼の活動を開始。(2023年~)</p> <p>②カフェの来所者から、「認知症になったらおしまいだ」という発言が聞かれ、認知症についての現状や、どうあれば安心できるかなどの発信を、認知症当事者と一緒に行う普及啓発イベントをR6年度から開催。現時点で2回連続開催。(2024年~)</p>		<p>①見守り活動：対象になる方および家族に仕組み説明の上、行き先情報を聞き取り、その行く可能性のある店等に趣旨説明し協力依頼。事前に情報をお渡ししておき、本人が見当たらない時に連絡をもらい搜索依頼を行うもの。行きつけの特定の店舗等にしか情報開示しないのが特徴。</p> <p>②普及啓発活動：毎年度、認知症当事者に趣旨を説明し登壇調整。一般市民にはマリーゴールドの植栽ボラを募ることから始めている。イベントの中では当事者発信の他、認知症サポーター養成講座や、市の取り組み等の案内、当事者の活動の紹介等を行っている。</p>		<p>①見守り活動：相談ケースの中で、この取り組みの案内を行い希望される方に、上記流れで、情報作成。各行先対象に協力依頼。本人が見当たらない時に家族から包括や関係者に連絡をもらい、協力先に近位に居ないか確認の搜索依頼。</p> <p>②普及啓発イベント：チームで、当該年度、どのようなことを行うか打ち合わせて担当決めの上、各調整、準備を行う。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	おたがいさまの家(認知症サポーターがいる家として『おたがいさまの家』ステッカーを作成し、自宅門扉に掲げる)	14	2022		定例会「認知症を思う会」2ヶ月に1回(包括主催)、通信発行:2ヶ月に1回(包括が発行)	32
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>「認知症版ピーポ君の家」。2019年頃から認知症を思う会の中で、認知症サポーターとして地域で何ができると話し合い、「私たちは認知症のことで相談してほしい、協力したい」という意思表示として、ピーポ君の家のように家にステッカーを掲げようということになった。2022.3.12片倉台ステップアップ講座受講者への勧奨からスタート。</p>		<p>自宅門扉に「おたがいさまの家」ステッカーを掲げる。小学校での認知症サポーター養成講座にボランティアとして参加。搜索もぎ訓練にボランティアとして参加。</p>		<p>ステップアップ講座受講者に勧奨を行っている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	認知症カフェ かふえゆぎの手伝い(お茶出し・話し相手など)	10	2026		1 未定	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症カフェの会場を検討中に、地域内の介護事業所から事務所を地域の方の活動に活かしたいとスペースの提供・協力が得られた。その後、認知症の方も含めた地域の居場所づくり認知症カフェの担い手として、認知症サポーターへ呼びかけを行い、支援ができる方に手上げをしてもらった。当日は、カフェの担い手として活動。</p>		<p>参加者が楽しいひと時を過ごせる様に、お茶出し、話し相手等の対応</p>		<p>開催の経緯及び当日の支援については、メールで案内し活動参加者を募る。その後活動可能な方には当日会場設置から参加して貰い、カフェの担い手として参加。今後について、頻度やどの様に開催をしていくか等は、認知症サポーターと共に改めてふりかえりを実施し、今後については共催した事業所も踏まえて検討していく予定。</p>		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	いずみ・にじいろDカフェ(認知症カフェの企画運営)	10	2024		4 1回/月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>包括主催で認知症カフェを開いていた時にサポーターとして手伝ってくれていた方々。自分の自宅近くで認知症カフェをやりたいとのことで2名が中心となりスタートした。その後更に2名が加わり現在は計4名で企画運営をしている。また、場所の提供をしてくれている認定こども園も協力している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの企画運営 ・参加費の管理と飲み物、お菓子の提供 ・企画があるときは準備や進行 		<ul style="list-style-type: none"> ・本人が希望すれば活動に参加できる。 ・認知症サポーター養成講座、認知症ステップアップ講座を必要に応じて受ける。 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	おかえり喫茶×にじいろDカフェ(認知症カフェの企画運営)	10	2024		4 1回/月	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>包括主催で認知症カフェを開いていた時にサポーターとして手伝ってくれていた方。自分の自宅近くで認知症カフェをやりたいとのことで1名が中心となりスタートした。会場となるコミュニティサロンでは「ふれあい・いきいきサロン」が開催されており、サロンの代表者やボランティアなどが認知症カフェへ協力している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・お昼の時間帯に活動しており、昼食の提供がある。(スーパーなどのお弁当など)配膳の準備や後片付けなどを参加者の中で特に認知症をお持ちで希望がある方をお願いしている。 ・活動内容は決まったものではなく、体操やクイズや歌などのレクリエーションをしたり、認知症に関する情報共有をしたりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・本人が希望すれば活動に参加できる。 ・認知症サポーター養成講座、認知症ステップアップ講座を必要に応じて受ける。 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	こころ歌inまつまる	11	2025		3 2回/月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>引っ越してきてまだ間もないが、自分たちが高齢となり、人とのつながりが大切であると考えている。誰もが気軽に参加でき、話ができるような場所を作っていきたいと相談あり。</p>		<p>歌の会の後のおしゃべり会。(今後認知症カフェにしたい)、日時等のお知らせや、会場までの支援</p>		<p>認知症当事者の発表会にて、別な日にそれぞれ認サポを受けた方たちが見似てきており、推進員が気が付く。互いに歌の会のメンバーだったこともあり、自分たちでも何か活動ができないか相談があり、まずは歌の会の後、有志で集まり認知症カフェ立ち上げにむけておしゃべり会を開催している。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
清瀬市	ぶらっと認知症カフェ	10	2025		7 年3回程度	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症カフェイベントを行うにあたり、その地域に住むチームオレンジのチーム員に参加を依頼した。その後、同じ地域に住むサポーターの参加につながった。</p>		<p>イベント的に認知症カフェを開催。前半は、認知症をテーマにした講話等を行い、後半は茶話会を行っている。カフェ開催時の受付や参加者の話し相手、イベントの打合せにも参加している。</p>		<p>ステップアップ講座受講後、希望者はチームオレンジ清瀬にチーム員登録を行う。その後、ボランティア等で協力して欲しい事業等があった場合にチームオレンジコーディネーターから声かけをして参加してもらった。</p>		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
清瀬市	チームオレンジ清瀬 中清戸オレンジハウス	1	2022		4 週 1 回	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>チームオレンジ活動開始のために、ステップアップ講座終了後に市が参加者に呼びかけをし、希望者とグループワークを重ね、チームオレンジの活動を考えていった。そのなかで、拠点となる物件の発見、会の会長・副会長の選出などを必要に応じ決めていった。</p>		<p>週 1 回(毎週木曜日)10時から 15 時までサロンを開いている。 ・当事者中心に話をする(本人ミーティング)。 ・音楽演奏や歌を歌う。 ・近くの障害者施設の一角を借りて畑で野菜作り。 ・お誕生会(月 1 回) ・クリスマスのミニ音楽会 ・納涼会(昼食会) その時参加している人の得意な事や好きなことを取り入れてプログラムにしている。 また、家族同士で話ができるよう部屋をわけて活動ができる。 定例の活動以外に、お花見や秋の紅葉散策、チーム員さんの持っている畑での収穫体験なども行う。 月 1 回のチーム員ミーティングを実施。</p>		<p>市で行うステップアップ講座受講後、希望者は「チームオレンジ清瀬」のチーム員に登録。その上でそれぞれのチーム員のペース、都合で活動をしている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
立川市	オレンジドア@たちかわ ・認知症診断前後の不安や悩みを抱えるご本人の相談窓口 ・認知症本人が相談員を担う、ピアサポートの場	1	2023		1 1回/2か月	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>オレンジドア@たちかわ代表の活動希望を認知症地域支援推進員が拾い上げたのがきっかけ。当時、代表は他市のオレンジドアの副代表を務めており、認知症地域支援推進員も何度も視察を重ねていたが、活動の方向性の不一致から当市オリジナルのオレンジドアの開催を目指すこととなった。第一回開催時より、ステップアップ修了生に協力依頼をし、受付など手伝ってもらったところからはじめた。</p>		<p>現在では、受付(名札貼り)・会場設営片付け・ピアサポートの場に入る・会話内容の記録まで担って頂いている。</p>		<p>認知症サポーターステップアップ修了生の活動連絡会時に、オレンジドア@たちかわの活動紹介及び協力依頼を行っている。その際、連絡会でのプログラムを通じて地域担当の認知症地域支援推進員とのつながりを持ち、必要に応じてボランティアの登録やそれに付随した保険の登録をさせていただいている。オレンジドア開催時には、認知症地域支援推進員を通じてステップアップ講座修了生へ参加確認をしている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
立川市	「認知症サポーター養成講座」の開催協力 ・小学生向けの認知症サポーター養成講座において、地域に住む高齢者という立場という視点で協力	8	2020		10 約15回/年	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーターステップアップ講座受講後、活動意向のある方へ認知症地域支援推進員より働きかけし、協力を依頼している。</p>		<p>・子どもたちに実際の声かけを体験してもらう時の認知症高齢者役を演じてもらう。 ・自らの「古い」の体験を発信してもらう。 ・認知症に関連する絵本の読み手となってもらう。 上記の事を中心として、各講座に応じた役割を依頼させていただいている。</p>		<p>認知症地域支援推進員よりステップアップ修了生へ協力打診→(協力可能であれば)日時や場所についてお伝え→(必要に応じて)打合せ・練習→本番</p>		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
稲城市	オレンジwithいなぎ	1	2025		3月2・3回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市主催ステップアップ講座受講者への受講後の声掛け		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェへの参加 ・市の認知症施策事業への参加 ・包括で行う簡易認知症検査での話し相手等 		<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ講座受講後に希望により参入 ・それぞれの地域にてニーズに応じて予定が合う活動に参加 ・3か月に1度報告会(認コデ同席) 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
武蔵村山市	チームオレンジむさしむらやま	1	2021		3 不定期開催	19
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座を行い、その修了者が中心となって認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組みである「チームオレンジ」を推進した。		現在の活動は、チームオレンジに協力依頼等が入ったらチーム員へ連絡し、参加できる方が参加している。活動内容は、オレンジカフェ等の受付のお手伝いや「かいごかるた」づくりなど。		包括支援センターより認知症事業の支援者募集依頼があり、高齢福祉課よりチームオレンジ員に募集の通知、参加者の取りまとめを実施し、包括支援センターへ報告する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
昭島市	認知症サポーターの会 ※令和8年2月24日名称変更予定	14	2025		3月1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和2年度より認知症サポーターの活躍についてキャラバン・メイトと共に検討してきた。認知症支援に携わる関係者の協議体と協働しながら、令和4年度より市に登録をした認知症サポーターを招き入れ意見交換を重ねる。地域で活動をするにあたり身近なサポーター同士の関係を深めながら、令和5年度には市内5か所に設置されている地域包括支援センターの担当地区ごとに勉強会を実施。徐々にお互いの顔が見えるようになり、勉強会をしてきたことをどのように地区に落とし込むのかを考えた意見があがった。介護者への支援がひいては本人の生活の質の向上につながることや、手助けや知識だけではなく地域での信頼関係や繋がりが重要というところに行きつき、地域で何ができるかという主体性が芽生えた時期でもあった。一方で、これまでは「支援する側として何ができるか」に焦点をあてていたことに気付く。支援に対する意欲の高さ故の流れではあったが、本人不在のなか進めてきた結果として振り返りを行った。令和5年度末の全体会として初めて当事者を招き、インタビュー形式の講演会と交流会を実施。本人と対話し認知症は特別なことではないことを身近に感じる事ができた。本人の能力や人格が尊重され、活躍できる場があれば自信につながるのではないかという意見が出た。		<p>勉強会 会の名称を考える 他の自治体の取組について共有 認知症に関する現状と課題・市の施策の共有 偏見について 当事者の方への声かけについて(ロールプレイ) 活動のふりかえりと今後について考える</p>		認知症サポーター登録のある活動の希望のある方に通知し、行政が場の提供をし勉強会や意思確認をしてきた。年に1度、全体会を開催し新規活動希望者を募る。		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東村山市	認知症の方も一緒に活動しているサロン (チームオレンジ)	1	2023	10	月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症のかたに声掛けしながら一緒に活動していたが、地域包括支援センターの生活支援コーディネーターからの働きかけでチームオレンジとなった。		椅子に座ってできる体操、おしゃべり等。マンシヨンの集会室で活動している。		一緒に活動希望の方は団体代表者まで連絡を入れる。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青梅市	ゆいまーる	10	2025	5	年2回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和5年に「認知症カフェゆいまーる」を立ち上げ後、継続的に参加していた認知症当日車への対応方法についてスタッフや他の参加者に戸惑う様子があった。これを契機としてスタッフ向けに認知症への理解を深めるために認知症サポーター養成講座およびステップアップ講座を開催し、修了者と同カフェ開催の手伝いや当事者の話し相手になるなどの協力をして貰うこととなった。		認知症カフェゆいまーるの手伝い ・受付や飲み物の注文取り、飲み物提供など ・認知症当事者の話し相手 ・地域の人への同カフェ周知の協力		活動拠点を設け、地域包括支援センター職員、介護施設職員、ボランティアスタッフが協力して運営。 参加者は飲み物代としての参加費を負担。最寄り駅から活動拠点への参加者の送迎あり。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
青梅市	ひだまりサロン	1	2025	7	週1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
代表者が認知症の家族の介護をきっかけに、認知症予防について学ぶために勉強会へ参加し、サロン「ひだまりサロン」を開設。令和7年7月に代表者が認知症サポーターステップアップ講座へ参加したことをきっかけに「チームオレンジひだまり」としてチームオレンジ立ち上げに至った。		サロン、講座の開催(レクリエーション、ストレッチ運動、モノづくり) カフェの開催		活動拠点を設けてサロン等を実施。参加者は茶菓子代として参加費を負担。支援スタッフによる会場への移動支援あり。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八王子市	認知症カフェからサロンへの移動支援	4	2024		月1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
毎週、認知用カフェに来ているサポーターが当事者たちと毎週関わる中で、認知症が進行し、当事者たちだけで目的に行けない状況を感じたことから自然発生したものの。		毎週実施しているカフェ終了後に、同会場で参加者と共にランチをとっている。また、月1回、別のサロンへ出かける際には、参加者をサロン会場まで引率し、同行する形で支援を行っている。		特になし		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
国分寺市	らくだのつばやき	11	2021	11	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
不明		認知症の方とその家族、関心のある地域の方々のほっとできる集いの場		話したくないときは無理に話をする必要はない、プライバシー保護の観点から口外しない、出入り自由		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
国分寺市	チームオレンジえん	14	2024		4月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症地域支援推進員が認知症サポーター養成講座の受講者や介護予防体操参加者に声をかけて活動開始		認知症の勉強会、茶話会、脳トレを兼ねた手芸、歌、口腔体操など		300円を支払い、午前中は認知症の予備知識を聞く、口腔体操の実践、仲間と昼食を外食、手弁当自由、午後からは当事者の朗読、語り、おしゃべりや楽しい作業等。認知症当事者、支援者と分けず、会そのものが地域の仲間として存在し、尊重しあえることを大切にしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
国分寺市	認知種サポーター養成講座、ステップアップ講座	8	2025		4月1回程度	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2年程前と、今年あらたにキャラバン・メイトとなった方がこれからの活動について話し合った際に、目標をチームオレンジの立ち上げとし、いろいろな角度から認知症について学ぼうと考えた		認知症のある方との関わり方を学んでみることや、地域で活動できる場所を見学する、当事者や家族の声を聴く、地域のイベントに出店してみるなど様々な企画があがっており、今年1月にはバリデーション療法の基礎を学ぶ講座を開催している。		ステップアップ講座のため、参加にあたっては地域に住む認知症サポーター養成講座を受講した人を条件としている。包括が把握している方に直接連絡したり、キャラバン・メイトが知り合いの対象者に声をかけ参加を促している		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
国分寺市	オレンジカフェin坂の上	10	2023		10月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
キャラバン・メイト2名が地域の居場所づくりとして活動を始めた		歓談・体操など		特に申し込みは不要。第三木曜日に固定した場所で開催ということで皆さん参加されている		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
国分寺市	びいだまオレンジカフェ	10	2023		4月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
キャラバン・メイトの発起		オレンジカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
瑞穂町	オレンジエイドみずほ	1	2025		2月1回程度	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座にて町よりチーム発足を提案		ミーティング、オレンジカフェへの参加、認知症に関する普及啓発のためのPR活動、講演会の開催		ステップアップ講座受講者へチームのついて案内し希望者が参加		

別紙1 <東京都>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
瑞穂町	認知症サポーターステップアップ講座	8	2019		3年1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
講義だけでなく実際のステップアップサポーターの体験を交えることで参加者の理解の向上につながると考え町からステップアップサポーターへ協力を依頼		15～20分程度自身の活動の体験談を共有してもらう		町から講師依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
瑞穂町	オレンジカフェへの参加	10			月1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座やチームオレンジのミーティングにて町や認知症サポーターからオレンジカフェへの参加を呼び掛ける		準備、片付けの手伝い、参加者の話の傾聴、レクリエーションへの協力		特になし		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大島町	認知症サポーター養成講座	8	2006		9年2回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
不明						

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日の出町	「認知症 高齢者にやさしいお店」登録	7	2019		10 通常の営業日・官学連携事業への協力(年1回程度)	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
役場認知症地域支援推進員より「やさしいお店」登録をPR。認サポ開催日を参加し易い日程で調整。		店舗や事業所に「高齢者 認知症にやさしいお店」ステッカーを貼付。町の認知症関連取組に関するポスターを掲示。日常業務の中でやさしい配慮、困っている人を見かけた際の配慮や通報、保護を可能な範囲で依頼。		資料別添		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日の出町	認知症カフェ協力員	10	2016		10 2ヶ月に1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政主催で認知症カフェを立ち上げた際に協力員(ボランティア)を募集した。認知症のある人本人へは、認知症支援推進員より声掛けした。		カフェ開催日の会場準備、受付や途中のお茶準備、参加者との会話、配布などの対応、片付け。		協力者を行政担当課で募集。登録申請書、ボランティア保険加入を推奨。認知症支援推進員が、開催日前に協力員を調整。町の行政カードボランティアポイントを付与。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<神奈川県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
18	7	0	1	0	1	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	4	4	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
18	15	5	7	7	1	3	6
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	6	0	0				

別紙1 <神奈川県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
座間市	チームオレンジ	1	2025		4 不明	36
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域での見守り、外出支援を目的にチームオレンジとして活動していく。		メンバーは日常的に見守り活動を行っている人たちのため、その内容や今後の活動について具体的に検討している。(認知症の人の居場所支援、社会参加支援、普及啓発等)		担当包括を通して、チームオレンジのメンバーとなり、活動していく。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
座間市	認知症カフェ(マリーカフェ)	10	2024		8 1回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
包括が認知症カフェを立ち上げる際、オレンジパートナーに声をかけ、希望者が活動している。		<ul style="list-style-type: none"> ・周知 ・傾聴 ・会場設営 ・飲み物の準備 ・イベント(歌やミニ講座)開催 		オレンジパートナーのうち、希望者は担当包括に申し出る。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
座間市	昼食時の見守り	5	2025		12 サポーターが可能な頻度で	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市内介護事業所より、見守りボランティアが不足しているとの申し出があり、活動できるサポーターを募った。		主に事業所利用者の方が昼食時の見守り・声かけ等		市でオレンジパートナーに登録した方のうち、活動に希望がある方		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
座間市	認知症サポーター養成講座	8	2018		4 1回/月程度	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
神奈川県に要請されたオレンジパートナーの活動支援として始めた。		<ul style="list-style-type: none"> ・キャラバン・メイトでもあるサポーターが講座の一部を担当 ・事例を寸劇で実施 ・会場設営、片付け ・講座の周知 		サポーターさんのうち、実際に活動希望がある人を市がオレンジパートナーとして登録し、年度初めにその年の認知症サポーター養成講座での活動希望を聞いている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	おしゃべりカフェ	10	2022		4 月1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
オレンジカフェの立ち上げ		オレンジカフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	比々多ミニサロン	1	2022		4 月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ミニデイサロンの立ち上げと参加者の高齢化		茶話会を中心とした交流				

別紙1 <神奈川県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	中部包括支援センター地域住民(名称未定)	11	2024	4	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人や家族を対象とするサロン等の企画		包括支援センターが運営する認知症の人や家族を対象とするサロンの実施協力				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	リバティカフェ	10	2024	4	月1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターが運営するオレンジカフェへの参加、活動協力		地域包括支援センターが運営するオレンジカフェへの参加、活動協力				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	花の会	1	2022	4	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の植樹の世話をしている団体会員の高齢化に伴い、日常的な見守りが会員間で必要になったため		地域の植樹の世話をしつつ、日常的な見守りを会員で実施				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	ミニミニコグニサイズ	11	2022	4	月1回	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
体操やコグニサイズを行っている団体。会員の高齢化に伴い、日常的な見守り等が必要な会員が出てきたため。		体操やコグニサイズを行っている団体。会員の日常的な見守り等。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	のんびり百歳体操	1	2024	4	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
百歳体操を行っている団会で、会員の高齢化に伴い見守り等が必要な会員が増えてきたため。		百歳体操を行い、会員の見守り等の実施。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	こねこね粘土	11	2024	4	月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
粘土を使って小作品を作成している団体。会員の高齢化に伴い見守りを要する会員が増えてきたため。		粘土を使って小作品を作成。会員の見守り等を実施。				

別紙1 <神奈川県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	トロの会	1	2020	4	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
有志で散歩の会を運営。会員に認知機能が低下し1人で外出が不安になった方がいたため、活動を拡大。		散歩と会員の見守り支援。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢原市	ほっとサロン	11	2023	4	月1回	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ミニデイサロンの立ち上げと参加者の高齢化		茶話会を中心とした交流と会員の見守り				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大和市	認知症の本人が好きな裁縫などを通じての人との交流	1	2025	8	月2回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
家で一人で過ごす時間が多くなっているの、好きな裁縫を通じて色々な人と交流できないだろうかと、本人と家族の思いから、サポーターがその思いに応える形で活動開始。		協議体の拠点を借りて活動。これまで、キーケース、スマホホルダー、ドリンクホルダー、クリスマスリース等を作っている。合間にお菓子を食べながら、互いの近況報告や昔話等をし、和気あいあいとしながらその時間を楽しんでいる。		月2回、第1・第3月曜日の10:00～12:00を活動日と設定。各自、拠点へ集合。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大和市	傾聴ボランティア	3	2025	1	月2回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
話し相手を求めている独居高齢者の願いを叶えるべく、サポーターが自宅へ訪問する形で傾聴ボランティアを開始。		自宅へ訪問しておしゃべりを楽しむ。		月2回、第2・第4金曜日の10:00を訪問日と設定。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大和市	オレンジカフェのサポート(地域包括支援センター主催)	10	2025	4	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座受講後、地域包括支援センター職員の誘いで活動開始。		開催前の準備・片付け、話し相手、作品作りの手伝い、ゲームの記録・採点、参加者の送迎		月1回、第2土曜日13:30～15:00を活動日と設定。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
二宮町	認知症サポーターのつどい	1	2023	4	2か月に1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座の受講者から、自分たちに何かできないかと相談があったことを契機に、令和3年度から認知症サポーターのつどいを開催。		日常生活の中で地域の人の見守り、ステップアップ講座への参加、認知症カフェのお手伝い、認知症講演会での普及啓発(ロバ隊長づくり・配付等)		認知症サポーター養成講座受講者から、参加申込の連絡をいただく。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』〈山梨県〉

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
12	2	0	1	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	4	0	4	0	0	0	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
12	7	7	7	8	1	8	7
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	8	0	2				

別紙1 <山梨県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
都留市		8	2009		3 不定期	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
都留市		8				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南アルプス市	チームオレンジの活動	1	2021		1 週1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
個別ケースの相談から、地域への働きかけが必要となり、中心人物となる認知症サポーターに働きかけたところ、既存の活動をしている所がチームオレンジとなった。		週1回の百歳体操を通して、認知症の人や家族とともに楽しめる活動を行っている。		希望があれば活動へ自由に参加できる。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南アルプス市	オレンジパートナーの活動	3	2024		11 月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
実際に地域で活動できる認知症サポーターを育成するため、認知症サポーターステップアップ講座修了者を「オレンジパートナー」として登録。公的サービスで担えない支援の希望があった方へボランティアとして支援することとしている。		月1回認知症の人と家族の話をきく傾聴ボランティアとして活動がはじまっている。		市主催の認知症サポーターステップアップ講座を受講し登録。支援希望者とボランティアを市でマッチングして活動。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南アルプス市	認知症サポーター養成講座の開催	8	2013		4 年約20～30回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
キャラバン・メイトの資格を取得した市民が市へ講座開催について相談。市民や関係機関に働きかけ、講座が開始。		地域のサロンや民生委員、学童、小学校、高校、企業等で認知症サポーター養成講座を開催。		市へ講座の依頼があった際にキャラバン・メイトへ働きかけ活動。もしくはキャラバン・メイトから市へ講座の内容を報告・相談し開催。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南アルプス市	認知症カフェの開催	10	2016		場所により週1回や月1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
家族会や社協OG、市民、事業所がそれぞれ認知症の人や家族も一緒に楽しんだり、居場所になる場をつくりたいと活動開始。		月1～2回や週1回、認知症サポーター(カフェスタッフ)が主となり、工夫して様々な活動を取り入れながらカフェを開催している。		認知症サポーターは自由に活動に参加できる。		

別紙1 <山梨県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大月市	チームオレンジさるはし	1	2025	12	月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>全市町村で令和7年度にはチームオレンジを整備する目標が掲げられ、既存のオレンジカフェを活用することとなった。オレンジカフェのもの作りでも自然とやり方を互いに教え合ったり、雑談の中で困り事の相談や情報交換が出来ているため、チームオレンジとして活動の継続、併用することとなった。</p>		<p>認知症の方やその家族、地域の方など誰もが気軽に集い、お茶を飲みなが交流し、会話や活動を楽しく行う。</p>		<p>毎月、第4土曜日に参加費200円で、市内在住の方なら誰でも参加でき、希望があれば送迎もしてくれる。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大月市	オレンジカフェさるはし	10	2024	9	月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>コロナの流行により、中断されていたオレンジカフェは、協力していただける居宅介護事業所を新たにお願いして開始することが出来た。</p>		<p>認知症の方やその家族、地域の方など誰もが気軽に集い、お茶を飲みなが交流し、会話や活動を楽しく行う。</p>		<p>毎月、第4土曜日に参加費200円で、市内在住の方なら誰でも参加でき、希望があれば送迎もしてくれる。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
甲斐市	チームオレンジ けやきカフェ	10	2025	4	月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括が直営として、月1回認知症カフェを定期開催し、本人・家族・地域住民が交流する場において定着していたが、「相談はあるが継続支援に繋がらない」「認知症サポーターとして活動の場が少ない」等の課題があった。「本人のやりたいことを具体的に叶えていきたい」という声もあり、2019年の認知症施策推進大綱を機に、市の包括より認知症カフェを基盤にチームオレンジを発足していくことを提案した。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・家族の相談対応 ・レクリエーション ・運動・体操 ・口腔機能教室 		<ul style="list-style-type: none"> ・市が中心となり、立ち上げ準備を行い、困りごとの確認を行った。 ・チームオレンジのメンバーに向けてステップアップ講座を実施した。 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
昭和町	オレンジガーデニングプロジェクトへの参加協力	14	2025	4	不定期	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>一般住民の方でキャラバンメイトになってもらえる方が少なく、サポーターバンク登録者にも気軽に参加してもらえる活動を増やしたいと考えた。</p>		<p>オレンジガーデニングプロジェクトは2022年から開始。お花を植える取り組みや、造花でオレンジの花をいっぱいにする取り組みを行っている。官民連携も意識しており、協力事業所も募って地域内にオレンジのお花がいっぱいになるよう推進。住民の方(サポーター)を巻き込み始めたことで、認知症に関心を持つ人の輪を広げていきたいと考えている。</p>		<p>登録サポーター全体へ活動呼びかけ通知発送(年1回)→希望者が活動に参加</p>		

別紙1 <山梨県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
昭和町	中学生向け認知症サポーター養成講座	8	2015		年1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中学生に、地域の異世代を知ってもらおう機会にしたいとの思いがあり、教育現場とそのニーズが合致して10年以上前から継続実施。2025年度からは、主体を行政から認知症伴走型支援拠点のキャラバンメイトへ移して開催している。		町内に1つある中学2年生を対象に、中学生向け認知症サポーター養成講座を実施。その中で本人の言葉の代読や、ロールプレイの役者さん等の役割を担ってもらっている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
市川三郷町	ほっこりカフェ市川三郷	10	2017		6月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の母の介護をしていた地域のリーダー的存在の女性が、地域でNPO法人を立ち上げ、子どもから高齢者までが交流しながら、つながり、地域の中で元気に自分らしく暮らしていけることを目指し、さまざまなボランティア活動をはじめた。その後、その女性が、認知症サポーターおよび認知症キャラバンメイトとなり、認知症当事者やその家族等が気軽に集え、安心して過ごせる居場所を地域につくりたいとの思いを抱いた。その女性が、各地区の認知症サポーターや認知症キャラバンメイトの仲間たち、町地域包括支援センターや社会福祉協議会等に声をかけ、認知症カフェ立ち上げに向けた準備を進めた。話し合いを何度も重ね、準備を進めた末、その女性が理事長を務めるNPO法人の拠点を利用し、町のふれあいいきいきサロンとして、町内で初めてとなる認知症カフェを開設するに至った。		参加者の声を聴き、レクリエーションや運動、おはなし会や歌をうたう等のイベントを企画し、誰でも参加しやすいオープンな形で開催している。イベント終了後は、参加者間でお茶を飲みながら交流したり、認知症啓発のための取り組み(制作活動等)を行う等の活動を実施している。		<ul style="list-style-type: none"> ・町の認知症関連事業やイベントでチラシ配布や紹介等、さまざまなPR活動を行い、認知症カフェについて広く普及啓発している。これらの普及啓発活動により、認知症カフェに興味をもった方から、参加申込みや相談があり、活動につながっている。 ・地域の認知症サポーターや認知症キャラバンメイト、その他の地域住民、地域包括支援センターやケアマネジャー等の介護専門職等が関わっているケースについて、認知症地域支援推進員に相談があり、対象者を認知症カフェの参加につなげている。支援および共生できる資源として、認知症カフェを活動している。 		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<長野県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
5	0	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	1	2	0	1	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
5	3	2	2	4	0	2	2
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	1	0	0				

別紙1 <長野県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
須坂市	認知症カフェでの参加者との交流、地域資源や相談先に関する情報提供	10	2024		5月1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
サポーター自身が介護をされており、参加し始めた。		認知症カフェでの参加者との交流。認知症の人やその家族の話聞き、自身の経験や養成講座での学びをもとに、安心できるような声掛けをしている。必要に応じ、地域資源や相談先を情報提供している。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
駒ヶ根市	認知症サポーター養成講座を受講後、パートナー登録して頂いた方が、認知症本人のパートナーとなり、お二人で本人ミーティングへ参加下さる。	12			月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		本人ミーティングの協力、本人の送迎		流れ・スキーム等は特になし。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
佐久穂町	新しい認知症観の普及・啓発	8	2011		4年2～3回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
介護保険計画にて認知症の啓発についてうたわれており、地域の医療・介護事業者や住民組織で構成される高齢者支援委員会が主体となって、若い年代も含む形で認知症への理解を広めようと、サポーター養成講座を開催し始めた。		町内の小中学生、民生児童委員協議会、希望する地域サロンの参加者へ、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症と一緒に生活していくことについて考える機会としている。		<p>実施団体より依頼があった時点で開催日を調整。開催日に参加できるサポーターを確認。当日の役割分担は事務局(包括)で原案作成。メールやフォームを利用し情報共有や出欠確認を行う。</p> <p>当日の流れ ①なぜ認知症について学習するのか、サポーターの意義とはを説明 ②スライドを用いて、テキストの内容を学習 ③寸劇、動画の視聴を行い、テキスト学習の内容もふまえてグループ・ディスカッション</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
佐久穂町	認知症予防カフェへの参加	9	2014		4月2回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症予防として出かける場所がほしいという意見があった。町内には別の集まりの場がある中で、おしゃべりだけではなく手作業を同時に行うというコンセプトで実施している。		クラフト作品の制作やゲームを、おしゃべりしながら実施。		<p>開催日と開催内容は広報誌を通じて周知。参加予約は不要で、来たい時に来たい人が参加する仕組み。サポーターは把握しているが、その日に来られる方が来る仕組み(包括支援センターからは必ず1名は参加)。</p> <p>当日の流れ ①挨拶 当日の活動の確認 ②制作かゲーム、一緒にその時々話題を話す。話しているだけ、作業しているだけにならないように声掛け。 ③終了 次回の確認 作った制作品は、年度末の高齢者・障害者の共同作品展に出品。</p>		

別紙1 <長野県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
高山村	ほっとカフェ	10	2017	1	月1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>もともと行政が介護者支援・介護相談の場として開催していたカフェを、共生社会の実現という考えのもと、認知症の本人、家族、地域住民などなたでも参加できるカフェとし、認知症サポーターにもボランティアをして協力していただきながら開催することとなった。</p>		<p>月1回(毎月第3火曜日の午後)集まり、参加者同士で交流している。活動内容は参加者からのアンケートをもとに年間計画を立てるが、年1回認知症サポーター企画運営する回を設けている。令和7年度は1日ほっとカフェとして午前中から会場を開放し、外出支援の一環としてお昼は外食を楽しんだ。</p>		<p>参加にあたってはHP、広報紙、チラシ等でひろく声をかけ、継続して参加されている認知症サポーターには認知症カフェがチームオレンジとしての機能も果たせるよう地域包括支援センターと企画運営に関する話し合いの場を設けている。</p>		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<新潟県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
12	6	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	2	0	3	1	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
12	12	6	7	10	0	11	11
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	10	1	0				

別紙1 <新潟県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
村上市	認知症を知ろう(認知症サポーター養成講座)	8			月1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政内の認知症サポーターの働きかけによる		・認知サポ開催協力 ・寸劇等(認知症の方への対応等)		講座 ①認知症サポーターキャラバンとは ②認知症の理解について ③接し方・認知症サポーターにできること		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
村上市	かたるんカフェ(認知症カフェ)	10			月1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政内の認知症サポーターの働きかけによる		・認知症介護等に役立つ講座 ・座談会(悩み、情報共有等) ・作業(折り紙、貼り絵、切り絵、塗り絵、工作)				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
柏崎市	チームオレンジ連絡会	1			年2回	0
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市職員、認知症地域支援推進員が中心となって開催しています。オレンジカフェ実施団体や地域包括支援センターが日頃から地域住民との交流があり、認知症サポーター養成講座の開催をしていたので、チームオレンジの登録を行い、発足に至りました。		チームオレンジ登録団体に集ってもらい、認知症に係る活動について報告を行う。新潟県オレンジプロジェクトの実施状況や詳細、オレンジカフェ運営に関しての工夫などの意見交換を行っています。		団体からの申し込み→登録→各団体での活動→チームオレンジ連絡会で活動報告・情報共有→新たな活動団体や資源の開拓		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
柏崎市	認知症サポーター養成講座	8	2008		9年15回	0
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市内の高齢化率上昇に伴い、認知症の方の増加が見込まれ、正しい知識や理解を地域住民に広める目的でスタートしました。認知症サポーター養成講座は、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター職員、市職員の中でキャラバンメイトや認知症サポーターの方を中心に講座の依頼があった際に対応しています。		認知症サポーター養成講座の計画と講師の依頼 アンケート集計 講座資料の作成 県のホームページに掲載する場合やオレンジロバ、ステッカーを希望される場合の申請(新潟県では認知症サポーターのいる企業、団体、学校に対し、希望する場合のみ、ホームページ掲載やオレンジロバ、ステッカーを配布しています。)		認知症サポーター養成講座の申し込み→打合せ→計画・立案→開催→アンケート集計→報告		

別紙1 <新潟県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
柏崎市	市認証オレンジカフェ	10	2015	5	月1回	0
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症地域支援推進員が地域との交流をきっかけにオレンジカフェとして活動できそうな団体にお声がけしました。オレンジカフェの立ち上げの相談や継続して実施できるよう支援しています。</p>		<p>オレンジカフェの登録と認証 オレンジカフェで参加者から相談があった場合の対応と協力 市ホームページで開催周知 市内介護事業所、地域包括支援センター、病院にメールにて開催周知 開催時に地域包括支援センターの職員に参加協力依頼</p>		<p>オレンジカフェ登録申請→認証→オレンジカフェ開催計画書提出→関係者に周知(市ホームページ更新)→地域包括支援センターに協力依頼→開催→反省・情報共有→報告書提出</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
魚沼市	オレンジの庭・オレンジカフェ	10	2021	5	5月～10月 週1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>当事者・家族とカフェを行う中、一緒に活動に取り組みたいと考え、アルツハイマー月間にオレンジ色の花(マリーゴールド)を咲かせようと、当時支援していた認知症当事者を通じ、事業に賛同いただいた地域の方から畑を借り、当事者・家族(5人)と推進員(2名)で花づくり(オレンジの庭)を始めた。</p>		<p>・開始当初は、不定期開催であったが、昨年度より、5月から10月の間、毎週火曜日、9時から10時半に開催。(第3火曜日は、コミュニティセンターを借り、「オレンジカフェ」を開催。 ・今年度は、当事者・家族、地域住民(民生委員含む)、集落支援員、介護保険事業所、キャラバン・メイト等、多くの方に参加いただいた。 ・オレンジの庭 18回開催 参加者(延べ)146人 ・オレンジカフェ 6回開催 参加者(延べ)64人</p>		<p>・令和3年 個別支援で関わっていた方を通じ、当事者・家族と一緒に花づくりを開始。 ・令和4年 キャラバン・メイトが参加。 ・令和5年 介護保険事業所や地域の方が参加。 ・令和6年 地区への案内。 ・令和7年 開催について市報掲載(年1回)。(当事者・家族の活動の場、交流の場として開催) ・今後、参加している当事者の声(希望や意向)を聴き、「やりたいこと」に一緒に取り組んでいきたいと考えている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
魚沼市	チームしぶかわ	1	2025		日頃の見守りの他、不定期開催	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容	活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
<p>・7～8年前に地区の独り暮らしの認知症の方の支援に入った際、区長や民生委員、親族や協力いただける方(6人)に認知症サポーター養成講座を行い、見守り支援をお願いした。(その後、対象者は施設入所となり支援終了となった。)</p> <p>・その後も地区での声かけ訓練開催に向け、地域への働きかけを行い、令和5年に地区での認知症サポーター養成講座・声かけ訓練を実施。</p> <p>・令和6年に一人暮らしの認知症の方の支援を行うにあたり、チームオレンジのモデルケースとして、本人・家族、介護保険事業所、地域、関係機関と連携し支援にあたり、令和7年5月の情報交換会の際に正式にチーム発足。</p> <p>・当事者が不在となっても地域の見守り支援体制が続けられるよう、会の参加者で話し合い、「チームしぶかわ」とした。</p>		<p>・地域の方には、普段からのさりげない、見守り協力をお願いした。</p> <p>・情報交換会にて、本人に意向や希望を直接語ってもらい、参加メンバーで共有。</p> <p>・本人の意向や希望の実現に向け、「やってみよう!」と。</p> <p>・「家に一人でいると、つまらない。」⇒地域の茶の間へ</p> <p>・「(元大工さん)材料準備すれば、作るよ。」⇒看板づくりへ</p> <p>・「畑の野菜が取れたら、収穫祭でもするかね」⇒サツマイモ掘りへ</p> <p>・チームのファシリテーターである推進員の方でチームメンバーに声かけしたところ、(当事者も含めた)チームメンバーが集まり、7月に看板づくり(参加者:9名)、10月にサツマイモ掘り・収穫祭(参加者:9名)を行った。</p> <p>・メンバーの自主的な参加や協力を通じ、思いがけない展開につながった</p> <p>(例)</p> <p>①メンバーが当事者を地域の茶の間(月1回)へ誘ったところ、参加。地域の行事にも参加する等、地域住民と交流を図っている。</p> <p>②看板づくりでは、「オレンジの庭」の看板も作成した。その後、「オレンジの庭」のメンバーで看板に色塗りし、完成させた。更には、オレンジの庭のメンバーで9月アルツハイマー月間における県のオレンジプロジェクトに参加した。</p> <p>③サツマイモ掘り後、チームメンバーが収穫したサツマイモを使いスイーツを作り、地域の茶の間に差し入れし、地域の方からお礼の言葉をいただいた…など。</p>				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
佐渡市	ほのぼのカフェ「ひまわり」	1	2022		4月1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容	活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
<p>20年以上前からあった地域の茶の間をもとに、平成25年から認知症カフェとして毎月1回開催している。子育てや勤めが一段落し、これから本格的に地域デビューをしたいという年代の方たちが中心となって、手芸やカラオケ、ちょっとした調理実習をするなど地域の閉じこもり予防と介護予防を兼ねた活動を活発に行っていたが、高齢化やコロナの影響から外に出る機会や参加者が減少している。</p>		<p>・お互いの健康状態を含めて近況報告をして、様々な情報交換をしている。</p> <p>・脳トレコーナー 頭と体を使って楽しく脳トレ</p> <p>・ミニ講話 認知症に関して、ちょっと詳しく学んだり、知りたいことなどを話し合ったりする。</p> <p>・認知症サポーターステップアップ講座</p> <p>・おしゃべりタイム 「昭和の思い出クイズ作成委員会」を銘打って、昔の出来事や流行歌、その時代は何をしていたかなど回想し、参加者のお楽しみコーナーになっている。</p>	<p>地域包括支援センター職員からの紹介や、ホームページを見た方、認知症ケアパスや認知症サポーター養成講座での周知により、参加者を集めている。また、普段参加している地域のボランティアさんが、近所の方を誘い、一緒に参加するケースも多い。</p>			

別紙1 <新潟県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
佐渡市	ほのぼのカフェ「湊きやり」	1	2022		4 月1回	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>両津湊地区で数年前から行われていた地域の茶の間をもとに、毎月1回を認知症カフェとして開催。令和4年度に認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を開催し、令和5年度からはチームオレンジ「湊きやり」として、引き続き認知症についての理解を深める講座を持つようにしている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの健康状態を含めて、近況報告をして、様々な情報交換。 ・脳トレコーナー 頭と体を使って楽しく脳トレ ・ミニ講話 認知症に関する様々なことをステップアップ講座として実施 ・レクリエーション 脳トレも兼ねて昔の出来事を思い出したり、くじ引きで妄想旅行に行ったりしている。 ・健康相談、介護の相談、認知症の相談など 		<p>地域包括支援センター職員からの紹介や、ホームページを見た方、認知症ケアパスや認知症サポーター養成講座での周知により、参加者を集めている。また、普段参加している地域のボランティアさんが、近所の方を誘い、一緒に参加するケースも多い。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
佐渡市	ほのぼのカフェ「姫津ほのぼの会」	1	2023		4 月1回	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>10年以上前からあった地域の茶の間の主催者さんが、認知症サポーター養成講座を受講したことがきっかけで「自分たちの地域でも認知症の勉強をして、お茶の間を活用してこれからは備えよう」と動き出した集まり。「チームオレンジ」として活動できるようみんな認知症の勉強をしている。姫津地区はもとも地域の繋がりが強いという特色があり、それを生かして認知症の方もそうでない方も共に暮らしていける工夫が、この会を通して出来たらいいなとボランティアが主体で実施している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・『認知症かしら?』と近所の気になる人についての情報交換をしたり、なぜそういった行動が起こるのか、こんな時にどういった声をかけたらいいのか…といったことを学ぶ。 ・簡単ストレッチ ・脳トレコーナー ・妄想旅行 		<p>地域包括支援センター職員からの紹介や、ホームページを見た方、認知症ケアパスや認知症サポーター養成講座での周知により、参加者を集めている。また、普段参加している地域のボランティアさんが、近所の方を誘い、一緒に参加するケースも多い。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
五泉市	別所地区チームオレンジ	1	2024		7 週1	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>五泉市地域おこし協力隊が別所地区の地域づくりのためR2年度より集まりを開始。R5年6月で協力隊は終了となったが自主会が立ち上がった。R3年度に認知症の徘徊模擬訓練とサポーター講座を開催。R6年7月にステップアップ講座を行いチームオレンジを立ち上げた。(サポーターである包括支援センターと在介センターが声掛け)</p>		<p>週1回の集まりに認知症の人が参加しておりその人が通い続けられるよう見守り、声掛け、傾聴を行ってきた。</p>		<p>徘徊模擬実施、ステップアップ講座の実施にあたっては担当の村松包括、あたごの里在宅介護支援センターで協力して企画、実施した。認知症の人が利用していた小規模多機能居宅介護や町内会長、民生委員など支援に加わってもらえそうな人に声掛けした。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
湯沢町	アクション農園倶楽部	11	2011		4 週1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>2010年湯沢町で認知症になっても暮らし続けられる地域を実現するため、アクションミートン実施。「認知症の人でもそうでない人も、畑で一緒に汗を流せば元気になるのではないか」という発想から始まった。</p>		<p>畑で農作業、草取り、お茶飲み、収穫したものをみんなでいただく。</p>		<p>湯沢町健康福祉部福祉介護課介護保険係(湯沢町地域包括支援センター)へ問い合わせ。開催日時や場所を紹介。</p>		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』＜静岡県＞

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
27	6	1	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	2	0	14	0	0	1	3

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
27	20	12	13	12	3	14	19
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	12	1	0				

別紙1 < 静岡県 >

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
下田市	認知症カフェの運営 居場所のリーダー	10	2020		4 認カフェ年8回、居場所各月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
規格、とりまとめは自治体担当者。運営はサポーター		認カフェのスタッフ…受付、傾聴		市独自のステップアップ講座を受講後、県のステップアップ講座を受講。翌年からスタッフとして依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島田市	認知症予防カフェ「さんなか+カフェ」の開催	10	2024		4 年2、3回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
数年前より、オレンジカフェを施設内で開催したいとの意向を認知症サポーター(当該施設職員)から法人に対して発信しており、2024年度より施設内の委員会の一つである「地域交流委員会」にて活動を行っていくことになった。		<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェの開催。 ・オレンジカフェでは、①認知症の基礎知識、②寸劇(ロールプレイ)、③体操・フリートーク、④ミニ講話、⑤フリートーク・ティータイム、⑥質疑応答 を基本プログラムとしている。 ・施設職員以外にも、外部講師にミニ講話を依頼し、参加者が知りたい情報を発信できるように努めている。 		別紙「さんなか+カフェ 進行表」参照。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島田市	小学校4年生への認知症サポーター養成講座の実施	8			2～3回/年	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
小学校の福祉教育の一環として、認知症について学びたいとの希望があった。		<ul style="list-style-type: none"> ・寸劇「おばあちゃんどうしたの?」: キャラバンメイトでシナリオを作成し、劇形式で認知症の当事者や介護者を演じ、認知症とはどのような病気かどのような症状があるのか伝えていく。 ・グループワーク: 劇を観て感じたことを参加者で話しあい発表してもらう。 ・認知症とは(パワーポイント): 講義形式で認知症について説明。 ・認知症サポーターとは(パワーポイント): 認知症サポーターの役割についてわかりやすく説明。 		・劇シナリオを添付。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島田市	東町オレンジカフェ	10	2023		6 1回/月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域ケア会議にて東町での認知症カフェ開催について会議し、認知症サポーターが中心になって活動し始めた。		年2回チームロクティ連絡会を開き、認知症カフェの内容等を考えている。		連絡会での話し合いをもとに、月1回チラシを作成し、認カフェ参加者を募るようにしている。		

別紙1 <静岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島田市	オレンジサークル	10	2025		4 年4回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
コロナ禍で認知症カフェが中止となり、地区で認カフェが開催されていないことをきっかけに始まった。		年4回、認知症カフェとして、認知症の人それ以外の地域の一般の方も参加可能で、情報提供や学びを大切に地域交流の拠点の場として開催している。		地域包括支援センターが原案を作成し、チームオレンジ連絡会を年4回、認知症カフェ開催1か月前に会議を開き、認カフェのプログラムの確認、役割分担を決める。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島田市	チーム茶つきり(チームオレンジ)	1	2021		7 1回/月	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
包括が担当している地域にチームオレンジや認知症カフェがなかった。自分たちの地域でも行いたいという想いから参加者を募り始まった。		・認知症カフェの開催(1回/月)運営 ・チームオレンジ連絡会の開催(年2~3回) ・認知症サポーター養成講座の開催、協力、開催以来等周知		・チームオレンジ連絡会にて、1年間の認知症カフェの内容を話し合い、参加するメンバーの担当決め等を行う。 ・認知症サポーター養成講座のアンケートより、活動に参加希望された方に連絡をし、活動参加への声掛けを行っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三島市	チームオレンジとくら	1	2021		4 月6回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成28年6月より代表者等が市の直営認知症カフェでボランティアを開始した。令和3年4月に、市がチームオレンジとして位置付けた				代表者に申し込み		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三島市	居場所カフェカワバタ	10	2023		4 月1~2回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2022年度の認知症サポーターステップアップ講座修了者に向けて、市より働きかけがあり、有志が集まった。比較的、居住地域が近い人同士で目標設定、勉強会や会場探し活動を開始。		活動開始から約1年間の準備期間を経て、2024年2月に第1回イベントを社会福祉会館大会議室にて開催。 その後も、住民を対象としたイベントを2ヶ月に1回開催。 内容は、準備体操、メイン(回想法、ミニコンサート等)、自由時間、合唱等 年に1回、地域の学校の応援部を招いて、世代間交流。 イベントの日は、当日午後反省会を行っている。 月に1回、平日の午前中に、定例会を社会福祉会館で開催。 主にイベントの準備や今後の活動について話し合い。		以下の窓口よりコンタクトをとっていただく。 ①認知症サポーターステップアップ講座での活動紹介 もしくは長寿政策課 ②グループのインスタグラム ③静岡県の公式サイト「ふじのくに むすびば」問合せフォーム ④活動メンバーの紹介 まずは、2ヶ月に1回のイベントに参加していただき、雰囲気を見てもらう。 無理のない活動を目指しているため、参加できる所だけでも可能 (今年度、他の活動と重なり会に出席できないメンバーは、告知物作りで参加)。		

別紙1 <静岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三島市	和の心の輪 歌声喫茶	10	2020	11	月1回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>代表者(特定非営利活動法人・和のころ、理事長)が民生委員・児童委員になり、より深く高齢者と向き合う機会が増えたことで居場所の必要性に気付いたから。</p>		<p>歌(季節やトピックスに合う曲を一緒に歌う)健康ミニ体操(椅子に座ったままでも大丈夫)読み聞かせおやつ時間(日本の歳時記を意識したような『おやつ』。例 ヨモギ団子)健康講話、三島市警察署のミニ講演など。参加者からの出し物(2026.2.19開催の歌声喫茶の中で、『マンボNo.5』をバックで生演奏をして参加者がトランペットや打楽器を段ボールで手作りをして吹く真似や叩く真似で出演する予定)</p>		<p>班を作りお互いに連携がとれるようにしている。おやつ等の買い出し班開催当日の統括者の設置受付班歌声班場内設置班</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三島市	歌声喫茶 たまりば・かど	10	2015	4	週1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>代表者の妻がDLBレビー小体型認知症の介護18年の経験苦勞から介護の悩みについて相談相手が居なく落ち込み悩みを聴いてくれた認知症講座を受け涙ながら話した事で勇気をいただき元気になり、同じ悩みを共有することの大切さがわかり高齢者萬相談室・洗心亭を開設し介護・庭の剪定・水回りや修理等悩める人生相談を始めました。認知症の改善について勉強し認知症改善策リコード法が生活習慣の改善により改善出来るというMCI・OCI認知症予備軍の症状の改善に役立てればと想いが募り、歌声喫茶&ハーモニカ伴奏での唱歌・童謡・懐メロの合唱のセラピー効果と生活習慣改善のリコード法による食生活改善、脳トレ体操、農園作業運動、食べ物の改善等について啓蒙実施した。認知症になっても廻りの理解と楽しく会話が出来るようレシピと推奨緑黄野菜、避けるべき食材等について学び、認知症になっても楽しく過ごせる仲間作りで支え合える共生社会の健康まちづくりに貢献したい。</p>		<p>毎週火曜日 午前10時～11時30分 歌声喫茶&脳トレ体操 11時30分～14時昼食会 主食 白米 カレーライス第3火曜日 主菜 天ぷら 手料理 緑黄野菜 副菜 野菜中心 その他差し入れのめかずけ、その他家庭料理他 14時～片付け 洗い物 14時30分～15時 井戸端会議 終了 会費 600円/人 食材費 その他経費主催者負担</p>		<p>事前に連絡し、予約する</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三島市	個人としての活動	14				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーター養成講座を受講後、まだ活動したい方がステップアップ講座を受講し、それぞれの活動を行っている。</p>		<p>認知症サポーター養成講座の開催、協力市内認知症カフェへ参加し、参加者への助言 認知症家族会への参加、助言 など</p>		<p>活動について情報提供</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
袋井市	かわせみカフェ	10	2016	2	年6回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

別紙1 <静岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
袋井市	ばんしょうカフェあゆみ	10	2017	1	月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		移動式認知症カフェ。専門職による相談や体験				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
袋井市	は一とふるカフェ	10	2016	4	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
袋井市	つながり処「結」	10	2017	4	年6回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
袋井市	おしゃべりカフェ	10	2017	1	年4回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
袋井市	脳活懐歌サロン	10	2025	4	年6回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
菊川市	わんわんパトロール隊	2	2017	4	随時	71
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症高齢者の徘徊等について早期に発見し対応するためには、地域における見守り体制を強化していくことが重要である。そこで市内で犬を飼われている飼い主に、認知症サポーター養成講座の受講を呼びかけ、愛犬と一緒に「わんわんパトロール隊」として認定し、普段から行っている犬の散歩を「地域の見守り活動」の一環として実施してもらうことを目的とした。</p>		<p>・各自「オレンジリング」と「オレンジバンダナ」を着けて、地域の見守りを意識したうえで、普段どおり散歩をしてもらう。基本的には個人ごとの見守り活動とする。 ・散歩の時に気になる人を発見したら、優しく声を掛けるなどして様子を伺い、その人の様子や状況について地域包括支援センターへ報告する。 ・緊急時には、必要に応じて警察署・救急等に連絡をする。</p>		<p>1. 認知症サポーター養成講座開催時に、活動について紹介。 2. 希望した飼い主へ、認定証と犬用のバンダナを進呈。 3. 普段の犬の散歩時に見守り活動を行ってもらう。 4. 気になる人を発見したら、優しく声を掛けるなどして様子を伺い、その人の様子や状況について地域包括支援センターへ報告する。</p>		

別紙1 <静岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
菊川市	チームオレンジ「ビスケット(微助っ人)」	1	2024		1	64
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーター・ステップアップ講座受講者に声をかけ、令和5年度にチームオレンジ・キックオフミーティングを3回開催し、意見交換を行った。チームオレンジのあり方や活動内容について検討していく中で、認知症になっても安心して暮らしていけるよう、誰もが「お互いに微力ながら助けあっていけたらいいね。」という皆さんの希望と、ビスケットという気軽な印象の言葉の響きから名称が決まった。また、活動内容の案として、認知症当事者やその家族が参加しやすい居場所づくりに取り組んでいく方向となった。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座開催の声かけ ・またきてカフェ及びふまねつを楽しむ会の活動への参加、運営協力 ・認知症当事者、及びその家族への声かけ ・チームオレンジ連絡会への参加 ・認知症当事者、及びその家族が望む活動等への協力 		<p>チームオレンジ「ビスケット」の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症本人、及びその家族 ・認知症サポーター・ステップアップ講座を受講した者 ・協力者(またきてカフェ・ふまねつを楽しむ会、認知症サポーター、認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーター、菊川市包括支援センター、菊川市役所長寿介護課) 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊東市		1	2022		4 月一回	86
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症地域支援推進員		認知症カフェ運営、協力・見守り訓練の実施・介護家族の会の開催・本人ミーティングの開催				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
磐田市	チームオレンジあい	1	2024		2 月1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地区の認知症サポーターからもっと踏み込んだ内容の勉強をしたいと希望があり市でステップアップ講座を開催、同じ地区の受講者でチームを組んだ。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座でさまざまな寸劇を披露 ・地区のサロン等へ認知症サポーター養成講座の開催の働きかけ ・認知症カフェに参加 ・地区の認知症フォーラム等で中心的な役割 		<p>地区内で活動に興味のある人に声かけ</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
牧之原市	認知症サポーター養成講座	8	2008		2 4～5回程度/年	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を多数要請し、認知症になっても安心して暮らせるまちを市民によって作っていくことを目指して開始。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の授業の一環として講座開催。 ・牧之原市の新規採用職員研修の一環として講座開催。 ・一般市民向けの講座開催。 ・市内の企業等から依頼を受けて出前講座を開催。 		<ol style="list-style-type: none"> ①受講を希望する団体から受講受付 ②全国事務局へ報告 ③報道提供 ④必要物品準備 ⑤講座開催 ⑥全国事務局へ実施報告 ⑦実績整理 		

別紙1 <静岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小山町	チームオレンジとしての活動	1	2017	4	1回～2回/月	43
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
当時の役場の認知症推進員が認知症施策の1つとして、オレンジカフェを開催しチームオレンジとして活動することを決めた。カフェのメンバーは、第1回の認知症サポーター上級講座受講者に依頼し、行政主導で開催した。その後、認知症サポーター上級講座受講者が開催回ごとに新たにカフェを作り、現在は自主運営で活動をしている。		7チームが月に1回～2回のオレンジカフェを各所で開催し活動している。活動内容は、各々のカフェごと工夫を凝らしている。(体操、折り紙、工作、編み物、脳トレ、講話(地域の方、役場職員、薬剤師、歯科衛生士など)、カラオケ、歌、お茶、相談、おしゃべり、勉強会、紙芝居等)		町で案内チラシを作成し、広報をしている。誰もが気軽に参加できる居場所としている。また、認知症の相談についてはチームオレンジとして活動することとしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小山町	オレンジカフェの開催	10	2017	4	1回～2回/月	43
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
当時の役場の認知症推進員が認知症施策の1つとして、オレンジカフェを開催することを決めた。カフェのメンバーは、第1回の認知症サポーター上級講座受講者に依頼し、行政主導で開催した。その後、認知症サポーター上級講座受講者が開催回ごとに新たにカフェを作り、現在は自主運営で開催している。		現在6つのカフェが月1回、1つのカフェが月2回オレンジカフェを各所で開催している。活動内容は、各々のカフェごと工夫を凝らしている。(体操、折り紙、工作、編み物、脳トレ講話(地域の方、役場職員、薬剤師、歯科衛生士など)、カラオケ、歌、お茶、相談、おしゃべりなど)		町で案内チラシを作成し、広報をしている。誰もが気軽に参加できる居場所としている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小山町	紙芝居の披露、敬老者へのメッセージカードの作成・配布	14	2019	4	1回/月	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2019年の認知症サポーター上級講座受講生が、カフェを開催せずに傾聴活動及び訪問活動を目的に開始した。		町のイベントに参加して、紙芝居を披露する。敬老の日に併せて、折り紙(鶴)などを付けたメッセージカードを作成して町内の老人施設に配布した。		一般参加はなく、自分たちで月ごと何をするか検討している。コロナ過以降、傾聴活動・訪問活動が難しくなり、今後の活動について模索中。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小山町	勉強会の開催	14	2022	4	1回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2022年の認知症サポーター上級講座受講生が、カフェを開催するか話し合いをした結果、自分たちの学びの場として定例会を開催し、活動することとした。		色々な学び、他のオレンジカフェ活動の見学をし感想等の報告をする。		一般参加はなく、自分たちで月ごと何をするか検討している。		

別紙1 <静岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東伊豆町	町内中学校	13	2016		10 年2回(講座、施設訪問)随時(見守り)	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>中学校とグループホームが近隣にあり、お互い交流希望があり、養成講座開催につながった。</p>		<p>・年に1回1年生対象に養成講座実施。養成講座実施後も学校内で生徒が認知症学習に取り組み、発表の機会を設けている。年1回グループホームに訪問し、自分たちで企画を考え交流を行っている。 ・登下校中や日常生活の中で見守り、気になった高齢者への声掛け、報告をしている。徘徊していた高齢者を保護したこともあり。</p>				

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』＜愛知県＞

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
26	11	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	4	0	3	3	1	0	4

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
26	20	10	15	17	2	17	15
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	4	0	0				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
豊田市	地域ふれあい食堂の企画・運営	1	2025	12	1回/月	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>元々、地域ふれあい食堂を定期開催し、つながりがつながりを生み認知症当事者・家族と、中学生ボランティアが交流していたが、中学生に認知症の正しい理解や知識がなかった。そこで中学生に認知症サポーター養成講座やステップアップ講座を開催し、チームオレンジの活動を中学生主体で展開してもらうこととした。講座の中では、認知症当事者から話を聴いたり、「中学生主体で行うチームオレンジの取組」をテーマに企画、立案、プレゼンテーションを通じて、その機運を高めた。</p>		<p>地域ふれあい食堂は、ひとり暮らし高齢者が増加している実情を踏まえ、あらゆる世代の方も楽しめる居場所になっている。本人・家族の承諾を得た上で、他の参加者に認知症当事者・家族であることをオープンにし、認知症の特性を説明し認知症に対して理解してもらえる工夫をしている。</p> <p>中学生主体で、認知症当事者目線の言葉かけ、調理の補助、他参加者との橋渡しを行い、誕生日会では中学生が企画したゲームの実施など、認知症サポーター養成講座等で得た知識を活かした活動を展開している。逆に認知症当事者が、中学生に五平餅の作り方を教えていただいたこともある。何より、中学生自身の認知症当事者への関り方の変化は他の参加者へも波及しており、活動自体も、施設関係者や地域のボランティアなど多様なメンバーで中学生をサポートしている。</p>		<p>①事前準備・役割確認：地域ふれあい食堂開催前に、中学生メンバーと担当教員・運営側で打合せ</p> <p>②活動開始（地域ふれあい食堂開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症当事者への声かけ・見守り ※「認知症当事者目線の言葉かけ」 ・当事者・家族と共に調理補助・配膳サポート、他参加者との橋渡し ・誕生日会やレクリエーションの企画・運営 ※「中学生が企画したゲームの実施」 <p>③活動終了後の振り返り</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
豊田市	認知症カフェの受付、運営補助	10	2017	4	15回/月	131
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーターを養成するが、認知症サポーターの活躍の場がなかった。そのため、市で認知症サポーターの登録制度を設け、認知症関連の情報や認知症カフェ等でのボランティア情報を配信している。また、認知症サポーターの登録制度については認知症サポーター養成講座で認知症カフェなど身近なところから参加してもらえるよう、周知活動を行っている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●認知症カフェの受付、会場案内などの運営補助 ●認知症啓発イベントでの客の対応等のボランティア活動 		<p>①地域包括支援センターが元々繋がりのある認知症サポーターにボランティア依頼又は、市がボランティアマッチングを行う</p> <p>②市がボランティアマッチングを行った際は、認知症サポーターの情報を地域包括支援センターに提供する</p> <p>③地域包括支援センターと認知症サポーターが事前打合せを行い、開催</p> <p>④振り返り、実績報告</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
西尾市	劇団「うなぎのねどこ」	8	2022	9	年14回程度	36
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーター養成講座受講者から継続的な活動の希望があり、フォローアップ研修のグループワークでの検討の結果、寸劇を行うことになった</p>		<p>認知症サポーター養成講座で認知症の人との関わりについて、いい例、悪い例を寸劇を行うことで説明している。</p>		<p>認知症サポーター養成講座受講者へオレンジサポーター養成講座を案内し、受講者のうちの希望者にオレンジサポーターとして活動に参加してもらい、劇団「うなぎのねどこ」にも参加してもらっている。</p>		

別紙1 <愛知県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
豊明市	おたがいさまセンター「チャット」	1	2017	4	6回/週	120
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
お互いさまセンター「チャット」として、地域住居が生活支援に入り、利用者の方々が認知症の方等がおられ、認知症サポーター養成講座を受講、地域の見守りなど、サポーターとしての活躍の場に、自然となっていました。		・病院送迎等、外出支援 ・生活の中でのちょっとした困りごとを250円/30分にてゴミ出し等サポートする		直接お互いさまセンターに連絡し、センターのスタッフがサポートできるチャットサポーターをコーディネートして支援に入る。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
豊明市	豊明市認知症キャラバン・メイトまるまる	1	2017	3	5～6回/月	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
毎月の定例会にて認知症カフェや講演会等での協力依頼の呼びかけをし、認知症事業等にサポーターとして活躍していただいている。		・認知症サポーター養成講座開催に当たり、準備、片付け、資料準備 ・認知症講演会等での準備、受付、誘導 ・認知症月間での展示作業への協力 ・認知症カフェ・本人ミーティングでの準備、受付、参加者との交流、傾聴		毎月定例会での情報発信。会員LINE等による情報発信、参加勧奨		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
稲沢市	つながいなざわ	8	2023	11	月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2023年に認知症啓発ボランティア養成講座を受講の参加がきっかけ		認知症サポーター養成講座の一部の内容の講師を年2回担当。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
稲沢市	地域みんなでささえ愛！	1	2025	11	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップ講座をきっかけに地域での認知症啓発に取り組む活動をした方が集まった。		年1～2回、市内の地区で認知症啓発のイベントを開催				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
田原市	チームオレンジ田原	1	2024	9	月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座でアンケートを行い、サポーターを募る		・チームオレンジ田原の活動を周知・本人ミーティングイベント(喫茶店&お花見会等)の支援・認知症講演会でスタッフとして活動・認知症の方の話し相手や趣味の活動等本人のやりたいことに寄り添ったあ個別支援		市の認知症サポーター養成講座を受講後、サポーターステップアップ講座で更に対応スキルを学び、チームオレンジ田原の活動を希望する方を登録している。		

別紙1 <愛知県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新城市	tちーむおれんじ新城の活動	1	2022	12	月1回程度	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症本人と家族がどんな支援を求めているかを調査し、友人と会話がしたいなどの希望があったため、認知症サポーターが手助けできるようにチームオレンジの立ち上げに向け、講座終了者へ参加を募り、活動を開始した。		定例会、勉強会、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の参加、認知症カフェの企画運営サポート等。		定例会において、支援内容を検討、準備、実施、報告を行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
常滑市	「認知症サポーター養成講座」での寸劇	8	2022	8	年8回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2022年4月に「チームオレンジとことこ」が発足し、チーム員の活動の場の拡大のため実施。		認知症サポーター養成講座内にて寸劇を行い、認知症の方の対応を学んでもらう。		認知症サポーター養成講座当日に活動		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
常滑市	チームオレンジの拠点での活動	1	2022	4	週1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2022年4月に「チームオレンジとことこ」が発足し、拠点での活動を開始。		本人が活動(体操・創作活動)する際の見守りや傾聴。		活動日に参加する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
常滑市	本人ミーティングの支援	12	2023	4	年4回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
本人ミーティングにおいて、当事者の発言ができるような支援や見守り。		話し合いへの参加。「お出かけ」企画では同行支援を行う。		活動日に参加する。		

別紙1 <愛知県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数	
小牧市	チームオレンジきたさと	14	2022	4	月1回	8	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
<p>・認知症の方が、活躍できる場、人として尊重される場、輝いていた時期を意図的に引き出せるような場、そして認知症の方を介護する家族と支え手となる地域の人々がともに集える場所として、2019年7月に認知症カフェ「オレンジカフェきたさと」が開設された。 ・その後、認知症サポーターステップアップ講座を受講したオレンジカフェきたさとのメンバーと認知症地域支援推進員、北里地域包括支援センターの職員が勉強会を重ねる中で、チームオレンジの活動について学び、そのことがきっかけとなり「チームオレンジとして、地域の支え手を拡げていきたい。認知症の方が地域で自分らしく暮らせる働きかけができないだろうか。」という声が上がリ、2022年4月に「チームオレンジきたさと」が立ち上がった。</p>		<p>・認知症カフェ運営・勉強会 ・認知症サポーター養成講座のサポート ・認知症サポーターステップアップ講座のサポート ・当事者・介護者の交流の懸け橋</p> <p>※活動内容の詳細については、設問1-12同様、メールに送付する資料「愛知県チームオレンジ事例集」を参照。</p>		愛知県チームオレンジ事例集			

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数	
弥富市	認知症カフェ運営の手伝い、認知症の方やそのご家族との交流	10	2015	4	月1回	5	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
認知症サポーターステップアップ講座受講後「チームオレンジ」として活動開始		認知症カフェの準備や受付の手伝い、認知症の方やそのご家族との交流		①認知症サポーター養成講座の受講②認知症サポーターステップアップ講座受講後、「チームオレンジ」への参加同意(希望者のみ)③活動開始			

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数	
東海市	つどい場「みかんの花」ファミリーユ	11	2023	5	月1回	21	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
<p>実施場所まで来ることができない認知症本人から相談があり、送迎支援等検討していたところ、本人自宅近くの葬儀場からの方から、葬儀のない友引の日などにホールを貸出し、何か活用できないかと社会福祉協議会に相談があった。両者の想いがタイミングよく重なり開催する運びとなった。</p>		<p>交流会、脳トレ、回想法、コグニサイズ、体操、折り紙、歌、麻雀、相談等好きなことをして自由に過ごしていただく。オカリナや笑いヨガ等、ボランティアによる催しも実施。最後に参加者で体操をして終了。</p>		毎月1回 友引の日 10:00～12:00			

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数	
東海市	つどいの場「みかんの花」	11	2022	1	月1回	21	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム			
チームオレンジの定例会にて、どんなことができるかを検討を重ね、実施に至った。		<p>交流会、脳トレ、回想法、コグニサイズ、体操、折り紙、歌、麻雀、相談等好きなことをして自由に過ごしていただく。オカリナや笑いヨガ等、ボランティアによる催しも実施。最後に参加者で体操をして終了。</p>		毎月第4金曜日			

別紙1 <愛知県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東海市	東海秋まつり(認知症啓発ブース)	14	2023	11	年1回	21
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジの企業サポーターより、イベントに参加してみてもどうかと話があり、チームオレンジ企業サポーターが在籍する東海商工会議所青年部主催イベントブースを一部お借りし、認知症啓発ブースを出展こととなった。		認知症クイズを行い、正解数に応じてモルック体験をする。高齢者疑似体験や認知症をわかりやすく漫画にしたもの等を用意し、認知症について理解を深めてもらう。認知症本人と準備から一緒に行く。		年1回 8:30 準備→10:00 イベント開始→16:00 片付け・終了		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東海市	東海ハーフマラソンボランティア	14	2022	10	年1回	21
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ企業サポーターより、市のイベントに参加してみてもどうかと提案があり、認知症本人の社会参加としてボランティア活動を実施。		イベントで出るゴミの収集作業、認知症本人の社会参加支援、啓発		年1回 9:00 集合、各グループで活動→14:00 終了		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
知多市	東部チームオレンジ	1	2021	12	適宜	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ワークショップ研修に出席していただいた方にアンケートを実施し、チームオレンジの協力を募り、活動が始まった。		見守り、サロンへの声掛け、認知症の啓発活動、福祉協力校事業の協力		年2回定例会を行い、情報交換を行い活動をしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
知多市	八幡チームオレンジ	1	2023	9	適宜	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ワークショップ研修に出席していただいた方にアンケートを実施し、チームオレンジ協力を募り、活動が始まった。		認知症の啓発活動、認知症本人の社会参加(カレーマルシェ開催)年2回		定例会を行い、カレーマルシェの打ち合わせ、情報交換を行い、活動をしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
半田市	プラチナカフェ笑み	10	2025	4	月2回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
元々手芸サークルが母体で認知症の方を介護されていた経験がある方々が自分の介護経験から介護で悩んでいる方の力になりたいと思いつきサークルの仲間と共に立ち上げた。		認知症カフェ事業。認知症の方とご家族の居場所、相談、交流の場。認知症に関する勉強会、季節に合った歌を歌う、レクリエーション、簡単な手芸の企画。		<ul style="list-style-type: none"> 代表の方が認知症カフェを立ち上げたいと市へ相談。 カフェメンバーへ認知症サポーター養成講座を実施。 助言・見守りながら活動、必要時市へ連絡、相談してもらっている。 		

別紙1 <愛知県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
あま市	ふれあいカフェ12か所(チームオレンジ)	1	2024	9	1回/月	64
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ふれあいカフェのスタッフに認知症サポーター養成講座を受講するよう、市から働きかけている。		ふれあいカフェ内で、認知症の方やその家族の相談や悩み事を聞く。		カフェの準備→カフェ開催(お茶やお菓子の提供・話し相手・レクリエーション)→終了・片付け・カンファレンス		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
あま市	認知症サポーター養成講座のお手伝い	8	2024	2	2回/年	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターで、見守り協力者として登録した方の中から協力者を募集する。		認知症サポーター養成講座の準備・受付・片付け等		参加申込→会場準備→案内係・受付係→講座終了後片付け		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
あま市	市が開催する青空カフェに協力し、市内の認知症カフェの周知	14	2023		1回/年(1回5日間)	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市の職員が開催している青空カフェに、認知症カフェのスタッフや見守り協力者として登録している方の中から手伝ってくれる方を募集。		お茶やお菓子の提供・話し相手。市内の認知症カフェの周知啓発。アンケート調査。		参加申込→当日集合→青空カフェのお客様の対応		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
蟹江町	ちーかに(チームオレンジ『かに組』)	11	2021	10	月3回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
メール添付資料のとおり(ファイル名:チームオレンジ取組事例.pdf)		メール添付資料のとおり(ファイル名:チームオレンジ取組事例.pdf)		メール添付資料のとおり(ファイル名:チームオレンジ取組事例.pdf)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
扶桑町	絆申の会	1	2024	12	月2回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2020年以前より自主グループ活動として介護予防の取り組みを行う。 2020年に活動主催者の妻が認知症を患う。 2023年に扶桑町地区サロン事業に登録。 2024年に認知症サポーター養成講座およびステップアップ講座を受講。 2025年に活動主催者交代。以後も認知症の人でも通える「通いの場」として活動中。		認知症予防のための、コグニサイズ・頭と体を使ったシナプソロジーを取り入れる。 転倒防止のための運動 回想法。一人一人の昔の話等を発表。 年数回外食や季節に応じたイベントを実施。		扶桑町社会福祉協議会に参加希望の旨を伝える。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<岐阜県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
17	4	0	1	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	2	6	2	0	0	2

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
17	6	6	9	11	1	8	8
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	9	1	0				

別紙1 <岐阜県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大垣市	認知症カフェ スマイル	10	2022	3	2か月に1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターが既存の認知症カフェで活動していたが、既存のカフェ以外の活動を考える中で、市から皆で集まれる場所、相談できる、情報交換できる場所を作りたいと伝えて活動が始まった。		認知症カフェの企画運営、会場準備、企画検討、必要時企画に必要な物品や講師との連絡調整、当日司会進行など。		認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を受講、つどいに参加。(順番前後することもある)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美濃加茂市	ふれんず西町	1	2023	11	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市の認知症普及啓発事業として回想法を実施した際、自分の住む地域にも集まれる場が欲しいと活動開始に至った。		回想法、体操などを地域の公民館で実施。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
土岐市	認知症カフェ・アルツハイマー月間イベントのお手伝い	14	2019	4	市内4か所で月1回開催	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座で学んだ認知症に対する知識や対応方法について実践してもらったため。		認知症カフェ:カフェの運営の手伝い イベント:来庁者の対応 認知症施策の説明		イベントの案内・チラシをサポーターへ郵送		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大垣市	認知症カフェ ひまわり畑	10	2022	3	2か月に1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターが既存の認知症カフェで活動していたが、既存のカフェ以外の活動を考える中で、市から皆で集まれる場所、相談できる、情報交換できる場所を作りたいと伝えて活動が始まった。		認知症カフェの企画運営、会場準備、企画検討、必要時企画に必要な物品や講師との連絡調整、当日司会進行など。		認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を受講、つどいに参加(順番前後することもある)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大垣市	認知症予防教室スタッフ	14	2022	3	月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
オレンジの泉を実施している職員から依頼があり、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を受講した方の集いで募集をし、手挙げしてくれた方をお願いしていった。		コグエポ(タブレット)操作手伝い、来所者との交流など		認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を受講、集いに参加(順番前後することもある)。		

別紙1 <岐阜県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
飛騨市	なないろマフを編む会	1	2024	6	20	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
				編み物が得意なシニア女性たちが、認知症の人のために認知症マフを編む集いを結成。ステップアップ講座を受講し、編み物が得意な認知症当事者が参加できるソフト面を整えた。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
飛騨市	堀之内サロン	11	2025	9	月1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
1人の認知症当事者が、運転免許を紛失し自家用車で出かけられなくなった。この思いを知った認知症サポーターでもある地区民生委員が発起人として、市内の認知症地域支援推進員が伴走しえんしたサロン(認知症カフェ)を立ち上げた。		茶話会		活動は地区住民60～70代の女性2名が中心に運営。随時、認知症地域支援推進員がサロンへ出向き講話等を実施。認知症地域支援推進員がチラシ作成し、配布は地区住民で配布。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
郡上市		10	2008	10		
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座を受講、認知症の知識を得たこと		地域の見守り・認知症カフェの開催、参加				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
海津市	認知症カフェのボランティア活動	10	2025	4	月2回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ立ち上げのため、地域包括支援センターがサポーターへ活動の働きかけを行った。		<ul style="list-style-type: none"> ・サポーターが地域で気になる住民に声をかけ、カフェに参加を呼び掛けている ・専門職との交流 ・参加者の話し相手となり、不安や困りごとの傾聴をしている ・カフェの手伝い(飲みものの準備や物品の配布) 		<ul style="list-style-type: none"> ①認知症サポーター養成講座にて、書面で活動の有無、活動したい事業について確認 ②地域包括支援センターよりサポーター本人へ連絡を入れ、再度活動の意思確認を行う ③活動の体験会を実施し、その後、定期的な活動を行っていただく 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
海津市	認知症予防教室「脳活くらぶ」のボランティア活動	9	2025	4	月2回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジの立ち上げのため、地域包括支援センターがサポーターへ活動の働きかけを行った。		<ul style="list-style-type: none"> ・専門職との交流 ・参加者の話し相手となり、不安や困りごとの傾聴をしている 		<ul style="list-style-type: none"> ①認知症サポーター養成講座にて、書面で活動の有無、活動したい事業について確認 ②地域包括支援センターよりサポーター本人へ連絡を入れ、再度活動の意思確認を行う ③活動の体験会を実施し、その後、定期的な活動を行っていただく 		

別紙1 <岐阜県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岐阜市	チームオレンジ活動	1	2024		9 週1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
H30年に認知症サポーター養成講座を受講された地域住民の方の中で「何か地域活動をしたい」という思いを持った方がいらっしやう。そのような思いに賛同された方が集まり、何回も打ち合わせを重ね、チームオレンジの活動に広がっていった。		<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族等の居場所の運営と参加のために支援 ・作品作り(竹とんぼ、コマづくり) ・SNSを活用した情報共有 ・地域での認知症の啓発 				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
本巣市	サポーターズクラブ	9	2025		4 月1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市の介護予防サポーター養成講座終了者のうち、地域での活動を目指そうと有志が集まって地域で活動を始めた		認知症カフェ、集いの場の開催 サロンなどでの介護予防レク等の活動				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
北方町	チームオレンジきたがた	1			年1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジコーディネーターと認知症サポーターでもある住民ボランティアとの会話の中で何か企画できないか相談し、行うきっかけとなった。		町のイベント内で認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を配り、多世代に向けて認知症理解促進と予防啓発を行うオレンジガーデニングプロジェクトに参加した。		認知症サポーター、認知症サポーターステップアップ講座を受講された地域住民からオレンジガーデニングプロジェクトに参加してもらえるボランティアを募り、事前準備から当日の片付けまで、チームオレンジきたがたの活動として行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川辺町	民生委員による見守り活動	3				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の高齢者と関わる立場なので、認知症の正しい知識を有すれば、適切な対応をとることができる効果が期待されていたのがきっかけです。		地域の高齢者への声かけ・見守り 包括支援センター等への相談・報告		高齢者宅への訪問→気になることがあれば声かけ、包括支援センターへの相談など		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
神戸町	チームオレンジごうど	10	2024		9 月8回	35
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症地域支援推進員がカフェの運営者と認知症サポーターをマッチングしたことで活動にきっかけとなった。		町内8か所にあるカフェの運営等		各カフェの運営者と一歩進んだ活動を望んでいる認知症サポーターをつなげたことで交流がはじまり、カフェの手伝いをサポーターが自発的に行うようになった。		

別紙1 <岐阜県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大野町	カッキー(活気・柿のある)カフェ	10	2019	4	月4回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
カフェを町が企画していたが、そこに参加していた町内の福祉施設から自主開催の申し出があった。		四つの施設で、季節の合わせたイベントや工作、体操、講習会を行い、その後お茶を飲みながら座談会という流れで行っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大野町	認知症の人とか族の集い	11	2017	3	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
代表の方の家族が認知症になり介護をする中でどう接したらいいか考え学び、同じ悩みを持つ人が他にもいるはず、思いを共有したいと思いたちあげた。		集いで、会報や新聞、コラムなどから記事や言葉を抜き出してそれに対する考えを話す。それぞれの生活の様子を話す。他の人からの意見をもらう。				

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<三重県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
9	6	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	2	0	0	1	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
9	5	6	4	6	0	4	2
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	3	0	0				

別紙1 <三重県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
伊勢市	コミュニティカフェこのは	1	2024		4月1回	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
誰でも参加できる地域のカフェとして開催、認知症のある人も参加しており、対応等について地域包括支援センターも相談を受けていた。そのような経緯もあり、認知症地域支援推進員よりチームオレンジの活動について提案をした。		毎月第1木曜日に小俣保健センターでコミュニティカフェこのは(誰でも参加できる地域のカフェ)を開催している。構成員はボランティア。コミュニティカフェこのはには、認知症のある人やMCIの人も来ている。認知症を特別視せず、一緒に楽しむ場であることを目指し、声かけや見守りを行っている。脳トレやレクリエーションを実施している。		各地域包括支援センターの生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員が地域の活動を把握し、チームオレンジについて紹介し実施している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
鳥羽市	サロン活動	1	2025		2 3~4回/月	28
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症地域支援推進員からサロンのリーダーなどにチームオレンジについて説明した。		本人への行事の誘い、話の傾聴を行う。拠点以外では、日常の声掛けや移動販売、ゴミ分別の声掛け・支援				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大紀町	チームオレンジいろは	1	2025		2か月に1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ発足のため		町が経営している喫茶店の店員さんにサポーターとなってもらいチームオレンジを結成。日頃から認知症の方やその家族さん、男性の一人暮らしの方などの利用が多く、憩いの場になっている。日頃からサポーターさんがお客様の会話の架け橋になったり、気軽にコミュニケーションが取れる場の提供を行っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大紀町	キッズ(中学生)サポーター養成	13			年1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中学1年生が高齢者施設への実習		高齢者施設への職場体験までに認知症に関する知識、対応の仕方などを勉強しそれもとに体験で実習を行う。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
木曾岬町	チームオレンジきそさき	10	2024		4月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座の開催にて活動の希望があったため		オレンジカフェ内で配膳やレクの実施		認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を受講した方が活動できる流れとなっている		

別紙1 <三重県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
度会町	認知症カフェ(グリーンカフェ)	10	2016	10	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の方が安心できる居場所づくり、自分の思いを表出することができる場づくりを行いたいと思ったのがきっかけで、活動を開始した。		月1回の認知症カフェの開催。認知症の方本人と、その家族を交えてレクリエーションを行ったり、回想法を行ったりしている。		認知症サポーター養成講座を受講した人の中から、認知症カフェへの理解・参加意欲のあるサポーターを集う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
紀北町	チームオレンジさくらんぼ	1	2025	3	月3回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジさくらんぼが認知症カフェを開催している中で、認知症当事者の加入を機に、認知症当事者への個別支援を視野に入れた活動を開始した		認知症カフェを継続して開催する、認知症当事者のニーズに基づき、外出や外食、自宅での調理の支援を行う		認知症の当事者と支援者(チームオレンジさくらんぼ)との話し合いに基づき、予定を立てて活動している		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
朝日町	チームおれんじあさひ	1	2024	4	月2回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、中心人物となる認知症サポーターの働きかけにより活動開始。それぞれでチーム員候補者への声掛け、交流拠点の整備を行った。		認知症普及・啓発活動として、駅やスーパーでのティッシュ配布による啓発、世界アルツハイマー月間における図書館での啓発コーナーの設営、介護施設・病院見学のサポートスタッフ、認知症カフェの運営				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川越町	チームオレンジかわごえ	1	2025	10	月1回程度	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジの活動の一環としての案内、本人ミーティングとしての案内		認知症カフェへの参加、送迎、傾聴、見守り、声掛け		認知症地域支援推進員からの働きかけによる研修やカフェへの参加 個々の普段の生活の中での見守り、声掛け		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』〈富山県〉

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
10	2	0	0	0	0	1	2
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	3	0	1	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
10	10	4	5	5	2	3	1
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	6	0	0				

別紙1 <富山県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
射水市	認知症の人にやさしいお店	7	2021		4 営業日	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、市内の事業所等が認知症に対する理解を深め、「認知症の人にやさしいお店」として登録することで、安心して外出できる地域づくりを行うため。		認知症サポーター養成講座を受講いただき、「認知症の人にやさしいお店」の登録ステッカーを店頭に貼っていただく。認知症の人で気になる方がいたら地域包括支援センターに情報共有いただく。		認知症サポーター養成講座受講→「認知症の人にやさしいお店」の登録ステッカー配布→市ホームページで登録店舗を公開		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
射水市	認知症サポーター養成講座	8	2018		1回/月	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ささえ隊メイト(ステップアップ受講終了のボランティア)に地域の認知症サポーター養成講座にご協力いただくことで、受講者により身近に認知症について考えてもらうため。ささえ隊メイトの活動の機会を増やすため。		記憶のツボについてキャラバン・メイトと一緒に説明する。寸劇に参加する。		ステップアップ講座受講→地域包括支援センターの認知症地域支援推進員よりボランティアの声かけ→認知症サポーター養成講座に協力		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
射水市	認知症カフェ	10	2018		2回/年	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
H28年から市で認知症カフェを開催しており、ささえ隊メイトの養成はH30年から開始した。認知症カフェの開催に、ささえ隊メイトの参加を要件としており、認知症地域支援推進員から協力を呼び掛けている。		認知症の人、家族の話を傾聴する。飲み物の準備など運営のお手伝い。		社会福祉法人で認知症カフェを計画→認知症地域支援推進員よりささえ隊メイトに協力の呼びかけ→ささえ隊メイトが認知症カフェに参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
射水市	なごもっと	12	2022		4 1回/月	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症になっても安心して暮らし続けられるよう、認知症の人や家族が気軽に情報交換をしたり、リフレッシュできる場、家族関係の支援の場として「なごもっと」を開催する。また認知症地域支援推進員やささえ隊メイトと一緒に活動することで、地域とのつながりを持ち、気軽に相談ができる関係づくりを行う。		毎月市が開催しているなごもっと、各地域包括支援センター圏域で年2回開催しているなごもっとに参加し、認知症の人または家族の話を傾聴する。近所に住む認知症の人へ声かけし、一緒に参加する。		市または地域包括支援センターでなごもっとを計画→認知症地域支援推進員よりささえ隊メイトに協力の呼びかけ→なごもっとに参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
砺波市	認知症カフェ	10	2016		月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症高齢者が増加し、日々介護に追われる家族も増えたため、介護者の負担軽減、認知症になっても安心して参加できる地域づくりを目指すため。		相談、認知症予防講座				

別紙1 <富山県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
砺波市	チームオレンジ	1	2022		週1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
いきいき百歳体操の参加者のなかに、物忘れが気になる方がいた		いきいき百歳体操での参加者同士の見守り、声かけ、外出のお誘い等				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南砺市	チームオレンジ	1	2024		1 適宜	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症当事者の方の行きつけの店主より申し出があった。 ・本人だけでなく、他の買い物客でも気になる様子がある。 ・買い物ついでに話したり、ゆっくりしたりしてもらって構わない。		認知症当事者の方の買い物支援、相談対応、居場所づくり 認知症の方の家族の支援 地域の見守り 認知症の疑いなど、支援が必要な方について包括に相談を促してもらっている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南砺市	SOSネットワーク等への登録	6	2011		9	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南砺市	認知症サポーターがいる店舗	7	2023		9	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南砺市	ともいきカフェ	10	2015		月2回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<石川県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
1	0	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	1	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
1	0	1	0	0	0	0	0
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	0	0	0				

別紙1 <石川県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
白山市	認知症カフェ(オレンジカフェ)	10	2014	4	月1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市が主催で開催し、活動を行う中で認知症サポーターに協力してもらうようになった。		カフェの参加者との会話やお茶出し、お菓子配りの手伝いを行う。		自由に参加してもらいお手伝いをしてもらう。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<福井県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
3	0	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	1	2	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
3	3	3	3	3	0	3	3
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	3	0	0				

別紙1 <福井県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小浜市	認知症啓発・予防活動(サロン講師等)	9	2016		3年間70回	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
H28年3月に認知症の普及啓発を行う「認知症サポーターリーダー」と介護予防教室をサポートする「微笑サポーター」がタックを組み「ほほえみサポーターズ」として「認知症」「足腰の衰え」「閉じこもり」といったような「高齢者の不安要素」をひっくるめてサポートする団体となった		市内サロンの講師として各会場に出向き、様々な教材を活用し、認知症の正しい知識や対応方法の伝達、予防のレクリエーションを行っている。また、定期的な研修会を行い、学習や製作をするなどメンバーのスキルアップも行っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小浜市	認知症カフェ	10	2015		6月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の中で認知症の人やその家族を支える場としての認知症カフェの設置の広がる中、認知症の人と家族の会の会員の方の協力を得て、開催となった。		毎月第3金曜日10時から11時30分までコミュニティセンターで行っている。毎月歌や体操、笑いなどを提供してくれる講師や団体を招き、行事参加した後、自由に歓談できる場を設けている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小浜市	認知症カフェ	10	2019		5月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症カフェを開きたいという団体に、認知症サポーター養成講座を行い、カフェについても学んでいただき開催となった。		毎月第3火曜日にふるさと茶屋をお借りし、10時から12時まで開催している。歌や演奏を提供してくれる講師を招き、行事参加の後入れたてのコーヒーなどを飲みながら自由に歓談できる場を設けている。				

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<滋賀県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
2	0	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	1	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
2	1	0	0	2	0	2	0
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	0	0	0				

別紙1 <滋賀県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
草津市	認知症カフェの開催	10	2015	5	月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーターは、認知症の人と関わる機会がなく、認知症サポーター養成講座を1回受講するだけでは活動につながらないこと、市内に認知症カフェがないことから、平成27年度の市のまちづくり提案事業にエントリーした。</p>		<p>毎月第一金曜日の午後から、市内の公共施設で認知症カフェを開催している。認知症に関するミニ講義、脳トレや手指の体操をして開始している。カフェでは臨床美術や手芸などを行うコーナー、健康麻雀や間違い探し、数字盤をするコーナー、認知症や介護相談のコーナーがあり、参加者は好きなコーナーに自由に参加している。会の最後には全員で懐メロを歌っている。実行委員会では、カフェの企画、準備、運営、片付けを分担して行っている。実行委員会のメンバーは全員認知症サポーターで、ほとんどが認知症キャラバン・メイトとしても活動している。</p>		<p>活動や参加にあたっての申込は不要。複数回参加しているうちに、実行委員になった人もいる。実行委員はカフェ後に反省会を開催し、翌月の打ち合わせをしている。3月には翌年度の1年間の企画内容を検討している。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
愛荘町	認知症サポーター養成講座	8	2006	12	年に6回から10回	24
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		<p>地域のサロンや介護予防教室、小学校、中学校、スーパーなどで認知症サポーター養成講座を開催</p>		<p>オリジナル紙芝居又は寸劇→講和→脳トレ(コグニサイズ)</p>		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<京都府>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
15	4	0	0	0	0	2	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	8	1	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
15	11	2	11	6	2	11	12
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	11	0	0				

別紙1 <京都府>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京都市	きんぎょサロン	11	2023		4 月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
京都市で実施している若年性認知症本人交流会で、参加者とサポーターがサロン以外でも仲間として、共に楽しい時間を過ごす場として始まった。		1時間程度、喫茶しながら談笑		参加者と集合場所に集合して会費徴収。その後カフェまで同行し、傾聴。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	ほっこり料理塾(チームオレンジ)	1	2017		4 1回/月	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
物忘れの予防や改善には、料理はとても効果的と言われている。「食と健康」が主催で、少人数で料理やおしゃべりを楽しむ形で活動食と健康: 誰もが高齢者になっても元気で充実した生活が出来るよう「食」を通じてお手伝いしたい、自分達もその活動を楽しみいきいきと過ごしたいと退職した栄養士や保健師がメンバーとなり構成		調理、軽い運動、散歩など		対象となると思われる方に、地域包括支援センターの職員等から声掛け対象者としては、介護サービスに繋がりにくい若年性の物忘れが気になる方とご家族を基本に考えている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	オレンジカフェ(チームオレンジ)	1	2024		2 不定期開催	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の役(民生委員)でつながっていた仲間の一人に認知症状が気になることがきっかけで集まるようになる。当初は定期開催をしていたが、現在は不定期開催		・趣味や社会情勢等を話題におしゃべりや勉強会を行う。花見やランチに出かけることもある。 ・メンバーの困りごとや希望に寄り添いその都度連絡を取り合い、お互いの元気を確認しあう。		メンバーで相談し、活動時期、内容を決めている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	いきいきカフェ(初期認知症対応型カフェ)	10	2015		10 1回/月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
初期認知症対応型カフェについては、市内各町1か所の設置をめざし、府の地域包括ケア交付金を利用しながら、H25(2013)年度から市内各法人に委託をして数か所ずつ設置。いきいきカフェについては、2015年開始。認知症サポーターを中心に運営。		・参加者の方々が関心のあることや好きなことを盛り込んだ内容を計画。暮らしの彩となる機会や場所になるようにしている。 ・ドライブ、季節の行事(七夕・クリスマス等)、地域の行事に参加 等		・広報(地域包括支援センターにチラシを置く、民生委員への相談・依頼・会議での声掛け)・年間予定表の作成(興味関心を持って参加してもらうため)・送迎の実施		

別紙1 <京都府>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	ほっとカフェ小町(初期認知症対応型カフェ)	10	2026	11	2回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
初期認知症対応型カフェについては、市内各町1か所の設置をめざし、府の地域包括ケア交付金を利用しながら、H25(2013)年度から市内各法人に委託をして数か所ずつ設置。ほっとカフェ小町については、2016年開始。認知症サポーターを中心に運営。		・開催内容は参加者も含めて計画。「楽しく、にぎやかに」参加していただく。・ドライブ、買い物外出、歌唱、ゲーム大会等レクリエーション等		・介護認定を受けられるまでの方を対象に声掛けをしている。 ・参加時に次回の予定を書面で通知 ・送迎を実施し、参加しやすい環境づくり		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	陽だまりカフェ(初期認知症対応型カフェ)	10	2016	6	2回/月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
初期認知症対応型カフェについては、市内各町1か所の設置をめざし、府の地域包括ケア交付金を利用しながら、H25(2013)年度から市内各法人に委託をして数か所ずつ設置。陽だまりカフェについては、2016年開始。認知症サポーターを中心に運営。		・作業、レクリエーション、リハビリ相談会、おやつ作り、健康講話 ・新規の方が参加しやすい雰囲気、時間配分を工夫、地域の子どもたちと交流する機会を作ったりしている。また、参加者や職員が色々な知識やつながりを増やしていけるようボランティアや出前事業等の地域資源を積極的に活用している。		・歩いて来れる地域の集会所にて開催し、ボランティアや各機関とつなげる場にもなっている。参加者同士で声をかけあつての参加となっている。 ・実施区内の回覧板等で案内、地域包括支援センターからの勧めにより広報。 ・令和7年途中より送迎を開始		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	ほっこり(初期認知症対応型カフェ)	10	2015	10	1回/週	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
初期認知症対応型カフェについては、市内各町1か所の設置をめざし、府の地域包括ケア交付金を利用しながら、H25(2013)年度から市内各法人に委託をして数か所ずつ設置。ほっこりについては、2015年開始。認知症サポーターを中心に運営。		・参加者が楽しんでもらえる内容を考え、一緒に学習、体操を行い、一緒に楽しめる時間を提供。 ・体操、認知症に関する話、茶話会、脳トレ等		・参加者にチラシを直接渡す形でお知らせ。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	カフェよつとくれえなあ(初期認知症対応型カフェ)	10	2013	10	1回/週	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
初期認知症対応型カフェについては、市内各町1か所の設置をめざし、府の地域包括ケア交付金を利用しながら、H25(2013)年度から市内各法人に委託をして数か所ずつ設置。カフェよつとくれえなあについては、2013年開始。認知症サポーターを中心に運営。		・当事者の思い、生活での困りごとなどを自然に相談できるような、したくなるような場づくり、お花見等季節の楽しみを持ってもらう内容にしている。 ・茶話会、体操、ドライブ、歌唱、昔話読み聞かせ等		・利用者同士の口コミ、地域サロンでの声掛け、地域包括からの紹介等で広報		

別紙1 <京都府>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	ほっとカフェ咲來楽(初期認知症対応型カフェ)	10	2016	10	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>初期認知症対応型カフェについては、市内各町1か所の設置をめざし、府の地域包括ケア交付金を利用しながら、H25(2013)年度から市内各法人に委託をして数か所ずつ設置。ほっとカフェ咲來楽については、2016年開始。機能強化型カフェとして、市内全域を対象に実施。主に若年性認知症の当事者・家族が利用している。</p>		<p>・当事者や家族の不安に寄り添い、相談を受け、精神的なサポートを行う。 ・茶話会、レクリエーション等</p>		<p>・広報誌、ケアマネジャーや包括からの相談で参加</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
京丹後市	コミュニティカフェともに(初期認知症対応型カフェ)	10	2013	10	週1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>初期認知症対応型カフェについては、市内各町1か所の設置をめざし、府の地域包括ケア交付金を利用しながら、H25(2013)年度から市内各法人に委託をして数か所ずつ設置。コミュニティカフェともにについては、2013年開始。認知症サポーターを中心に運営。</p>		<p>・参加者の自主的な活動を大切にしており、脳トレ、体操、歌唱の時間も設けているが、参加者が自由にしたいことをして過ごす時間も設けている。 ・介護支援専門員が関わることで認知症に対する質問や不安にいつでも対応。 ・初めて来られた方に安心して過ごしていただけるように参加者の紹介や話題の提供</p>		<p>・広報誌や近隣病院への掲示、有線放送、地区への集まり参加時に案内等・開設当初より、地域高齢者の居場所づくり、軽度認知障害や閉じこもり傾向がみられる高齢者に利用してもらうことで、症状の改善や進行を予防することを目的として行っている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
綾部市	綾部市行方不明者早期発見SOSメール	6	2016	6	随時	78
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーター養成講座などの機会に事業チラシを配布し、周知。協力者としての登録依頼を行う。</p>		<p>行方不明発生時、家族等からの依頼をうけ、綾部市からSOSメールを発信し、発見協力依頼を行う。</p>				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
綾部市	Gサポ	1	2025	4	活動内容ごとに異なる	58
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域福祉の担い手を養成するため、平成21年よりゴールドサポーター(通称Gサポ)の取組が開始。既存の取組がチームオレンジにも含有されていることから、Gサポを対象にステップアップ講座を実施した。</p>		<p>地域の担い手として、社会福祉協議会の事業参加の他、地域の中での活動に参加。それぞれが希望する場所にて活躍されている。 (活動例)傾聴ボランティア、初期認知症カフェの運営ボランティア、絵手紙プロジェクト、地域サロンや自治会活動でのボランティア、地域貢献活動(登下校の見守り、声かけ)</p>		<p>社会福祉協議会より、活動ごとに随時声かけを行い、活動に繋がっている。</p>		

別紙1 <京都府>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
長岡京市	おでかけ安心見守り事業	6	2014	7	不定期	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市の事業開始に伴い、見守りネットワークへの協力をさせていただき事業所への要件として、従業員の1名以上が認知症サポーター養成講座を受けていることを位置付けた。		行方不明発生時に、対象者の特徴等が記載された情報シートが見守り隊が見守り隊登録事業者へFAX送信、受け取った事業所は通常業務範囲内で搜索活動を行う。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
長岡京市	チームオレンジ	1	2024	4		
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジコーディネーター(認知症地域支援推進員)が主体となっている。		市内に2つ設置されたチームオレンジでの活動。1つ目は民家で開催される認知症カフェへの参加。2つ目は市内で定期的または不定期に開催されるサロン型の認知症カフェや市の認知症啓発事業の参加(参加者の見守り)運営の手伝いなど。		民家での認知症カフェは、認知症地域推進員および地域包括支援センター職員との連携により開催。2つ目の活動は、チームオレンジコーディネーターより、チームオレンジメンバーへのメール連絡等による。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大山崎町	認知症カフェ	10	2019		月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
子どもが巣立ち家が空いているのが寂しい、自宅を交流の場にすることを発案した。認知症のある方もない方も近隣にお住まいの方のつながりを持ってほしいと門を開いている。		理学療法士を招いてのフレイル予防体操や、折り紙講師に折り紙を教えてもらったり、三味線の演奏会など、月ごとに様々な催しを行ってられます。催しのあとは地域のお店のスイーツを楽しみながら、お話しています。		担当者が今月のスイーツや、今月の催しを調整し、その内容を包括に連絡。当月チラシを地域包括が作成し、担当者に送る。担当者から、毎月の参加者にLINEで連絡。事前に出欠の確認をとっている。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<奈良県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
9	3	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	6	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
9	4	4	9	7	0	6	6
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	1	0	0				

別紙1 <奈良県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
葛城市	介護予防リーダー「かつらぎ晴ッスル」による認知症カフェカフェの開催	10	2021	9	月2回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症予防教室を受講した方の集まりを開催しはじめ、そこに、かつらぎ晴ッスルのメンバーが関わることで、認知症カフェへと発展した。		レクリエーションによる交流・談話・自力で通うことの難しい方への送迎活動		・介護予防リーダー養成講座を市で開催し、メンバーを増やしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
香芝市	傾聴・チームオレンジ	1	2023	4	(定例会・イベント・施設訪問)3回/月	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座を修了した方の中から、もの忘れが気になる方を対象に傾聴を中心とした活動をしたいと希望する方でチームを発足した。		<ul style="list-style-type: none"> ・ほっこりおしゃべりタイム：1回1組でチームオレンジメンバーが傾聴する個別相談会。 ・ほっこりカフェ：認知症本人も家族も一般の人でも楽しめるカフェ。 ・施設訪問：施設を訪問しての傾聴活動。 		市の広報などでステップアップ講座開催案内を行い、修了者がチームオレンジとして活動している。月に1回の定例会にてイベント内容について相談して開催している。「ほっこりおしゃべりタイム」は市の広報掲にて教室の案内を行い、市の窓口や電話により参加者の受付をしている。「ほっこりカフェ」はチラシ等で広報し、当日の自由参加としている。「施設訪問」については、数ヶ所の施設に市から調整を行い、訪問活動を行っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
香芝市	チームオレンジいこい「ゆるほぐしチャレンジ」	1	2023	4	1回/月	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座を修了した方の中から、もの忘れが気になる方が安心して集える場をつくりたいと希望する方で、チームを発足した。		もの忘れが気になる方を対象に、2ヶ月に1回偶数月に「ゆるほぐしチャレンジ」を開催している。心と身体をほぐすように、ゆったりとしたレクリエーションを行っている。季節の歌を歌い、座って行える体操を一緒に行ったり、ボール回しや脳トレを取り入れたゲーム等を行っている。		市の広報などでステップアップ講座開催案内を行い、修了者がチームオレンジとして活動している。月に1回の定例会にて教室内容について相談して開催している。市の広報掲載にて教室の案内を行い、市の窓口や電話により参加者の受付をしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
香芝市	旭ヶ丘ふれあいオレンジカフェ	10	2025	6	1回/月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座を修了した民生児童委員が担当地区で自治会長や地域福祉推進員に声をかけて、認知症になっても住み続けられる地域を目指して開始した。		月に1回相談やおしゃべりのできる場所としてカフェを開催し、体操や様々な出前講座等を開催している。		自治会、民生委員、地域福祉推進委員を中心に企画している。地域でチラシの配布や個別に声かけを行って参加受付している。		

別紙1 <奈良県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
香芝市	オレンジカフェ五ゆるり	10	2024		5 2ヶ月に1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
香芝市総合福祉センターで活動していた「チームオレンジいこい」のメンバーを中心に認知症カフェに興味関心ある住民が集まり、身近な地域で気軽に集える場所をつくりたいという思いから開始した。		認知症のある方を含め、参加者が安心して過ごし、楽しみながら心身を生かすことを目的に、歌や体操、ゲームなどのレクリエーション活動を行っている。活動を通じて、日常の楽しみや交流の機会をつくり、閉じこもりの予防や心身機能の維持につながるよう工夫している。		チラシを作成して広報している。担当の地域包括支援センターで参加を受付している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
香芝市	東良福寺あったかカフェ(オレンジカフェ)	10	2016		3 1回/2ヶ月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
高齢化率の高い地域において、高齢者の孤立を防ぎ、地域の中で支え合う関係づくりを中心に、地域福祉推進委員の活動の一環として開始。誰もが気軽に立ち寄り、安心して過ごせる居場所をつくることで、認知症の方を介護されているご家族が日頃の悩みや困りごとを相談し合ったり、情報交換できる場を設けている。		2ヶ月に1回、奇数月の第3金曜日に良福寺公民館を会場として開催。医療、介護の専門職を中心とした30分程度のミニ講座を実施した後、茶話会形式での交流や相談、情報交換を通じて、地域を中心とした「つながり」を深めている。誰でも参加ができる場として、気軽に相談、交流ができる雰囲気づくりを大切にしている。地域包括支援センターや近隣のサービス事業所も参加し、相談内容に応じて、継続的な支援につながる体制を整えている。		地域住民にチラシの配布や個別に声かけを行っている。地域福祉推進委員を中心に日程や内容を検討している。自由参加にて受付している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
香芝市	あしびオレンジカフェ わくわくサロン「絆」	10	2023		7 1回/2ヶ月	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域のサロンで認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるように、認知症の人、家族、関心を持つ人が集い、学び、交流ができる居場所をつくりたいという思いから開催している。		・毎回テーマを決めてグループホームや警察など講師を依頼して学ぶ ・認知症や介護についての相談 ・専門職との交流		地域サロンの延長。地域での個別に声かけなどで参加受付している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大和郡山市	チームオレンジさくら	1	2023		8 月2-3	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政の声かけ		定例会(月1)、認知症サポーター養成講座協力、認知症紙芝居読み聞かせ活動など				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
山添村	認知症カフェ(ふらりカフェ)への参加、傾聴	10	2024		4 月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
当初に認知症養成講座を開始し、認知症への正しい理解をもらい、その後カフェにも参加してもらうことがある。		傾聴				

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<和歌山県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
5	2	1	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	1	1	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
5	4	3	4	3	1	3	2
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	1	0	0				

別紙1 <和歌山県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
和歌山市	見守り支援員派遣事業	2	2010		4 随時	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
見守り支援員として活動する場合に必要な		家族のレスパイトケア、家族にかわって本人の話し相手		登録		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
和歌山市	自主活動グループ	9			週1回	96
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
和歌山市	オレンジかふえinセントラルシティ	10	2021	12	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岩出市	ロバの会	1	2021	10	9回/年	53
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座フォローアップ研修を実施。修了者の中から参加希望者で「認知症サポーターの会」を結成した。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の運営スタッフとしての協力。(寸劇スタッフなど) ・知り合いに「認知症」の知識を伝える。 ・地域での高齢者の見守りなど。 ・認知症月間の啓発活動として展示物の作成。 		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座野受講後にアンケートにより参加者を確認している。 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
紀の川市	チームオレンジ活動	1	2023	12	見守り、訪問：随時開催 サロン：随時開催 多世代交流：不定期開催	90
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
すでにボランティア活動(サロンや訪問)を行っているボランティア連絡協議会という団体をチームオレンジに発展。事務局の社会福祉協議会と協同し、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座、フォローアップ研修を実施し自発的な活動を促進している。		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンでの見守り、傾聴、声掛け。 ・見守り訪問を通しての傾聴や声掛け。 ・ボランティア団体や子供の集い場で寸劇を交え認知症の正しい理解への啓発活動。 ・認知症当事者と協働した取り組み(介護者サロン、カフェの運営支援、しめ縄作り) 		ボランティア連絡会や一般市民を対象に認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座、フォローアップ研修を開催。?・自発的な取り組み・地域の場との協働(認知症の人の活動をサポート)		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<大阪府>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
18	8	0	1	0	0	0	1
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	2	0	3	1	2	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
18	13	9	9	16	3	11	6
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	6	4	0				

別紙1 <大阪府>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
堺市	堺市チームオレンジ(アモールカフェ)	1	2025	10	1回/月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2023年度ステップアップ講座にて、認知症カフェでの活動を促すことを目的に認知症サポーターと認知症カフェスタッフとの交流会を開催。その後、サポーターがカフェに参加するようになった。		飲食提供のためのメニュー確認・配膳。交流時の傾聴など		ホームページ上に公開されている開催日を確認し、サポーターとして参加希望の旨を活動主体に連絡。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
堺市	個人宅での支援(北区)	3	2024		不明	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2023年度ステップアップ講座受講後、区主催の認知症事業にも認知症サポーターとして参加。区の認知症地域支援推進員が若年性認知症のご家族とマッチング作業を実施した。		介護保険サービスでは行えない本人宅での家族の傾聴を中心に、家族の希望時に随時実施している。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
堺市	認知症サポーター養成講座	8	2023	5	1回程度/月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2023年度ステップアップ講座にて活動依頼を行い、以降LINEにて活動者を募っている。		会場案内、会場設営、片付け、資料・サポーターカードの配布 など		LINEにて募集し、当日の集合時に活動内容を依頼している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
堺市	認知症カフェへの参加	10	2023	3	1回程度/月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2023年度ステップアップ講座にて認知症カフェへの参加・活動を促すことを目的に、認知症サポーターと認知症カフェスタッフとの交流会を開催。以後、サポーターが各カフェに参加されるようになる。		傾聴、イベント参加、各カフェでのレクリエーション		各カフェにより異なる		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
堺市	ちよいサポ活動	11	2023	3	1回/2~3か月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2023年度ステップアップ講座にて活動内容の紹介と協力依頼を実施し、その後、LINEにて活動者を募っている。		会場設営、会場誘導、参加者の傾聴。私的な発言は控えていただき、傾聴・共感の姿勢で交流会に参加していただくようお願いしている。		LINEにて募集し、当日、活動依頼内容をお伝えする。		

別紙1 <大阪府>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
堺市	本人ミーティング	12	2023	5	1回/2~4か月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2023年度ステップアップ講座にて活動内容の紹介と協力依頼を実施し、その後、LINEにて活動者を募っている。		会場設営、会場誘導、イベント参加の促し・補助、当事者の見守り、交流会での傾聴。私的な発言は控えていただき、傾聴・共感の姿勢で交流会に参加していただくようお願いしている。		LINEにて募集し、当日、活動依頼内容をお伝えする。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
泉佐野市	おひさまとおまんじゅう横丁	1	2024	9	1回/月	29
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
今も泉佐野キャラバンメイトとして活動しているが、介護する側される側に関わらず一緒に行動しその姿を見てもらい「大丈夫なんだ」という視点を持ってもらいたい。認知症になっても自分らしく暮らすヒントを見つける活動をしたい。		・オレンジカフェ(毎月第2土曜日) ・寸劇を通じて認知症と伴に生きる「認知症サポーター養成講座」の開催 ・帰れるまちづくり～みんなが町のみちしるべ～泉佐野各地域にタスキを繋ぐおひさまとおまんじゅう横丁RUN				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
寝屋川市	おもろいまちねやがわワーキング	1	2021	4	月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ねやがわ認知症フォーラムで集まった実行委員である専門職等がワーキングを立ち上げ、その後認知症サポーターに声を掛け活動を広げた。		畑でサツマイモ作りを行ったり、認知y層の方の人生を文章や写真で展示する「人生日記」を作成したり、市と共催で啓発イベントを実施したりしている。また、上記活動の打ち合わせを突き1回定例会議を行っている。		【参考】チームオレンジ図		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
河内長野市	チームオレンジ河内長野	1	2019	10	1回/月 程度	68
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
本市では、H27年度より認知症ボランティア「認知症パートナー」の養成を行っており、認知症カフェや施設での傾聴活動等を行ってきた。また、本人ミーティング等を実施している「認知症MIRAIづくりミーティング」と共にチームオレンジとなった。		・個別支援(話し相手など) ・「カレーパーティー」「おいもパーティー」(調理・喫茶を楽しむ) ・認知症カフェ ・当事者やご家族とのお話会		認知症サポート養成講座を受講された方に対して、認知症パートナー養成講座受講を推奨し、受講された方を認知症パートナー(チームオレンジ河内長野の1つ)としている。		

別紙1 <大阪府>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
池田市	オレンジ(認知症)カフェ	10	2020	11	月2回	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
介護保険サービス外において、認知症当事者や介護者が集い、相談できる場としてオレンジカフェを展開する。		市民が認知症に関する相談や、理解を深める場として毎月2回オレンジカフェを実施。医療・介護専門職の他に、ステップアップ講座を受講した認知症サポーター(名称:オレンジパートナー)がカフェに参加する当事者や介護者の悩みや思いを傾聴する。		行政が実施主体となり、運営や周知活動を行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
摂津市	本人交流会(にっこりカフェ)	12	2023		1~2か月に1回程度	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ステップアップ講座受講後の活動場所として、本人交流会のボランティアスタッフとしての参加を令和6年度から呼び掛けた。		認知症本人、家族の話を受講。本人のやりたいことを実施する。		認知症地域支援推進員より、認知症サポーターステップアップ講座修了者のうち、ボランティアスタッフとしての活動参加の意思がある方へアプローチし、参加を呼び掛ける。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
摂津市	認知症サポーター養成講座	8	2025		3~4か月に1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和7年度より定例開催の認知症サポーター養成講座の中に、認知症の方への声掛けの仕方を学んでいただくために、声掛け模擬体験を実施。ボランティアスタッフとして参加を呼び掛けた。		ボランティアスタッフの方には、声掛け体験の認知症役の方を演じていただき、受講者が認知症の方への声掛けの仕方を体験していただく。		認知症地域支援推進員より、ボランティアスタッフとしての活動意欲のある認知症サポーターステップアップ講座修了者へアプローチする。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
吹田市	チームオレンジすまいる	1	2024	3	月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和5年3月10日に令和4年度認知症ステップアップ講座の受講後、地域の住民2名が千里山東・佐井寺地域包括支援センターに行き「この地域でも何かしないとイケないのでは！！」と相談したことがきっかけ。		令和6年3月11日立ち上げ。場所は地域の住民の集会室、日時は第2月曜日14時~16時。活動内容は住人及び地域の住民のお話を聞く会からスタート。参加費は100円(飲み物・お菓子付き)				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
交野市	にじカフェ	1	2017	2	月4回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の本人や家族に対する積極的な声かけ		認知症カフェの支援活動として、準備・片付け、参加者の対応、体操の補助、楽器演奏		チームオレンジの拠点から支援依頼書を受け取り、チームオレンジコーディネーターが調整。		

別紙1 <大阪府>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
富田林市	純喫茶おれんじ	10	2022	4	月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>活動開始のきっかけは、認知症の本人が「カフェで働きたい」と希望したこと。認知症の本人の希望を叶えるべく、複数人のキャラバン・メイトが中心となり、地域包括支援センターに協力を依頼してきた。また、カフェの近所の認知症サポーターの協力も得て、認知症本人、キャラバン・メイト、認知症サポーターにより、カフェの開始となった。</p>		<p>認知症カフェ「純喫茶おれんじ」における受付や飲み物の提供など。</p>		<p>認知症サポーターであり、キャラバン・メイトでもある、「認知症ケアを推進する会 おれんじパートナー」の代表者に参加の希望を申し出ることで、活動に参加が可能。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
四條畷市		1	2021	2	定例会は3か月に1度、個別支援・ロバマスコット作成はその都度	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症の方のご家族から認知症の普及啓発や地域での見守りを広げていけばと働きかけがあり、有志が集まった。</p>		<p>認知症カフェの運営支援、趣味活動(将棋、麻雀)、通場のマップ作成、ロバマスコット作成、グループホームでの外出支援、地域ケア会議の参加</p>				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島本町	買い物レク	1	2025	11	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症ステップアップ講座受講者と定期的な情報交換・つながりをもつために定例会を年数回開催していた。定例会のグループワークにてスーパーで困っている人を見たことがあり、買い物に関するボランティアをしたいという話になった。当事者やスーパーからもニーズを聞き、買い物レク開始に至る。</p>		<p>定例会では、当事者(希望大使など)に話を聞いて、認知症に関する知識を深めたり、グループワークにて「ボランティアとして何ができるか？」を考えている。 買い物レクでは、当事者が通い慣れたスーパーにて当事者とボランティアが会話をしながら買い物を楽しんでいる。当日開催されているコミュニティカフェにも買い物前後で立ち寄り地域の方を交流している。</p>		<p>定例会は、ステップアップ講座受講者へ案内し参加してもらっている。買い物レクは地域包括支援センターの総合相談の中で対象者を把握し、認知症地域支援推進員がボランティアとのマッチングを行っている。</p>		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<兵庫県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
14	10	0	0	0	0	0	1
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	2	1	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
14	10	8	12	10	0	6	8
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	9	0	1				

別紙1 <兵庫県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川西市		1	2025	3	1回/月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症カフェ運営。日頃から近所の見守り活動、カフェでの後方支援等を実施。既に何年も活動中。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川西市		1	2025	5	2回/月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症カフェ運営。普段からの声かけ、見守り。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
尼崎市	チームオレンジ尼崎(ボランティアチームで認知症の人、その家族の支援等を行う)	1	2019	4	1回/月	87
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
芦屋市	あしやの会	1			1回/2月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症地域支援推進員の活動として、認知症の方の集まる場を作るという課題から		認知症の方が集まって楽しめる場、また語れる場		当事者からやりたいことを聞いて、認知症地域支援推進員の方で準備、啓発、開催に至っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
宍粟市	オレンジカフェでのチームオレンジ活動	10	2023	9	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
毎月開催しているカフェに地域の高齢者を誘うなど見守り活動をしていたことから。		毎月オレンジカフェを開催や配食ボランティアで地域の見守り活動をしている。気になるときは地域包括支援センターにつなぐ。		チームオレンジ活動への参加やオレンジカフェ参加については、カフェ主催者に連絡する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
加古川市	いきいき百歳体操	1	2023	2	月4回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
いきいき百歳体操会場において、チームオレンジの立ち上げ以前より認知症高齢者への参加の声掛けなどを行い、社会参加を促していた。		月3回は体操を中心に実施、月の最後は体操後に介護予防の活動やお茶会、レクレーションなどを実施している。				

別紙1 <兵庫県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
洲本市	チームオレンジ	1	2022	1	月2回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター交流会を市主催で開催していたが、それだけではサポーターの活躍の場があまりなかった。より実践的なステップアップ講座を令和4年度から開催している。ステップアップ講座受講者の内、ボランティア活動希望者をチームオレンジとして登録している。		オレンジカフェへの参加。デイケアでのレクレーションボランティア。		「洲本市チームオレンジ・活動・参加にあたっての流れ・スキーム資料」を別途送付		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
洲本市	オレンジカフェ	10	2024	1	月に1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジコーディネーター(社会福祉協議会職員)が中心となり、チームオレンジの活動拠点として立ち上げる。		地域住民や認知症の当事者やその家族との交流拠点となる。普段は、プログラムは用意されていないが、年に数回行政が情報提供や講師を招いて、勉強会を行う。		無し		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
洲本市	認知性を支える家族の会	11	2007	4	月1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
家族介護経験者の一人が働きかけ、家族会の活動が始まった。家族会の会員は、認知症サポーター養成講座受講者の他、キャラバン・メイトとなった方もいる。		認知症者を抱える家族が集まり、日頃の悩みや介護体験を分かち合う場を提供している。介護の専門家等を講師に招き、最新の介護方法を学ぶ勉強会を開催している。		なし		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三田市	チームオレンジ	1	2025	4	年1回以上	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		チームオレンジ交流会・三田市マスターズマラソンファンランにて啓発活動・啓発物作成等		啓発チラシを作成し配布・LINE等での配信		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小野市	もものわ交流会(認知症の人と家族の一体的支援プログラム)	1	2025	4	月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人と家族の一体的支援事業を進めるに当たり、チームオレンジに運営補助をお願いした。		交流会において、認知症本人の活動への見守り、補助 家族の相談支援		年間で予定を割り振り→当日参加→活動報告書の提出		

別紙1 <兵庫県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
西脇市	チームオレンジにつきー	1	2025	3	2か月に2回	49
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座を受講した方と地域包括支援センター、市でチームオレンジの活動に向けて話し合いを重ね、活動開始。		認知症や介護のことを自由に話すことができる集いの場。生活に役立つミニ講座も実施。		①チームオレンジのメンバーに案内発送②ミニ講座の講師の調整③広報や防災無線による周知		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
太子町	チームオレンジ太子	1	2022	3	月1回	35
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症地域支援推進員(行政職)が認知症サポーターステップアップ講座受講者に発案した		傾聴カフェ、サポーター養成講座の講師、本人ミーティングや認知症カフェの参加、講演会イベント等での普及啓発		認知症サポーターステップアップ講座受講後に、チームオレンジ活動への参画の同意があった際、登録していただいている。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<岡山県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
18	8	0	0	0	0	0	1
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	6	1	0	0	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
18	16	13	7	12	1	12	12
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	10	0	0				

別紙1 <岡山県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岡山市	認知症フレンドリー企業	7	2020		適宜	1215
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりの一環として、認知症の人も安心して利用できる企業を増やしていくことを目的に開始。		・従業員に認知症サポーター養成講座の開催、受講勸奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 ・見守りネットワークへの協力 等		上記活動が可能な企業で登録を希望する場合は市へ申請書を提出。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岡山市	MK！あおぞら教室さくら組	1	2022	12	週1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域でボランティアがしたいという本人の声から活動を開始。		認知症サポーター宅にて体操や歌唱等、皆のやりたいことをその都度話し合い実施している。		地域包括支援センターの職員が個別支援や地域の事業に参加した際に当事者のやりたいこと(ニーズ)をすくいあげ、チームオレンジコーディネーターが認知症サポーターとその当事者をマッチングし、活動へ展開する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岡山市	さんかく屋根の会	1	2022	11	月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
同じような境遇の人と話がしたいという本人の声から活動を開始。		コマダ珈琲店にて座談会を実施。		地域包括支援センターの職員が個別支援や地域の事業に参加した際に当事者のやりたいこと(ニーズ)をすくいあげ、チームオレンジコーディネーターが認知症サポーターとその当事者をマッチングし、活動へ展開する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岡山市	チームこもれび	1	2023	11	必要時 年1回程度	40
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
歴史の話がしたい、後世に伝えたいという本人の声から活動を開始。		地域にある大学で講演を実施。		地域包括支援センターの職員が個別支援や地域の事業に参加した際に当事者のやりたいこと(ニーズ)をすくいあげ、チームオレンジコーディネーターが認知症サポーターとその当事者をマッチングし、活動へ展開する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岡山市	ひまわり	1	2024	2	適宜	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
住み慣れた地域でゆっくりのんびり暮らしたいという本人の声から活動を開始。		地域のサポーターによる見守り活動を実施。		地域包括支援センターの職員が個別支援や地域の事業に参加した際に当事者のやりたいこと(ニーズ)をすくいあげ、チームオレンジコーディネーターが認知症サポーターとその当事者をマッチングし、活動へ展開する。		

別紙1 <岡山県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
岡山市	シャインWすがの	1	2025		2 2~3か月に1回程度	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「お茶をたてたい」「地域で役に立ちたい」という本人の声から活動を開始。		地域のグループホームでお茶会を実施。		地域包括支援センターの職員が個別支援や地域の事業に参加した際に当事者のやりたいこと(ニーズ)をすくいあげ、チームオレンジコーディネーターが認知症サポーターとその当事者をマッチングし、活動へ展開する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
瀬戸内市	つくしカフェ・出張カフェ	10	2017		1回/月	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座を受け、その後に市独自のステップアップ講座を受けた方で有志が地域包括の声掛けにより集まったことがきっかけ。		月に1度の認知症カフェへの参加、茶菓子の準備やその月に行うイベント等の準備を行う。カフェ中は参加者の話を傾聴。		前月のカフェ終了時に次回の打合せも同時に行い、必要に応じて開催前にも打合せをして担当決めを行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
瀬戸内市	認知症介護家族の交流会	11	2017		1回/2か月	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座を受け、その後に市独自のステップアップ講座を受けた方も参加する認知症カフェと同時開催する形で開催。		参加された家族の方の話を傾聴。最近の様子などの話や困っていること等を気軽に話してもらえるように会に参加。		前月のカフェ終了時の打合せと同様に行い、必要に応じて開催前にも打合せをして担当決めを行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
瀬戸内市	健脳カフェ ゆう	1	2025		3 1回/月(現在は一時休止中)	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
R5年4月から出張カフェとして継続し、活動場所としての定着ができていたことからステップアップ講座受講者を中心に参加者のやりたいことをするという活動をしようと開始された。		茶話会を中心に季節ごとのレクリエーション活動やイベント、参加者の行きたい所への外出支援。		カフェ終了時と必要に応じて開催前に準備、打合せを行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
瀬戸内市	認知症サポーター養成講座	8	2016		年度内で5~10回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
介護事業所に属する認知症サポーターだけでなく、地域のボランティアとして活動するサポーターにも講座中の寸劇などで活躍してもらうため。		・養成講座内で行う寸劇(財布がない、誰が食べた等)で認知症高齢者役を行う。 ・講座内でのグループワークでファシリテーター役を行う。		キャラバンメイト連絡会などを通じて講座への参加を調整する。		

別紙1 <岡山県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新見市	オレンジの会	14	2021		年6回	28
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座終了後アンケートにより、活動協力者の希望者に声かけして、ステップアップ講座受講後ボランティアとして活動できる方に働きかけしている		認知症啓発活動、認知症市民研修会への参加と共済、認知症の啓発カラーであるオレンジ色のマリーゴールドの寄せ植えをして、認知症市民研修会で会場に飾り花を添えた。		認知症サポーター養成講座受講→ステップアップ講座受講→ボランティアとして活動		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新見市	ロバの会	1	2024	9	月1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ設立に向けて手芸が好きなご本人と認知症サポーターの活動をマッチングし、お話し会から始めた		手芸の会		ステップアップ講座修了者の中でボランティア活動ができる人をマッチング		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
浅口市	オレンジカフェ	10	2024	4	月2回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域で行っているサロンやグランドゴルフなどでルールが守れず参加静粛な人から「自分も参加しやすい場所が増えればいいの」という声を聞いたサポーターから相談があった。チェック内のほかのサポーターにも声をかけステップアップ講座を受講後カフェの定期開催へつながった		・月2回のオレンジカフェ・掲示板へ日程等のお知らせを貼ったりお互いの声かけ、誘い合い・月1回はカフェの反省会に認知症地域支援推進員が参加し情報共有				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
奈義町	オレンジカフェ山桃	10			年数回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町内の医師が地域ケア会議のメンバーに声掛けして一緒に開催する有志をつのり開始		月1回 医師や介護職員、ケアマネ、理学療法士等と認知症サポーターで認知症の勉強会や認知症予防運動や間違い探し、音楽療法等を行っています。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美咲町	オレンジカフェの参加	10	2020	4	月3回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和2年認知症相談事業として包括支援センターにより開催、令和4年度からオレンジカフェとして名称変更、令和5年度から現在のNPO法人へ委託。		ミニ講座。レクレーション(秋の運動会、玉入れ、パン食い競争、昔を懐かしむ、お茶タイム、寸劇)お誕生日のお祝いなど。		声掛け、広報、告知放送により参加者を募っている。		

別紙1 <岡山県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢掛町	認知症カフェにじ	10	2017	4	月2回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
退職を機に福祉関係のボランティアをしたかったので。		茶話会		本人・家族または包括職員から主催者へ参加希望を伝え見学・参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
矢掛町	チームオレンジなないろ	1	2024	8	月2回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町の呼びかけでメンバーを募集し、認知症カフェを運営している団体を巻き込んで活動を開始した。		脳トレ、計算、体操等		本人・家族または包括から主催者に参加希望を伝え、見学・参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
里庄町	カフェ里ちゃん	10	2024	5	月1回	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
令和5年度に初開催したステップアップ研修修了者のうち活動希望者とミーティングで活動案を話し合い認知症カフェを運営することとなった。		1時間30分の認知症カフェ。体操、イベント、茶話会など		認知症サポーター養成講座、ステップアップ研修修了者に活動を周知。希望者を活動へつなげる。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<広島県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
26	12	0	1	0	0	0	1
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	4	3	0	5	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
26	16	14	14	9	0	8	16
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	5	1	0				

別紙1 <広島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
福山市	高校生による認知症カフェの運営	13	2024	4	月1回	16
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>課題研究を行う授業の一環として、地域の課題に目を向けた昨年度の3年生が、「地域の困りごとを解決したい」と思いを持ったことをきっかけに、高校生が校内で認知症カフェの立ち上げ、運営を行い、その活動は現在次の3年生へと引き継がれ、継続して実践されている。</p>		<p>認知症の本人や家族、認知症に関心のある地域の方々が気軽に参加できる場として、認知症カフェを開催している。世代間交流を大切にしながら、高校生ならではの明るさや元気を生かした温かい交流の場作りを行っている。</p>		<p>授業の一環として実施</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
福山市	小学生による施設入所者との交流	13	2025	10	不定期訪問	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>以前より小学校と認知症カフェを運営する近隣の介護事業所との交流があり、互いに声を掛け合い、交流を持っていた。校長先生より「子供達が高齢者の生活の一環に入りたい」との話があり、今年度から小学5～6年生が認知症カフェ等を中心に認知症高齢者との関わりを定期的に持つことになった。</p>		<p>認知症カフェに訪問し、高齢者との交流を図っている。認知症カフェ以外にも月に数回グループホームに訪問し、配膳や高齢者が会を楽しむための手助け(歌詞カードの説明等)等も行っている。</p>		<p>授業の一環としての実施</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
福山市	サポーターによる認知症カフェの運営	13	2025	4	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症地域支援推進員より認知症カフェの話聞いたサポーターの方々が立ち上げに名乗り出てくれてオープンする運びとなった。</p>		<p>月1回コミュニティーセンターでカフェを開催。申込不要、参加費無料。いつ来て、いつ帰っても良い場。前半に講話、後半にカフェタイムで飲物とお菓子が提供され、参加者の交流の場となっている。協賛している事業所の専門職による介護や認知症に関する相談も受け付けている。</p>		<p>サポーターと協賛の地元の事業所と専門職とで認知症カフェを運営。代表、副代表、会計をサポーターが努め、カフェの企画、準備、運営全てを担っている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
廿日市市	認知症カフェ「リフレッシュカフェ」	10	2022	4	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症の人の見守り活動を通じて地域住民が誰でも気軽に立ち寄り交流や相談支援を受けられる「地域のよりどころ」として認知症カフェを開設することになった。</p>		<p>認知症の当事者やご家族をはじめ地域の人々が安心して過ごせる場所としておしゃべりやレクリエーションや歌唱を行うほか、必要に応じて専門職による相談支援も実施している。また、季節の手作りスイーツも提供しており、参加者から大変好評</p>				

別紙1 <広島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
廿日市市	サロンなごみ	11	2022	11	月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
100歳体操に参加できない認知症の人に外出の機会を作りたいとの思いから、パンを食べておしゃべりする会なら、いろいろな人が参加しやすいのでは？と開催に至った。		月に1回、作業所パンを届けてもらい、テーブルに分かれておしゃべりしながらパンを食べる。 認知症地域支援推進員が同席するので相談があれば対応できる他、認知症についてのちょっとした座学も開催している。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
尾道市	チームオレンジ	1	2023	10	月1～4回	91
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・菜の花カフェ参加者が、来る途中道に迷いカフェの後半に来られるようになった。参加されなくなった方が心配、等の声から、菜の花カフェのスタッフ及び参加者全員がステップアップ講座を受講し、チームオレンジを立ち上げた。</p> <p>・認知症の人や地域の人みんなが喜んで集まっていたような居場所、オレンジカフェをつくりたいとの思いからチームオレンジを立ち上げた。</p> <p>・認知症の方の一人歩きを発見し家まで送り届けた経緯を基に、認知症高齢者が増える中これからは吉浦地区みんなで認知症に関する取り組みを進めていかなければならない、との強い思いから、チームオレンジを立ち上げた。</p> <p>・お互いにお互いを気にかけて、堅苦しくない助け合いをしたい。皆何かをしてあげたいと思っている、お互い様、元気なうちは誰かのお役に立って皆で助け合えるようなチームにしていきたい。スタッフだけではなく、地域の皆でチームを組んでこそ意義がある、との思いからチームオレンジを立ち上げた。</p> <p>・カフェに参加したくても、来る手段がないので来られない人がいる、浦崎地域に送迎サービス(UMEプロジェクト)があるが利用できないかとの声から、かぐら浦崎カフェのスタッフがチームオレンジかぐらを立ち上げた。</p> <p>・地域の中にある施設として月1回のカフェ開催とともに、出来ることはお手伝いしたいとの思いから職員全員で認知症サポーター養成講座を受講。チームオレンジの意義を学ぶステップアップ講座も受講し、職員と地域住民とともにチームオレンジけやきの樹を立ち上げた。</p>		オレンジカフェの開催(月1回)、笑食の会(月1回)、介護者と認知症の人の集い(不定期開催)、気になる方への自宅訪問や電話、出張カフェ、見守り・声掛け、地域包括支援センターや介護事業所への相談連携・つなぎ、ごみ出し、回覧板の回し(生活支援)、買い物し届ける(生活支援)、買い物や地域行事への付き添い(外出支援)				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三次市	「認知症の人にもやさしい事業所」認定事業	7	2015		不明	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症の人が困っておられたら・やさしい対応をする。迷っている方への声掛け・お金の支払いに困っている方への対応・配達等の仕事であれば様子の確認				

別紙1 <広島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三次市	三次市認知症カフェ認定事業	13	2015		10 約月1回程度	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
H26年の8月に三次市内ショッピングセンターのサングリーンにて認知症サポーター養成講座実施。市民でもあるキャラバン・メイトから三次市でも認知症カフェを実施するべきと声がかかる。		地域での講座で案内・包括支援センターでの案内・地域の認知症予防講演会等から直接行ってもらったり紹介をして活動・参加している。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三次市	認知所の人と家族の会(認知症の人やその介護者との交流)	11			2カ月に1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症のことについて、改めて知ってもらうため。		当事者の方同士で話をする。介護中の方と一緒に話をしたりする。		9月の認知症月間、講演会での周知や包括支援センターでの相談から紹介して参加。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
三次市	小学生による認知症カフェとの交流	13			年1回(認知症カフェ自体は月1回程度あるが)	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターから小学校の校長先生や担任への声掛け、地域の事業所		認知症カフェへの参加(発表等)・認知症カフェの看板づくり・カフェ参加者との交流		主催者と小学校が打ち合わせ等実施して活動		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東広島市	傾聴おはなしボランティア	3	2013		8 対象者1人につき月1回	60
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成25年12月 第1回 傾聴おはなしボランティア養成研修実施 認知症の人が尊厳を持って地域で安心して暮らせる環境を整えることを目的に年2回開催している、オレンジドクター、オレンジアドバイザー、キャラバン・メイトの交流会(通称:オレンジ交流会)の有志の会にて発案された。認知症介護支援の充実を図り、認知症の人や家族支援の具体的な活動を行うために、認知症サポーターを活用しての傾聴・おはなしボランティアの養成を行った。		認知症の本人・家族を対象として、月に1~2回、1時間、傾聴おはなしボランティアが対象者の自宅を訪問し傾聴活動を行う。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターのうち、傾聴おはなしボランティアとしての活動を希望する方は、東広島市地域包括ケア推進課(以下、担当課という)が隔年で実施している「傾聴おはなしボランティア養成研修(認知症サポーターステップアップ研修)」を受講する。 ・研修修了後、傾聴おはなしボランティアとしての登録を行う。活動を希望する地域、曜日、時間帯などの必要事項を登録する。担当課は、年1回登録者へ継続意向の確認を行う。 ・傾聴おはなしボランティア利用希望者からの申請を受け、担当課で利用希望者と傾聴おはなしボランティアのマッチングをし、傾聴おはなしボランティアが地域包括支援センター職員や利用希望者の担当ケアマネジャー等と初回訪問を行う。傾聴おはなしボランティアと利用希望者の両者が活動の継続を希望した場合、月2回までの定期訪問を行う。 ・傾聴おはなしボランティア交流会を年1回実施している。 		

別紙1 <広島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	四つ葉のクローバー(見守り、サロン、イベント開催)	1	2022	10	サロン月1回 イベント年数回	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ふれあいいきいきサロンを実施している自治会長がチームオレンジを立ち上げた。		地域の高齢者の孤立予防。サロン・イベントの見守り隊				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	わくわく(高齢者の集いの場)	10	2023	4	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
ボランティア活動からチームオレンジへ						

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	つばき(家族の会)	1	2023	4	月1回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
家族の会からチームオレンジへ		傾聴				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	ごすけの山小屋(カフェ)	1	2023	9	月1回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
古民家を利用した居場所づくりからチームオレンジへ		カフェ、ランチ会				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	ハッピー(カフェ)	1	2023	8	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
自治会の働きかけでチームオレンジへ		カフェ		地域での声掛け		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	シーサイドカフェ	1	2023	4	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
自治会長の母親が認知症で、居場所づくりのためチームオレンジへ		認知症カフェ				

別紙1 <広島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	ご縁の会(認知症予防ゲーム、カフェ)	1	2024	7	週1回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
民生委員の働きかけで、チームオレンジへ		認知症予防ゲーム、カフェ				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	オレンジサポーターバンク(個人の活動)	1	2023	9	不定期	108
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
オレンジサポーターの希望者を登録し、地域包括支援センターが管理する		個人の活動(見守り、傾聴、外出支援、介護予防教室への協力、サロンやカフェの開催など)				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	まめがいちばん	1	2025	6	月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域のケアマネジャーの働きかけでチームオレンジへ		カフェ				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
呉市	ラブリーガール(カフェ、イベント)	1	2024	7	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
民生委員の働きかけ		カフェ、イベント				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
府中町	チームオレンジ(BLANKET)ボランティアの集い(仮)	11	2025	11	不定期	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座で行政からの働きかけ		通所施設・入居施設等へのボランティア		認知症サポーターステップアップ講座の受講後に参加を呼びかけ。または活動者から声掛け→認知症サポーター養成講座を受講→ステップアップ講座を受講		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大崎上島町	チームオレンジ	1	2025	7	月2回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
10年前から活動している認知症カフェがチームオレンジの機能を果たしているため、認知症地域支援推進員がカフェのスタッフに働きかけた。		カフェの開催(体操、談話、歌、認知h層疾患医療センターの看護師によるアクティビティの紹介や介護のアドバイス)		チームオレンジの運営の手引きに沿う。意思相通が難しくなっている参加者もあるが、本人発信の方法をスタッフ間で模索している。		

別紙1 <広島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
世羅町	チームオレンジほほえみ	1	2024	12	不定期	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症普及啓発、認知症サポーター養成講座の開催				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
坂町	坂うめじろうカフェ	10	2023	5	年6回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
坂町	ようよう喫茶	10				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<島根県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
3	0	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	3	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
3	2	2	1	1	0	0	0
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	2	0	0				

別紙1 <島根県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
松江市	まつえオレンジカフェ	10	2018	4	月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市主催のオレンジカフェに認知症の人と家族の会の役員が参加しており、毎回開催時に運営を手伝っていただいている。		参加者の話を聞き、必要に応じて助言や体験談を話す。		特になし。自由に参加できる。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
松江市	のあカフェ	10			月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中心人物の働きかけにより、有志のメンバーが集まった。		参加者同士の談話、専門職からの助言等		不明		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
松江市	智者ヶ池お茶の間カフェ	10			月1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
不明		参加者同士の談話、イベント開催		不明		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<鳥取県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
3	1	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	1	0	0	0	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
3	3	3	3	3	2	3	3
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	3	1	0				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日野町	わすれんぼくらぶ(チームオレンジ)	1	2019		6 3回/月	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>平成12年10月6日に発生した鳥取県西部地震後に、地域住民で立ち上げた地域の見守り(訪問)を行うボランティア団体の活動を取り組む中で、地域の認知症の人の支援の必要性について考えるようになり、認知症について学ぶため、認知症サポーター養成講座を3年間続けて受講し、その受講者を中心に「わすれんぼくらぶ」を団体内に発足させ「わすれんぼカフェ(オレンジカフェ)」を平成19年に開設した。</p>		<p>オレンジカフェ参加者には認知症の人も含まれるため、グループ員が地域でこれまで個人として行ってきた、してあげるお世話ではなく、暮らしに関わる横断的な日常的な支援が必要と思うようになり、認知症サポーターステップアップ講座、チームオレンジコーディネーター研修を数名で受講。令和6年にチームオレンジとして活動を始めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オレンジカフェを毎月1回定例開催。 ○町内の他地域でのプチわすれんぼカフェをその地域の人たちと一緒に開催。 ○認知症の心配がある人と家族の個別検討会と認知症についての勉強会を講師を招き、行政、地域の医療・介護専門職を含めて随時実施。 ○映画オレンジ・ランプの上映会、当事者の想いを聴く会、日野学園生徒とPTAの認知症サポーター養成講座の実施などを行政、地域の専門職等と一緒にしている。 ○母体のボランティア団体と毎月誕生日訪問活動を地域の子どもたちと一緒に実施。 		<p>グループ事務局メンバーでのたたき台提起 ⇒グループ員全員での企画検討立案 ⇒グループ以外の人たちを巻き込んで企画の実施 ⇒実施後のふりかえり</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日野町	オレンジカフェわだや小路	10	2016		2 1回/週	35
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症の人と家族の会鳥取県支部では、行き場のない若年性認知症のひとと家族のために2008年7月に「にっこりの会」の開催をはじめ、開催場所が公民館などその都度変わっていました。認知症のひとと家族には、決まった場所、決まった時間が良いということから、商店街の空き店舗を改装して、2010年9月笑い庵カフェ&マルシェを開設し、毎月1回「まちなかカフェ」を実施していましたが、当事者によるカフェの運営の必要と考え、若年性認知症の本人と家族(夫妻)が運営の中心の「オレンジカフェわだや小路」を2014年4月に新たに空き家活用により再生された、わだや小路で毎週開催するようになりました。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○認知症の本人と家族が運営の主体なので多くの当事者が参加するようになってきた。 ○カフェを毎週開催、地域のカフェとして誰でもふらっと立ち寄れる場所となっている。 ○予約すれば、ワンコインでランチ(カフェ付)が食べられること、ランチづくりには認知症の本人や家族が参加しているなど、当事者主体の運営がなされている。 ○カフェであり、イベント型ではないため、それぞれの過ごし方ができる場になっている。 ○希望あれば、認知症の相談が専門職や介護体験者より受けることができる場でもある。 ○カフェでは、一人暮らしや心身に不安がある人のために「認知症・フレイル予防体験塾(チームオレンジわだや小路)」を月2回カフェとは別の曜日に実施している。チームオレンジでは、お互いの連絡網による安否確認、大学保健学生による「まちの保健室」を行い健康管理、スマホを楽しむ等の活動を行っている。 				

別紙1 <鳥取県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
八頭町	キッズサポーター(高校生)と街頭啓発活動	14	2022	9	年1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
高校からの相談		認知症サポーター養成講座実施後、高校生サポーターと共にポスター、配布物など啓発物品を共同制作。町内事業所に協力依頼を行い店舗前にて認知症月間に該街頭啓発活動実施。		サポーター養成講座実施、3か月後啓発物品作成、認知症月間に配布		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<山口県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
16	3	0	1	0	0	1	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	2	2	4	2	0	0	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
16	15	12	13	15	0	11	9
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	12	0	0				

別紙1 <山口県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
山口市	チームオレンジ	14	2023		4 別添資料を参照	66
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーターが地域で活躍する機会の充実を図るため、山口市では令和元年11月から、より専門的な講座である「ステップアップ講座」を受講した者を「オレンジサポーター」として登録していた。その後、令和5年に従来の「オレンジサポーター事業」を再整備し、新たに「チームオレンジ」として位置づけた。</p>		<p>① 認知症カフェへの参加・協力 認知症の人への支援(話し相手、傾聴、活動のサポート) 運営補助(会場設営、レクリエーション補助など) ② 普及啓発活動 認知症サポーター養成講座での寸劇の実演、運営補助 認知症月間における認知症に関する掲示・啓発 ③ 市や地域の認知症事業への参加・協力 市が開催するVR認知症体験講座への参加・協力 地域で実施される徘徊模擬訓練への参加・協力 ④ 定例会の実施 活動内容の検討や準備 サポーター同士および地域包括支援センター職員との交流 認知症の人や家族への対応方法についての学習 認知症に関する最新情報やトピックを学ぶ勉強会</p>		<p>市主催の認知症サポーター養成講座やVR認知症体験講座、定例会などの全体活動は市が依頼し、徘徊模擬訓練や認知症月間の啓発など地域行事は担当の地域包括支援センターが依頼する。サポーターは依頼内容を確認して参加し、当日の支援や運営補助を行っている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
山口市	山口市ほっと安心SOSネットワーク	6	2015		6 随時	1400
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		<p>事業の趣旨に賛同され、協力可能な事業者から申出書を市へ提出していただき、協力事業者として登録する。 行方不明者が発生した場合、市高齢福祉課から協力事業者へメールまたはFAXにて情報提供を行い、通常業務の範囲内で捜索に協力いただく。</p>		<p>山口市ほっと安心SOSネットワークリーフレット.pdf</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
萩市	脳の健康楽習会 江向カフェお陽さま 和たすカフェ	1			活動により異なる。週に1回、または月に1回	50
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症サポーター養成講座のステップアップ講座を受講された方たちが中心となり、地域で集いの場を立ち上げ</p>		<p>認知症カフェや脳の健康楽習会</p>				

別紙1 <山口県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
萩市	認知症サポーター養成講座の開催	8	2006		随時	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政(事務局)が主体で実施する認知症サポーター養成講座の開催にあたり、認知症サポーター(キャラバン・メイト)に協力の投げかけ。また、認知症サポーターが所属する団体等(町内会や生涯学習サークルなど)に、サポーターが養成講座開催の投げかけ等の調整を行う		認知症サポーター養成講座プログラムへの参画				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
萩市	認知症予防運動教室	9	2016		月1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座のステップアップ講座の開催にあたり、活動のひとつとして認知症予防運動の体験の機会をもうけたところ、一般の参加者からの要望で定期開催することになり、そのまま認知症サポーター(ステップアップ講座受講者)が協力して関わることとなった		認知症予防運動教室の運営補助(対人援助等)				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
萩市	脳の健康楽習会	9				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
萩市	江向カフェお陽さま	10				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
萩市	和たすカフェ	10				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

別紙1 <山口県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
萩市	ケアラーズカフェうぐいす	11	2017	1	月1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座のステップアップ講座の開催にあたり、講座終了後の活動の場として紹介		家族同士の交流や学び、活動の支援				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
萩市	ほわり	11	2023	5	月1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
開催にあたり行政から投げかけ		家族同士の交流や学び、活動の支援				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
光市	認知症の人を介護する家族の悩みや不安の傾聴	3	2024	6	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジとして、介護者の方が日々の思いをより気軽に遠慮なく話せる、相談できる機会を作りたいとの思いから開催となった。		月に1回認知症の人を介護する家族が集まって、日々の思いを話す。参加者が1人1回は必ず話せるように心がけ、順番に話せるよう調整している。市の職員が毎回必ず出席し、制度に関する質問等に答えられるようにしている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
山陽小野田市	認知症カフェ	10	2022	4	2か月に1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座内で、「自分でできそうな取組」をグループに分かれて話し合ってもらった際、「みんなで認知症カフェがやりたい」という意見が出て、同じテーブルのメンバーで実施することになった。		2か月に1回、地域の交流センターにて認知症カフェの運営を行っている。		認知症サポーターが中心となり、地域の民生委員や福祉員、地域包括支援センターの職員（認知症地域支援推進員）等も協力して運営を行っている。事前の打ち合わせや事後の振り返りを行い、認知症カフェの目的がぶれないよう努めている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
宇部市	チームオレンジ	1	2021	3	1-2回/月	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政によるチームオレンジの結成		認知症カフェの企画運営・認知症サポーター養成講座や認知症SOS見守り声かけ体験への参画・認知症の方と小学生の交流の実施		認知症地域支援推進員（チームオレンジコーディネーター兼任）とともに企画・運営する。		

別紙1 <山口県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美祢市	Team Happy	1	2024		4 週1回	18
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族が孤立しない美祢市をつくる。 ・認知症の有無や段階を問わず、本人、家族が安心して話せる居場所をつくる。 ・本人、家族、サポーター誰もが無理なく楽しく誰かのために活動できる場所をつくる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・HappyClub(交流支援)第1・3金曜日10:00～11:30 本人、家族、サポーターが活動を通し、安心して交流を図ることを目的として、レクや脳トレ、季節の行事等を行っている。年2回ずつ外出や調理も計画。家族同士の交流会を実施。 ・HappyDoor(相談支援)第2・4・5金曜日10:00～14:00 本人、家族の困りごとや不安を、傾聴活動を通し、早期から継続して支援することを目的として、実際に介護経験のあるサポーターや本人が相談者の話を傾聴する。 ・HappyWork(社会参加支援)第2・4・5金曜日10:00～14:00 本人、家族と共に企業や地域団体に対し貢献活動を行うことを目的として、役割のある簡単なボランティア活動を行う。現在はウエスや牛乳パックの椅子作り等を実施。 		活動内容に関しては、本人・家族・サポーターと相談。 支援する側、される側といった壁を感じることはない様、皆が楽しめるように配慮。 月1回はサポーター同士のミーティングを設け情報共有を行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美祢市	認知症サポーター養成講座	8	2007		4 月1回程度	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校で開催する認知症サポーター養成講座にて、グループワーク内での先生役。 ・認知症サポーター養成講座にて、あいさつや認知症サポーターの役割等の説明。 ・認知症サポーター養成講座にて、寸劇への出演。 		開催が決まれば協力者を募り、役割分担を決める。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美祢市	ほっとカフェ	10	2017		3 月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2火曜日10:00～14:00 参加費100円 ・脳トレや季節の行事を実施。お茶を飲みながらのんびり過ごす。午後からは健康マッサージやトランプを実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ・サポーターの中でグループ分けを行い、その月の担当グループが活動の企画・運営を中心となって行う。 ・毎回終了後にサポーター同士のミーティングを行う。 		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<香川県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
6	1	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	1	2	0	0	1	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
6	6	5	5	6	2	6	5
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	4	0	0				

別紙1 <香川県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
観音寺市	認知症カフェ	10	2016	4	月3回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターが認知症サポーター養成講座を受講した方で、「認知症の方や家族を支えるために何かお手伝いしたい」と希望があった方にお声がけし、有志で認知症カフェを立ち上げる(もとは、地域サロンからスタートしている所もあり)。		・健康チェック(定期的に体力テスト)・脳トレ体操・お手玉を使ったゲーム・ボッチャ、調理、手芸・茶話会・認知症推進員が活動支援を行っている。		年間計画立てて実施、カフェ終了後には振り返りを実施している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
丸亀市	わたしの居場所～まるちゃん～	10	2023	4	月2回	21
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の家族の方から「認知症の本人も家族もいきいきと自分らしさを出せるそんな家族が出逢いつながる場所を作りたい」という話から、ステップアップ講座を受講したサポーターとともに、新しいカフェを作ることになりました。		「出会う・支え合う・話し合う」をコンセプトに認知症の人とその家族が安心できる居場所を運営。(本人の活動支援・専門職等の個別相談・家族会・イベント開催)		① 対象者: 丸亀市在住の認知症の人とその家族 ② 会場: 丸亀市市民交流活動センター マルタス ③ 開催日: 毎月 第1木曜日・第3水曜日 (10:00～12:00) ④ 申込: 初めて参加される方は事前に連絡要 ⑤ 当日の進行 1. 受付 2. 自由交流 3. 本人の活動支援 4. 家族同士の交流・情報交換 5. 専門職への相談 6. 終了・次回案内 ⑥ 期待される効果: 孤立防止、家族の精神的支援、地域の理解促進、適切な支援につながる窓口機能		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
琴平町	キッズサポーター養成講座	13	2020	4	年3回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターの事業として開催		小学生高学年を対象としたサポーター養成講座の開催		推進会議→学校との調整→講座開催→事業報告		

別紙1 <香川県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
綾川町	チームオレンジ育育広場	1	2017		5 週1回	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>最初のきっかけは、若年性認知症と診断された本人の家族がなじみの地域の協力員(認知症サポーター)に相談して、地域包括支援センター紹介により、本人と家族が地域包括支援センターに相談に来所。本人の「地域の人とつながりたい。得意な手仕事をして働きたい。」との声をもとに、包括や行政とも繰り返し話し合いを重ねた後に、本人のなじみの地域の住民が団結して、活動地域にある元保育園の使用していないスペースを借り、チームオレンジ活動が開始となった。</p>		<p>菜園の管理、参加者の特技を活かした社会貢献活動、世代間交流活動、定例会等。また、定期活動時以外にも、普段の日常生活における活動地域の1人暮らしや認知症本人又は家族の見守り声かけ等。</p>		<p>参加者は認知症の人も認知症でない人も老若男女を問わない。認知症の本人は近年お亡くなりになったが、「誰が認知症になっても大丈夫」との意識のもと、通いの場として長年継続している。運営はチームリーダー・サブリーダー(いずれも認知症サポーター)を中心に、地域住民で自主的に運営されている。地域包括支援センターは、後方支援を行い、活動に対する助言やニーズとのマッチングを行っている。なお、この活動の参加者個人に対して介護支援ボランティア制度が適用される。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
綾川町	脳の元気教室(元気でやりよる会)	9	2015		月2回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>ある若年性認知症の方の当事者で集まりたいとの声をきっかけに、モデル事業として開始した。</p>		<p>簡単な歌体操、脳トレ教材(朗読、読み書き、計算、クイズ他)、各種レクリエーション(ゲーム、認知症サポーターの特技を活かした自由企画)等</p>		<p>一般介護予防事業として実施。利用者は物忘れの心配のある方、軽度認知障害及び認知症の方々を対象としており、物忘れや認知症に関する総合相談時に、気軽に集える当事者の通いの場として当事業を案内している。家族の付き添いにより参加される利用者もおられ、本人、家族、認知症サポーターとの相互交流の場となっている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
綾川町	資源マップ班(認知症紙芝居)	14	2014		出前講座年12回、定例会年12回	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>資源マップ班は、介護予防サポーター活動の一つであり、チームオレンジのリーダーが、班リーダーとなり、運営をしている。</p>		<p>地域のサロンに出向き、認知症の紙芝居や絵本の朗読劇を行っている。認知症に関する講話では、認知症本人の地域での見守り声かけや家族への支援など経験を交えて話すことで、新しい認知症観の啓発等にもつながっている。</p>		<p>介護予防サポーター活動であり、介護支援ボランティア制度が適応される。</p>		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<徳島県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
38	8	2	2	2	3	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	2	2	11	2	1	1	2

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
38	20	9	19	22	0	18	20
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	16	3	10				

別紙1 <徳島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	認知症疾患医療センター(基幹型)のオレンジカフェ	10	2019		9 1回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症疾患医療センターからオレンジカフェを立ち上げるのでサポーターに協力してほしいと依頼あり。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ参加者の対応 ・相談に乗る ・会場準備・片付け 		認知症サポーター養成講座受講時のアンケートでカフェの手伝いをしたいと回答した人に連絡し、参加してもらったことから、はじめのサポーターから次々別のサポーターにつながり、現在は5名が活動中。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	キッズサポーター養成講座	13	2023		8 1~2回/年	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
毎年夏休みにキッズサポーター養成講座を開催。1名は2歳の頃から認知症カフェに参加し、3年生でサポーターになり、4年生で学校での養成講座開催に至った。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェへのキッズサポーターの参加 ・認知症の人との交流 ・チームオレンジフェスタのお手伝い ・学校行事として施設訪問し、本人と交流 		<ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジの活動の一環としてのキッズサポーター養成講座を開催し、そのまま活動につなぐ。 ・学校行事としての講座を行い、その後施設訪問に活かす。 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	チームオレンジあったか♡こくふ	1	2024		6 6回/月	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
自宅で民間学童と喫茶店をしているサポーターが何か活動をしたいと希望。同地域に絵本の読み聞かせボランティアをしていた若年性認知症の女性がおり、学童での絵本の読み聞かせ等をするために結成したチームオレンジ。もともとサポーターの認知症の人が知り合いだったため、活動開始。		上記の認知症の人は進行が早く、実際は活動できなかったが、早期発見早期つながりを目指し、町内にチラシを配布。そこから新たな認知症の人がつながってきて、現在は「うたごえ喫茶」やフラワーアレンジメント、カフェ、勉強会、みんなで外出するなどの活動をしている。		養成講座後のアンケートで活動の意向があった人に、ステップアップ講座の案内を出し、主催者以外のサポーターを募った。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	認知症予防教室等での講師	9	2023		5 1~2回/月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ内の勉強会の講師役等、ほかのメンバーから頼まれて実施するなどしている。また、市の取り組みのワークショップ内でも認知症の人と介護した経験を話すなど、サポーターが聞きたいと希望した内容に沿う話ができるサポーターを選択して依頼している。		<ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジ内の勉強会講師 ・地域の認知症予防教室での講師または補助 ・介護体験を語る(ステップアップ講座等) ・サポーターが場所の提供してくれる ・男性介護者の思いについて話してもらう 		主にチームオレンジ内の勉強会やステップアップ講座での講師をしてくれそうなサポーターと話し合い、講師を依頼している。内容についてはフレンドリーラボのメンバーと相談する		

別紙1 <徳島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	チームオレンジ「すだちハート」による傾聴ボランティア	3	2022		5 1～2回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
若年性認知症本人が傾聴ボランティアをしたいと希望したことをきっかけにチームオレンジを結成。毎月1～2回、本人とサポーターが二人一組になり、傾聴ボランティアに出向いている。		ケアマネージャーからの依頼や初期集中支援チームからの依頼で自宅・施設・喫茶店などで傾聴している。		ステップアップ講座で「傾聴ボランティア養成講座」を受講した。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	各チームオレンジ活動時の送迎等	4	2022		5 10回/月	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
徳島市にある6つのチームオレンジでは、認知症カフェに参加する時や、皆で外出する時、買い物支援の時など、送迎を含めた外出支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ参加時の送迎 ・花見等各種お出かけ行事の時の送迎 ・外出・飲み会の時の送迎 ・買い物に付き添う、一緒に買い出しに行く ・受診時の迎え 		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎保険への加入、ボランティア保険への加入 ・各々のチームオレンジの判断によるところが大きい 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	チームオレンジ すだちハート 活動日	12	2022		5 2回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジすだちハートには、本人の参加が約10名ほどあり、ほとんど男性。彼らのみで話す時間をとっており、本人ミーティングとなっている。		<ul style="list-style-type: none"> ・本人の送迎 ・話題に詰まった時の話題提供 ・意見のとりまとめ 		自然な流れで本人ミーティングとなり、食べたい物の話、行きたい所の話等になっている。特別なスキームはない。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	各チームオレンジの見守り活動	2	2024		10 不定期開催	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジのメンバーが過去、2名の迷っている高齢者を保護したことがある。各チーム見守り活動を実施している。		<ul style="list-style-type: none"> ・拠点前を通る高齢者への声かけ ・高齢者の保護 ・日常的な見守り活動 		チームオレンジの活動を開始し、自然に見守り活動ができています。「みんなのカフェ」は近所に認知症で気になる人がおり、もともと見守りをしていたため、その活動を継続中。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	うたごえティータイム・ミニフラワーアレンジメント	11	2023		6 2回/月	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジのメンバーが過去、2名の迷っている高齢者を保護したことがある。各チーム見守り活動を実施している。活動の一環。歌うのが好きという認知症の人がたくさん参加している。フラワーアレンジメントも地域の人が実施。		YouTubeを流してみんなで歌う。フラワーアレンジメントの先生に来てもらい、教えてもらっている。		毎月リーダーとなる認知症サポーターが歌詞カードを作成。フラワーアレンジメントは参加者数のとりまとめをサポーターがしている。		

別紙1 <徳島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市	認知症サポーター養成講座	8	2024	4	1~2回/年	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
高校での認知症サポーター養成講座を開催する時に認知症サポーターを含めた5人で劇をしている。ほかにもキッズサポーター養成講座の時の講座の補助等。		・劇 ・キッズサポーターと認知症の人の交流時の補助		認知症サポーター養成講座受講時にアンケートを実施。養成講座に協力したいと回答した人のうちから声をかけて活動につなぐ。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		5	2023	10	1~3回/年	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジが借りている施設の交流スペースがあり、その母体の秋祭りを手伝うようになった(施設からの依頼)。チームオレンジが行うチームオレンジフェスタ、マルシェに各チームオレンジが出店したり、認知症の人とともに参加したりした。		・施設の秋祭りのお手伝い ・チームオレンジフェスタへの出店 ・マルシェのお手伝い		各チームオレンジの判断に任せており、参加者数等は各チームオレンジのグループラインで把握している。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		1				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		2				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		3				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		4				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

別紙1 <徳島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		5				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		5				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		8				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		9				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		10				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
徳島市		11				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

別紙1 <徳島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	羽ノ浦地区チームオレンジ・ミカタ	1	2023		2	14
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		定例会、認知症に関する相談、啓発活動(マルシェで啓発グッズの配布、勉強会の開催など)、オレンジカフェの支援				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	富岡地区チームオレンジ・チューリップ	1	2024		4	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		定例会、認知症に関する啓発活動など				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	那賀川地区チームオレンジ・公方の郷	1	2026		6	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		敬老会でチームメンバーによる寸劇を通して認知症や支援の方法などを知ってもらい、チラシ配布にてチームオレンジの啓発を行う。定例会、訪問活動、相談など。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	阿南市オレンジカフェ・こすもす	10	2025		4年4回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		軽食を楽しみながら当事者や家族の悩みに耳を傾ける、季節の工作やゲーム、歌を歌うなど。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	阿南市オレンジカフェ・チャーミー	10	2025		4年4回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症の人や家族と地域の人との交流の場作り、認知症本人の社会的な役割作り、認知症についての相談と学びなど				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	阿南市オレンジカフェ・いこい	10	2025		4不定期	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		音楽レクリエーション、物作り、茶話会など				

別紙1 <徳島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	阿南市オレンジカフェ・にっこりサロン	10	2025	4	月1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症予防レクリエーション、認知症の方への声かけ				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	阿南市オレンジカフェ・にんじん	10	2025	4	年4回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		認知症とその家族の地域への繋がり援助、認知症やオレンジカフェに関する知識の普及啓発、相談など。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	阿南市オレンジカフェ・だんらん	10	2025	5	年2回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		脳トレを意識したゲーム、茶話会など				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿南市	阿南市オレンジカフェ・わんすとおぷ	10	2025	7	年2回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		脳トレを意識したゲーム、音楽レクリエーション、相談会など				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
阿波市	認知症カフェ	10	2019	10	不定期	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の方が参加しやすい集まりがないとの地域課題があり、計画を開始		若年層への広報も含め大型スーパーで認知症カフェを開催。内容は認知症の相談対応、レクリエーションなど		ステップアップ研修を開催→サポーターと認知症カフェ打ち合わせを実施		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美馬市	認知症カフェ	10	2019		月1回(8.12月は休み)	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市が社会福祉協議会へ委託		参加者との交流(チームオレンジとして1チームが参加)、特に本人、家族と会話する際には傾聴し、共感するように心がけている		30分程度の講話(体操、認知症の方への対応等)と一緒に受講し、その後1~2茶話会茶話会		

別紙1 <徳島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美馬市	認知症をテーマにした寸劇	14	2011		年4～5回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
社会福祉協議会からの働きかけで「おしどり笑劇団」として認知症の寸劇をするようになった。その後、市が社会福祉協議会に委託している「認知症サポーター養成講座」や「生き生きサロン」で実施している。		「認知症サポーター養成講座」や「生き生きサロン」で実施している。軽度の認知症の母を介護する長男夫婦の対応について、良い例、悪い例を演じ、認知症への理解を深めている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美馬市	高齢者の見守り、チームオレンジ活動	14	2018		月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
小地域ネットワークグループが基礎となり発展したボランティアグループ		高齢者（認知症含む）見守り、困りごと相談、いきいき百歳体操、ゴミ出し支援、庭木の伐採や草取り				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
鳴門市	チームオレンジなると	1	2021		3 定例会4回/年、イベント1	20
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
「認知症 とともに暮らそう このまちで なる」とをスローガンに認知症の人や家族が自分らしく過ごせるように支援する取り組みとして、老人会やオレンジカフェの参加者に声をかけ、令和3年より活動を開始した。		認知症啓発イベントの企画・運営、傾聴ボランティア、勉強会		ステップアップ講座を受講した人の中からチームオレンジの活動に興味のある方に声をかけ、参加を呼び掛けている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
神山町	チームオレンジ応援隊	1	2017		8 月2回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2017年の活動開始以前より生涯現役応援隊の現代表である 川野公江氏がすでに認知症の方を対象としたサロンを開始し実施しておられ、その後チームオレンジの立ち上げが国より推奨された年に行政より事業をいたくさせていただくこととなった。		毎月 2回認知症カフェを開催し、そのボランティアとしてチームオレンジのメンバーが5人程度参加している。(ほっとカフェ)年4回チームオレンジ内でチームオレンジコーディネーターがステップアップ研修を実施 ※包括支援センターと協働で 地域の見守り活動やサロン・カフェへの声掛け等を実施している。		①認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業において認知症サポーター養成講座を実施 ②その際にチームオレンジの活動内容の紹介を行い、参加・活動して下さる方を募る。 ③チームオレンジとして認知症カフェのボランティア、地域での見守り活動等を実施。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
東みよし町	チームオレンジ「東みよし町オレンジスマイル」	1	2023		3 年3回程度	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターの働きかけにより、認知症サポーターステップアップ講座の受講者や福祉関係者に声かけを行い活動を開始させた		現在、メンバーに認知症の当事者がいないため、広報活動や意見交換会(座談会)等を中心に活動している		地域包括支援センターが立案し、メンバーに声かけ周知を行っている		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』＜愛媛県＞

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
2	1	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	1	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
2	1	0	2	1	0	2	1
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	0	0	0				

別紙1 <愛媛県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
西予市	オレンジカフェ花草家	10	2022	4	月2回	9
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>介護サポーター養成講座修了生(兼認知症サポーター)に声をかけ、認知症カフェに関心がある方を募集。地域包括支援センターが後方支援し、オレンジカフェ花草家(はなそうや)を立ち上げた。</p>		<p>月2回(第2・4金曜日 14~16時)カフェ開催 参加費100円(コーヒー、おやつ代として) 内容は特に決めず、気軽に参加できる茶話会スタイル サポーター3名ずつ交代で従事 後方支援として包括職員1名従事 年2回 定例会開催(継続的な活動にするための意見交換) 年1回 研修会実施(他地域の認知症カフェの見学や施設見学等)</p>				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
西予市	チームオレンジやまだ	1	2023	6	隔月1回 見守り活動は日常的に行っている	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>東北大震災をきっかけに、区長を中心に防災訓練を実施したのが始まり。近所同士での助け合いが必要と考え、婦人会の有志でボランティア組織を結成。地区内の12の小さな班(小組合)の代表が、2ヶ月に1回定例会で情報交換及び共有を行っていた。さらに地域全体で支え合うために、ボランティア組織のメンバーを中心に区長、民生委員等を加え、チームオレンジを立ち上げた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジの中心である地区内代表の隔月1回の定例会は継続 ・様子が気になる人がいれば市や包括に連絡 ・地区住民も集めて年1~2回認知症に関する勉強会を開催 ・日頃から地域内での見守り活動継続 		<p>定例会は偶数月の第1木曜の夜間に固定地域で行方不明が発生した場合は、リーダーを中心に連携、協力しあう</p>		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<高知県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
2	0	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	1	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
2	1	2	2	2	1	2	2
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	2	0	0				

別紙1 <高知県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
香美市	サポーター養成講座	8			年1回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市が社協に委託してサポーター養成講座の開催を実施。社協よりサポーターの方に協力要請をした。		サポーター養成講座を小学生対象に開催するにあたりサポーターとして協力して頂いた。		自主的に参加して頂いたり、声をかけさせてもらっている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
須崎市	認知症カフェ	10	2025	9	月1回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
出かけ先のない高齢者が集まれる場所になりたい。自分たちが須崎市を盛り上げて笑顔になれる場所を作って活発に取り組みたい。日々の見守りに加え、月1のカフェの開催がしたい。		第3金、認知症カフェ開催。体を動かすレクや講話を取り入れた活動を行う。				

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<福岡県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
23	3	5	1	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	3	1	7	2	0	1	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
23	16	12	11	12	4	9	10
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	11	0	0				

別紙1 <福岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
福岡市	オレンジネットワーク城南 :「本人のしたいをかなえる会」	2	2024		3 1回/2ヶ月	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の本人と家族から声があがり、担当ケアマネがシニア P(事業所ネットワーク)に相談したことがきっかけで、「本人のしたいをかなえる会」の立上げ、運営支援のために「オレンジネットワーク城南」を設立したものの。認知症の当事者と家族を代表として、有志支援者として「本人のしたいをかなえる会」を開催している。		「本人のしたいをかなえる会」が軌道にのるまで、話し合いを重ねた。本人のしたいをかなえる会の運営支援を行っている。		担当ケアマネからのお誘い。支援くださる方は常時参加可能。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
福岡市	大学生サポーターによる認知症事業への参加	11	2021		10 不定	56
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
2021年より、行政と大学が連携し、大学生を対象にした認知症サポーター養成講座を開催。受講したサポーターのうち希望者が、地域の認知症の人や家族が集まる場や認知症に関する事業に参加。(認知症カフェ、小規模多機能ホーム、認知症声かけ体験)		認知症カフェや小規模多機能ホームで高齢者の方との交流。認知症声かけ体験に参加し、認知症役の人へ声のかけ方を実践し、参加者の地域住民と「認知症に優しいまちづくり」についてグループワークを実施。		とくになし。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
福岡市	本人ミーティングボランティア	3	2024		5 1回/月	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症フレンドリーセンターのボランティア募集		本人ミーティング参加者の話を傾聴する		<ul style="list-style-type: none"> ・本人ミーティング開始前にスタッフミーティングを行い、参加者の基本情報の共有をする。 ・本人ミーティングへ参加、傾聴する。 ・終了後、再度スタッフミーティングを行い、知り得た情報をスタッフ間で共 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
嘉麻市	アルツハイマー月間イベント	1	2025		5 1回/月	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
・認知症サポーター養成講座の後に、チームオレンジについての説明をしチームオレンジ員としての活動に賛同する人を募り、チームオレンジ員養成講座を実施し、チームオレンジ員を養成した		アルツハイマー月間における内容について、話し合いをし『新しい認知症観』を広く啓発するために、寸劇をした		<ul style="list-style-type: none"> ・5月 寸劇のテーマ決定。6月 シナリオ決定。7月 配役決定・練習・小道具等の準備。 8月 練習・リハーサル。9月 本番 		

別紙1 <福岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
嘉麻市	認知症サポーター養成講座	2	2020	5	2回/年。サポーター養成講座2回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ員としての活動		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座への参加勧奨 ・当日の受講者支援 ・チームオレンジ員の紹介 		講座前 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座への参加勧奨 ・声掛けやチラシの配布 講座当日 <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営や受講生への支援 ・チームオレンジ員の活動紹介と新規チーム員募集 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
福津市	オレンジカフェの運営補助	10	2025	6	1回/月	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人の居場所作りや認知症になる前のサポート ・認知症の人の話し相手など何か出来ることはないかと思っている人に 推進員からカフェでボランティア募集を行っていることを伝えた。 		オレンジカフェにて運営協力(月に1回・2時間) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者への飲み物確認 ・飲み物を作る ・お菓子の配膳 ・話しやすい雰囲気作りの声掛け ・チラシや物品の展示 		サポーター養成講座を受講→フォローアップ等の研修で認知症を深く学ぶ→カフェ見学→カフェにてボランティア活動		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
みやま市	オレンジカフェ	10	2017	11	月1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人、そうでない人も集まれる場所を作りたいため活動を始められる。		創作活動や脳活、エンディングノートの書き方など		地域の方で声を掛け合い、集まっている		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小郡市	三国カフェ	11	2017	2	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症地域推進員が地区のSCや民生委員と計画はじまった。		出前講座やコーヒー等の提供、DVD鑑賞等の交流等		10:00～12:30交流・相談タイム、12:30～15:00出前講座		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小郡市	認知症サポーター養成講座	8	2013	9	2か月に1回	443
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域で行方不明の高齢者が死亡されたことをきっかけに、同じようなことが起きないように地域で見守りができるように、見守り、声かけ訓練を行うようになった。		毎年、見守り、声かけ訓練を行う前に認知症サポーター養成講座を開催している。		開催主催者と打ち合わせを行ったうえで講座を開催する。声かけの訓練は、グループに分かれて実施する。		

別紙1 <福岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大川市	手芸の会	1	2023		4月2回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>仲裁が得意な当事者及び認知症サポーター数人に声をかけ、ガーゼマスクのリメイクをする活動を開始した。</p>		<p>ガーゼマスクを布巾にリメイクし、市内の学童保育所、子育て支援施設、高齢者施設へ出向き交流と布巾の寄贈を行っている。</p>		<p>新規に参加希望の際は健康推進係へ事前に相談をしてもらい、活動の主旨を説明し賛同していただくことを条件に参加としている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大刀洗町	小地域協議会	2	2018		1 約90回/年	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症の方が増加し、施設の方の思いと一致したため、援護を要する高齢者及び障がい者等(以下「要援護者」という。)が、安心して生活を継続できるよう、関係機関が相互に連携して効果的な支援を行うため、大刀洗町要援護者見守りネットワーク協議会(以下「協議会」という。)を設置</p>		<p>(1) 町内の要援護者に関する支援ニーズの分析、把握 (2) 構成機関相互の連携、役割分担及び共通取組事項の検討 (3) 要援護者を狙う罪動向等の時事情報の交換、伝達 (4) 要援護者の安否の確認、異変がある場合の連絡体制の整備、運用 (5) 各構成機関の所掌業務におけるその構成員による要援護者の見守り支援活動 (6) 災害時要援護者支援制度に伴う、災害発生時の地域による支援体制の構築 (7) 消費者安全確保地域協議会に関すること (8) 前号に掲げるもののほか、その他特に必要が生じた事項</p>		<p>協議会の事務局は、社会福祉協議会に置く。2協議会の事務局は、町、地域包括支援センター、社会福祉協議会等の職員で構成する。協議会の事務局は、小地域協議会の要請又は必要に応じ、小地域協議会へ参加することができる。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大刀洗町	認知症サポーター養成講座	8	2008		10 5回/年	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括ケアシステム構築のため</p>		<p>小中学校で講座を開き、認知症についての正しい知識を身に付けてもらうため</p>		<p>キャラバンメイト(行政職員と施設の方)で協議し、講座の内容を決める。小中学校の先生と打ち合わせを経て実施</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
宇美町	認知症啓発イベントの企画、運営	13	2024		6 認知症啓発イベント時	37
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>高校の福祉研究に関する授業を受講している生徒が毎年認知症啓発に関するイベントを近隣の介護・医療関係従事者と協力して開催している。</p>		<p>毎年6月～7月頃に認知症サポーター養成講座を3年生が受講し、認知症への理解を深めたのちに自分たちができることを企画する。2024年はソフトバンクのペッパーに認知症クイズなどをプログラミングし、キャラバンメイトが主催する認知症サポーター養成講座内で披露。2025年は認知症啓発のためのフェスタを開催。認知症介護当事者の講演会や高齢者疑似体験会など様々な催しを行った。</p>		<p>①町内の高校を福祉協力校に指定し、赤い羽根共同募金で助成金を支給。 ②町内の介護事業所と社会福祉協議会が協力してRUN伴をはじめとした様々な認知症啓発運動を行っており、福祉研究を専攻する高校生と一緒に毎年様々な企画を実施する。</p>		

別紙1 <福岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
宇美町	福祉サポーターとして、介護予防教室等への協力	9	2016		4 週1回	61
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町の主催する介護予防教室等の介護予防事業の支援をする「福祉サポーター」として活動をするにあたり、認知症サポーター養成講座を受講し、介護予防教室等の参加者の見守りや支援を行ってもらっている。		福祉サポーターは福祉サポーター養成講座を受講した方が活動します。その福祉サポーター養成講座の授業の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。福祉サポーターは介護予防教室等、介護予防事業に協力し、介護予防教室は各小学校区で実施されており、福祉サポーターも自らの住む小学校区で活動するため、地域でのつながりをもって見守り活動等が行えます。		①福祉サポーター養成講座を受講 ②福祉サポーター養成講座内の単元で認知症サポーター養成講座を実施 ③お住まいの各校区で実施されている介護予防教室のボランティア活動に従事。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
宇美町	民生委員として見守り活動等を実施	2	2024		10 適宜	37
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症に関する相談等が住民から寄せられることが増えてきており、民生委員として認知症への理解を深め、見守り活動等へ活かしていただきたいと、社会福祉協議会より民生委員児童委員協議会へ相談し、民生委員児童委員の研修として認知症サポーター養成講座の開催が実現した。		普段から、民生委員として地域での見守り活動等を行っているが、認知症の症状が強くなると思われる行動や言動がみられる住民と接する機会や、地域住民からの相談が増えているとのことで、認知症について正しい知識を学び、住民からの相談に適切に対応できるようにする。また、認知症があっても住み慣れた地域で安心して長く生活できるよう、見守り活動等へ活かしている。		①民生委員児童委員協議会と連携し、研修の機会を確保する。 ②校区部会単位での会議に社協職員が参加することで連携を深め、困っている事例などがあれば社協に在籍するキャラバンメイトへの相談等ができる体制を整える。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小竹町		8	2016		年4～6回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
キャラバンメイドである保健師が認知症についての正しい知識や認知症の方への対応についての周知を目的に各サロンへ訪問し、認知症サポーター養成講座を開催した。その後、教育委員会協力のもと地域包括支援センターと共同で小・中学校の児童・生徒に実施するようになった。		各サロン、自治会、民生委員、児童委員、役場職員や小・中学校の児童・生徒に対して認知症サポーター養成講座を実施している。		別途資料参照		

別紙1 <福岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川崎町	おげんきクラブ	1	2025		5 年2回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>お元気クラブは、地域において長年にわたり交流や健康づくりを目的とした活動を継続してきた団体である。活動を通じて高齢化や認知症に関する課題を身近なものとして感じるようになり、令和4年度にメンバーが認知症サポーター養成講座を受講し、認知症への理解を深める第一歩を踏み出した。その後、地域での見守りや啓発活動への関心が高まり、より実践的な支援を行うため、令和7年度に認知症サポーターステップアップ養成講座を受講した。受講を契機に5名がチームオレンジとして登録され、地域の認知症支援活動に主体的に関わるようになり、本活動が本格的に始動した。</p>		<p>認知症サポーターステップアップ養成講座の一環として、認知症啓発活動を目的に「ロバ隊長」の制作活動を実施した。活動を通じて、参加者が認知症への理解を深めるとともに、啓発の意義を再確認する機会となった。また、参加者同士の意見交換や交流が自然に生まれ、主体的な関わりや協力体制の醸成につながった。完成したロバ隊長は地域での啓発活動に活用されており、継続的な取り組みにより、地域における認知症理解の広がりを感じられる活動となった。</p>		<p>活動目的の共有 認知症サポーターステップアップ養成講座の一環として、本活動が認知症啓発を目的とするものであることを参加者に説明する。</p> <p>参加者の募集・受付 お元気クラブを対象に参加を募り、当日の受付・参加確認を行う。</p> <p>制作活動の実施 参加者が協力しながらロバ隊長の制作に取り組み、認知症啓発への理解を深める機会とする。</p> <p>交流・意見共有 活動を通じて参加者同士の交流を促し、気づきや意見を共有する場を設ける。</p> <p>啓発活動への活用・継続 完成したロバ隊長を地域での啓発活動に活用し、今後の見守りや支援活動へとつなげる。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川崎町	健康教室 友の会 安宅 交流センター講座	2	2023		2 週1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>安宅地区では、地域住民の認知症への理解を深め、予防や介護予防、閉じこもり防止につなげることを目的として、平成28年度より「あなたにあ・い・た・かカフェ」を開催してきた。地域の交流の場として継続する中で、認知症支援の重要性が高まり、令和5年度に「チームオレンジ」として行政の認可を受けた。これを契機に活動の充実を図り、令和6年度は3回(6月14日、10月18日、2月21日)実施した。</p>		<p>認知症への理解促進と予防を目的とした「あ・い・た・かカフェ」を開催 認知機能の維持・向上、介護予防、閉じこもり予防を図るプログラム実施。 カフェでの交流を通じて、地域住民同士のつながりを深め、日常的な見守り実施。 健康づくりや生活支援に関する情報提供を行い、地域で支え合う体制づくり実施</p>		<p>活動趣旨の共有 安宅地区住民の健康づくりおよび介護予防を目的とした健康教室であることを周知し、参加の意義を共有する。</p> <p>参加者募集・登録 安宅地区の住民を対象に参加者を募り、友の会 会員として登録を行う。</p> <p>健康教室の実施 体操や運動、健康に関する講話等を通じて、心身機能の維持・向上を図る。</p> <p>交流・見守り 継続的な参加を通じて会員同士の交流を深め、日常的な見守りや声かけにつなげる。</p> <p>地域活動への展開 健康教室で培ったつながりを、認知症予防や地域の支え合い活動へと発展させる。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
筑前町	住民主体の認知症カフェ JAとまとカフェ	10	2022		6 月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>もともとJAで通いの場をおこなっており、町で認知症カフェの補助金交付のしたところ相談があった。</p>		<p>月1回、旧JA直売所にてカフェ開催。おしゃべりや工作、歌などをおこなっている。</p>		<p>固定した有志の人らによって運営されている。</p>		

別紙1 <福岡県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
筑前町	住民主体の認知症カフェ ピーすふるカフェ	10	2021	7	月1回	0
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
もともと地域でかよいの場をおこなっており、町で認知症カフェの補助金交付の広報をしたところ、相談があった。		固定した地域の有志の人らによって運営されている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
志免町	しめカフェ(オレンジカフェ)	10	2016	6	月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
福祉課で認知症カフェを始める際、認知症サポーターの活動の場の一つとしても位置付け開始。地域包括支援センターが主体で運営し、有志のサポーター数人に声をかけ、一緒に活動している。		配慮が必要な参加者へのフォロー、一部プログラムの実施、認知症本人・家族からの相談対応		希望者は随時参加可能。開催当初よりサポーターは数人の入れ替わりがあるので、希望者は多くない。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
遠賀町	菜の花カフェ	10	2023	6	月1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
行政主催の認知症カフェを発足する際に、年1回町が実施する認知症サポーター養成講座を受講された方にボランティア依頼の手紙を送り、希望者と共に活動を開始した。		年3回の勉強会参加、月1回の認知症カフェで準備・片付け、飲み物の配膳や参加者とおしゃべり		遠賀町役場福祉課にてボランティア参加希望を伝えてもらい、事務局から説明を受け参加日程を調整し当日現地にて参加。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
吉富町	認知症カフェの運営補助	10	2020	12	月2回	3
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
元民生委員の方が講座を受講され、認知症カフェにおいて「何かお手伝いできることがあれば」と申し出があった。		・飲み物、お菓子などの準備 ・アクティビティのサポート ・全体的な見守り ・難聴の方への配慮など				

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<佐賀県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
7	3	1	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	2	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
7	6	3	2	2	0	4	5
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	2	0	0				

別紙1 <佐賀県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小城市	チームオレンジの参加	1	2023	10	週1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジ立ち上げ当初に運営のメンバーとして行政の担当者・認知症地域支援推進員から声をかけて参加を促した。		チームオレンジの参加		参加できる時に参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
小城市	認知症カフェの参加・運営	10	2025	4	月1回	1
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症カフェを小城市で実施する際に、コアメンバーとして運営会議に参加してもらった。		認知症カフェの運営会議参加、認知症カフェ開催時の参加		参加できる時に参加		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
太良町	チームオレンジたら	1	2023	4	月80回から100回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
佐賀県内で最も高齢化率の高い太良町においてチームオレンジたらを立ち上げることで町全体で認知症への理解を深め、健康増進、介護予防に取り組むため		認知症の人への個別支援（傾聴、服薬の促し、デイの準備、ゴミ出し、会議への出席等）認知症カフェの開催（町内3カ所で月8回程度に加え、訪問型の出張カフェ月1回程度）認知症啓発イベントの開催		<p>チームオレンジたらは当町に1組のみですが、この1組のオレンジさんが認知症事業全てに関わり推進員と共に事業を推進してくれます。</p> <p>太良町の認知症事業を社会福祉協議会が受託し認知症地域支援推進員を軸に様々なボランティア活動と町内関係機関との繋がりを活かし、認知症の人の個別支援に繋がっています。</p> <p>特にケアマネージャーや民生委員のみなさんの地域でのお困りごとへアンテナを張ることで認知症の人やご家族と繋がります。</p> <p>チームオレンジたらは月1回の定例会議を開催されており、オレンジ活動に興味のある人も会議へ見学にみえます。地域で開催している認知症カフェとは別にチームオレンジやサポーターが集えるカフェも毎週開催しており、その中で推進員やケアマネ等地域から上がってくる情報の中から自分たちに何ができるのか？話し合い個別支援へとつなげています。その活動はケアマネが作成するケアプランにも明記されチームオレンジメンバーはサービス担当者会議へも出席し意見を述べます。週1回程度2人組のオレンジが認知症の人の自宅を訪問し傾聴や簡単な生活支援を担います。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
有田町	見守り	2	2009	2	通年	2404
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症であっても本人らしく暮らしていける共生社会づくり、認知症サポーター養成講座の受講		地域のなかでの見守り、声かけ		認知症サポーター養成講座を受講して頂くことで、地域の方に認知症を知ってもらい見守りを促す		

別紙1 <佐賀県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
有田町	認知症サポーター養成講座の開催協力	8	2009		年4回ほど	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症を正しく理解し、認知症に対する誤解や偏見をなくすため キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座の開催		認知症サポーター養成講座を行うことで小学生や住民の方に認知症について理解・知ってもらうことで、温かく見守る応援者になってもらう		座学、寸劇、グループワークなど		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
有田町	オーロラカフェ	10	2022	6	月1回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の方やその家族が気軽に立ち寄れる場・交流づくり		レクリエーション・談話 認知症の方との交流 認知症の方、その家族への声かけ・参加の促し		レクリエーション・談話 年に数回のイベントの開催		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
吉野ヶ里町	チームオレンジ	1	2022	11	月1回	22
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
R3年度より町内4事業所の認知症カフェ責任者が集まり「認知症カフェ定例会(R4年度より「認知症施策定例会」と名称変更)」を実施しており、R4年11月からR5年3月まではチームオレンジのメンバーへも声掛けし、住民の代表として「認知症の人や家族が安心して暮らせる町づくり」をテーマに、様々な意見が施策へ反映できるように会議へ参加頂いた。 その後、チームさくらの活動の拠点として、認知症カフェ(1か所)へご協力頂き活動を開始する事となった。活動する中でチームさくらと名称を決定しリーダーとサブを決めてもらい、情報が円滑にチーム員の方々に届くような仕組みを作った。		①カフェ内でのイベント(認知症の理解を深めるための勉強会・餅つき大会・ものづくりなど多彩な内容を準備)の開催を通して、本人や家族との交流・悩みなどの相談や傾聴を行っている。 ②ステップアップ講座内で次のチーム員を育てる役割を担ってもらう。(ステップアップ講座買い物実習への支援) ③町内の別のカフェでのイベント支援。(カフェ同士の交流を通して地域での共生や、認知症観を高める場とする。) ④町の認知症事業(認知症シアター)への協力。		①チーム員の連絡網を作成(事業所・行政・リーダー・サブのみ) ②ライン利用可能なチーム員は繋がってもらおう ③活動にあたり、ラインで連絡・周知(ライン不可なチーム員には、リーダー・サブが連絡)		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<長崎県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
17	12	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	4	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
17	17	14	15	14	0	13	11
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	10	0	0				

別紙1 <長崎県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
長崎市		1	2008		4 随時	175
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>長崎市では平成24年度から、認知症サポーターが認知症高齢者やその家族に対する理解ある応援者から実際に在宅生活を支える支援者として活動する認知症サポートリーダーの養成をしており、認知症サポーター養成講座の寸劇に参加したり認知症カフェや高齢者ふれあいサロンの運営支援等で活動してきました。</p> <p>認知症推進大綱で「チームオレンジ」が提唱された令和元年以降は、認知症地域支援推進員と認知症サポートリーダーの活動をチームオレンジの活動として位置付けています。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェや交流会等の支援 ・認知症サポーター養成講座の周知啓発 ・地域包括支援センターと協働し地域の認知症高齢者や家族の支援 ・地域密着型サービスの運営推進会議や地域ケア推進会議の出席 ・徘徊模擬訓練による見守り活動への参加 ・本人ミーティングの支援 		<p>認知症サポートリーダーは地域包括支援センターの認知症地域支援推進員と連携しながら、認知症の方やその家族を支えるための活動を担っていただいています。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
松浦市	認知症カフェ「折り梅カフェ」の開催	10	2003		6 月1回	13
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症についての理解を深める目的で映画「折り梅」を上映。その後介護者の集いとして活動開始。</p>		<p>令和3年度より認知症本人の参加により、本人を交えた情報交換・学びの場となっている。家族の会・住民・社会福祉協議会、医療従事者、地域包括支援センターも参加し、多様な意見交換など対話を行っている。令和7年度は認知症本人のやりたいこと支援として畑活動も行った。</p>		<p>市役所長寿介護課に相談、もしくは毎月第1木曜日13時30分より直接市民福祉総合プラザ4F万年青荘に参加可能。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島原市	チームオレンジお城の会	1	2023		10 月2回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年6月、認知症への理解を広げ、当事者や家族の相互支援、地域福祉の向上を目的として「認知症の人と家族の会 長崎県支部・島原お城の会」が発足した。 ・月1回の定例会、月2回の認知症カフェ、年1回の講演会などを通じて、地域での支え合い活動を継続してきた。 ・会員やボランティアは、認知症サポーター養成講座に加え、令和5年10月にステップアップ講座(オレンジチューター)を受講し、支援に関する知識と理解をさらに深めた。こうした取り組みを土台として、チームオレンジが結成され、地域における認知症支援体制の強化が進められている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症になっても安心して暮らせる地域」を目指し、互いに支え合う活動を続けている。 ・月1回の定例会で近況や悩みを共有し、意見交換を行っている。 ・認知症カフェを月2回、白山公民館と霊丘公民館で交互に開催している。 ・年間計画に沿って、体操・レクリエーションや各種勉強会、年1回の講演会を実施している。 ・令和7年9月の認知症月間には、イオン島原店で街頭活動を行い、市民への理解促進に取り組んだ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座を受講した人が、認知症の本人や家族を支える体制を整えている。 ・地域包括支援センターと連携しながら、見守りや支援活動を進めている。 		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島原市	チームオレンジことだま	1	2023	10	月2回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・日頃から地域で見守りや傾聴活動を行っている方々に、認知症への理解を深めてもらうため、地域包括支援センターから「認知症サポーター養成講座」を案内し、受講。</p> <p>・さらに知識を深めるためにステップアップ講座を受講し、学びを重ねこれらの取り組みを通じて、地域で認知症の人を支える体制づくりを進めるため「チームオレンジ」を結成し、より積極的に活動に取り組めるようになった。</p>		<p>・月2回、地域の事業所の一角を借りて、認知症の人や家族、支援者が集まり、体験や気持ちを語り合う場をつくっている。</p> <p>・参加者の声を丁寧に聴き取り、カードにまとめて本人にも書いてもらい、“やりたいこと”へのチャレンジにつなげている。</p> <p>・参加者は徐々に増え、思いや意見が活発に交わされるようになり、活動はますます活気づいている。</p>		<p>・認知症サポーター養成講座を受講した人が、認知症の本人や家族を支える体制を整えている。</p> <p>・地域包括支援センターと連携しながら、支援や見守りの活動を進めている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島原市	チームオレンジ下川尻ふれあいサロン	1	2025	9	月1回	27
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・地域では、ふれあいサロンを中心に住民同士が支え合う活動を続けており、集える場が介護予防や認知症予防に役立っている。</p> <p>・認知症への理解を深め、活動をさらに充実させるため、住民が認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を受講し、支え合いに必要な知識をさらに深め、その学びを生かし、地域のつながりを強めるために「チームオレンジ」を結成し、活動を始めた。</p>		<p>・下川尻ふれあいサロンでは、住民同士が支え合う活動を中心に取り組んでおり、気軽に集えて安心できる居場所として、仲間同士が声をかけ合いながら参加し、誰もが参加しやすい環境づくりを継続している。</p> <p>・サロン活動を通して、閉じこもり防止や介護・認知症予防につなげるとともに、今後も認知症の人やその家族が安心して参加できる環境づくりに努める。</p>		<p>・認知症サポーター養成講座を受講した人が、認知症の本人や家族を支える体制を整えている。</p> <p>・地域包括支援センターと連携しながら、見守りや支援活動を進めている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島原市	チームオレンジ魚見第一団地ふれあいサロン	1	2025	1	月1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・魚見サロンは、平成21年4月から地域のふれあいサロンとして活動し、住民が気軽に集える場づくりを通して、閉じこもり防止や介護・認知症予防に取り組んできた。</p> <p>・令和6年11月には、認知症サポーター養成講座とステップアップ講座(オレンジチューター)を受講し、認知症への理解と支援の姿勢をさらに深めた。その学びを基に、地域の支え合いを強めるため「チームオレンジ」を結成し、認知症の方や家族、支援者が安心して参加できる環境づくりを進めている。</p>		<p>・魚見第一団地ふれあいサロンは、平成21年4月から地域の居場所づくりに取り組み、住民の閉じこもり防止や介護・認知症予防を目的に活動を続けている。</p> <p>・参加者が安心して過ごせるよう、無理をしない／時間は手短かに／内容はしっかり濃く／毎月第1月曜に開催／明るく楽しく／送迎は行わないという6つのことを取り決めている。</p> <p>・年間行事はあえて固定せず、ボランティアや参加者の得意分野を生かし、雑談の中で自然に次回の内容が決まるスタイルで運営している。</p> <p>・この“あうんの呼吸”で役割分担が生まれる運営方法は、開設当初から続くサロンの魅力となっている。</p> <p>・認知症の方や高齢者も安心して継続参加できるよう、参加者全員で見守りや声かけを行い、温かい雰囲気づくりに努めている。</p> <p>・地域住民が役割を持ちながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して取り組んでいる。</p>		<p>・認知症サポーター養成講座を受講した人が、認知症の本人や家族を支える体制を整えている。</p> <p>・地域包括支援センターと連携しながら、見守りや支援活動を進めている。</p>		

別紙1 <長崎県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島原市	チームオレンジ三会元気会	1	2025	1	月2回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・「いきいき元気塾」終了後も地域で介護予防を続けるために、「元気かい」が発足した。活動は卒業者中心から地域へと広がり、現在は6名で取り組んでいる。</p> <p>・令和6年12月に認知症サポーター養成講座と認知症ステップアップ講座を受講し、認知症への理解や地域での支え合いの方法を学び、今後の活動に活かせる知識を身につける機会となった。</p> <p>・こうした学びと仲間づくりを生かし、介護予防と地域支え合いの場として「チームオレンジ三会元気かい」として活動を進めている。</p>		<p>・介護予防体操やレクリエーション、勉強会等を実施している。</p> <p>・和気あいあいとした雰囲気の中で活動を行っている。</p>		<p>・認知症サポーター養成講座を受講した人が、認知症の本人や家族を支える体制を整えている。</p> <p>・地域包括支援センターと連携しながら、見守りや支援活動を進めている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島原市	チームオレンジ白山元気会	1	2023	10	週1回	24
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・「いきいき元気塾」修了後の継続の場として、平成20年度に自主体操グループ「元気かい」が市内7か所で発足し、体操やレクリエーション、講師による勉強会などを行っており、白山元気かいにおいて令和5年に認知症サポーター養成講座を受講した。</p> <p>・令和5年10月には、代表者がオレンジチューターによる勉強会・ステップアップ講座を受講し、元気かいの活動がチームオレンジの理念と一致していることを確認。認知症の人を支え合い、仲間づくりや地域づくりにつながる活動として、「チームオレンジ白山元気会」として活動を開始した。</p>		<p>・毎週火曜日の午後、約30名が公民館に集まり、体操やレクリエーションを実施している。名札や歌詞カードなどは年会費で整え、道具は市（関係機関）から借用している。Tシャツを揃えたことで一体感も高まっている。</p> <p>・活動は体操の後、週ごとに歌・レクリエーション・お話し会・笑いヨガを行い、進行は参加者が分担している。認知症など配慮が必要な方には見守りや声かけ・連絡を行い、必要時は地域包括支援センターと連携するなど、チームで支え合いながら参加継続を支援している。</p>		<p>・認知症サポーター養成講座を受講した人が、認知症の本人や家族を支える体制を整えている。</p> <p>・地域包括支援センターと連携しながら、見守りや支援活動を進めている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島原市	チームオレンジ有明元気会	1	2025	1	月2回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・「いきいき元気塾」終了後も地域で介護予防を続けるために、「元気かい」が発足した。</p> <p>・活動は参加者中心から地域住民へと広がり、現在は約10名で取り組んでいる。</p> <p>・認知症サポーター養成講座受講後、令和6年11月にはステップアップ講座を受講し、認知症への理解を深めた。</p> <p>・仲間同士で声をかけ合う関係が育ち、自然な見守りが生まれていることから、地域づくりと介護予防につながる活動として「チームオレンジ有明元気かい」として、地域での支え合いを進めている。</p>		<p>・第2・第4木曜日の13時15分～15時に有明保健センターで約10名が集まり、体操やレクリエーションを行っている。</p> <p>・第4火曜日は、市（保健センター）主催の転倒予防サークルと合同で活動している。</p> <p>・『がまだす体操』やお口の体操、骨盤底筋運動、転倒予防太極拳など、県南地域リハビリテーション広域支援センターの介護予防プログラムを取り入れている。</p> <p>・参加者同士の交流を大切に、コミュニケーションも積極的にとっている。</p> <p>・出前講座を活用し、認知症や介護予防など生活に役立つ知識を継続して学んでいる。</p> <p>・将来、認知症になっても安心して参加できるよう、仲間づくりと支え合いの関係づくりに取り組んでいる。</p>		<p>・認知症サポーター養成講座を受けた人が認知症当事者・家族を支援体制ができています。</p> <p>・地域包括支援センターと連携して活動している。</p>		

別紙1 <長崎県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
島原市	チームオレンジ れい丘元気会	1	2023	10	月2回	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>・「いきいき元気塾」修了後も介護予防を続けるため、平成21年2月に自主体操グループ「元気かい」が発足した。4名から始まった活動は口コミで広がり、現在は54名が参加するまでに成長した。</p> <p>・参加者同士が声をかけ合い、自然に支え合う関係ができています。さらに、認知症サポーター養成講座や令和5年10月のステップアップ講座を受講し、理解を深めたことをきっかけに現在の活動体制が整い、結成につながった。</p>		<p>・毎月第1・第3月曜日に、霊旧公民館で体操やレクリエーションなどの介護予防プログラムに取り組んでいる</p> <p>・参加者同士で役割を分担し、声かけや連絡を行いながら、無理なく続けられるよう支え合っている。</p> <p>・必要に応じて地域包括支援センターとも連携し、認知症になっても安心して参加できる環境づくりを進めている。</p>		<p>・認知症サポーター養成講座を受講した人が、認知症の本人や家族を支える体制を整えている。</p> <p>・地域包括支援センターと連携しながら、見守りや支援活動を進めている。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
五島市	てくてくパトロール	1	2023	11	年2～3回	4
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>チームオレンジメンバーが集まる集会でチームでできる見守り活動をしたい都の声が上がった。</p>		<p>通いの場や介護サービスを利用していない独居高齢者宅訪問</p>		<p>チームオレンジの勉強会を数回繰り返し、当該活動が開始された</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
大村市	チームオレンジ	1	2025	4	月2回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>通いの場の中心メンバーの民生委員に声をかけたことがきっかけ</p>		<p>・脳を活性化するためのクイズやゲーム、運動など</p> <p>・通いの場への参加の呼びかけ、通いの場からの帰りは、同じ方向の方は一緒に帰る。</p> <p>・気になる方(認知症やその疑いがある方を含む)の見守り、声かけ。(ゴミ出し、散歩等)</p> <p>・気になる方(認知症やその疑いがある方を含む)がいたら、対応方法について話し合う等</p>				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
新上五島町	おれんじカフェ	10	2025	4	月3回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症カフェの数か所開催をきっかけに、会場ごとにサポーターを分けて支援を依頼した。</p>		<p>カフェ準備や運営のサポート。参加者との談話・相談相手、支援が必要な方の支援。</p>				

別紙1 <長崎県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
時津町	特になし	10	2021	3	月1回	29
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町が実施する認知症に関する事業への協力など、認知症の人々を見守り支援する地域づくりを担うボランティアとして「認知症ケアサポーター」を養成し、活動していただいている。		認知症カフェの準備、片付け、受付		年2回の当番制(強制ではなく自由参加)		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
時津町	特になし	8	2021	3	年1～2回	29
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町が実施する認知症に関する事業への協力など、認知症の人々を見守り支援する地域づくりを担うボランティアとして「認知症ケアサポーター」を養成し、活動していただいている。		認知症サポーター養成講座(小中学生向け)の参加協力(寸劇、子供との交流)		随時声掛けて協力者を得る		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
長与町	チームオレンジとして認知症カフェへの参加と普及啓発活動への参加	1	2024	11	月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
以前より、認知症サポーターがボランティアとして認知症カフェで活動補助を行っていた。継続していく中で、サポーターが活動内容に積極的に関わっていくようになっており、チームオレンジの要件を満たすと思われたため、チームオレンジとしても活動を開始した。		認知カフェの企画、運営への参加、普及啓発活動への参加		参加希望者は町担当者へ参加意向を連絡する。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
川棚町	よらんねカフェ運営(認知症カフェ)	10	2023	12	月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		2023年11月に行政主催でステップアップ講座を開催し、よらんねカフェのサポーターとしてご協力いただける方を募り、活動の輪を広げてきた。昨年からは、毎月のミニ企画の発案を、サポーターや参加者と共に行っている。参加者の特技を生かした企画や地域の趣味サークルに依頼し、演奏会を開催した。		<ul style="list-style-type: none"> ・活動頻度: 毎月第4木曜日 13:30～15:00 ・よらんねカフェは「誰でも気軽に集えて、ほっとできる居場所」 ・カフェ終了後は、毎回サポーターと包括で振り返り、参加者の様子について共有したり、サポートできることはないか話し合っています。 		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<大分県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
4	3	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	0	0	1	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
4	2	1	1	4	1	1	2
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	2	1	0				

別紙1 <大分県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
杵築市		1	2025		2 1回/月	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域交流サロンで、月1回認知症カフェを開催。認知症の有無にかかわらず参加者がおり、互いに偏見なく交流できている。この交流を続けたい。		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回カフェ参加 ・参加者同士の交流 ・認知症についての学習 				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
豊後大野市	チームオレンジによる個別支援、通いの場支援	1	2023		3 週1回程度	33
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
チームオレンジの活動をオレンジカフェ、キャラバンメイト、認知症サポーターを中心に行っている。		<ul style="list-style-type: none"> ①個別支援 認知症の方の自宅を訪問し、オレンジカフェ等の通いの場への声掛けや話し相手をしている。 ②通いの場支援 地域の通いの場において、認知症の方が参加を継続できるよう認知症の方への接し方や予防に関する助言を行う。 		認知症サポーター養成講座受講者にチームオレンジ加入の声掛けを行い、加入者に活動の協力を呼びかけている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日田市	オレンジカフェしゃべりばの運営	1	2024		4 1回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター ステップアップ研修会		オレンジカフェの企画・運営		ステップアップ研修会のグループワークで、チームオレンジで実施したい活動を話し合い、活動に至った。チームオレンジのコーディネーターとして、認知症地域支援推進員がサポートしている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日出町	オレンジカフェひとやすみ	10	2015		4 3回/月	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター養成講座開催後のアンケート		オレンジカフェの手伝いや見守り		アンケートで参加協力が可能な場合電話でお願いする		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』〈宮崎県〉

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
4	1	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	2	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
4	4	2	3	2	0	2	2
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	3	0	0				

別紙1 <宮崎県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
西都市	元気を出そう会	1	2024		4月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
R6年4月～認知症の人と家族の一体的支援事業開始、認知症地域支援推進員がステップアップ講座受講者の方でオレンジカフェに参加されている2名に声をかけてお手伝いをしていただくようになる。R7年4月～認知症の人の集いの場(やりたい事の支援)「元気を出そう会」へ移行し、オレンジパートナーが7, 8名参加している。		認知症の人のやりたい事(野菜を育てたい、初詣に行きたい、市外に美味しいものを食べに行きたいなど)と一緒に計画し、希望をかなえる活動		認知症地域支援推進員2人が日程を本人・オレンジパートナーに伝える⇒オレンジパートナーが本人と一緒に送迎バスに乗車して会場へ行く⇒開催にあたっての準備や調整は推進員が行うが、オレンジパートナーが認知症本人さんの見守り・声掛け・活動等の支援を行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
西都市	オレンジカフェ	10	2023		3月1回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
1人のサポーターさんより、「何かしたい」「自分にできることはないか?」と認知症地域支援推進員に相談があった。そのことがきっかけで、オレンジカフェのお手伝いをしていただくようになった。		日帰り外出や認知症の勉強会、カレンダーづくりなど毎月違う内容を実施している。		年度末に1年間の予定を推進員が、参加者のアンケートをもとに予定表を作成する⇒参加者に予定表を配布する、市のお知らせ(広報)にも掲載する⇒開催にあたっての準備は推進員が行い、当日の資料の配布やお茶の準備・認知症本人さんへの声掛けや見守りはオレンジパートナーが行う。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
美郷町		10			月1回	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
綾町	綾デミー俳優(声掛け訓練の認知症役)	8	2021		9年1回	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
コロナが流行し、メイト(介護事業者)の協力が得づらくなった。そのため、声掛け訓練の認知症役を別組織を立ち上げてできないかと検討したのがきっかけ。		1グループ(中学生5～6名、認知症役(綾デミー俳優)1名、キャラバンメイト1名)ごとに声掛け訓練をおこなう。中学生1人2分の声掛け。綾デミー俳優は場面設定はせず、同じ話や徘徊、被害妄想等を演じ、キャラバンメイトが声掛けの指導をおこなっている。		養成講座開催日の2週間前に講座の目的・内容の打ち合わせをおこない、当日に再度全体の流れを確認。講座後、反省会を行っている。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<熊本県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
19	6	0	1	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	2	1	5	1	2	0	1

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
19	14	10	15	15	0	14	11
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	9	1	0				

別紙1 <熊本市>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
熊本市	長嶺校区における「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に向けた取り組み	1	2015		5 適宜 ※声掛け訓練は1回/年。会議は1回/月	
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
長嶺校区のスローガンとして、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を掲げ、地域（自治会、校区社協、民児協、PTA）・行政・協力企業が一体となって認知症の人の見守り支援について考え、活動につなげることができるよう、『長嶺校区見守りネットワーク』を立ち上げた。中心となっているのは、長嶺校区自治協議会。		長嶺校区には、8つの町内があり、町内ごとに「見守り」「会食支援」「配色支援」など認知症の人の支援につながる活動を行ない、校区全体では、声かけ模擬訓練を行ってきた。しかし、コロナ禍で活動が休止。R5年度からは、チームオレンジとして、活動を再開。校区ごとの認知症サポーター養成講座開催や、校区全体の声掛け訓練を再開している状況。チームオレンジの認定後は、金融機関（企業サポーター）も協力者となり、活動を行っている状況。		別添「長嶺校区見守りネットワーク新聞」参照		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
宇城市	ほっとオレンジの会（宇城市本人ミーティング）	12	2024		6 年6回（11月～毎月開催）	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーターステップアップ講座を受講し、ボランティア協力ができると返答があった2名に、本人ミーティング活動への協力を依頼した。		2023年から本人ミーティングを開始。サポーターの協力は2024年から。認知症の当事者や家族が参加する活動と一緒に取り組み、近況を話したりする。2025年11月～毎月1回開催。		上記の通り。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
玉名市	たまなつつながるプロジェクト	1	2014		4 月1回	100
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
各中学校区ごとに、キャラバン・メイトと市民等でチームを作り、認知症の正しい理解、支援の輪を広げることを目的に啓発活動を行っている。		認知症カフェの開催、イベントへの出展、認知症高齢者への声掛け訓練等				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
合志市	脳ケアルーム	9	2021		1 週1回	19
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
市が軽度認知症の方を対象として開始した『脳ケアルーム』事業の立ち上げに伴い、市民にサポーターとして募集したことがきっかけです。サポーターとして活動するためには、事業の目的である軽度認知症の方々への理解を深めることが不可欠であったため、参加者全員が認知症サポーター養成講座を受講しました。		事業内で行う、脳トレやプレイケア等の内容提案したり、職員や参加者の補助を行っています。				

別紙1 <熊本県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
山鹿市	やまが(認知症)サポーター交流会	8	2009	5	2か月に1回	240
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
		日常生活圏域8か所で、その地域の小規模多機能施設やグループホームにサポーター活動支援業務委託し、2か月に1回交流会として実施。主にこどもサポーター養成講座の企画・運営を実施している。		市独自のサポーター養成講座を受講終了した人を交流会に誘い地域の活動を広げている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
御船町	介護予防・生活支援サポーター	14	2003			400
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターの事業として、地域の担い手を養成		介護予防教室への協力(年間400回) 地域サロンの開催・運営 地域の見守り活動		毎年、介護予防・生活支援サポーター養成講座を実施。養成講座のカリキュラムの中に認知症サポーター養成講座を組み込んでいる。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
御船町	チームオレンジ活動	10	2020			
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
町内高齢者施設へ働きかけ、施設が中心となり運営。		オレンジカフェの開催、地域サロンの巡回支援		高齢者施設が中心となり、地区の区長、民生委員等へ研修をしながら活動を行っている。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
苓北町	傾聴ボランティアグループ	12	2015	2	月2回	31
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
高齢化社会に伴い、認知症高齢者も年々増加傾向にある中で、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるために、認知症サポーターの養成を行っていた。しかし、そのサポーターの活動の場が少なく、ボランティアも少ないことから、サポーターが活動しやすい環境や体制を整備することを目的としてボランティアグループを立ち上げた。		・オレンジカフェの開催(月2回) ・施設入所者や独居高齢者からの依頼による傾聴(各月2回) ・会員向けのステップアップ講座(年1回)				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
益城町	ほっこり茶屋(認知症カフェ)	10	2023		7 1回/月	12
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>熊本地震後、仮設住宅での生活を経て復興住宅での生活は近隣との交流がほとんど無い状態となりました。また、入居者の多くが高齢者であり、認知症状から起こる近隣トラブルなどもみられることから、社協から区長や団地役員へ提案をおこない、住民の交流の場、孤立予防、認知症予防につながるようカフェを開催することになりました。</p>		<p>毎月第4火曜日10:00～11:30 木山下辻団地集会所で開催。 活動内容は、茶話会、レクリエーション活動、頭と体の体操、参加者がやりたいことをやってみる等 特に、参加者がやりたいことやってみるでは、散歩をしたいとの希望があったのでみんなで団地周辺を散歩することになりました。そこで「どうせ歩くならゴミ拾いをしよう」との声もあがり、散歩の時は、ゴミ袋とゴミはさみを持って行きます。運動の機会だけでなく団地周辺の環境美化にもつながり、皆さんすっきりした気持ちで帰られます。 また、体操は「サザエさんde体操」を行い、振り付けを練習しています。町内で開催したオレンジ・フェスタや社協まつりで披露することで、人前に出る緊張感も味わって頂いています。体操を見た老人会グループや自主体操グループからやってみたいとの問い合わせがあり、その際は認知症についてのお話と合わせてサザエさんde体操を行っています。</p>		<p>・参加は町内に住んでいる方ならだれでもOKです。現状は、木山下辻団地の住民がほとんどです。 ・毎回、参加者に配布している脳トレプリントに次月の予定を明記しています。当日、忘れそうな方には、参加者同士で事前に声掛け等をされています。 また、開催チラシを回覧板で回してもらっています。 ・集会場は、主要メンバーにより押さえてもらい、飲み物やレクの材料代などは社協で負担しています。 ・主要メンバーと社協のオレンジコーディネーターで計画を立てますが、参加者全員にやりたいことアンケートを取り、取り組み可能なものから取り組んで活動につなげています。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
益城町	市の後オレンジサロン	1	2016		1 1回/月	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>熊本地震後、地域の多くの家が倒壊、高齢者の通いの場・地域住民同士の情報交換の場として地域支援として認知症カフェ・オレンジサロン「いきいきカフェ」を開催。</p>		<p>・月1回 第3木曜日10時から12時 当初は民家のお庭を借りて開催。町の復興と共に区画整理事業などから民家のお庭での活動が難しくなり、現在は町の施設「にじいろ」を借りて開催。 ・活動内容などは、特になが、地域の高齢者が思い思いに來られ、おしゃべりを楽しまれている。また、サポーターの方がチョットした料理を作って來られたり、参加者の差し入れなども毎回ある。 民生委員・益城病院のスタッフのサポーターがスタッフ。</p>		<p>活動への参加のスキームなど特になく、民生委員の声掛けで参加につながるケースが多い。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
益城町	下砥川チームオレンジ	1	2025		4 1回/月	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>熊本地震以降、認知症カフェ・オレンジサロン「いきいきカフェ」を開催していた。参加者が高齢であり、認知症など当事者の参加も多数あったこと、サポーターの方もおられたこと、既存型としてチームオレンジとして活動をしないかとの行政からの勧めもあり、チームオレンジとしての活動となった。</p>		<p>・月1回第2木曜10時～12時 下砥川公民館にて活動を開催。 ・元民生委員、益城病院のスタッフのサポーターがスタッフ。 ・毎月「おばあちゃんの料理教室」の開催。地域の高齢者施設からの参加もある。</p>		<p>活動への参加スキームなど特になく、元民生委員からの声掛けなどで参加につながるケースが多い。</p>		

別紙1 <熊本県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
益城町	花カフェ	10	2022	11	1回/偶数月	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>認知症家族介護者「いきぬこ〜会」を月に1度開催しており、在宅介護者の負担軽減の場として活動していました。</p> <p>熊本地震後、仮設住宅での孤立・認知症予防につながる交流の場ができないかと、「いきぬこ〜会」のメンバーからの相談により社協と一緒に始めたカフェです。</p> <p>当時「花カフェ」を立ち上げた「いきぬこ〜会」リーダーご自身が認知症となり、現在では在宅介護者のOGとして、また、認知症当事者として参加し、現役の在宅介護をされている方へ介護体験の話し等をしたり、当事者としての話しをしたり、お互い励まし合い楽しみながら交流されています。</p>		<p>偶数月の第2水曜日13:00～15:00、にじいろ(町の施設)を借りて開催しています。</p> <p>活動内容は、料理が得意なメンバーの手作り料理等の持ち寄りがあり、茶話会形式で会話を楽しみながら、編み物や小物作り、勉強会等を行っています。</p> <p>また、地域住民向けの認知症サポーター養成講座や町内の認知症イベント開催の際には、参加者に手料理をふるまう等の活動にもつながっています。</p>		<p>・町内在住の方であれば誰でも参加可能ですが、主に在宅介護をしている人、していた人、認知症当事者等が現在の参加者です。</p> <p>・社協のオレンジコーディネーターが、場所やお茶(飲み物)は準備します。仮設住宅で開催していた時は、1人100円を頂いていましたが、現在は頂いていません。計画の内容で、必要な場合は実費を徴収するようにしています。</p> <p>・年間計画として、主要メンバーとオレンジコーディネーターが年度初めにある程度どんなことをするか計画をしてカフェを開催しています。</p> <p>・認知症当事者にはカフェ当日に社協から電話をかけて、開催のお知らせをしています。</p> <p>・参加者増員のため、参加メンバーが他の活動の場で「花カフェ」の宣伝をしながらお誘いされています。また、在宅介護をされている集まり(年2回)の際に「花カフェ」メンバーがスタッフとして参加し、「花カフェ」の取り組みについて紹介し、参加につながっています。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
益城町	福富チームオレンジ	1	2024	4	1回/月	7
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>熊本地震以降、認知症カフェ・オレンジサロン「いきいきカフェ」を開催していた。参加者が高齢であり、認知症の方、障害を持つ方など当事者の参加も多数あったこと、サポーターの方もおられたこと、既存型としてチームオレンジとして活動をしないかとの行政からの勧めもあり、チームオレンジとしての活動となった。</p>		<p>・月1回 第4水曜日10時から12時 福富公民館にて活動を開催。</p> <p>・民生委員、地域福祉委員、益城病院のスタッフのサポーターがスタッフ。毎月、体操やレクリエーション、季節の行事を取り入れた活動を行う。また民生委員や地域福祉委員のサポーターは、活動後、サロンのパンを持って地域にいる高齢者を訪問し安否確認と同時に参加の呼びかけを行っている。</p>		<p>活動への参加スキームなど特になく、民生委員からの声掛けなどで参加につながるケースが多い。</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
長洲町	チームオレンジ	1	2019	11	2か月に1回	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域包括支援センター職員がチームオレンジの発足を計画し、声掛けに応じたステップアップ講座受講済のサポーターで結成した。</p>		<p>チームオレンジ活動推進会議、町内のオレンジカフェへの協力、認知症家族のつどいへの参加、各行政区での声掛け模擬訓練の参加。</p>		<p>ステップアップ講座受講後、チームオレンジ活動の紹介・説明を行い、趣旨に賛同いただいた場合はチームに加入。</p>		

別紙1 <熊本県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
錦町	わがまちの認知症サポーターの活動	3	2018	8	年3~4回	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
傾聴ボランティア発足		傾聴の必要性や重要性を認識するための養成研修を受けた方が、ボランティアとして地域住民の方の自宅などを訪問して寄り添い話し相手になるなどの活動を行っている。		地域包括支援センターより依頼		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
錦町	わがまちの認知症サポーターの活動	8	2012	4	年6回	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症サポーター活動運営委員の発足		町内小学校、地域での講座やデモンストレーション、福祉体験など		町内小、中、高校、地区への養成講座の受講の呼びかけを行い、申し込み後担当と打ち合わせを行っていく。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
錦町	わがまちの認知症サポーターの活動	10	2014	11	週1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
傾聴ボランティアの発足		認知症の方、介護者のみならず、誰でも自由に集える場として看板を掲げ、一部の介護事業所においては、出張カフェも行っている。		予約不要。自由に参加。		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
南阿蘇村	オレンジカフェ	10	2020	11	月2回、3か所	2
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症地域支援推進員の声からオレンジカフェが立ち上がり活動開始		オレンジカフェの代表者と参加者の中にもサポーターあり(2人+α)				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
山江村	認知症カフェ	11	2022	4	月に1回	17
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
熊本県のアクティブサポーターの認定を受け何か活動ができないかとの思いが聞かれ活動開始となった。		認知症カフェや地域のサロン活動		認知症カフェのサポーターとして年間計画を立て、予定に沿って会場設営や運営等実施。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』<鹿児島県>

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
14	8	1	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	2	2	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
14	13	10	10	12	4	6	10
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	10	0	1				

別紙1 <鹿児島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
鹿児島市	チームオレンジ	1	2023	8	月2回	1024
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しするとともに、認知症サポーターの更なる活躍の場を整備		・サロン交流、・各種レクリエーションや講座、・その他(地域の活動や行事への参加)		(チームとして活動したいとき)1.メンバー集め、2.講座の受講、3.チーム名等の決定、市への申請(参加したいとき)・地域包括支援センターへ連絡		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
鹿児島市	認知症等見守りメイト	2	2013	8	月3回	896
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを推進するため		見守りメイトの活動:生活状況の見守り、あいさつ及び声かけ、家族からの相談対応、話し相手など、ボランティアである見守りメイトの活動可能な範囲となります。内容や時間帯、頻度については、ご家族等の希望を踏まえ、話し合いにより決めていきます。		①利用申請 ②見守りメイトへ活動依頼 ③本人やご家族と顔合わせ ④見守り活動開始		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
垂水市	認知症の人の見守り活動及び高齢者の居場所の確保	1	2024	1	月1~2回程度	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
中心となる人物は、第2層生活支援コーディネーターを務めており、高齢者の生活支援や認知症高齢者の見守り活動を以前から行っていたため、サポーター養成受講を機にチームオレンジ立ち上げに至った。		・高齢者の居場所づくり・手芸等の制作活動・地域行事への参加など		・メンバー間の電話連絡で周知		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日置市	西原お笑い広場(筋ちゃん広場)	1	2023	12	週1回	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
住民主体の通いの場を令和5年5月に立ち上げ、もともとの関係性が近くて良好であったことからチームオレンジとして認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を実施した。		住民主体の通いの場を通して見守り、声かけ				

別紙1 <鹿児島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日置市	瀬戸内筋ちゃん広場	1	2024	12	週1回	15
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
住地域で認知症が気になる方がいるがこれまでと同じように生活が出来るようさりげない見守り、声かけをされている地域で、参加者の中で役割がある程度明確になっていることや参加者が「お互い様」の気持ちで支え合っていきたいといった思いを持っていることを把握したことからチームオレンジとして立ち上げ、支援を行った。		筋ちゃん広場をとおして本人の見守り、声かけ、支援をしている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日置市	東宮内筋ちゃん広場	1	2024	12	週1回	11
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
筋ちゃん広場に参加されている方で認知症の症状が有る方がおり、筋ちゃん広場のお世話役さんを中心に見守り、声かけをしている地域。認知症の方同士で散歩をすることもあり地域全体で見守りを行っていることから、認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を実施した。		本人が継続して筋ちゃん広場に参加出来るよう声をかけたり、迎えに行ったりされている。本人が散歩する際、さりげない見守りを行っている。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日置市	日新お助け隊	1	2025	3	活動会議は2回/年、必要に応じて活動、年間30回程度	23
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地区公民館の見守り支援事業の取り組みとして地域の気になる方の見守りやちょっとしたお手伝いをしている。今後も継続した活動をしていく中で、認知症について理解して頂くため認知症サポーター養成講座と声かけ訓練、ステップアップ講座を実施した。		今後も上記活動を継続していく。また、包括としては認知症かなという気付きや気づいた時の対応がスムーズにいくよう支援していく。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日置市	認知症ボランティア	1	2024	9	月1~3回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
認知症に関する知識の普及・啓発や認知症予防、また認知症関連事業での補助業務を行うボランティアを養成		認知症関連事業の補助業務、認知症カフェでの活動		認知症カフェではお茶出し等参加者の対応、一緒に活動している当事者への声かけ(活動しやすいような)		

別紙1 <鹿児島県>

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
日置市	みんなのカフェ	10	2024	2	月3回	6
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域の方が集える場を作りたい、と考え企画し認知症サポーターやキャラバンメイトによる活動が継続している		責任者の方も認知症サポーターであり、そこに認知症ボランティアの方々や認知症当事者がお手伝いしている。当事者が活動しやすいように認知症ボランティアの方々が声かけし、支援している。				

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
西之表市	認知症カフェ	11	2023	1	週2回	5
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
地域包括支援センターから参加案内があり、介護をされているご家族の方が日々の介護の不安や悩みを語り合う場、また、認知症の方が気軽に寄れる居場所として、誰もが集える場を作りたいと思った。		介護予防、脳トレ体操、創作活動、ゲーム、レクリエーション、介護の情報交換、ミニ講座、お茶タイム、交流会のサポート		健康チェック、介護予防体操、脳トレ、歌、計画に合わせた活動(創作活動、昔話、ゲーム等)、全体活動、個別活動等状況に応じて実施		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
錦江町		8				
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
瀬戸内町	うみカフェ	1	2024	4	週5日	10
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
平成28年に包括の事業に参加したのをきっかけに、中心人物となるサポーターの働きかけ。		①高齢者の見守り、②話し相手、③コーディネーターに繋ぐ。		毎週火曜～土曜の午後1時～4時。200円でコーヒーとお菓子を提供。メインは話し合い相手となり、困りごとの傾聴から解決にまで至っている。		

別紙1 『わがまちの認知症サポーターの活動』＜沖縄県＞

○「活動の種類」

記入数	1. チームオレンジ	2. 見守り	3. 傾聴	4. 外出支援	5. 通所施設、入居施設等の行事協力	6. SOSネットワーク等への登録	7. 認知症サポーターがいる店舗等の登録
2	1	0	0	0	0	0	0
	8. 「認知症サポーター養成講座」の開催協力	9. 介護予防教室等への協力	10. オレンジカフェの開催または参加	11. 認知症の人やその家族を対象とするサロンの開催または参加	12. 本人ミーティングの開催への協力やミーティングへの誘い・同行	13. キッズサポーター(小中高生)による認知症の人との交流	14. その他
	1	0	0	0	0	0	0

○「認知症サポーターによる活動がもたらしている成果」(MA)

記入数	1. 認知症の正しい知識を有することで、適切な対応、支援ができる	2. 住民の目線に立った支援の実施	3. 地域の見守り機能の向上	4. 認知症サポーター自身の生きがい、介護予防等につながる	5. 認知症による行方不明者の減少	6. 自治体の認知症施策の促進につながる	7. 住民参加型の地域共生社会に向けた地域づくりに結びついている
2	1	1	2	2	1	2	2
	8. 認知症に対する地域の偏見の払しょく	9. その他	10. 無回答				
	2	0	0				

別紙1 < 沖縄県 >

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
浦添市	ちょうじかゆいまある市場(集いの場)	1	2023	4	月1回1回	30
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域住民が自治会広場で野菜等を販売していたことから、包括と地域住民等が話し合い、誰でも安心して住みやすい地域を目指し月1回開催するようになった。だんだん広がりを見せている。</p>		<p>相談会、認知症の講話やステップアップ講座(介護予防含む)、カフェ、介護予防教室等。見守り、認知症当事者の作品展示等。子ども達の活動の場。野菜等の販売</p>		<p>実行委員会を立ち上げ、開催前後の会議の開催、事前打ち合わせで参加目的を共有し、認知症等本人が慣れるまでは声かけするなど配慮している。当事者だけの参加が難しい場合は、家族や関係事業所等にも協力依頼している</p>		

市区町村	活動名	活動の種類	活動開始年	月	活動頻度	サポーターの参加人数
浦添市	認知症サポーター養成講座	8	2024	9	年2~3回	8
活動開始の経緯・きっかけ		活動内容		活動・参加にあたっての流れ・スキーム		
<p>地域のちょうじかゆいまある市場に認知症当事者の本人が「食べる物がない」と食べ物をもとめてきたことから、地域のサポーターが無償で食べ物を提供し、認知症当事者の役割として、一緒に「認知症サポーター養成講座」開催協力を依頼したのがきっかけ</p>		<p>小学校や地域での「認知症サポーター養成講座」にキャラバン・メイトや認知症サポーターの人達と一緒に参加しサポーターカードの配布や情報提供を行っている。</p>		<p>包括支援センターを中心に認知症サポーター養成講座開催が決定したら、認知症地域支援推進員が本人や地域のサポーターに声掛け・開催場所(学校等)に来てもらいサポーターカードの配布等をしてもらう。</p>		

アンケート「認知症サポーターが実践している活動」

- ・2 「わがまちの企業・職域サポーターの活動」の回答結果

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜北海道＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
13	3	1	3	1	4	1

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
13	12	8	12	9	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
旭川市	日本郵便株式会社 上川地区連合会	2023			2
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーター養成講座の受講内容を踏まえ、地域包括支援センターへ認知症が疑われる方の情報を共有し、必要な対応を行っている。		自宅が分からなくなった方への対応			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千歳市	千歳市社会福祉協議会			115	3
活動内容		内容以外の実践活動			
市内の各関連団体と連携を図り、SOSネットワークの運営や認知症の方とその家族などへの様々な支援を行っている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
名寄市	北星信用金庫	2014	200	237	6
活動内容		内容以外の実践活動			
毎年、新入職員に対する認知症講座を開催。業務として認知症への正しい知識および認識は必要であり、今後も継続していきます。		日頃より認知症と思われるお客様については、全職員で情報共有できる体制となっており、ご家族とのコミュニケーションを重視して対応しております。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
赤平市	エルム高原リゾート ゆったり	2022	8		1
活動内容		内容以外の実践活動			
		入浴施設を利用中の高齢について、身体状況や心配になった行動・出来事など包括支援センターに連絡いただいている。そのうち介護サービス利用へと繋がったケースもあった。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
羽幌町	羽幌郵便局	2016	30		3
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症が疑われる来客に適切な対応をされ、必要に応じて(対応に苦慮する場合など)地域包括支援センターへ速やかに連絡をくださる体制がとれている					

別紙2 <北海道>

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
清水町	清水・御影郵便局	2015	20		3
活動内容		内容以外の実践活動			
郵便局窓口で認知症疑いの方が来て手続きなどがスムーズに行えなかった場合や気になる方がいる場合に情報共有。sosネットワークの協力機関に登録、検索が必要となった場合には業務の範囲内で協力する。					

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
倶知安町	倶知安郵便局	2023	14		4
活動内容		内容以外の実践活動			
情報の受付票を整備し、スムーズな情報共有をおこなっている。					

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
釧路町	大地みらい信用金庫 釧路東支店	2010	5	8	5
活動内容		内容以外の実践活動			
釧路町認知症の人にもやさしいお店登録し、交付された登録証書等を施設の出入口その他利用者の確認しやすい場所に表示し、業務の中で認知症や認知症が疑われる人・家族をやさしく見守る。接し方について十分な対応ができないときなどは地域包括支援センターに連絡をして連携を図る。					

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
釧路町	郵便局(町内)	2017	34	34	5
活動内容		内容以外の実践活動			
釧路町認知症の人にもやさしいお店登録し、交付された登録証書等を施設の出入口その他利用者の確認しやすい場所に表示し、業務の中で認知症や認知症が疑われる人・家族をやさしく見守る。接し方について十分な対応ができないときなどは地域包括支援センターに連絡をして連携を図る。					

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
釧路町	エディオン釧路店	2021	7	24	5
活動内容		内容以外の実践活動			
釧路町認知症の人にもやさしいお店登録し、交付された登録証書等を施設の出入口その他利用者の確認しやすい場所に表示し、業務の中で認知症や認知症が疑われる人・家族をやさしく見守る。接し方について十分な対応ができないときなどは地域包括支援センターに連絡をして連携を図る。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
釧路町	エディオン釧路店	2021	7	24	5
活動内容		内容以外の実践活動			
釧路町認知症の人にもやさしいお店登録し、交付された登録証書等を施設の出入口その他利用者の確認しやすい場所に表示し、業務の中で認知症や認知症が疑われる人・家族をやさしく見守る。接し方について十分な対応ができないときなどは地域包括支援センターに連絡をして連携を図る。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
釧路町	イオン釧路店	2025	19	1070	5
活動内容		内容以外の実践活動			
釧路町認知症の人にもやさしいお店登録し、交付された登録証書等を施設の出入口その他利用者の確認しやすい場所に表示し、業務の中で認知症や認知症が疑われる人・家族をやさしく見守る。接し方について十分な対応ができないときなどは地域包括支援センターに連絡をして連携を図る。 また、SOSネットワーク協力機関協定を締結しており、認知症高齢者等が所在不明となった際の検索に協力する。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
弟子屈町	釧路信金、弟子屈郵便局、川湯郵便局	2019	43		1
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・気になる方が窓口に来た時や、繰り返しの電話が来た時は、地域包括支援センターへ連絡をしてもらえる。 ・上記連絡を受けた時は、地域包括支援センター職員が窓口やその方の家へ訪問する等している。 ・SOSネットワーク会議の参加、日常業務での見守り。 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
壮瞥町	伊達信用金庫 壮瞥支店	2024	3		1
活動内容		内容以外の実践活動			
チームオレンジ壮瞥のチーム員となり活動を行っている。		認知症が疑われる高齢者やその家族(窓口と一緒に来ている)に悩んだり困ったりすることがあれば相談先として包括支援センターを紹介し、その後支援に繋がったケースがあった。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜青森県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
5	2	2	1	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
5	5	5	5	3	0	0

別紙2 <青森県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
五所川原市	日本郵便株式会社 五所川原郵便局	2026	51	200	1
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>・郵便局の配達員が認知症サポーターとなり、配達中に認知症が疑われる住民を把握し支援が必要と判断した場合は、五所川原市役所地域包括支援課へ情報提供いただけるようお願いしている。</p> <p>・「五所川原市認知症にやさしい事業所」として登録し、「認知症サポーターステッカー」を配布し事業所へ掲示をお願いしている。</p>		なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
むつ市	山内新聞読売センター田名部	2017	12	16	3
活動内容		内容以外の実践活動			
配達、集金時の様子確認、見守り					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
野辺地町	野辺地町役場	2017	95	140	1
活動内容		内容以外の実践活動			
町独自の養成研修を受講し、「認知症高齢者等見守りネットワーク協力店(団体)」に登録し、ネットワークの一員として見守り・連携を実施する。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
鱒ヶ沢町	鱒ヶ沢郵便局	2016	52		2
活動内容		内容以外の実践活動			
一日に何度も窓口に来ては払い戻しをしたり、残高が違ふと訴えたり、支払いが不安だと訴えたりするお客様について地域包括支援センターに連絡。センターのスタッフが窓口に向いたり、その方の自宅を訪問したりしている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
鱒ヶ沢町	鱒ヶ沢警察署	2016	34		2
活動内容		内容以外の実践活動			
もの盗られ妄想などで認知症のある方から警察署へ相談があった際には、実際に本人と面談をしたほか、家族には介護の相談を勧めている。地域包括支援センターに連絡をし、その時の様子を伝え情報共有。その後センターのスタッフが自宅を訪問したり、家族がセンターに介護の相談に来たりしている。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜岩手県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
2	0	1	0	1	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
2	2	1	2	1	0	0

別紙2 <岩手県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
北上市	北上信用金庫			88	4
活動内容		内容以外の実践活動			
		不明。開始年も不明だが、毎年新入社員に養成講座を行っている(年2名位)			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
矢巾町	ローソン矢巾南矢幅店	2020	6		2
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症が疑われる高齢者について地域包括支援センターと連携する仕組みを作っている。		認知症独居高齢者の見守りを自然に行っていて、本人が数日来ないことに気付いて地域包括支援センターに連絡したことで、体調不良に気付き命を救った。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜秋田県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
2	0	1	0	0	1	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
2	2	1	0	1	0	0

別紙2 <秋田県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大館市	ITOKU	2024			5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターの証であるオレンジリングと大館市オリジナルの缶バッチを身に付けて業務に従事している。ゆったりレジの対応、各売り場での気配り、サポートなど。		業務中に認知症が心配なケースなどについて、担当部署に接続してくれるようになった。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
羽後町	羽後自動車学校	2008	16	17	2
活動内容		内容以外の実践活動			
認知機能や自動車の運転能力に不安を抱えながら免許の更新期間を過ごしている方を対象に生活の足を守るための備え型の支援として「うごまちハッピー運転教室&Dカフェ」(認知症カフェ)を交通安全協会と地域包括支援センターとで共催している。 を飲みながら認知症についてや、安全運転についての講話。視力検査と視野検査の実施。脳の健康度チェックを行い認知機能が低下している方には包括職員から受診のながれや日常の予防について助言。教習所のコースを使用し実際に運転し指導員から評価と助言を個別に伝えてもらっている。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜宮城県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
9	4	3	0	0	0	2

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
9	7	4	8	4	0	0

別紙2 <宮城県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
仙台市	ヨークベニマル南中山店				6
活動内容		内容以外の実践活動			
・店舗内のスローレジの設置					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
仙台市	ファミリーマート(北日本エリア本部)				2
活動内容		内容以外の実践活動			
地域包括支援センターと協力して、認知症サポーター養成講座を開催した					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
仙台市	みやぎ生協				6
活動内容		内容以外の実践活動			
・みやぎ生協全店舗(2店舗を除く)でのゆっくりレジの設置 ・企業内での認知症サポーター養成講座の受講					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
角田市	角田郵便局	2015	49		1
活動内容		内容以外の実践活動			
①業務を通して気になった方について、対応後に地域包括支援センターに情報提供 ④高齢者等見守り協定の締結郵便物の溜まりなど高齢者宅に異変がみられる場合に地域包括支援センターへ報告					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
栗原市	仙台トヨペット(株)栗原築館店				2
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーター養成講座にて、地域包括支援センターが相談窓口であることを伝え、何かあれば連絡をもらえる体制をつくった。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
塩竈市	ふれあいエスプ塩竈	2024	10		2
活動内容		内容以外の実践活動			
ふれあいエスプ塩竈と介護予防に関する企画を共催したり、顔の見える関係性づくりを強めている。		アルツハイマー月間の際は、認知症に関する図書の紹介や展示を行っている			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
塩竈市	第一環境(株)塩竈事務所	2025	20		1
活動内容		内容以外の実践活動			
塩竈市と協定を結んでおり、水道の使用状況や料金の支払い等に関して市から包括や直接包括に連絡いただいている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
丸森町	七十七銀行 丸森支店	2006	7	13	1
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症が疑われる顧客が来店した際は、町の地域包括支援センターに情報提供を行っている。また気になる顧客に関しては、支店内でも共有をはかり、対応を検討する等間違った対応にならないように気を付けている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
亘理町	亘理町役場	2019	273	292	1
活動内容		内容以外の実践活動			
窓口で温かく対応し、気になった方は、地域包括支援センターと情報共有を行っている		認知症が疑われる高齢者を地域包括支援センターにつなぎ、介護保険サービスを利用開始した。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』〈山形県〉

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
6	4	0	0	0	1	1

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
6	5	3	0	0	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
米沢市	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	2023	57		6
活動内容		内容以外の実践活動			
米沢市はセブンイレブンジャパンと令和5年12月地域社会の活性化及び市民の安心安全な暮らしの確保に向け、包括連携協を締結し、高齢者の支援に関することとして、認知症サポーター養成講座を開催。実際に接客している中で苦慮しているケース等を聞き取り、グループワークで話し合い寸劇を通して学びを深め、日々のお客様対応に活かしている。店舗入口には「認知症サポーターがいます」のステッカーを貼り「安心」を伝える取り組みを行っている		認知症疑いのお客様について情報提供があった、どう対応していくか検討し、スタッフと共有して、常日頃の会話の中で、本人の情報収集ができるよう対応頂いている。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
米沢市	(株)アクセスよねざわ道の駅米沢	2024	35		5
活動内容		内容以外の実践活動			
米沢商工会議所の協力により、道の駅米沢のスタッフがサポーターとなり、認知症と診断された人でも安心して買物ができる、観光客を温かく受け入れる体制づくりを強化、徘徊高齢者が近隣市町を越えて発見された場合のネットワーク体制づくりを行った		月に1～2回、道の駅を会場として、介護事業所主催のおれんじ喫茶(認知症カフェ)を行っている。地元の高齢者が買物や食事のために利用する機会も多く、気になる方へ積極的に声をかけ会話している。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
米沢市	スターバックス コーヒー 米沢春日店	2023	6		1
活動内容		内容以外の実践活動			
店舗会場に誰でも気軽に参加できるおれんじ喫茶(認知症カフェ)を開催している。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
東根市	山形銀行東根支店	2023	30		1
活動内容		内容以外の実践活動			
話のすれ違いなど理解力低下が疑われる方が来店した際、包括支援センターに連絡してもらっている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
東根市	東根郵便局	2021	4		1
活動内容		内容以外の実践活動			
話のすれ違いなど理解力低下が疑われる方が来店した際、包括支援センターに連絡してもらっている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
金山町	金山郵便局	2014	8		1
活動内容		内容以外の実践活動			
業務を通して気になる情報があれば、地域包括支援センターに連絡してもらっている。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜福島県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
1	0	0	0	0	0	1

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
1	1	1	1	1	0	0

別紙2 <福島県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
いわき市	いわきスポーツクラブ	2024			6
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・スローショッピング ・啓発活動の場を提供(スタジアムでのティッシュ配り) ・認知症サポーター養成講座 					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜茨城県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
14	0	0	5	5	2	2

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
14	13	10	4	10	0	0

別紙2 <茨城県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	株式会社筑波銀行	2013	730		4
活動内容		内容以外の実践活動			
協定として、共生のまちづくり推進について掲げている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	日本生命	2024	45		4
活動内容		内容以外の実践活動			
協定を締結、つくば市版認知症ケアパスの配布					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	株式会社カスミ	2013	2239		4
活動内容		内容以外の実践活動			
協定として、福祉の向上を掲げている。SOSネットワーク事業協力事業所として登録					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	株式会社ヨークベニマル	2025	19		3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワーク事業協力事業所として登録					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	大塚製薬株式会社	2025	14		6
活動内容		内容以外の実践活動			
協定として、市民の健康づくりによる地域活性化を掲げている。市主催の認知症イベントへのブース出店					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	関彰商事株式会社	2014	76		4
活動内容		内容以外の実践活動			
協定として、福祉・健康の増進を掲げている。					

別紙2 <茨城県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	エーザイ株式会社	2010	304		6
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症施策の推進に関する地域連携協定を締結。認知症サポーターのいる店等に登録している。認知症啓発イベントの共催。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	郵便局	2015	136		3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワーク事業協力事業所として登録。協定として、地域の見守り活動協力について掲げている。認知症サポーターのいる店等の登録※企業8シート目以降2-2が複数個選択できません					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	ウエルシア薬局株式会社	2022	64		3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワーク事業協力事業所として登録。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
つくば市	損害保険ジャパン株式会社	2021	30		3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワーク事業協力事業所として登録。協定として、地域及び暮らしの安心・安全について掲げている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
守谷市	守谷市シルバー人材センター	2025	2	9	3
活動内容		内容以外の実践活動			
登録者、利用者の見守り。健幸長寿課への情報提供。		認知症を疑う方の情報を提供し早期に対応してもらえた。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
桜川市	郵便局				5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人にやさしい対応(ペースを合わせる、はっきりと大きい声で話しかける)。 ・認知症に人へお金の計算等支払い時の支援。 ・行方不明認知高齢者等への対応。 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
桜川市	JA北つくば				5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人へやさしい対応(ペースを合わせる、大きい声ではっきりと話す)。 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
神栖市	エーザイ株式会社	2020			4
活動内容		内容以外の実践活動			
脳活Eサロンの開催(市民の参加者を募り、会場と講師をリモートでつないで、シナプソロジーの体操を行う。)、オレンジカフェへの参加					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』〈栃木県〉

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
1	1	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
1	1	0	1	0	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
高根沢町	高根沢町図書館	2008	20	22	1
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症状がみられる方について、相談機関(包括や役場)につなぐ。 認知症関係の普及啓発への協力。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜群馬県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
7	2	3	1	0	1	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
7	6	3	4	5	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
富岡市	介護老人保健施設コロン				2
活動内容		内容以外の実践活動			
家族勉強会として、認知症サポーター養成講座を実施					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南牧村	南牧村商工会	2019	33		5
活動内容		内容以外の実践活動			
村内にある店舗等(24ヵ所)認知症サポーター養成講座 受講者在籍店舗として申請(希望)し、認定証(A4)ラミネートして渡しました。店舗やタクシーの窓に貼られているのを確認しています。		「認知症かも知れない」と心配がある方の情報提供があります。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大泉町	大泉町警察	2016	63		3
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大泉町	ウェルシア	2019	4		1
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大泉町	セブンイレブン	2019	38		1
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大泉町	ヴィアックス大泉町図書館	2024	16		2
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大泉町	ライフシステム	2025	20		2
活動内容		内容以外の実践活動			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』〈埼玉県〉

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
1	1	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
1	1	1	1	0	0	0

別紙2 <埼玉県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
寄居町	埼玉県寄居警察署	2015	81	100	1
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>①業務を通じて認知症と疑われる者を取り扱った場合、情報を地域包括支援センター、行政(福祉課)に提供する。②最寄りの地域包括支援センターと連絡を取り合い何かの場合には、すぐに連絡できるようにしている。③警察署にて取り扱った場合は、見守りシールを交付している。</p>					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜千葉県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
4	3	1	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
4	4	1	1	2	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
市川市	有隣堂ニッケコルトンプラザ店	2023	3	25	2
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>店内の一区画を提供し、講師を招いて「本屋で音読」という名称で集いの場を開催している。集いの場では、認知症の人や家族の他、近隣住民が参加し、簡単な体操や音読により、一緒に大きく声を出す取り組みを行っている。</p> <p>集いの場の開催にあたり、高齢者サポートセンターに配置されている認知症地域支援推進員が後方支援を行っている他、認知症に係るチラシ等の店内への配架に協力いただいている。</p>		<p>ボランティアで来ていただいた方とコミュニケーションを重ねるうち、先週話したことを忘れていた、初めて来た、等の認知症の兆候を発見。認知症地域支援推進員の方にご連絡して社協ボランティア担当の方と連携していただいた。</p> <p>「本屋で音読」の他に「本屋でライブ」を開催。ニッケコルトンプラザ様からのご紹介で2カ月に1回程度ミュージシャンの方を招いて開催。店内で昭和歌謡を認知症の方もそうでない方も一緒に楽しく歌っている。</p> <p>本をご注文いただいた際、サービスコーナー担当者が、複数回同じ本を注文していることを発見。お客様にご連絡すると、連絡先が施設の代表電話であり、スタッフの方に事情をご説明。スタッフの方からお客様にお声がけしていただくと、認知症のため気付かずに同じ本を何度も注文していたとのこと。施設の方と連携を図り、今後また同じ本をご注文の場合には注文前に施設にご連絡、確認してからお配することになった。</p>			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
旭市	郵便局	2009			1
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>頻回に来局し、通帳の再発行を希望する高齢者に対し、安心するような声掛けを行うとともに、市へ情報共有し、地域包括支援センターの支援が開始となったケースがある。</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
富里市	千葉県ヤクルト富里センター	2024	7		1
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>顧客対応で困った際は、行政に連絡するよう連携をとっている。</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
富里市	観光・交流拠点施設「末廣農場」	2025	5		1
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>来役者の接し方や対応方法を学び、実際に困ったお客様がいらしたら、行政に連絡するよう連携をとっている。</p>					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜東京都＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
19	5	1	0	0	1	12

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
19	17	18	14	4	0	0

別紙2 <東京都>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	Nail Sarasa(福祉ネイルサラサ)	2022	10		6
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症カフェの運営補助 高齢者施設での訪問ネイルサービス 千代田区立障害者福祉センターにおいてネイル施術 認知症カフェ等でのハンドケア講座の実施					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	カフェ「のん散歩」	2022	1		6
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症本人ミーティング「実桜の会」の開催場所として、 カフェ「のん散歩」を無償で提供いただいている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	株式会社デニーズジャパン	2022	7		6
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症本人ミーティング「実桜の会」の開催場所として、 デニーズ二番町店を無償で提供いただいている。 また、令和4年度ちよだ認知症ケア講座「本人の想いととみに」を、 在宅支援課・株式会社デニーズジャパン支援者・認知症ご本人と ともに開催する等、連携を図っている。		他の区や、地域においても認知症ミーティングの場所として拡大して いった。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	ベストリハ訪問看護ステーション(四谷支店)	2024	5		6
活動内容		内容以外の実践活動			
多世代交流楽楽ひろば(相談センター麹町主催のワークショップ) における、認知症予防や介護予防に資する体操教室の実施					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	株式会社Lifeblood(Lifeblood鍼灸マッサージ院)	2024	3		6
活動内容		内容以外の実践活動			
院内において高齢者の介護予防、認知症改善・予防に向けた 健康体操教室を週1回程度実施。 多世代交流楽楽ひろば(相談センター麹町主催のワークショップ) における、認知症予防や介護予防に資する体操教室の実施					

別紙2 <東京都>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	株式会社アイセイ薬局	2023	187		6
活動内容		内容以外の実践活動			
全社員の取得を推奨し、毎年認知症サポーター養成講座を実施 認知症カフェ等において、野菜摂取量、下肢筋力、血管年齢、 骨密度等の測定を通じた健康チェックイベントや、薬局や薬剤師の 活用に関するセミナーを実施					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	株式会社極楽湯 RAKUSPA1010神田	2025	2		6
活動内容		内容以外の実践活動			
千代田区認知症ガイドブック(認知症ケアパス)・ 別冊「いまのわたしで生きていく」および認知症関連書籍 コーナーの設置による認知症普及啓発の実施令和7年9月25日 スクラッチアート、脳トレワークシート等の 脳トレゲームコーナーの設置(継続的な設置を検討中)					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	共立女子大学・共立女子短期大学	2023	554		6
活動内容		内容以外の実践活動			
大学構内図書館における千代田区認知症ガイドブック(認知症ケア パス)・ 別冊「いまのわたしで生きていく」の配置および 認知症関連書籍コーナーの設置による認知症普及啓発の実施 認知症に関する公開講座および正課外講座を実施 学生向けに認知症の理解促進を深める科目を設定 千代田区版「人生会議」等を活用した高齢者サロン等でのプログラムの 実施 令和5年10月5日開催の「出張！はあとカフェ」を共同企画。 また、学生が当日運営ボランティアとして、参加。 学生が企画立案した認知症カフェの実施					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	千代田区内郵便局(21局)	2016	88		6
活動内容		内容以外の実践活動			
千代田区認知症ガイドブック(認知症ケアパス)および認知症関連資 料の設置 外出中などにクールダウンをすることができる「ひと涼みスポット」の 設置 来局者された高齢者で認知機能や身体機能で心配な高齢者やそ の家族へ相談 機関を伝え、つなげる					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
千代田区	東京歯科大学・東京歯科大学短期大学	2024	58		6
活動内容		内容以外の実践活動			
大学構内図書館における千代田区認知症ガイドブック（認知症ケアパス）・別冊「いまのわたしで生きていく」の配置および認知症関連書籍コーナーの設置による認知症普及啓発の実施					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
江戸川区	「えどがわオレンジ協力隊」事業 江戸川区	2006	1736		5
活動内容		内容以外の実践活動			
当該事業への登録を希望する事業所・団体等は申請時に「行動宣言」を定めていただいています。（例：認知症の人にやさしく接します）事業所・団体等には宣言の実践をお願いしています。		協力隊に登録している金融機関や小売店等において、認知症状のように見受けられる気になるお客様を近隣の地域包括支援センターに連絡いただき、必要な介護サービス等の支援に繋がった事例がありました。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
八王子市	八王子市内の某タクシー会社	2015	70	150	1
活動内容		内容以外の実践活動			
タクシーの乗務員が認知症サポーターとなることで、認知症のある方が乗車したとしても、理解の心を持ち親切に接する事ができるように努めてくださっている。オレンジバッジを服に付けて乗務して下さっている。		下車する場所を忘れて言えなくなった方を交番にお連れして下さった。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
八王子市	はちみつ薬局	2024	15	20	1
活動内容		内容以外の実践活動			
窓口に来店される方でそれまでと違う変化に気付いた時や、接客時に困難を感じる場合、高齢者あんしん相談センターに連絡をしていただき情報共有をしながら対応を考える。		○認知症の薬を服薬している方が車を運転し来店。運転を控えるようにそっと妻に伝えた。事故を未然に防ぐことに繋がる声掛けをして下さった。 ○重複服薬をしてしまう認知症の方の在宅を訪問し、お薬カレンダーをセット。訪問した際に、鍋を焦がしているのを見つけてケアマネに連絡。ガスコンロを使っている方だったので電気コンロに変えてもらい、火災を防ぐことに繋がった。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
八王子市	イトーヨーカ堂八王子店			19000	1
活動内容		内容以外の実践活動			
・店舗周辺の高齢者あんしん相談センターや認知症当事者の方たちと一緒に買い物しやすいお店づくりを進めている。 ・認知症当事者の方の社会参加の場（通年を通して草刈りの有償ボランティア）の受け入れをしている。 ・認知症が疑われる高齢者のことを気にかけてくれている。必要に応じて情報提供あり。		独居認知症高齢者がお店に来店。家の鍵がなくて家に入れないという事がわかった際に、管轄の高齢者あんしん相談センターに連絡ももらった。こちらでもかかわりがある高齢者であったため、キーパーソンに連絡をとりキーボックスの番号を確認し自宅に入ることができた。			

別紙2 <東京都>

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
八王子市	株式会社スーパーアルプス	2021	400		6
活動内容		内容以外の実践活動			
2か月に1度の認知症家族介護者支援者交流会(認知症café)に参加。通常の認知症家族介護者支援者交流会(認知症café)全体の打ち合わせから会場準備、配膳、企業が担当する時間の打ち合わせ、地域のイベント等のコラボ。地域のポッチャ大会、地域の祭りのボランティア等、地域からのオファーがあった時に話し合う。		認知症当事者が買い物に来て困っていると声をかけてくださり一緒に探してくれた。			

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
八王子市	(株)ムラタ ガソリンスタンド		5		1
活動内容		内容以外の実践活動			
毎月1回、地域のガソリンスタンド主催のカフェを開催しており、都度包括支援センター職員が同席し運営の支援を行っている。その際に、気になる方がいれば相談頂いている。					

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
八王子市	コミュニティスペースまつまる	2024	18		1
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・日々のお客様の見守り。子供とのトラブル防止 ・地域ケア会議(地域課題会議)への参加 ・包括やシルバーふらっと相談室との情報共有 					

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
八王子市	八王子市内の某タクシー会社	2015	70	150	2
活動内容		内容以外の実践活動			
タクシー乗務員が認知症サポーターとして活動することで、認知症のある方が乗車された際にも、理解と配慮をもって親切に対応できるよう努めている。乗務時には、認知症サポーターの証であるオレンジバッジを制服に着用している。		下車する場所を忘れて言えなくなった方を、交番に連れて行ったことで、行方不明になることを防ぐ結果となった。			

市区町村	企業名	サポーター養成開始年	企業サポーター数	企業などの全職員数	活動の種類
日の出町	郵便局		530		6
活動内容		内容以外の実践活動			
「認知症 高齢者にやさしいお店」ステッカーを貼付。認知症関連の役場取組みに関するポスターを掲示。認知症の方にやさしい配慮や気になる方への配慮、通報、保護を可能な範囲で依頼している。		登録店舗の金融機関、気になる認知症の方について交番や包括へ連絡。官学連携事業で小学校の取組みに参加されることある。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜神奈川県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
0	0	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
0	0	0	0	0	0	0

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』〈山梨県〉

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
4	0	0	3	0	0	1

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
4	4	3	3	3	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大月市	金融機関 等	2009	223		3
活動内容		内容以外の実践活動			
以前、金融機関等の職員研修でサポーター養成講座を受講していた ので、日々の業務で活かしている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
甲斐市	大塚製薬	2025	14		3
活動内容		内容以外の実践活動			
・業務中に認知症で困っている方や気になる方がいる場合、速やかに 地域包括支援センターへ情報共有してもらっている。 ・見守り機関向け学習会を年1回開催し、声掛けや見守り等地域での 見守り体制を構築することの大切さを理解してもらっている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
昭和町	イトーヨーカドー甲府昭和店	2021	60		6
活動内容		内容以外の実践活動			
全部門でサポーターが在籍するよう意識されており、定期的に認知 症サポーター養成講座を受講。また、認知症月間前後など、認知症 普及啓発に向けた展示協力を行っている。		電話対応や接客対応にて、認知症対応を意識したやり取りを心掛けて いる。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
市川三郷町	山梨中央銀行 市川支店、六郷支店	2011	73		3
活動内容		内容以外の実践活動			
		窓口対応で認知症が疑われる高齢者について、銀行より町地域包括 支援センターへ連絡があり、個人情報保護の取り扱いに十分配慮し たうえで、情報共有を図り生活支援につながったことがある			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<長野県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
0	0	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
0	0	0	0	0	0	0

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜新潟県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
1	0	0	0	1	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
1	1	1	1	0	1	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
魚沼市	市内郵便局	2021	22		4
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>・郵便局内に相談先(認知症相談ダイヤル)のチラシを掲示してもらったり、9月アルツハイマー月間には、当事者・家族らが作成した「しおり」を置かせてもらう等、PR活動に協力いただいている。</p>		<p>・何度も通帳を紛失している認知症当事者の方が窓口に来られた際、窓口職員から推進員へ連絡。駆けつけた推進員が手続きを手伝ったり、家族への連絡・相談につなげた。</p>			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜静岡県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
3	0	0	1	1	1	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
3	3	2	1	2	0	0

別紙2 <静岡県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
下田市		2015	11		5
活動内容		内容以外の実践活動			
サポーター養成講座を受講したお店に登録証を発行。行政ホームページにて「認知症にやさしいお店」として掲載。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
菊川市	日本生命菊川営業所		26		4
活動内容		内容以外の実践活動			
菊川営業部所属社員が「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症サポーターとして市民に接してもらう。また日本生命社員の顧客訪問の際に、本事業のチラシを配布し、事業案内を行ってもらう。認知症サポーター養成講座は令和8年1月に実施した。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
東伊豆町	郵便局	2020	25		3
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・窓口で手続きができなかったり、何度も通帳をなくしてしまう、支払いがうまくできない等認知症の疑いのある人に対して、職員間で情報共有を行い、包括へ連絡、情報提供を行っている。早期発見、早期介入することができその後も経過を見ながら連携を図っている。 ・見守りネットワーク協力機関に登録し、高齢者検索模擬訓練に参加。 		<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害(詐欺)の疑いがある人に声掛けをし、未然に防ぐことができた。 			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜愛知県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
12	1	0	1	3	6	1

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
12	11	6	10	2	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
豊明市	NTP名古屋トヨペット株式会社	2025			4
活動内容		内容以外の実践活動			
会場を地域の活動に貸し出し、介護予防教室の開催協力をされています。		実際に受講されたサポーターさんのご家族の方が心配で、包括支援センターへの相談につながりました。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	新田薬局	2024	2		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポート事業所として登録し、認知症の人への優しい対応、見守りに協力 市の認知症啓発事業に協力					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	ちた中村歯科	2020	3		1
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症が疑われる患者について地域包括支援センターや行政と情報共有 必要に応じて認知症専門医療機関と連携					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	(公社)知多市シルバー人材センター	2020	2		3
活動内容		内容以外の実践活動			
地域の見守り活動に協力					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	(株)イトヨーカ堂 知多店	2017	48		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポート事業所として登録し、認知症の人への優しい対応に協力 市の認知症啓発事業に協力					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	(株)平和堂知多店	2024	85		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポート事業所として登録し、認知症の人への優しい対応、見守りに協力 市の認知症啓発事業に協力					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	第一生命保険(株)中京総合支社新舞子営業オフィス	2020	45		4
活動内容		内容以外の実践活動			
地域見守り活動に関する協定を締結					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	(株)つかさ つかさ介助タクシー	2025	2		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポート事業所として登録し、認知症の人への優しい対応、見守りに協力					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	日本総合住生活(株)名古屋支社朝倉団地清掃作業員詰所	2020	4		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポート事業所として登録し、認知症の人への優しい対応、見守りに協力					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	朝倉団地管理サービス事務所	2021	1		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポート事業所として登録し、認知症の人への優しい対応、見守りに協力					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
知多市	日本郵便(株)知多郵便局	2022	8		4
活動内容		内容以外の実践活動			
地域見守り活動に関する協定を締結					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<岐阜県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
18	2	2	2	1	10	1

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
18	18	3	6	1	0	0

別紙2 <岐阜県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
郡上市	郵便局	2017			2
活動内容		内容以外の実践活動			
顧客見守り		顧客取引の上で認知症を疑い包括支援センターへの情報共有があった			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	アル・プラザ鶴見(平和堂)	2011	213		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示、高齢者にやさしくし隊登録					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	(株)ユタカファーマシー	2014	129		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	ダスキン大垣	2020	33		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示、高齢者にやさしくし隊登録					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	ヨヤス薬品	2021	1		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示、高齢者にやさしくし隊登録					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	第一生命(株)	2022	29		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示、高齢者にやさしくし隊登録					

別紙2 <岐阜県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	山田商店	2022	1		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示、高齢者にやさしくし隊登録(特別なことはしていませんが、高齢者になるべく寄り添い、対応するよう心がけているとのこと)					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	東海労働金庫 大垣支店	2023	24		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示、高齢者にやさしくし隊登録					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	トランコム(株)	2023	10		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	おおがき南調剤薬局	2023	5		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示、高齢者にやさしくし隊登録					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大垣市	中京医薬品 大垣営業所	2024	8		5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症サポーターがいる店ステッカー掲示					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
各務原市	エーザイ株式会社様				4
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症カフェの開催・認知症に関する知識を普及啓発するための講演会の開催 など					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
土岐市	なし	2011	561		1
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症の方の対応の仕方を学び、業務で実践してもらう。心配な様子の方がついて地域包括支援センターや市や連絡してもらう。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川辺町	大垣共立銀行 川辺支店	2024	9	10	2
活動内容		内容以外の実践活動			
包括支援センターと連絡・連携を図るしくみが整備されている。		同じ話をしている方に対して、①否定しない②受容する ことを意識して接している。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川辺町	東濃信用金庫	2019	20	11	3
活動内容		内容以外の実践活動			
地域包括支援センターと連携・連絡を図るしくみが整備されている		特になし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川辺町	有本新聞社	2019	9		3
活動内容		内容以外の実践活動			
地域包括支援センターと連携・報告を図るしくみが整備されている。		講座での学びを活かして、適切な対応で接することができた。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大野町	警察署	2016	40		1
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症の人がお金を盗られたなどの被害を訴えると、探したりその後もパトロールなどを行う。行方不明者を探すときは広報無線でアナウンスして近隣市町村と協力して探している。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大野町	平和堂	2023	77		6
活動内容		内容以外の実践活動			
セルフレジで戸惑う人を有人レジへ案内してその人のペースで支払えるようにする。食品を配達するときに、何か気になることがあれば役場へ連絡する。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<三重県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
2	1	1	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
2	2	2	1	1	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
紀北町	チームオレンジぽすと	2025			1
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・通常窓口とは別に、「よりそいカウンター」を設置し、認知症当事者やその家族に対して安心して気軽に相談できる窓口を設置 ・認知症当事者やその顔z杭大して丁寧な対応を心掛け、貴になる方がいれば、地域包括支援センターに情報提供を行い、対応策など連携を図る ・町内の小学校で開催しているキッズサポーター養成講座へ参加し、チームオレンジポストの活動内容を照会 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川越町	マックスバリュ	2023			2
活動内容		内容以外の実践活動			
店舗での見守り、声掛け、おもいやりレジの設置、気になる顧客の情報共有		認知症者の常連客に対して情報共有を行い、見守ることで対象者らしい生活を継続出来た			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜富山県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
20	0	2	16	2	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
20	20	5	5	7	0	0

別紙2 <富山県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
黒部市	アルビス株式会社	2023	13	3346	4
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>・地域の見守り、買い物支援等に関する協定を締結している。 ・移動スーパーの販売員より、認知性が疑われる人がいた際に、 地域包括支援センターへ情報共有を行っている。</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
黒部市	公益財団法人 黒部市国際文化センターコーラーレ	2023	16	204	3
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>・市の※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」に協力事業所として登録している。 ※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」…SOSネットワークに事前登録している高齢者等が行方不明になり、黒部警察署に捜索願が提出された際に、市福祉課(または黒部消防署)より、協力事業所にメールで行方不明者の特徴などの情報を配信し、早期発見につなげる事業</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
黒部市	第一生命保険株式会社 黒部営業オフィス	2020	19		3
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>・市の※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」に協力事業所として登録している。 ※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」…SOSネットワークに事前登録している高齢者等が行方不明になり、黒部警察署に捜索願が提出された際に、市福祉課(または黒部消防署)より、協力事業所にメールで行方不明者の特徴などの情報を配信し、早期発見につなげる事業</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
黒部市	ウエルシア薬局(生地、三日市店)	2019	13		3
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>・市の※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」に協力事業所として登録している。 ※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」…SOSネットワークに事前登録している高齢者等が行方不明になり、黒部警察署に捜索願が提出された際に、市福祉課(または黒部消防署)より、協力事業所にメールで行方不明者の特徴などの情報を配信し、早期発見につなげる事業</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
黒部市	明治安田生命 黒部営業所	2019	25		3
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>・市の※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」に協力事業所として登録している。 ※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」…SOSネットワークに事前登録している高齢者等が行方不明になり、黒部警察署に捜索願が提出された際に、市福祉課(または黒部消防署)より、協力事業所にメールで行方不明者の特徴などの情報を配信し、早期発見につなげる事業</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
黒部市	明治安田生命 黒部営業所	2019	25		4
活動内容		内容以外の実践活動			
地域の見守り等に関する協定を締結している。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
黒部市	黒部・宇奈月郵便局	2019	18		3
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>・市の※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」に協力事業所として登録している。 ※「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」…SOSネットワークに事前登録している高齢者等が行方不明になり、黒部警察署に捜索願が提出された際に、市福祉課(または黒部消防署)より、協力事業所にメールで行方不明者の特徴などの情報を配信し、早期発見につなげる事業</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
砺波市	いかるぎ薬局	2023	2		3
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症高齢者等が行方不明になった場合に、捜索に協力する					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
砺波市	となみ観光交通(株)	2025	17		3
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症高齢者等が行方不明になった場合に、捜索に協力する					

別紙2 <富山県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
砺波市	となみ野農協	2023	8		3
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症高齢者等が行方不明になった場合に、捜索に協力する					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
砺波市	砺波郵便局	2023	15		3
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症高齢者等が行方不明になった場合に、捜索に協力する					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
砺波市	イオンモールとなみ	2020	249		3
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症高齢者等が行方不明になった場合に、捜索に協力する					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南砺市	郵便局	2019			3
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南砺市	銀行	2012			3
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南砺市	市内小中学校	2007			3
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南砺市	地域づくり協議会、自治会	2007			3
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南砺市	薬局	2015			3
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南砺市	生命保険会社	2020			3
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南砺市	商店	2023			2
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
舟橋村	地元の郵便局	2025	3	4	2
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>お客として来られる方の変化に注意し、手続きなど窓口対応を意識して行っている。気になることがあれば地域包括支援センターに相談している。</p>		<p>金融関係の手続き時の様子で、認知症やMCI疑い情報を地域包括支援センターに情報提供してくれたことで専門医受診につながった。</p>			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜石川県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
2	2	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
2	2	2	2	2	0	0

別紙2 <石川県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
能美市		2016	59		1
活動内容		内容以外の実践活動			
同じ用件で何度も窓口に来る人やATMでのお金の引き出しができなくなった人等、認知機能の低下が疑われる人の情報を地域包括支援センターに共有している。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
穴水町	サエラ薬局穴水店	2017	3	3	1
活動内容		内容以外の実践活動			
薬の飲み忘れが多い。言動に違和感があるといった認知症が疑われる方、又は認知症と診断されている方が来店された場合、本人や家族の了承を得た上で地域包括支援センターに対応を相談することがある。 地域の集いの場で地域包括支援センターと連携を図り、認知症サポーター養成講座を実施している。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜福井県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
0	0	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
0	0	0	0	0	0	0

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<滋賀県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
10	3	0	0	0	7	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
10	9	2	3	2	1	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長浜市	地域コミュニティ・ケア研究所	2025	1	2	1
活動内容		内容以外の実践活動			
お客様から問い合わせがあれば、お客様の了承をいただいたうえで、必要時には地域包括支援センターの案内を行っている。 ・目印としてお店の入り口などに「認知症のある人にやさしいお店」認証ステッカーを提示し、周知・啓発をおこなっている。		・長浜市で開催されている認知症についての勉強会や講演会等、広報を行っている。 ・地域の高齢者向けに、介護予防として身体を動かしたり、おしゃべりを楽しむ時間を定期的に設け、月に一回多世代交流型ポッチャ大会を開催している。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長浜市	長治庵	2025	1		5
活動内容		内容以外の実践活動			
目印としてお店の入り口などに「認知症のある人にやさしいお店」認証ステッカーを提示し、周知・啓発をおこなっている。		認知症のある方に対して、否定することなく話をじっくりと聞き、適切な声掛けを心がけている。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長浜市	長生堂薬局速水店	2025	1		5
活動内容		内容以外の実践活動			
目印としてお店の入り口などに「認知症のある人にやさしいお店」認証ステッカーを提示し、周知・啓発をおこなっている。		認知症のある方への薬の服薬支援や、服薬の飲み間違い、お会計に心配のある顧客に対して、地域包括支援センターにつないでいる。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長浜市	長浜セレモニー株式会社 家族葬の♡ウイズユー	2025	13	20	5
活動内容		内容以外の実践活動			
目印としてお店の入り口などに「認知症のある人にやさしいお店」認証ステッカーを提示し、周知・啓発をおこなっている。		特になし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長浜市	長浜まちづくり(株)	2025	1	4	5
活動内容		内容以外の実践活動			
目印としてお店の入り口などに「認知症のある人にやさしいお店」認証ステッカーを提示し、周知・啓発をおこなっている。		特になし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長浜市	長浜信用金庫	2019	75		5
活動内容		内容以外の実践活動			
目印としてお店の入り口などに「認知症のある人にやさしいお店」認証ステッカーを提示し、周知・啓発をおこなっている。		特になし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長浜市	暮らしの衣料やまぐち	2025	1	3	5
活動内容		内容以外の実践活動			
目印としてお店の入り口などに「認知症のある人にやさしいお店」認証ステッカーを提示し、周知・啓発をおこなっている。		「何を買ったらいいのか」「どのくらい購入されるのか」について話を聞きながら対応している。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長浜市	(株)国友トータルサービス	2025	1	10	5
活動内容		内容以外の実践活動			
目印としてお店の入り口などに「認知症のある人にやさしいお店」認証ステッカーを提示し、周知・啓発をおこなっている。		特になし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
高島市	平和堂あどがわ店・今津店	2023	206	207	1
活動内容		内容以外の実践活動			
電話対応時や、来客対応時に認知症が疑われる方であれば、地域包括支援センターに対応の相談や情報提供を行っている。 * 2-4, 2-5の認知症サポーター数は令和5, 6年時の延べ人数、全職員数は令和7年現在の人数となります。ご了承ください。		店内でのお買い物の際に、お困りの様子が見られたら、見守り、商品選びのお手伝いや付き添いを行っている。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
草津市	株式会社 平和堂	2025	15000		1
活動内容		内容以外の実践活動			
来店されるお客様の様子に変化があった際に、担当の地域包括支援センターに連絡されている。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<京都府>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
3	2	1	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
3	3	3	3	0	0	0

別紙2 <京都府>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
京丹後市	郵便局	2017	40		1
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・市内20か所の郵便局が、SOSネットワークに登録。 ・SOSネットワーク稼働時はもとより年1回の模擬訓練にも参加。 		<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害を未然に防いだことがある。 			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
京丹後市	ショッピングセンター マイ	2023	68		2
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・市内20か所の郵便局が、SOSネットワークに登録。 ・SOSネットワーク稼働時はもとより年1回の模擬訓練にも参加。 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
京丹後市	シルバー人材センター	2008	142		1
活動内容		内容以外の実践活動			
		シルバー人材センターで働いているかたの認知症状が気になるようになった際に対応について、包括支援センターに相談。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<奈良県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
1	1	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
1	1	1	0	0	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
大和郡山市	地方銀行	2024			1
活動内容		内容以外の実践活動			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<和歌山県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
13	7	0	4	0	0	2

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
13	9	6	5	5	0	4

別紙2 <和歌山県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
和歌山市	日本赤十字社和歌山医療センター	2022	50		1
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
和歌山市	株式会社 紀陽銀行	2022	502		1
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
和歌山市	株式会社 オークワ	2025	119		1
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
和歌山市	イオンモール和歌山	2025	10		1
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
和歌山市	和歌山県警察学校	2022	156		1
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
紀の川市	紀の里農業協同組合	2022	311		3
活動内容		内容以外の実践活動			
紀の川市高齢者福祉事業 ほっと安心ネットワーク(徘徊高齢者早期発見)事業への協力。 認知症高齢者が行方不明になった場合、事前登録された情報をもと に、早期の身元確認や保護につなげるための協力機関。					

別紙2 <和歌山県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
紀の川市	粉河郵便局	2017	28		3
活動内容		内容以外の実践活動			
ほっと安心ネットワーク(徘徊高齢者早期発見)事業への協力。認知症高齢者が行方不明になった場合、事前登録された情報をもとに、早期の身元確認や保護につなげるための協力機関。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
紀の川市	打田郵便局	2018	33		3
活動内容		内容以外の実践活動			
ほっと安心ネットワーク(徘徊高齢者早期発見)事業への協力。認知症高齢者が行方不明になった場合、事前登録された情報をもとに、早期の身元確認や保護につなげるための協力機関。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
紀の川市	ヤクルト販売所(紀北営業所・貴志川販売所・粉河販売所)	2012	26		3
活動内容		内容以外の実践活動			
紀の川市高齢者福祉事業ほっと安心ネットワーク(徘徊高齢者早期発見)事業への協力。認知症高齢者が行方不明になった場合、事前登録された情報をもとに、早期の身元確認や保護につなげるための協力機関。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
印南町	町内郵便局	2019	29		1
活動内容		内容以外の実践活動			
通帳の再発行や銀行印の紛失などで度々来店される方について、包括支援センターに情報提供あり。本人が分かりやすいような声かけを実施。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
印南町	町内交通機関(タクシー会社、バス会社)	2019	10		1
活動内容		内容以外の実践活動			
夜間に隣の駅までタクシーで出かけようとしている方がおり、包括支援センターに連絡をいただいたため、無事自宅に帰ることができた。(町の見守りネットワーク事業に登録していた方)					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
印南町	町内金融機関(地方銀行2社)	2019	11		6
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
印南町	町内JA	2019	52		6
活動内容		内容以外の実践活動			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<大阪府>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
7	4	0	0	0	2	1

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
7	6	5	2	1	0	0

別紙2 <大阪府>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
泉佐野市	大阪信用金庫泉佐野支店	2021	12		5
活動内容		内容以外の実践活動			
何度も同じような出金をしているのに、残高が少なくなっているというお客様がいた際、トラブルや苦情にならずに対応できた。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
吹田市	郵便局	2010	114		1
活動内容		内容以外の実践活動			
郵便局と認知症カフェ交流会と合同で「吹田くわい」を栽培することを通じて、高齢者の安心安全な暮らしの実現や生きがいづくりにつなげ、認知症への理解の輪を広げていきます。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
交野市		2009	337		5
活動内容		内容以外の実践活動			
サポーターステッカーを店舗の入り口に貼り付けしてもらっている。認知症の人や家族に優しい対応してくれる職員がいることを地域住民に知らせている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
富田林市	富田林市役所	2006	534	735	6
活動内容		内容以外の実践活動			
各種申請窓口、各種事業窓口等において、何度も同じ問い合わせがある人や、既に申し込みをしているのに何度も申し込みをする人、物忘れにより対応が難しい人について、地域包括支援センターに連絡が入る。その連絡をきっかけとして支援に繋がることがある。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
四條畷市	大阪信用金庫四條畷支店	2025	12		1
活動内容		内容以外の実践活動			
コミュニティーホールを認知症カフェの会場として提供					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
四條畷市	イオンモール四條畷	2025	42		1
活動内容		内容以外の実践活動			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<兵庫県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
13	5	3	2	2	1	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
13	12	11	10	12	0	0

別紙2 <兵庫県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川西市		2018			1
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・気になるお客様がいらっしゃったら、地域包括に相談したり、つないだりしている。 ・継続的に認知症サポーター養成講座を開催しているため、常に地域包括と顔が見える関係性である。 ・認知症月間に、地域包括や地域と協働したイベントを開催している。 ・地域住民と共催で、認知証カフェを開催している。 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川西市		2021			1
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・気になるお客様がいらっしゃったら、地域包括に相談したり、つないだりしている。 ・継続的に認知症サポーター養成講座を開催しているため、常に地域包括と顔が見える関係性である。 ・認知症地域支援推進員と協働で、認知症啓発のイベントを開催している。 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
加古川市	オークラサービス株式会社	2012	812	2000	2
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>グループ傘下企業の新入社員の教育プログラムの一部として、認知症サポーター養成講座を毎年開催。法人が運営する事業に介護事業4事業を通して、地域包括支援センター等と連携を図っている。</p>					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
加古川市	但陽信用金庫	2010	591	612	1
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・何度も同じ内容で来店される方も多く、独居や家族との連絡が難しい場合は地域包括支援センターへ連絡し情報共有を行っている。 ・本部の担当部署が各支店の最寄りの地域包括支援センターを訪問し、連携強化を図っている。 ・兵庫県の「ひょうご認知症サポート店」に登録し、県や市町村のステッカーを店舗入り口に貼付するとともに、営業エリア内の全6市6町の「高齢者等の見守り・SOSネットワーク事業」に協定締結並びに協力機関として登録し、見守り活動に協力している。 ・全職員を対象に認知症サポーター養成講座の受講を推奨し、毎年新入職員を対象に実施している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・涉外担当者がバイクで走行中に高齢者の男性が道端に座り込んでいるのを発見し、話しかけても応答がなく警察に通報。数分後に奥様が来られ、警察も到着し状況確認後、通常業務に戻った。(男性は家族と一緒に家にいたが、目を離れたすきに家を出てしまい、付近を捜していた) 			

別紙2 <兵庫県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
洲本市	保険会社	2009	51		2
活動内容		内容以外の実践活動			
業務を通して気になる顧客の情報があれば、地域包括支援センターに連絡してもらう。		なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
洲本市	金融機関・郵便局	2012	455		4
活動内容		内容以外の実践活動			
通常業務の中で、高齢者の異変を察知した場合には洲本市まで連絡を行う。		なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
洲本市	販売店(食品・医薬品・自動車)	2008	140		4
活動内容		内容以外の実践活動			
健康安全運転講座を開催している。通常業務の中で、高齢者の異変を察知した場合には洲本市まで連絡を行う。		なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
洲本市	電力会社	2023	21		1
活動内容		内容以外の実践活動			
業務を通して気になる顧客の情報があれば、地域包括支援センターに連絡してもらう。		なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
洲本市	警察	2015	106		3
活動内容		内容以外の実践活動			
最寄りの地域包括支援センターとあらかじめ面識を持ち、何かあればすぐに連絡できるようにしている。		なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
洲本市	医療職	2008	127		2
活動内容		内容以外の実践活動			
最寄りの地域包括支援センターとあらかじめ面識をもち、何かあればすぐに連絡できるようにしている。		なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
洲本市	清掃会社	2012	107		1
活動内容		内容以外の実践活動			
業務を通して気になる顧客の情報があれば、地域包括支援センターに連絡してもらう。		なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
太子町	信用金庫				3
活動内容		内容以外の実践活動			
ATM機器の操作で困惑している高齢者を発見し丁寧に対応していただいた。その後、地域包括センターに情報提供いただき、センターは当該高齢者の支援を開始できた。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<岡山県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
12	0	0	0	3	9	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
12	10	10	10	0	2	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	そうごう薬局Pモール藤田店		10		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークへの登録 ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	第一生命保険株式会社		100		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークへの登録 ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	株式会社天満屋		116		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークへの登録 ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	エーザイ株式会社岡山コミュニケーションオフィス		5		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 		<ul style="list-style-type: none"> ・講演会への出席 ・地域包括支援センターに出向き、顔合わせを実施 			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	有限会社YCFactory		3		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	太陽生命保険株式会社		100		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークへの登録 ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	株式会社フジ		53		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークへの登録 ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	医療法人社団プライムケア岡山		30		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	(株)ちゅうぎんフィナンシャルグループ		762		4
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・見守りネットワークへの登録 ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 		年1回、行政・地域包括支援センターと顔合わせを実施。地域包括支援センターと顔見知りになっているため、銀行に認知症が疑われる方が来られた際に、情報を共有し、関係機関と連携し、自宅まで送り届けることができた例もある。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
岡山市	(公財)岡山市公園協会		36		5
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・従業員へ認知症サポーター養成講座の開催、受講勧奨 ・店舗入口にステッカーを掲示 					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
勝央町	JA晴れの国岡山勝央支店	2017	27		4
活動内容		内容以外の実践活動			
業務中に高齢者等の異変を発見した場合、行政に連絡いただける。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
勝央町	日本郵便局(株) (勝央町内)	2020	25		4
活動内容		内容以外の実践活動			
業務中に高齢者等の異変を発見した場合、行政に連絡いただける。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』〈広島県〉

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
15	3	5	0	3	1	3

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
15	15	14	14	9	1	0

別紙2 <広島県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
三次市	協同組合サングリーン	2014	54		6
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症と思われる方への、適切な対応をしていただく・9月の認知症月間でパネル展の展示・認知症カフェの開催場所の提供					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
三次市	日本郵便株式会社(三次で25か所の認定あり)	2017			5
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症と思われる方への対応・情報提供					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
三次市	株式会社 広島銀行 十日市支店	2011	32		1
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症と思われる方への対応・包括支援センターへの連絡・9月の啓発月間でのP寝る点を実施し、認知症の正しい理解を啓発した。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
三次市	ティーエスアルフレッサ	2017	15		4
活動内容		内容以外の実践活動			
キャラバン・メイト活動の実施・認知症と思われる方への対応					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
三次市	三次市立図書館(8か所登録あり)				6
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症と思われる方への対応・認知症月間で認知症に関する図書の展示・貸し出し・のぼりの設置・映画上映・認知症カフェへの協力(回想法を町の昔の写真等を用いたりした)					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
呉市	みしまミルク	2023	12		2
活動内容		内容以外の実践活動			
牛乳配達業のため、配達時の見守り及び情報提供		配達時に応答なく、地域包括支援センターや市、警察と連携し訪問すると、亡くなっておられたことがある。			

別紙2 <広島県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
呉市	ふくしネイルくれ	2025	9		1
活動内容		内容以外の実践活動			
ネイルサロン(福祉ネイル)に来られた方の相談窓口、行政へのつなぎ					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
呉市	広島銀行(やげやま)	2023	6		2
活動内容		内容以外の実践活動			
銀行に来られた方の見守り、つなぎ					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
呉市	日向ぼっこ	2023	3		6
活動内容		内容以外の実践活動			
商店街の中の通いの場を提供					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
呉市	里楽(訪問看護ステーション)	2025	7		2
活動内容		内容以外の実践活動			
チームオレンジを作り、見守りやつなぎ					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
呉市	セブンイレブン	2024	25		4
活動内容		内容以外の実践活動			
見守り					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
府中町	府中町職員	2010	546	518	1
活動内容		内容以外の実践活動			
窓口での対応、見守り、連携					

別紙2 <広島県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
府中町	郵便局	2022	12		4
活動内容		内容以外の実践活動			
地域見守り活動(情報提供)					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
府中町	銀行	2011	52		2
活動内容		内容以外の実践活動			
地域での見守り、情報提供					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
府中町	スーパー、コンビニ	2011	95		2
活動内容		内容以外の実践活動			
地域での見守り、情報提供					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜島根県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
0	0	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
0	0	0	0	0	0	0

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜鳥取県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
5	0	1	4	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
5	5	4	5	5	0	0

別紙2 <鳥取県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
琴浦町	シルバー人材センター	2023	20		3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワークへの参加、日ごろの見守り活動／ 設問2-5の全職員数は不明		把握していない			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
琴浦町	鳥取銀行	2022	5		3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワークへの参加、日ごろの見守り活動／ 設問2-5の全職員数は不明		把握なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
琴浦町	東伯けんこう	2021	15		3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワークへの参加、日ごろの見守り活動／ 設問2-5の全職員数は不明					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
琴浦町	町内郵便局	2021	29		3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワークへの参加、日ごろの見守り活動／ 設問2-5の全職員数は不明		把握なし			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
琴浦町	民生委員	2022	60		2
活動内容		内容以外の実践活動			
日ごろの見守り活動、包括支援センターへの情報提供／ 設問2-5の全職員数は不明		把握なし			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』〈山口県〉

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
4	1	0	0	0	1	2

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
4	4	1	3	1	0	0

別紙2 <山口県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
宇部市	生活協同組合コープやまぐち 宇部センター	2010	65		6
活動内容		内容以外の実践活動			
1 認知症(疑い含む)の高齢者で気になる方や支援が必要な方がい れば、市や地域包括支援センターに情報提供を行っている 2 市が実施している高齢者の見守り事業「地域であんしん見守り愛 ネット」の協力事業者として協定を締結している					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
宇部市	市内郵便局	2010	71		6
活動内容		内容以外の実践活動			
1 認知症(疑い含む)の高齢者で気になる方や支援が必要な方がい れば、市や地域包括支援センターに情報提供を行っている 2 市が実施している高齢者の見守り事業「地域であんしん見守り愛 ネット」に協力事業者として協定を締結している					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
山陽小野田市	認知症にやさしい事業所	2015	69		5
活動内容		内容以外の実践活動			
・認知症の人にやさしい対応(笑顔で優しい声かけ、丁寧な説明、 はっきりと大きな声で話しかける) ・環境づくり(店内のバリアフリー、商品を見やすい位置に配置、少量 販売) ・サービス(自宅まで配達する)		具体的なエピソードは把握していない。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
防府市	広島銀行防府支店	2011	15	17	1
活動内容		内容以外の実践活動			
窓口で、高齢者の方から生活上の心配事を伺った際には、地域包括 支援センターを紹介している。		高齢者の方が詐欺に遭わないよう、窓口で詐欺が疑われることが あった場合、詳しくお話を伺うようにしている。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<香川県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
2	0	0	2	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
2	2	0	2	0	0	0

別紙2 <香川県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
観音寺市	観音寺市信用金庫	2014	52	179	3
活動内容		内容以外の実践活動			
頻回にお金を引き出す、通帳の再発行があるなど、気になる高齢者がいる場合、地域包括支援センターに連絡している。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
観音寺市	香川ヤクルト販売会社観音寺センター	2017	29	103	3
活動内容		内容以外の実践活動			
訪問する中で、物忘れがあるなど、気になる高齢者については、地域包括支援センターへ情報提供している。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜徳島県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
2	0	1	0	1	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
2	2	0	2	0	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
阿波市	水道料金お客様センター	2021	15		4
活動内容		内容以外の実践活動			
業務を通して気になる情報があれば地域包括支援センターに報告。見守り協定を結び、異常などを発見したときに迅速に対応する体制をとっている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
阿波市	青少年育成センター	2025	2		2
活動内容		内容以外の実践活動			
業務を通して気になる情報があれば地域包括支援センターに報告。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜愛媛県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
2	1	1	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
2	2	2	2	1	1	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
西予市	有限会社 大塚工務店	2019	5	5	1
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症の方の見守り 気になる方の情報を行政に連絡		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方が隣町へ徒歩と自転車で移動したところを発見し、市に連絡 無事家族の方に保護していただいた ・夜間工事において、何度か高齢者の徘徊を発見し情報提供した。 ・以前から認知症の疑いがあった人の様子がおかしかったため、保護して家族のもとに送り届けた 			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
西予市	フジ宇和店	2021	55	100	2
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・店内では高齢の方等をさりげなく見守り、棚の商品が取りにくい場合など、必要に応じて買い物をサポートする ・現金でゆっくり支払いができるレジの導入 ・電動車いすの方が買い物しやすいように、通路を広くする。催事物で通路をふさがないように配慮する 					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<高知県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
0	0	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
0	0	0	0	0	0	0

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<福岡県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
5	3	1	0	0	1	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
5	5	2	4	1	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
嘉麻市	嘉麻市立図書館 4か所	2014	10	30	1
活動内容		内容以外の実践活動			
アルツハイマー月間として、認知症に関する書籍の紹介や認知症に関するパネルの展示、チラシの配布など、身近な場所での啓発活動		認知症と思われる方へ、読みたい本が見つかるような声掛け			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
みやま市	市内郵便局	2023	30		5
活動内容		内容以外の実践活動			
業務中に認知症が疑われる高齢者がいた場合、郵便局から地域包括支援センターに連絡いただいている。その結果、認知症等の早期発見、対応に繋がっている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川崎町	郵便局	2016	39		1
活動内容		内容以外の実践活動			
見守り・情報共有・相談会等の情報提供		業務中に認知症が疑われる高齢者に声をかけたことで包括支援センターに繋ぐことができた			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
吉富町	日本郵便株式会社 吉富町郵便局		1	3	2
活動内容		内容以外の実践活動			
気になる方が来店の際に様子を気にかけてもらい、普段と様子が変わっていたり、不穏な様子があれば速やかに情報提供していただく。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
福智町	見守りネットワーク協定企業	2024	22		1
活動内容		内容以外の実践活動			
社会福祉協議会及び行政と3者協定を締結した企業・事業所が日常の業務の範囲内において、地域住民などについて何らかの異変を察知した場合には、速やかに連絡していただくもの。但し、緊急性、重大性がある場合には、警察署または消防署に通報いただく。		配食弁当を配達した際、本人の安否が確認できなかったため、事業者が行政に連絡し、職員が自宅に駆け付けたところ、屋内で体調不良のため動けなくなっている本人を発見、ご家族に連絡した。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜佐賀県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
1	1	0	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
1	1	1	1	1	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
吉野ヶ里町	吉野ヶ里観光タクシー	2023	24		1
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業(移動支援)などの会議への参加で、地域の困りごとの共有や地域作りなどへの積極的な参加協力を頂いている。 ・教室への送迎など、認知症対応に心がけて声掛けを行って頂いている。 ・地域住民への優しい声掛けなどを行って頂き、乗務中気になる人が居られる場合には警察署への連絡等で迅速に対応。認知症の人への優しい声掛けや、事故防止など日頃より気を付けながら乗務に付いて頂いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー利用中の住民さんの情報共有で、適切な介護サービスにつながった。 			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜長崎県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
3	1	1	0	1	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
3	3	1	3	2	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長崎市		2008	99		1
活動内容		内容以外の実践活動			
業務を通して異変に気づいた際は、地域包括支援センターに連絡してもらっている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南島原市	南島原市	2024	25		2
活動内容		内容以外の実践活動			
講座の講師が地域包括支援センターのため、面識が持て、相談窓口を知ることができ、何かあれば相談できるようにしている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
島原市	藤村薬品株式会社(島原支店)	2025	6		4
活動内容		内容以外の実践活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・島原市高齢者等見守りネットワーク連携協定を締結し、民間事業者が日頃の業務の中で高齢者等の異変を感じた際に島原市役所又は島原市地域包括支援センターへ情報提供を行い、高齢者等の安否及び異変の早期発見並びに早期対応に向けた連絡体制を強化している。 ・見守りネットワーク協議会 全体会議(2回/年)に協定事業所が参加し、情報交換や見守り等の情報共有を行っている。 					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』〈大分県〉

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
1	0	0	1	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
1	1	1	1	1	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
日出町	イオン九州株式会社 ホームワイド日出店	2016	36	36	3
活動内容		内容以外の実践活動			
SOSネットワーク協力機関として登録し、行方不明者がでたときに捜査協力をしている。		<p>①続けて同じ高額商品を買われたお客様へ同じものを買ったことを伝えましたが「いるんじゃない」といわれた。しかし、商品を忘れて帰り、家族と連絡がつき家族から喜ばれたことがある。</p> <p>②住所も名前も言えない方が汗びっしょりになり娘を探していることに気づいた店員が本人を休ませて警察を呼んだケースがある。</p>			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜宮崎県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
4	2	1	0	1	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
4	2	3	2	2	0	1

別紙2 <宮崎県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
都城市	都城ヤクルト販売株式会社	2009	160	50	1
活動内容		内容以外の実践活動			
<p>1: 地域包括支援センター、民生委員と情報共有を行っている 3と4: 県の地域見守り応援隊と協定締結しており、ヤクルトレディが対応した案件を報告。窓口より全体報告が月に1回あり、職員で共有。県警本部や消費生活センターとの情報共有。 5: 新人職員研修(ヤクルトレディ、一般職)に「認知症サポーター養成講座」をプログラム化して、企業職員が認知症サポーターになっている。</p>		<p>・消費者被害の電話に対応し、購買契約を未然に防ぎ、内容についてご家族にヤクルトレディが説明をする。 ・担当地区の方が明らかに道で迷っているところを発見し、行方不明になることを防ぐ ・いつもと違う状況(デイサービスの日に家が開錠していた)があり、再訪問し声を掛けた。トイレ前に倒れているところを発見し、救急車を依頼。家族に連絡を行った。(家族の連絡先は、デイサービスに連絡し、確認した)</p>			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川南町	川南町商工会	2015	2	8	2
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症が疑われるお客様を地域包括支援センターや役場に情報共有している。		認知症の疑いがある方を地域包括支援センターにお連れした。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川南町	宮崎ヤクルト(株)児湯北センター	2012	12	15	1
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症が疑われる顧客等について役場や包括支援センターに情報共有している		体調が悪く倒れた人を連絡した			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
川南町	パントリーけいすけ川南店			60	4
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症の恐れがある人に対する見守りや移動販売にて認知症(疑い)がある人の見守り等		包括支援センターから事前に認知症の関係で万引きの恐れがある人物について、氏名、生年月日、顔写真、当該人の認知症種別とその特徴の情報共有がされているため、来店時付いていき見守りをしている。実際、職員の前で購入していない飲み物を売り場で飲む行為があったため、お声掛けをして万引き行為にならないよう未然に抑止した。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜熊本県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
8	0	3	0	1	2	2

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
8	7	6	8	7	1	0

別紙2 <熊本県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
和水町	郵便局				4
活動内容		内容以外の実践活動			
・町内の各郵便局に認知症ケアパスを配布して面識を持ち、認知症の疑われる方の情報共有を行っている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
益城町	生活協同組合くまもと		130		6
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
益城町	肥後銀行(木山支店・広安支店)	2019	24		5
活動内容		内容以外の実践活動			
		「ATMの使い方がわからない」「何度も通帳を作り変えている」「お金を盗られた」等を訴えてくる人が居ると、銀行から社協に相談があり、かかりつけ医に報告しました。家族も困っている状況であったのですが、若年性認知症ではあるものの、精神疾患で受診されているということで、医療サービスの利用のみで、権利擁護や成年後見制度などにつながることもありませんでした。銀行の職員さんと連携して支援できそうな事例でしたが、うまく行かないまま突然亡くなりました。			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
益城町	益城町役場	2009	207		2
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
益城町	共愛歯科	2019	45		5
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
益城町	再春館製薬所	2025	8		6
活動内容		内容以外の実践活動			

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
長洲町	花谷建設株式会社 有明支店	2019	24	29	2
活動内容		内容以外の実践活動			
チームオレンジ活動への参加及び活動内容の検討協力。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
南阿蘇村	熊本日日新聞販売店	2024	8		2
活動内容		内容以外の実践活動			
業務を通して気になる方の情報があれば、地域包括支援センターへ連絡してもらおう。					

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』<鹿児島県>

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
3	0	3	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
3	3	2	2	1	0	0

別紙2 <鹿児島県>

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
日置市	日置市役所				2
活動内容		内容以外の実践活動			
窓口等で気になる相談者などが来られた場合に情報提供があったり、支援同行したりしている。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
西之表市	せいざん病院 認知症疾患医療センター	2010	90	120	2
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症の理解を深めるために、広報、啓発活動に取り組んでいる。					

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
瀬戸内町	郵便局	2024	20		2
活動内容		内容以外の実践活動			
認知症が疑われる人の見守り、傾聴、声掛け。包括に繋ぐ。		消費者被害を未然に防いだことがある。			

別紙2 『わがまち企業・職域サポーターの活動』＜沖縄県＞

○「活動の種類」

記入数	1. 認知症が疑われる顧客について行政機関等と情報共有を行っている	2. 地域包括支援センターと連携を図るしくみを設けている	3. SOSネットワーク等へ参加するなど見守り活動に協力している	4. 協定を締結している	5. 認知症サポーターのいる店等に登録している	6. その他
1	0	1	0	0	0	0

○「職員が認知症サポーターとなることでもたらされた効果」(MA)

記入数	1. 職員の対応力が向上する	2. 企業等としての社会貢献の実績につながる	3. 地域の諸機関との連携を図るきっかけとなる	4. 家族等が認知症となった場合に知識の習得が福利厚生に役立つ	5. その他	6. 無回答
1	1	1	1	1	0	0

市区町村	企業名	サポーター養成 開始年	企業サポーター 数	企業などの全職 員数	活動の種類
浦添市	生活協同組合コープおきなわ	2024	100	1070	2
活動内容		内容以外の実践活動			
業務中(店舗、配達、配食)中に異変を感じた場合、包括等と連携して対応を行っている					

アンケート「認知症サポーターが実践している活動」

- ・3 「キャラバン・メイト連絡協議会の取り組み」の回答結果

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<北海道>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
11	7	0	1	3	0	7

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
11	8	3	5	9	6	2	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
江別市		4		2018	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
12	1	30	31	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
恵庭市		1	2	2009	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	1	12	27	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
北広島市		3		2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	25	13	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
滝川市		1	2	2008	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	0	14	7	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
北斗市		4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	1	5	3	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
京極町		4		2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3	0	6	1	0	10

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
せたな町		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	1	2	11	2	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
音更町		1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	1	1	8		1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
新篠津村		1	2	2011	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	2	5	9	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
遠軽町		1	2	2021	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	0	2	6	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
岩内町		1	2	2007	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	2	0	4	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』＜青森県＞

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
6	4	0	2	0	0	3

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
6	4	2	0	4	1	3	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
五所川原市	キャラバン・メイト五所川原	1		2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3	6	25	10	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
弘前市		1	2	2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	19	9	38	0	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
つがる市		3		2018	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	1	5	2	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
南部町		1	2	2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	4	32	2	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
六戸町		3		2010	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	0	12	11		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
東北町		1	2	2012	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1		13	11		

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<岩手県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
2	2	0	0	0	0	2

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
2	2	2	1	0	0	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
一関市	キャラバン・メイト連絡会	1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
11	0	30	46	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
花巻市		1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
27	3	21	45	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<秋田県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<宮城県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
2	2	0	0	0	0	1

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
2	2	1	0	0	0	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
角田市		1		2010	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3		28	3		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
川崎町		1	2	2012	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
23	1	20	6		

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<山形県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
1	1	0	0	0	0	1

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
1	1	0	0	1	1	0	0

市区町村	組織の名称		運営主体	「行政」の区分	開始年
三川町			1	2	2013
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
8	0	0	7	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<福島県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
5	3	0	1	1	0	3

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
5	4	3	1	1	1	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
郡山市		1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
7	32	87	146	16	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
伊達市		3		2025	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	3	5		7

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
三春町		1	2	2023	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	2	8	0	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
塙町		4		2022	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	0	3	5	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<茨城県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
8	7	0	0	1	0	7

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
8	8	4	3	2	3	4	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
つくば市		1	2	2009	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
69	24	160	23	0	24

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
つくばみらい市		1	2	2010	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
16		16	13	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
行方市	行方市認知症介護アドバイザー連絡会	4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1		7	12		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
結城市		1	2	2012	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	1	6	9		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
坂東市		1	2	2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	6	1	19	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
下妻市		1	2	2017	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
		15	7		1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
石岡市		1	2	2018	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	2	15	1	0	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
八千代町		1	2	2017	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	11	4	0	3

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<栃木県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
2	2	0	0	0	0	2

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
2	2	1	0	1	0	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
大田原市		1	2	2008	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	3	39	32	0	38

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
那須町		1	2	2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	1	20	10	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<群馬県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<埼玉県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
5	5	0	0	0	0	5

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
5	2	0	1	1	5	4	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
ふじみ野市		1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	4	21	8	3

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
行田市		1	2	2009	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	0	3	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
吉川市		1	2	2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	0	0	18	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
嵐山町		1	2	2019	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
8	0	1	8	0	4

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
宮代町		1	2	2010	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<千葉県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
2	2	0	0	0	0	2

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
2	1	0	0	2	0	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
館山市		1	2	2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	36	20	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
鎌ヶ谷市		1	2	1989	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
14	6	6	7	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<東京都>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
3	2	0	0	1	0	2

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
3	3	0	1	2	2	0	0

別紙3 <東京都>

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
新宿区		1	2	2009	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3		3	79		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
葛飾区		1	2	2018	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
7	3	20	42	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
荒川区		4		2012	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<神奈川県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
3	1	0	2	0	0	1

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
3	3	0	1	0	1	0	0

別紙3 <神奈川県>

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
相模原市		3		2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
					551

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
三浦市		1	2	2013	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	3	19	13	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
御殿場市		3			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
46	1	14	13	1	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<山梨県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
4	4	0	0	0	0	4

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
4	4	1	1	0	2	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
都留市		1	2	2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
7	1				

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
南アルプス市		1	2	2013	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
13	7	31	6	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
山梨市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	7	21	1		1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
甲州市		1	2	2020	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
11	2	20	22	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<長野県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
5	3	0	1	1	0	3

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
5	4	4	2	1	5	2	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
飯田市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	3	35	36		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
駒ヶ根市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
14			28		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
飯山市		3		2010	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
16	1	1	0	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
小諸市		1	2	2021	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	5	14	26	0	3

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
富士見町		4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	0	0	54	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<新潟県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<静岡県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
6	6	0	0	0	0	6

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
6	4	1	1	3	3	2	0

別紙3 <静岡県>

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
浜松市		1	2	2007	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
224	12	61	120	11	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
伊豆市		1	2	2013	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	3	39	19	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
伊東市		1	2	2012	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	0	7	19	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
裾野市		1	2	2007	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
6	3	2	6	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
御前崎市		1	2	2007	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	0	12	4	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
牧之原市		1	2	2011	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
9	0	6	3	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<愛知県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
6	3	0	0	3	0	3

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
6	5	0	3	3	2	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
豊明市	豊明市認知症キャラバン・メイトまるまる	4		2017	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
10	1	3	6		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
新城市		4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	2	6	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
江南市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	3	2	0	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
高浜市		1	2	2012	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
22	1	6	22	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
あま市		1	2	2019	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
7	2	4	2	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
扶桑町		4		2017	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
15	2	5	16	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<岐阜県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
5	4	0	0	1	0	4

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
5	3	1	1	5	2	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
瑞浪市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	20	10	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
飛騨市		1	2	2019	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	5	15	6	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
海津市		1	2	2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	0	29	14	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
瑞穂市		4		2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
30	3	18	13	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
北方町		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<三重県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<富山県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<石川県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
5	5	0	0	0	0	5

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
5	5	1	2	3	4	1	0

別紙3 <石川県>

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
白山市		1	2	2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
7	1	23	3	7	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
羽咋市		1	2	2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	3	20	0	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
野々市市		1	2	2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	2	11	11	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
かほく市		1	2	2011	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	1	19	1	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
中能登町		1	2	2017	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	2	19	6	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<福井県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
2	0	0	1	1	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
2	2	1	0	1	1	0	0

市区町村	組織の名称		運営主体	「行政」の区分	開始年
坂井市			3		2009
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3	4	3	0	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<滋賀県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
4	3	0	0	1	0	3

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
4	4	2	0	0	0	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
米原市		4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
甲賀市		1	2	2017	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0		14	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
豊郷町		1	2	2013	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
12	0	0	2	0	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
愛荘町		1	2	2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
24	0	3	1	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<京都府>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
5	2	0	1	2	0	1

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
5	2	3	2	3	3	2	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
京丹後市		1		2009	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	40	275	53	2	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
城陽市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
長岡京市		4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
精華町		4		2025	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
102	6	50	8	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
伊根町		3		2011	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
10	1	10	7	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<奈良県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
4	3	0	1	0	0	3

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
4	1	0	1	1	1	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
橿原市	キャラバン・メイト連絡協議会	1	2	2019	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
御所市		3		2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
6	0	30	9	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
高取町		1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
4	0	11	6	0	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
田原本町		1	2	2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
4	0	4	5	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<和歌山県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
4	4	0	0	0	0	3

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
4	4	2	1	2	1	1	0

別紙3 <和歌山県>

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
岩出市	名称は特になし	1		2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3	2	22	8	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
紀の川市	紀の川市認知症キャラバン・メイト連絡会	1	2	2010	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	9	18	18	3	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
海南市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
湯浅町		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3	3	8	16	0	4

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<大阪府>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
18	11	0	3	4	0	11

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
18	13	3	7	8	4	5	2

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
堺市	堺市キャラバンメイト事務局	1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
堺市	堺区キャラバンメイト	1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
		4	4		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
堺市	中区キャラバンメイト	1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3		12	9		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
堺市	東区キャラバンメイト	1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
6		6			

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
堺市	西区キャラバンメイト	1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
17			5		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
堺市	南区キャラバンメイト	1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
41					

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
堺市	北区キャラバンメイト	1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
堺市	美原区キャラバンメイト	1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	4	4	4		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
守口市		3		2019	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	0				

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
羽曳野市		1	2	2011	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	0	23	21	1	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
寝屋川市		1	2	2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	2	8	4	2	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
河内長野市		4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
18		43	30		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
池田市		3		2017	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	24				

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
豊中市		3		2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
大阪狭山市		4		2011	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	4	5		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
泉佐野市	泉佐野キャラバン・メイト連絡会	1	2	2016	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	4	8	26	1	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
阪南市		4		2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
24	5	21	20	0	100

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
大東市		4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	4	31	13	1	4

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<兵庫県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
4	2	0	0	2	0	2

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
4	4	2	3	4	2	2	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
丹波市		1	2	2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	5	16	14	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
小野市		4		2019	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
			11	15	2

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
西脇市		4		2019	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
4	0	21	8	0	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
宍粟市		1	2	2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	1	24	13	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<岡山県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
4	2	0	1	1	0	2

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
4	4	2	2	4	2	2	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
美作市		3		2021	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
117	2	47	55	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
玉野市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
10	2	33	11	0	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
瀬戸内市	認知症キャラバンメイト連絡会	4		2018	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
12	5	40	5		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
矢掛町		1	2	2018	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3	1	17	9	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<広島県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
4	3	0	1	0	0	3

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
4	3	2	4	4	1	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
庄原市		1	2	2007	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
廿日市市		1	2	2009	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
27	0	48	38	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
尾道市		3		2010	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
12	3	16			

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
神石高原町		1	2	2007	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	0	11	4	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<島根県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
1	1	0	0	0	0	1

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
1	1	1	0	0	0	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
浜田市		1	2	2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	4	10	7		1

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<鳥取県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<山口県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
5	5	0	0	0	0	5

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
5	5	4	2	3	3	3	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
下関市		1	2	2006	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
72	24	101	144	6	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
萩市		1	2	2008	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
柳井市		1	2	2010	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	6	27	4		0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
長門市		1	2		
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
9	2	6	13	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
下松市		1	2	2007	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
32	4	30	17	2	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<香川県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<徳島県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
1	1	0	0	0	0	1

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
1	1	0	0	1	1	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
神山町		1	2	2019	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	1	7	0	1

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』＜愛媛県＞

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
3	2	0	0	1	0	2

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
3	2	2	1	1	2	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
今治市		1	2	2015	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	4	135	52	1	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
四国中央市		1	2	2009	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	0	6	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
東温市		4			
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
21	0	3	3	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<高知県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
1	1	0	0	0	0	1

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
1	1	1	1	1	1	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
須崎市		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<福岡県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
13	10	0	2	1	0	9

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
13	13	6	6	4	4	3	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
福津市	セーフティネットワーク蓮華草	3		2007	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
4	3	22	5		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
柳川市		1	2		
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3			14	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
八女市		1	2	2013	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	0	2	4	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
筑後市		1	2	2018	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
4	0	16	18	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
糸島市		1	2	2012	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
小郡市		1	2	2009	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
16	19	67	16	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
田川市		4			
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
大川市		1	2	2014	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	3	33	36		10

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
久留米市		3		2013	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
37	3	12	0	7	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
宇美町	宇美町キャラバンメイト連絡会	1			
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
9	1	10	16		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
久山町		1	2	2019	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	3	5	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
志免町		1	2	2012	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3	13	49	19	0	3

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
鞍手町		1	2		
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
14					

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<佐賀県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
3	2	0	0	1	0	1

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
3	2	1	1	2	1	1	1

別紙3 <佐賀県>

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年
伊万里市	伊万里市地域包括支援センター	1	2	2007

キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
11	3	22	9	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年
鹿島市	キャラバンメイト連絡会	1		

ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
		21	5		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年
太良町		4		2020

ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	1	2	2	0	

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<長崎県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<大分県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
0	0	0	0	0	0	0

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
0	0	0	0	0	0	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<宮崎県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
2	2	0	0	0	0	2

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
2	2	0	1	1	1	2	0

別紙3 <宮崎県>

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
西都市		1	2	2011	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	9	20	14	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
綾町		1	2	2017	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	0	22	23	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<熊本県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
5	5	0	0	0	0	5

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
5	5	2	4	2	4	3	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
玉名市		1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
		83	23		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
荒尾市		1	2	2006	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	4	14	3	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
御船町		1	2	2008	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	1	19	0	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
苓北町		1	2	2008	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
3	2	9	5	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
南小国町		1	2	2009	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	0	1	4	0	6

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<鹿児島県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
6	5	0	1	0	1	4

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
6	6	4	2	5	3	4	0

別紙3 <鹿児島県>

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
垂水市		3		2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
4	1	33		4	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
出水市		1	2	2015	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	5	12	21		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
錦江町		1	1		
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
阿久根市		1	2	2013	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	0	14	6	1	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
中種子町		1	2	2022	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	2	5	0	0

別紙3 『キャラバン・メイト連絡協議会の取り組みについて』<沖縄県>

○「運営主体」

記入数	1. 行政	2. NPO等	3. キャラバン・メイトの自主組織	4. その他	1. 都道府県	2. 市区町村
6	6	0	0	0	0	5

○「活動内容」

記入数	1. 定例会によるキャラバン・メイト同士の意見・情報交換等	2. 学習会等の開催によりサポーター講座講師の技量向上を図っている	3. サポーター講座をより効果的に実施するための取り組み	4. 認知症サポーターズテップアップ講座の企画・開催	5. 認知症の人等からの相談窓口となり専門機関への橋渡しを行う	6. 認知症サポーター活動のリーダー役としてとりまとめを行っている	7. その他
6	4	1	1	2	2	1	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
沖縄市		1	2	2014	
キャラバンメイト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
1	9	24	21	1	161

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
うるま市	認知症キャラバン・メイト連絡会	1		2016	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
	2	15	14		

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
南城市		1	2	2018	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
5	1	4	5	0	0

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
糸満市		1	2	2015	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
2	3	0	7	0	

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
読谷村		1	2	2022	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
0	0	13	7	0	1

市区町村	組織の名称	運営主体	「行政」の区分	開始年	
八重瀬町		1	2	2020	
ト連絡協議会等のメンバー構成					
1) 住民	2) 医療従事者	3) 介護従事者	4) 行政機関等	5) 自治体内の 企業関係者	6) その他
18	2	8	10	0	